トンデモ世紀末の大暴露

WHITE BOOK BY THE ACADEMY OF TONDEMO

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

と学会白書シリーズ

と学会・著

イーハトーヴ出版

Mへ
今日も元気だ
デンパが強い。

きょうひち

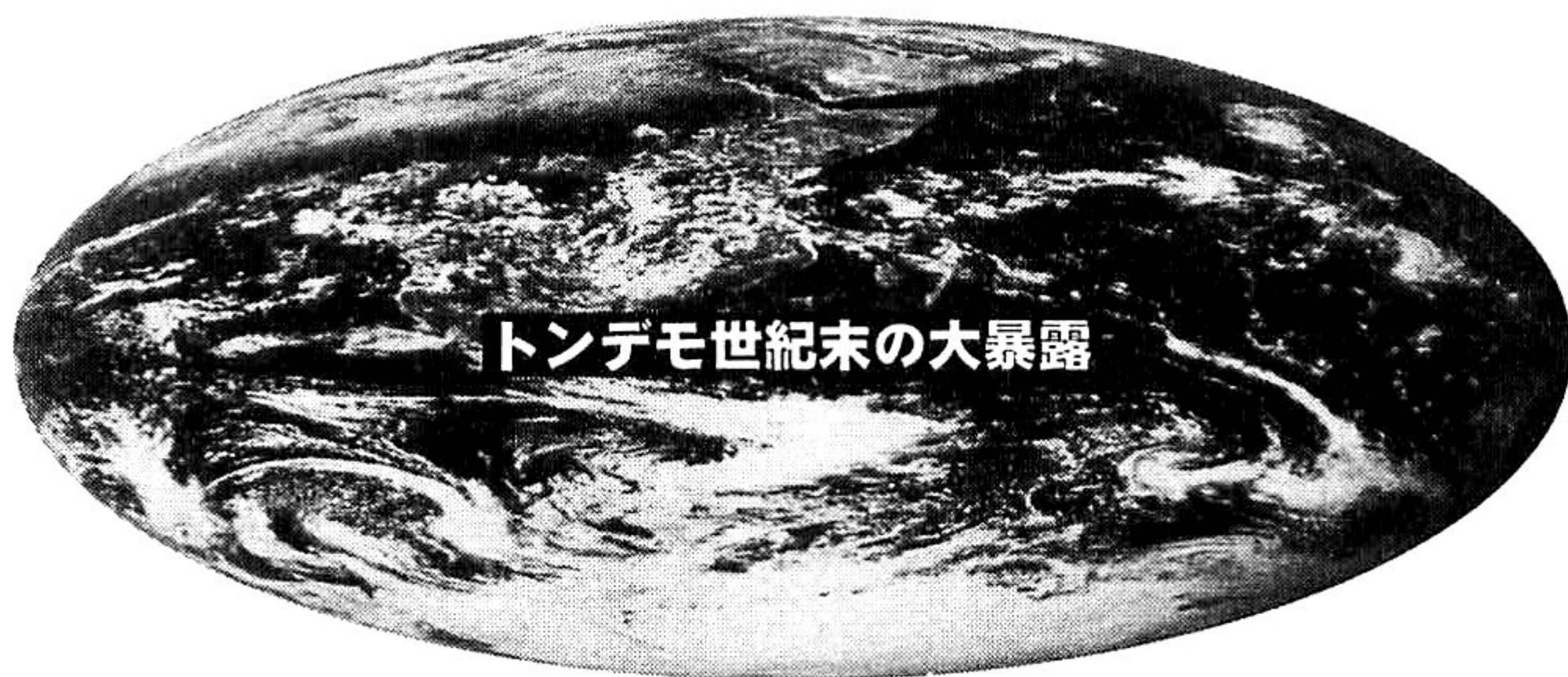
THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

と学会白書シリーズ

トンデモ世紀末の大暴露

WHITE BOOK BY THE ACADEMY OF TONDEMO

と学会・著

イーハトーヴ出版

トンデモ世紀末の大暴露

トンデモは人の本性、されど……

と学会会長　山本弘

いきなりだが、『と学会白書vol.1』の内容について、訂正が必要な箇所があるので、この場を借りて釈明させていただく。巻末に掲載された大田原治男氏の文章である。

ご存じの通り、大田原氏は昨年の5月に急逝された。今さら死者をムチ打つのも大人気ないとは思うのだが、あの文章はあまりにもデタラメな内容なので、見過ごすわけにはいかないのだ。

「と学会会長の山本弘氏は、夢で予知するなどとはトンデモない事であると、以前トンデモ本に載せたことがある」

これを読んで僕は仰天した。なぜなら、僕は「夢で予知するなどとはトンデモない事である」などと書いたことは、ただの一度もないのだ。念のために『トンデモ本の世界』『トンデモ本の逆襲』『トンデモ超常現象99の真相』はもちろん、自分の小説まで調べ直してみたのだが、それに該当する記述も、大田原氏にそのような誤解を与えそうな箇所も、まったくなかった。

それに関連すると思われる唯一の箇所は、『99の真相』の中の、クラカトア噴火を夢で見た新聞記者のエピソードだけである。もちろん、僕はあのエピソードだけを否定したのであって、夢で未来を予知する可能性すべてを否定してなどいない。だいたい、僕が「ありえない」と書く場合には、必ず具体的根拠を示す。夢で未来を予知できない、という根拠はない(できる、という根拠もないけど)。だから僕は絶対に「夢で未来を予知できない」とは書かないのである。

さらに大田原氏は、僕がマイモニデス研究所の実験のことを知らないのだろう、と一方的に決めつけている。何を根拠にそんなことを言うのだろうか。超心理学の世界では「マイモニデス実験」はあまりにも有名で、超心理学の歴史を扱った本には必ずといっていいほど紹介されている。この分野について少しでも調べたことのある人間なら、マイモニデス実験のことを知らないはずはないのだ。

ああ、もしまだ大田原氏が生きておられたなら、唐沢俊一『カルトな本棚』(同文書院)の26ページの写真を見せて、

「ほうら、僕の家の本棚には、ちゃんとスタンリー・クリップナーの『超意識への旅』があるでしょ？　写真には映ってないけど、この『宇宙からの訪問者』の後ろにはチャールズ・タートの『サイ・パワー』が、『失われた世界への旅』の背後にはジョン・ベロフの『パラサイコロジー』があるんですよ」

と教えてあげられたのだが(3冊とも、マイモニデス実験について触れた本である)。僕があの文章を読んでしみじみ感じたのは、「ああ、大田原さんは最後まで大田原さんだったんだなあ」ということである。彼は最後の最後まで、と学会がどんなグループであるか理解していなかった。最初は真面目な超常現象研究団体だと思いこんで入会を希望し、次には超常現象を否定する団体だと思いこんだ。自分の頭の中で「山本弘とはこういう男だ」「と学会とはこういう団体だ」というイメージを創り上げ、それに対して腹を立てていたのだ。ついには、僕が言ってもいないことまで勝手に創作してしまった。

大田原氏が批判していたのは、架空の山本弘であり、架空のと学会だったのである。

もっとも、そういう誤解をしているのは大田原氏だけではないのだが。

さて、編集部から依頼されたテーマは、「97年のトンデモ本界の動向と98年の展望」である。

とは言うものの、新たな動きはあまり見られない。例の1999年7月が近づくにつれ、大予言やハルマゲドンがどうこうという本がまたぞろ増えるとは思うが、それ以外に目立って大きなムーブメントになりそうなものは見当たらない。賢い連中は火の粉が降りかかるのを恐れ、すでに「1999年人類滅亡説」から撤退している。『ムー』の98年2月号の特集は「1999年に破局は来ない!!」だった(ハルマゲドンが起きるのは、今度は2043年だそうだ。へーえ、そうですか)。

そもそも、トンデモ本の世界には、新しい発想というのはあまりないのである。「日本語の祖先は○○語だった」という説にせよ、ユダヤ陰謀論にせよ、反相対論、フリーエネルギー、UFOコンタクティー信仰、世界終末予言、超古代文明説などにせよ、何十年(ものによっては何百年)も前から繰り返し唱えられている説の焼き直しにすぎず、斬新で画期的なトンデモ説はあまり出てこない。

96年に出版されたグラハム・ハンコック『神々の指紋』(翔泳社)にしても、長年こういう本を読み慣れてきた者の目には、デニケンやヴェリコフスキーの陳腐な焼き直しにしか見えなかった。著者のオリジナルの主張はほとんどなく、ありふれた退屈な内容である。僕は最初に書店で見た時、「こんなしょうもない本をハードカバーで出すなんて、バカなことをするもんだ。売れるわけないのに」と思った。ところが予想に反して、『神々の指紋』は大ベストセラーになってしまった。

97年にはマイケル・ドロズニン『聖書の暗号』(新潮社)が出た。旧約聖書のモーセの五書(創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記)に隠された神の暗号を解読した、というものである。その結果、イスラエルのラビン首相の暗殺をはじめ、広島の原爆投下、アインシュタインの相対性理論、シューメーカー・レヴィ彗星の木星衝突、シェークスピア、エジソン、ヒ

トラー、さらにはオウム真理教の地下鉄サリン事件まで予言されていたという。
僕はこの本を発売と同時に買って読んだ。そして『神々の指紋』のことを連想し、「もしかして、こんな本でもベストセラーになったりするんじゃないか」と悪い予感にかられた。その予感は的中、『聖書の暗号』はベストセラーになってしまった。
こういう本も昔からよくあるのだ。聖書、シェークスピアの戯曲、ノストラダムスの予言詩などを研究し、そこに隠されたメッセージを読み取ったと主張する人は、枚挙にいとまがない。日本でも、いろは歌、古事記、百人一首などに暗号が隠されていると信じ、解読を試みている人は何人もいる。
オーストラリア国立大学の数学者ブレンダン・マッケイらは、ドロズニンらの主張する「聖書の暗号」なるものは偶然の産物にすぎないと批判した。それを受けたドロズニンは、『ニューズウィーク』誌上で、「私の手法で『白鯨』から国家元首の暗殺に関する予言を発見できたなら、彼らの言うことを信じてもいい」と大見得を切った。マッケイはその挑戦を受けて立った。結果はというと、マッケイは『白鯨』の中から、インディラ・ガンジー、レオン・トロツキー、マーチン・ルーサー・キング牧師、ロバート・F・ケネディらの暗殺に関する「予言」を発見した。
要するに、聖書にかぎらずどんな本だろうと、適当に文字の配列をいじれば、「予言」はいくらでも発見できるということなのだ。
もっとも、『聖書の暗号』のデタラメさを暴くのに、高度な専門知識は必要ない。中学生程度の数学知識さえあれば、「ヒトラー」や「エジソン」といった単語が聖書を並べ替えた文字列の中に偶然に出現する確率がどれぐらいか、計算するのは難しくない。また、モーセの五書の中から暗号が発見されるためには、それが一人の人間(あるいは神)によって書かれたものであり、3000年以上前に書かれて以来一度も大きな改竄が行なわれていないことが前提である(改竄箇

所があれば文字の配列が乱れ、暗号は発見されないはずだ)。だが、聖書に関する初歩の知識があれば、そんな話が信じられるわけがない。モーセの五書は元になる複数の文書をパッチワークのように細かく継ぎはぎし、改竄されたものであることは、何世紀も前から聖書研究者の常識である(R・E・フリードマン『旧約聖書を推理する』(海青社)を参照)。また134ページのオウム真理教に関する記述のデタラメさを見れば、ドロズニンがジャーナリストとしてどれほどいい加減な人物か、誰だって分かるはずなのだ。

そう、ほんの少し調べるか、ほんの少し考えれば、『聖書の暗号』の嘘は誰にでも暴ける——しかし、大半の読者は、その「ほんの少し調べる」「ほんの少し考える」ということをしないのだ。

昨年のコミックマーケット(同人誌即売会)でも、『聖書の暗号』の内容を信じている人が僕のブースに訪ねてきて、往生したことがある。その人は「あの本は数学的に証明されているのだから根拠があります!」と力説するのである。ところが、僕が「いや、あの本はトンデモ本ですよ」と言うと、「そうですか、トンデモ本ですか」と、あっさり納得してしまった。

この人はいったい何なのだろう。ドロズニンの本を読んだらその内容を鵜呑みにし、今度は僕が「トンデモ本ですよ」と言ったら、それをまた鵜呑みにするのだろうか。自分の考えとか、自分の判断力というものはないのだろうか。

しかし、悲しいかな、世の中はこういう人が大半なのである。と学会の活動がいくら世間に浸透したといっても、知名度でも売上部数でも、ドロズニンやハンコックにとうていかなわない。世間の人の多くはトンデモ本の方を支持しているのである。

トンデモ本研究で何か得た教訓があるとしたら、「本に書いてあることを信じるな」ということだ。特に怪しげな話、突

拍子もない話は、まず疑ってかかる必要がある。

著者の主張に根拠があるか考えてみる、話に矛盾がないか検討してみる、計算可能な数字があるなら計算してみる、関連する資料を当たって裏を取ってみる——この四点を心掛けるだけで、たいていのトンデモ話には騙されずに済むはずだ。

だが、そんな面倒なことは、みんなやりたがらない。

「詰めこみ式の学校教育の弊害」などというクリシェは、あまり使いたくない。しかし、今の学校教育が、年号や公式を記憶させることに重点が置かれ、考える能力を伸ばすことが軽視されていることは確かである。子供は本に書いてあることをそのまま信じることを要求される。道徳の時間でも「人を信じること」の大切さは教えるが、疑うことの大切さは教えてくれない。それがトンデモ本のはびこる原因のひとつになっていると思う。

たとえば、教科書には「太陽の表面温度は6000度」と書いてあり、子供たちはその知識を鵜呑みにすることを要求される。なぜ遠く離れているのに6000度だと分かるのか、深く考えさせることをしない。だから、アダムスキー信者の本に「太陽は熱くない」と書かれているのを読むと、本に書かれているのだから事実に違いないと、あっさり信じてしまう。

反相対論にしてもそうだ。一般向けの解説書だけを読んで、相対論のすべてを理解したつもりになり、「マイケルソン=モーレーの実験は19世紀に行なわれた古い実験だから信用できない」とか、「科学者はアインシュタインの理論を盲信していて、正しいかどうか検証しようとしない」などという妄想を抱くトンデモさんが、いかに多いことか。そして、彼らの本を読んで、「アインシュタインは間違っていたのか」と信じてしまう読者が、いかに多いことか。自分が本で読んだこと

がすべてで、それ以外の事実はこの世に存在しないと思ってしまうのだ。ほんの少し調べてみれば、マイケルソン＝モーレーの実験が多くの科学者によって追試されてきたことや、現代では相対論の検証実験がどれほど高い精度で行なわれており、その正しさが完璧に証明されているか、といったことは、すぐに分かるはずなのだが。

超古代文明説もそうだ。ピリ＝レイスの地図やムー大陸の伝説がいかにあてにならない代物であるかは、教科書には書かれていない。読者の情報源は、ハンコックの著書や『ムー』などの記事だけであり、そこには否定的な情報は決して載らない。読者はそれを読んで鵜呑みにする。

トンデモ本の著者たちは、よく「権威への反逆」といった意味のことを口にする。だが、事実は逆である。活字という「権威」を盲信しているのは彼らの方なのだ。

「人は神のロボットになりたがっている」

これは僕が処女作の『ラプラスの魔』以来、何度も繰り返し描き続けてきたテーマである。自分で考えて何かを判断するのが面倒なものだから、賢明な独裁者が出現して、自分の代わりに考え、判断を下し、命令してくれることを、常に望んでいる。何も考えず、命令通りに動くのは楽だからだ。

究極の理想的な独裁者といえば、もちろん神である。だから多くの人が、この世界は神によって支配されていると信じたがる。『聖書の暗号』が人気を集めた理由も、その内容が神の実在を証明したと受け取られたからだろう。この世には科学を超越した不合理なものがあると、みんな信じたいのだ。

そう考えると、トンデモ本を信じるのは人の本性、と言えるかもしれない。

小石泉、宇野正美、飛鳥昭雄などの、聖書系のトンデモ本が多い理由も、聖書の内容を信じて疑わないことに原因がある。「聖書に書いてあるから、ノアの洪水は本当にあったに違いない」「聖書に書いてあるから、ハルマゲドンは本当に起きるに違いない」……彼らの頭には、「伝説はしょせん伝説なのだから事実とは限らない」とか「聖書も人間が書いたものなのだから間違いがあるかもしれない」という発想がない。

無論、聖書には良いことがたくさん書いてあるのは確かだ。そこは素直に受け取っておけばいい。しかし、明らかに間違ったこと、危険なことも随所に書かれている。そんな部分は信じる必要はないのである。

たとえば『創世記』第二二章には、神がアブラハムに自分の子供を殺せと命じるくだりがある。現在の聖書では、アブラハムが我が子イサクを殺そうとした瞬間に、神がアブラハムを止める。しかし、聖書学者の研究によると、二二章の一節から一六節は明らかに後世の加筆であり、『創世記』の原型となった文書では、アブラハムは実際にイサクを殺してしまったらしい。その証拠に、この後「アブラハムは、若者たちのところに戻った」とだけあり、この章の後の部分にはイサクはまったく出てこなくなるのだ。

いずれにせよ、神はアブラハムの行為を褒め讃える。すなわち、「神の命令があれば我が子でも殺すべし」と教えているのである。神の命令は絶対であり、人間の倫理や親子の情愛より優先する、というのだ。

こうした思想が暴走すると何を生むか、我々は地下鉄サリン事件を見て知っている。教祖の「毒ガスを撒いて大勢の人間を殺せ」という命令に、信者たちは忠実に従った。また、教祖が「自殺せよ」と命じたために集団自殺したカルト教団は、過去いくつもある。彼らは自分で考えることを放棄し、神である教祖に善悪の判断を委ねてしまったのだ。

僕には一歳になる娘がいる。僕は娘を愛している。誰かに命令されても、絶対に娘は殺さない。たとえそれが神の命

令であっても、だ。
神のロボットになりたいと願うのが大多数の人の望みだとしても、僕はそれに対して「否」と言い続けてきた。人は誰かの命令通りに生きるのではなく、自分で考え、自分のモラルで行動すべきだ、というのが僕の信念である。何が正しく、何が正しくないかの判断は、最終的には自分自身の責任で下すべきだ。思考する能力こそが人間の最大の利点であり、モラルを守る理性こそが人間の美徳である。それを他者に委ねることは、人間であることを放棄するに等しい。

ところで、ある人からこんな質問を受けた。
「山本さんはトンデモ本を怒りながら読んでいるのでしょうか。それとも楽しんで読んでいるのでしょうか」
答えは「両方」である。
読んで腹の立つトンデモ本が多いのは事実だ。特定の民族や団体を誹謗中傷する本。自分の理論の正しさを誇り、専門家や科学者を罵倒する本。大異変が起きて何億という人間が死ぬのを嬉しそうに待望している本。エイズ感染者や障害者に対する露骨な差別意識で書かれた本……そういうのは本当に読んでいて気分が悪くなる。しかし、その一方、好感の持てる感動的なトンデモ本もあるのだ。
いつか詳しく紹介したいと思っている本に、松居桃楼＝述／田所静枝＝記『黙示録の秘密』（柏樹社・1981年）という本がある。戦後すぐ、浅草で浮浪者のために尽力してきた老人が、「宗教って、いったいなんですか？」という中学生の疑問に応えて、聖書に隠された暗号を解き明かす……という、そういう意味ではまさにトンデモ本である。
しかし、この松居桃楼じいさんの知識量がハンパじゃないのだ。独学で身につけた膨大な聖書学の知識を元に、大胆な

仮説を展開し、モーセの五書をいつ、誰が、どういう意図で書いたのかを解き明かしてゆく。結論に賛同はできないけれども、その推理の過程は実にエキサイティングである。ドロズニンの『聖書の暗号』など、この本に比べればまるで薄っぺらな内容で、足許にも及ばない。

だが、何と言っても感心したのは、著者が決して狂信的にならず、人間や生命を慈しむヒューマンな視点を貫き通している点である。僕はもうこの本を何度も読み返したが、いつも最後のあたりで不覚にも感動し、涙が出そうになる。

共著者の田所静枝さんは、あとがきでこう書いている。

「千万人といえどもわれゆかん」とはよく聞くが、桃楼じいさんの一生は、「千万人ならばわれゆかん」ということらしい。私が見るところ、桃楼じいさんという人は、世の中の全部の人が「こうだ」といえば、「オレはそうじゃない！」と、ただ一人異方向へ突進するのが本領のようだ。

（中略）もし仮りに、「聖書は暗号だ」などという思想が世の常識であったとしたら、そのとき桃楼じいさんは、現在一般に教えられているような聖書の読み方を、ただ一人で主張することになるにちがいない。

いい言葉である。これこそ本当の反骨精神というものだ。ブームに流されて、いい加減な内容の本を真剣に読みふけるのは、断じて「権威への反逆」などではない。

というわけで、僕はこれからも、『神々の指紋』や『聖書の暗号』などという本がベストセラーになる今の世の中に対して、「NO」と言い続けてやろうと思う。

■目次

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS SINCE 1992

Chapter1 と学会例会報告

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS
SINCE 1992

Chapter 2
発表！'97年日本トンデモ本大賞

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS SINCE 1992

Chapter3 と学会研究リポート

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS
SINCE 1992

Chapter 1
と学会例会報告

恒例の例会報告。
回を追うごとにその内容はトンデモ度を増し、
と学会のフィールドはどこまでも拡大し続ける。
世紀末のトンデモバスターズ・と学会がいる限り、
世紀末なんか笑い飛ばせる。
今回は、1997年2月と6月に行われた
例会の報告である。

※申請書のトンデモ度数は、5段階表示の自己評価を原則とする。
ただし、申請者の評価基準を尊重し、そのまま掲載した。

山本 弘

人間的な、あまりに人間的な宇宙人たち

山本　弘（やまもとひろし）SF作家。・ゲームデザイナーにして、と学会会長。ゲームの創作集団「グループSNE」（代表・安田　均）に所属。代表作は『ラプラスの魔』『時の果てのフェブラリー』『サイバーナイト』『ギャラクシー・トリッパー美葉』（角川スニーカー文庫）『パラケルススの魔剣』（ログアウト文庫）『サーラの冒険』（富士見ファンタジア文庫）など。1児の父。

97年2月

最近、おもしろいトンデモ本があんまりないなと思って、ちょっと悲しんでたんですけども、そうしたら今日、たまたま例会に来る途中、本屋へ行ったらありました。

『宇宙人大図鑑』[申請書2001]、中村省三さんの本ですね。

何がすばらしいかというと、最近、UFO目撃談に出てくる宇宙人というのはグレイタイプが一般的なんだけれども、この本には昔から目撃されていたいろんな宇宙人の絵がずらっと描いてあります。こういうの[イラスト①]とか（絵を見せる）（会場―「懐かしいなあ」）。フロッグ・モンスターとか、フラットウッズ・モンスター、ありましたねえ。昔、ゼネプロがキットを出したというやつですね。

説明を読むと、身長3mから5mあるんですよ。で、乗ってたUFOが高さ1.8mと書いてありました（笑）。どうやって乗ってたんだ、この宇宙人。

陽気な小人ヒューマノイド[イラスト③]、これもいいですよ。

「宇宙人たちは中国語のようにも聞こえるわけのわ

からない言葉を話しながら、ロッティー夫人に近づいてくると、彼女が手にしていたカーネーションの花束とストッキングの片方をひったくった」、非常に情ない宇宙人ですね。

　これはブラジルに現れたやつ。宇宙人とセックスしたっていう有名な事件ですね。これはパプアニューギニアに現れたUFO。まあ有名な事件ですね。これはクッキーをくれた宇宙人という、これも結構有名な事件です。クッキーには塩が入ってなかったそうです。これがヒル夫妻[注1][イラスト1②]事件。まあこんなのもあって、50年代、60年代あたりまでのエイリアンのほうがいろいろと想像力に富んでたことがわかります。これは有名なモスマン[注2][イラスト1④]ですね。

　このピーナツ型ロボット、いいでしょ（笑）。このデザイン好きですね。何か愛嬌あるんですよね。これは、ミシュランのタイヤの広告に出てくるミシュランマンにそっくりだったという変なやつですね。こっちは、身長7.5㎝の小さな宇宙人だそうですけど、胸に星の模様がありますね。よくこんな細かいところまで観察したなあ。

　これは[イラスト1⑤]妖精型のヒューマノイド。頭のてっぺんからレーザー光線を出すんですって。で、「ヒングリー夫人がタバコに火をつけると、宇宙人たちは慌てて裏口のドアから庭に逃げ出していった」って。レーザー光線を持ってるくせに、タバコの火が怖いらしいんですね（笑）。

　割と新しい、90年代のやつでおもしろいといったら、これかな。イスラエルに現れた楕円頭の乱暴な宇宙人。真夜中に家に入ってきて、プードルをいじめてたんだそうです。で、目撃者の女性に「にやにやするのをやめるんだ。犬にしたようにお前も痛めつけることができるんだぞ。お前を蟻のように踏み潰すことができるんだ。そんなことはしないから、お前の亭主のところに戻っていろ」と言ったそうです。何か宇宙人のヤクザみたいですね。イラストを見るだけで楽しい本です。

97年6月

　まず最初にこれからです。アイリーン・レークス、[申請書2002]『未来人アリアンのユートピア』、これ知ってる人は知

イラスト1

ってると思いますが、ＦＭＩＳＴＹのＵＦＯ会議室でおなじみのアイリーンさんの出した本です。
で、やっぱし一番最初からこれですね。「愛の歌」、「『愛は地球を救う』／それは彼らが与えたメッセージ」「青い海、青い空／ポカポカ色のお日様の下の／緑の地球で、人は生きる」と、こういう恥ずかしい歌が延々と見開きで書いてあります（笑）。ちょっと僕もこれは負けました。
で、やっぱしすごいのが、最後の審判が既に終わってるんですね（笑）。「『最後の審判』終了の刑罰、『火のバプテスマ』を受けた。『火のバプテスマ』とは、エネルギーによる洗礼（浄め）である。ほとんどの地球人が悪いエネルギーを受けて、1週間以上全く眠れなくなり、自分自身の内言を失った。一度、自律神経を破壊され、蜘蛛膜下出血で死んで、内言を失い、また肉体を生かされた」（『未来人アリアンのユートピア』P26より）。
「世界中が最も狂っていた時期であった。女・子供は、狂った男に犯され、世界中に処女がいなくなった時であった。それ以来、世界には、股関節の開いてしまった女・子供しかいなくなった。そして、息子はその母親と、娘はその父親というような、近親相姦も最も多かった時であった。まさしく、道徳的に堕落しきった、ソドムとゴモラのような世界であった」（同書P27より）
これが1978年11月から79年5月の間に起きたことです。それで、最後の審判が終了してから5年後の1983年ごろには、「人々が過去の混乱した状態のことを忘れ去り」と（笑）。要するに忘れ去っちゃったんですね。
まあ、いろいろと書いてあるんだけど、例によって科学解説がでたらめでして、みずがめ座の時代というのを説明してるんですけども、この人は太陽系が銀河系の周りを回ってて、それで魚座、みずがめ座と移動していると思ってます（笑）。たった2万年やそこらじゃ光の速度でも銀河系を4分の1周もできません。
で、タイトルが『ユートピア』というぐらいだから、異星人エロヒムが地球にやってきて、どんなユートピ

アができるかということが書いてあります。ちゃんと組織図が書いてあるんだけど、司法、行政、立法と3つに分かれていて、内閣総理大臣がいて上院、下院。で、自治省、建設省、労働省（笑）。今の日本と全くおんなじです、これ。

で、ちょっと違うのが、なんかインテリア庁と衣服庁とか食堂庁とかいうのがあるらしくて、どうしてかそんなもんまで……（会場―「なんか大学の自治会とかですね」）。どうもね、なんかこれ読んでてわかるんだけど、何でもかんでもコンピュータですべて管理されて、これはすばらしいユートピアだと書いてあるんだけど、これって昔のＳＦに出てきたディストピア[注3]のイメージそのまんまなの（笑）。

短い時間で説明し切れないんですけど、なかなか味のある本なんで、これはお薦め本ですね（会場―「自分でチラシにして出したやつをまとめた本ですね」）。そうですね。これはお買い得です（笑）。

あとね、こういうのがあるんですけど、『黙示録[申請書2003]の真実』。著者は水島保男さんという、この方はアダムスキー信者でして、これまでにもアダムスキー本を何冊も出しているんですけども、今回は何かというと、ヘール・ボップ彗星と黙示録の関係というのを解読しちゃったわけですね。要するにヘール・ボップ彗星の軌道を解析すると、黙示録の記述と一致するとかいう話になってるんですが、やっぱり悪の組織だのがおりまして陰謀をたくらんでるわけですよ。

で、悪の組織というのはいろんな計画を立てていて、仲間にそれを連絡してる。

「11月21日、20世紀フォックス配給『インデペンデンスデイ』の見開き全面広告で次のように伝達されている。『衝撃に備えよ』『世界記録樹立』『24％Ｕｐ、28％Ｕｐ』『ＩＤ４．Ｊａｐａｎ』」（『黙示録の真実』Ｐ69より）と。これがなんか暗号なんだそうですね。

で、「また、彼等は映画の題名でも連絡している。『大統領のクリスマスツリー』『クリスマスの黙示録』など、これを合わせると『大統領の黙示録』になり（笑）、また巨大地震を扱った映画が封切られている」（『黙示録の真実』Ｐ70より）

「12月21日午前9時20分ごろ、テロリストたちは人質を38名突然解放した。そのニュースが報道されてから1時間後、正確には66分後に茨城県南部を震源とする強い地震があった。日光で震度5弱を記録したこの地震は、『６６６』をシンボルにしている偽予言者の本番への合図ではなかろうか。11月23日『黙示録計画』はスタートしたが、６６６時間目が12月21日にあたるのだ。その日にぴたりと地震が起こっている。この21日のインデペンデンス・デイの新聞広告は、『日本全国ＩＤ４現象』がキャッチフレーズになっている」（『黙示録の真実』Ｐ73より）。

何の関係があるかさっぱりわかんないんですけども、とにかく本人は関係あると思ってるらしいです。なかなかちょっときてますね。

ほかにもいろいろとあるんだけど、これは後で時間あったら見せましょうかね。パソコン通信でもちょっと紹介した、アメリカで出てるおとぎ話のビデオなんですけども、これが日本のおとぎ話、桃太郎（申請書２００４）なんですね。これが桃太郎です、ちょっと信じられないですけど。で、パッケージに書いてありますけど、ナレーションがシガニー・ウィーバーで、音楽が坂本龍一です。中を見たけど、結構高尚です。ちょっと笑えなかったけど、でも、このおっさんみたいな桃太郎はちょっとすごいなと（笑）。アメリカ人が考える桃太郎ってこうなんでしょうか。

このほかにも、ゲーム関係を幾つか持ってきたんですけど、ちょっと時間ないからな（拍手）。

◆と学会こぼれ話・１

「と学会」をさまざまなマスコミが取り上げてくれるようになったが、なかなか正式な名称を覚えてもらえないのが悩みのタネだ。「ト学会」「とんでも本学会」「トンデモ学会」などと記載されることがほとんどである。〈トンデモ本〉を〈トンデモナイ本〉などと書く人までいる。

また、正式名称が「とんでも本学会」で、「と学会」は略称、と思っている人も多い。

正式名称が「と学会」なのである。もっとも会員の

書いた文章の中にも間違えているのがあるので、誤解がいよいよ広まるのだが。〈トンデモ〉という言葉は〈トンデモな人々〉〈トンデモ製品〉〈トンデモ事件〉などという風に用いられる。最近、いろいろな本のタイトルや帯にこの言葉が用いられるようになってきたが、最近、最も〈トンデモ〉という言葉を的確に用いていたのは、新潮社『カール・セーガン科学と悪霊を語る』（このタイトルはひどいけど）の翻訳の中でである（訳者・青木薫氏）。この本の第十二章は『〈トンデモ話〉を見破る技術』となっている。

〈トンデモ〉という言葉が、疑似科学に関わるデタラメを表現する便利な日本語として定着していけば、「と学会」にとってこんなうれしいことはない。別に©などを主張するつもりはないのでどんどん使って、この言葉をひろめていただきたいと思っている。もっとも、なかには〈トンデモ本〉自体が、カムフラージュのために、〈トンデモ〉という言葉を本の中で使っていた例もあるけれど。

いつか、〈トンデモ〉は辞書に載るだろうか。（唐沢）

注1　ヒル夫妻事件

1961年9月20日の深夜、米ニューハンプシャー州のホワイト・マウンテンズで、車を走らせていたバーニーとベティ・ヒル夫妻がUFOを目撃。その後、精神分析医が逆催眠をかけてみると、2人は宇宙人にUFOの中に連れ込まれ、身体検査を受けたと語った。この事件は有名になり、テレビドラマにもなった。詳しくは『トンデモ超常現象99の謎』（洋泉社）を参照。

注2　モスマン

1966年から67年にかけて、米ウェスト・バージニア州で多くの住民に目撃された怪物。目撃者の話によれば、身長1.8m、コウモリのような翼を広げると幅3mにもなり、時速160kmで飛行したという。当時の人気番組『バットマン』をもじって、モスマン（蛾男）と名付けられた。

注3　ディストピア

ユートピアの反対。政府によって国民が完全に管理され、自由を奪われた暗黒の未来社会のこと。ディストピアを扱った作品としては、オーウェル『1984』、ブラッドベリ『華氏451度』、映画『THX1138』（監督　ジョージ・ルーカス）などが有名。アンチ・ユートピアとも言う。

TONDEMO FILE
2001
Reporter/Hiroshi Yamamoto

トンデモグッズ申請書

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

■申請者・山本弘

■アイテム
[書籍]・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(　　　)

■タイトル
宇宙人大図鑑

■著　者・中村省三

■発　行・グリーンアロー出版

■価　格・1600円（税込）

■発行日・1997年3月1日

■購　入・1997年3月頃

■トンデモ度数★★★★★

宇宙人大図鑑
中村省三

■ここがトンデモだ！
トンデモ本の中には、どこがおかしいのかいちいち説明するのに骨が折れる本も多く、そういうものはどうしても評価が低くなる。その点、この本は誰が見ても「こりゃ変だ」とわかるところが素晴らしい。さらにUFO入門書としても最適。中村氏が特に変な事例ばかり集めたわけではなく、実はUFO事件ってのは昔からこんなのばっかりなのである。
個人的には「ピーナツ型ロボット」がかわいいと思う。

TONDEMO FILE
2002
Reporter/Hiroshi Yamamoto

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・山本弘

■アイテム
[書籍]・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（　　　）

■タイトル
未来人アリオンのユートピア

■著　者・アイリーン・レークス

■発　行・たま出版

■価　格・1200円（＋税）

■発行日・1997年4月15日

■購　入・1997年4月頃

■トンデモ度数 ★★★★

ARION'S UTOPIA FROM FUTURE
by Eileen Lakes
アイリーン・レークス
太陽系の指導者が語る 聖書・地球創造・地球未来の真実
未来人アリオンのユートピア

■ここがトンデモだ！

やっぱり「最後の審判はすでに終わっていた」という主張がユニーク。こんな人でも信奉者が大勢いるというのだから、さらに驚き。現在、日本のトンデモさんの中で、最も動向が注目される人である。

1999年7月7日に地球の地軸が90度横転して大洪水が来るんだそうで、現在、アイリーンさんとそのグループは、サバイバルのために船を買い込む計画を真剣に進めているそうだ。ある人がパソコン通信で「何も起きなかったらどう責任を取るのか」と質問したら、アイリーンさんは「必ず、置きます（原文のママ）」と答えていた。7月8日になったらどんな言い訳を聞かせてくれるか、今から楽しみだ。

TONDEMO FILE
2003
Reporter/Hiroshi Yamamoto

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・山本弘

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(　　　)

■タイトル
黙示録の秘密

■著　者・水島保男

■発　行・たま出版

■価　格・1300円（＋税）

■発行日・1997年5月26日

■購　入・1997年5月頃

■トンデモ度数　★★★★

黙示録の真実
水島保男

■ここがトンデモだ！

「世界を裏で操る影の政府」というのはトンデモ本の定石で、広告などに隠された彼らの暗号を解明した、と主張する本も珍しくない。しかし、部下に合図を送るためだけに、テロや飛行機事故を起こしたり、地震を発生させたり、大作映画を何本も作って宣伝したり、新聞記事を操作したり、「影の政府」のやってることってものすごく効率が悪そうだ。部下に指令を出したいなら、電話かけりゃ済むことじゃないのか？

TONDEMO FILE
2004
Reporter/Hiroshi Yamamoto

トンデモグッズ申請書

■申請者・山本弘

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（　　　）

■タイトル
PEACHBOY

■発売元・UNI DISTRIBUTION CORP.

■　画　・ジェフリー・スミス

■ナレーション・シガニー・ウィーバー

■発　行・グリーンアロー出版

■価　格・14ドル99セント(＋送料)

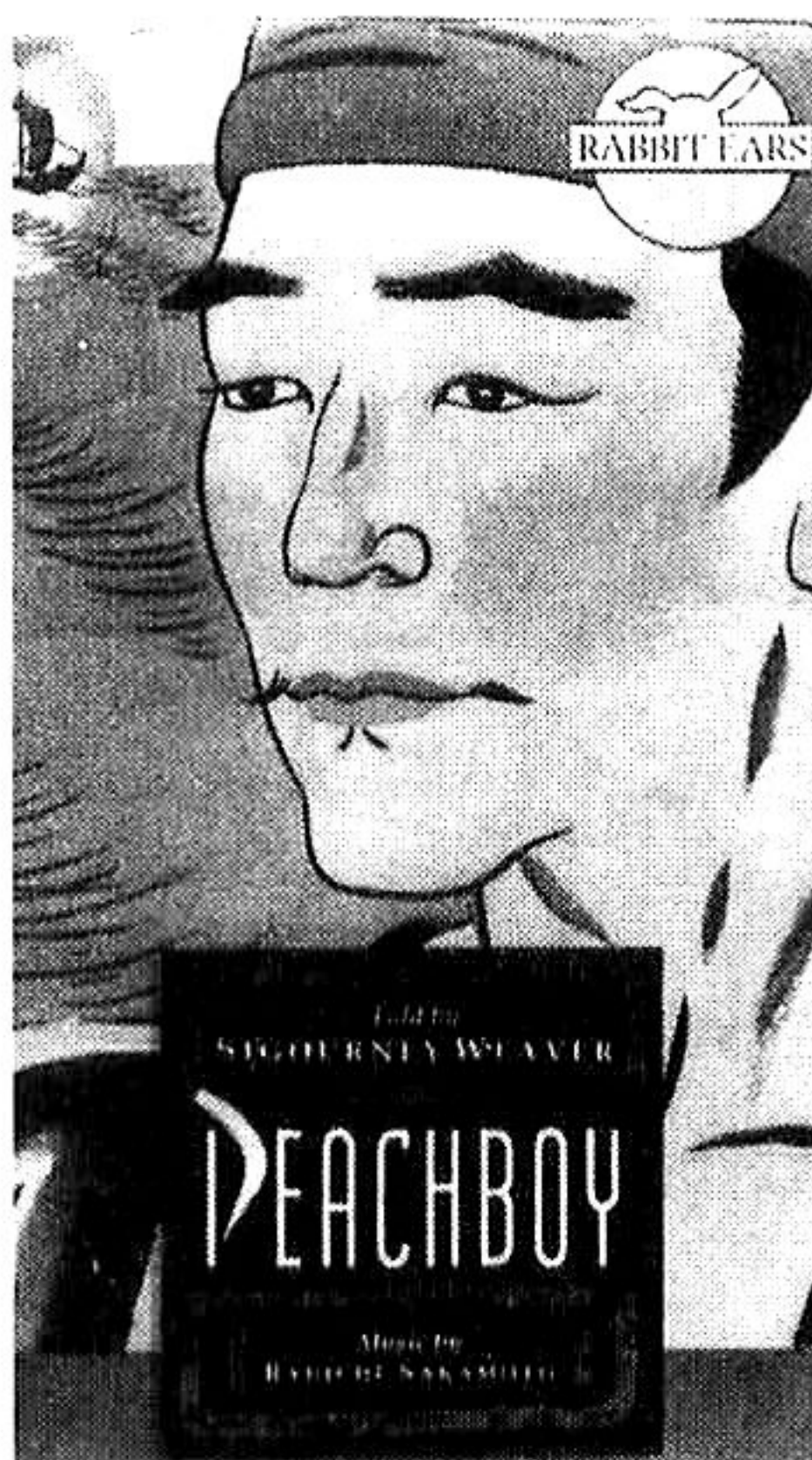
■時　間・30分

■トンデモ度数 ★★

■ここがトンデモだ！

アニメではなく紙芝居。絵はなかなか美しく、シガニー・ウィーバーのナレーション、坂本竜一の音楽で、不思議な哀愁と静けさに満ちた幽幻の世界が展開する……でも、『桃太郎』ってこんな幻想的な話だったっけ？　それにこんなしょぼくれたおっさん顔の桃太郎なんて見たことないぞ。ちなみにキビダンゴというものが理解できなかったらしく、三角形のクッキーみたいなものが描かれてある。

世界の昔話を紙芝居にした『RABIT EARS』というシリーズの一本なのだが、他の作品のナレーターもロビン・ウィリアムス、マイケル・キートン、マックス・フォン・シドー、ラウル・ジュリア、ウーピー・ゴールドバーク、キース・キャラダイン、ジャック・ニコルソン、ジョディ・フォスターなど、超豪華。

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

藤倉 珊

渡部昇一も実践する「驚異の三石理論」

藤倉珊（ふじくらさん）と学会副会長。本職は某大手電機会社のエンジニア。古書コレクター。著書『日本SFごでん誤伝』（同人誌）の中で「とんでも本」という名称を用い、と学会発足のきっかけを作った。

97年2月

最近あんまり本を読んでないもので、あまり紹介する本がないんですが、この前、パティオでも書いた『体内革命』（申請書2005）という本を持ってきました。なんか『脳内革命』のパクリの一つのようですが、ちょっと違う本です。

著者の三石巌という人は、先日95歳でなくなった方なんですが、『21世紀の秘密』という古典ＳＦを昭和25年に書いたことで古典ＳＦファンには知られている人です。それだけではなく、著書は全部で３００冊以上になるというんですけど、おそらく本当でしょう。教科書も18冊書いているそうです。

多分、その人の最後の本ということになるのでしょうけど、この人は要するに独自の健康法を唱えているわけです。それが「分子栄養学」というもので、この学問も、この人が作ったものです。どういうものかというと、結局は一種のメガビタミン主義なんですが。メガビタミン主義は、ノーベル賞受賞者のライナス・ポーリングが唱えたことで有名ですけど、要するにビ

タミンCを大量にとれば健康になるというもので、一般的にはあやしいとされている健康法ですけど、かなり信者は多いんです。
　しかし、この人の場合は95歳まで健康に生きているわけですから、自分自身が証拠です。だから非常に強気なわけです。
　もっとも「私は重度の糖尿病だ」とも書いてあるんですが、それを「苦にしていない」そうです。ちょっと読みますと、「糖尿病にはカロリー制限が大事とか、甘いものは遠慮しろとか、運動がいいとか、合併症がこわいとか、やかましいことが言われている。けれど、私はそれらをすべて無視している。私はアルツハイマーにも、痴呆にも、ガンにも、脳卒中にも、心不全にも、肺炎にもならないつもりだ」
　すごい自信ですね。で、先月の末のことですけど、この人は急性肺炎で死にました。あんまり死者を冒とくしちゃいけません。私は95歳まで生きれる自信がないもので、あまりけなせません。
　このあたりのことは、やはり唐沢先生がご専門で（『カルト王』を出す）、（唐沢―「その中にメガビタミンのことも書いてあったかな」）。書いてありましたね。メガビタミンについては、この本を読むと非常によくわかります。
　これ、昨日買ってきたんですが、今日サインをいただきたいと思って持ってきたんですけれども、読み直してみると「脳内快楽物質は麻薬を超える」、ベータエンドルフィンがすごいということが書いてあるんですね。
　これは別冊宝島の『気持ち良い薬』にある文だそうですけれど、『脳内革命』の内容が全部ここにかいてあるんです。実は『脳内革命』の元祖は唐沢さんだったとか（唐沢―「私は、あの説を信じていません」）。多分、そのあたりがベストセラーとそうでないかの分かれ目になってのではないかと（笑）。

97年6月

　まず、最初の本はですね。昨日の夜に見つけたばかりなんですが、あの三石巌先生がまた本を出しました。
申請書2006
『医学常識はウソだらけ』という本です。3カ月前に

紹介した『体内革命』が最後の本だとばかり思っていたんですが、偉い人は死んでからも次々と本がでるんですねえ。やっぱり内容は「ビタミンCをいっぱい取ると健康になれる。医者はみんなウソを言っている。私が95歳で健康であるのが証拠だ」ということで基本的には前の本と変わっていません。

この本でまず驚いたのは、あの渡部昇一先生がまえがきを書いていることです。なんと渡部昇一は三石理論の実践者だったんです。読むと、「私が今、鶏卵を安心して食べられるのも、塩分摂取に過敏にならずにすむのも、甘いお菓子を楽しめるのも、三石先生のおかげである」なんて書いてあります。どうやら、渡部先生も、相当医者のいうことに逆らっているらしいんですね。人ごとながら、ちょっと心配になります。

この三石さんという人は非常な自信家でありまして、自分の健康に絶対的な自信をもっている。きんさん、ぎんさんの年齢も抜くと豪語していた人なんですが、その自信のために、この『医学常識はウソだらけ』はすごい本になってしまっているんです。

冒頭に、三石さんが95歳になるというのに毎年スキーをしていると書いています。この部分を読みますと、「95歳のスキーヤーなど、そうめったにお目にかかれるものではない。そんな高齢でスキーをするなんて無謀だと思う人もいることだろう。しかしご心配には及ばない。私は腰を痛めることも、転んで骨折することもなく、若い人達と一緒に平気でゲレンデまで滑り降りている。そういえば94歳をすぎたころ、ある大学の保健体育の教授に『あの人の筋肉は五十代のレベルですよ』と驚かれたことがあった」。これが本の一番最初の部分です。ところが、本の最後には弟子の人が、「平成九年一月、恩師三石巌先生は95歳で天寿を全うされた。恒例のスキー旅行の最中、風をこじらせて肺炎を起こしたのが原因だった」と書いてます。

本の最初と最後が見事に対になっている。こんな本は滅多にあるものじゃありません。まあ95歳まで生きただけでもたいへんなことでしょうが。

次の本は、神田の古本屋の4冊100円の売場で拾ってきました。その名も『1000年後の世界』[申請書2007]未来

研グループ著。エール出版社から昭和63年に出ています。

要するに、未来予測の本ですが、実に内容がなさけない。著者たちはあまりSFを読んでいないことがよく分かりますが、逆にあまりにも予測が脳天気なので楽しめるという本です。似たようなコンセプトに、『トンデモ本の世界』で紹介した『百億年後の地球』という本がありましたが、あれ以上です。

まず、最初に出てくるのが「人生百五十年時代の結婚式」。平均寿命が150歳になった という予測ですが、新郎が53歳、新婦が42歳で結婚するようになるというのは不気味な気もしませんか。おまけにヒコー車という、つまりエアカーですね。これに乗って参列し、月面に新婚旅行に行く。なんか70年万博のころの21世紀のイメージみたいのが延々と続きます。あと、イラストが、こんなふうでかなり情けないです。

これは「相手の考えや心を読める脳磁気センサー付きヘルメット」だそうです。これで野球をすると、かならずホームランが打てるってあるんですが、それではゲームにならないと思うんですが、著者が徹底的に脳天気なもので、問題意識がないんです。

あと誰でもミケランジェロなみの絵が書けるようになるとかいう脳天気な予想もありますが、その場合に芸術の価値というものはどうなるのかとは考えていない。

あと、人間の話ができるという改良ペット。これは考えてみるとこわいですね。あの『百億年後の地球』の著者ですら、猿が知能を持ってきたら社会問題になると考えたわけですが、この本では牧場に行くと、馬が「御元気ですか皆さん。お変わりありませんか」と話しかけてくる。この馬には人権があるんでしょうか。脳天気な著者は考えている様子がありません。しかも、別のページには野犬が増えて、野犬狩りをしているという予想もあるんです。かなりメチャメチャですね。

科学に関してはもっと目茶苦茶で、未来では地震のエネルギーを缶詰にして利用しているとか、エネルギー吸収粉末を使って台風を静かにするとか、火星のオ

リンピア火山に旅行に行くと物が上に向かって落ちていくとか、「このように高い山のふもとでは大きな質量が高いところにあるので重力が上を向く」なんて書いてあります。よく、こんな本がでたなあと思ってしまいます。

最後に、少し古いものを持ってきました。

これは大正11年の『日本および日本人』（申請書2008）という雑誌で、この号の特集が「若し日本人が亜米利加を発見していたら」というんです。

日本人がコロンブスよりも先に太平洋を渡ってアメリカを発見していたらどうなるかというテーマで、当時の文化人などが、いろいろ書いているわけです。日本人は正しい精神であるから今のアメリカのように悪くならないとか、いやアメリカはめちゃくちゃになってしまうとか、いろいろな立場があるんですが、一人「まったく現状のままだ」と言っている人がいまして、木村鷹太郎です。

ちょっと時間がないんですけど、要するに、正しい歴史ではアメリカは日本人が発見していて占領し、その後、今の日本に来ているんだから、今と変わらないと言っています。つまり木村鷹太郎の考えでは「もし」ではなかったという話なんですが。

もう時間がなくなってしまいました。

◆と学会こぼれ話・2

と学会の中心人物と言えば山本弘氏と、藤倉珊氏だが、この二人がと学会結成前に出した同人誌が『日本SFごでん誤伝』（藤倉）と『超絶図書館』（山本）だ。どちらも同人誌界で話題になり、その後のと学会の批評活動も、そのスタイルはこの二冊を踏襲していると言っていい。どちらかと言うと論理的・科学的にトンデモ本を論破する痛快さが身上なのが『超絶〜』の方、『日本SF〜』の方はこういうヘンテコな本が出版されている現代状況をユーモラスに分析している。いまのと学会にも、厳密にはその二派の区別がある。（唐沢）

TONDEMO FILE
2005
Reporter/Sun Fujikura

トンデモグッズ申請書

■申請者・藤倉珊

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（　　　）

■タイトル
体内革命

■著　者・三石巌

■発　行・PHP研究所

■価　格・1500円（税込）

■発行日・1997年2月22日

■購　入・

■トンデモ度数　★★★★

■ここがトンデモだ！
書名からは『脳内革命』の便乗本のようなイメージを受けるが、内容的にはずっと過激で、著者の自信のほども春山氏以上である。そのすさまじい自信が読者を圧倒し、トンデモとしての価値を生む。なお、現実に著者自身が健康法の証明になっているという主張は否定できないが、内容の成否はトンデモ度は関係ない。

TONDEMO FILE
2006
Reporter/Sun Fujikura

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・藤倉珊

■アイテム
[書籍]・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(　　　)

■タイトル
医学常識はウソだらけ

■著　者・三石巌

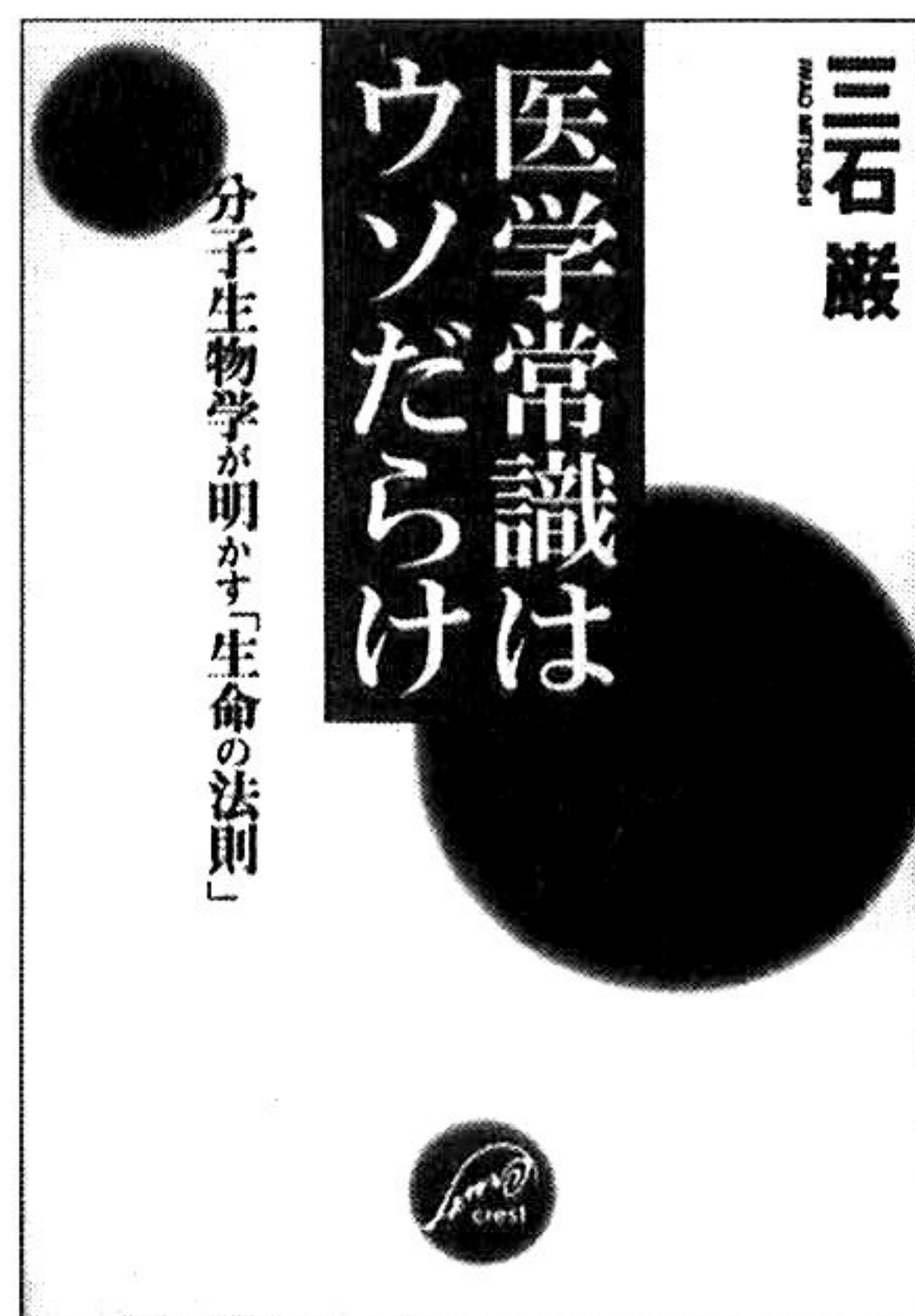
■発　行・クレスト社

■価　格・1600円(税別)

■発行日・1997年6月5日

■購　入・

■トンデモ度数 ★★★★★

三石巌
医学常識はウソだらけ
分子生物学が明かす「生命の法則」
crest

■ここがトンデモだ!
内容的に前作の『体内革命』とほぼ同じ。しかしポイントが高いのは、期せずして、本の冒頭と後書きが対になっているからである。1冊の本の内部で、記述が相反するのは優れたトンデモ本の特徴の一つだが、本書はその好例だろう。見事な構成である。もちろん真似しようとしてもできるものではない。

TONDEMO FILE
2007
Reporter/Sun Fujikura

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・藤倉珊

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(　　　)

■タイトル
1000年後の世界

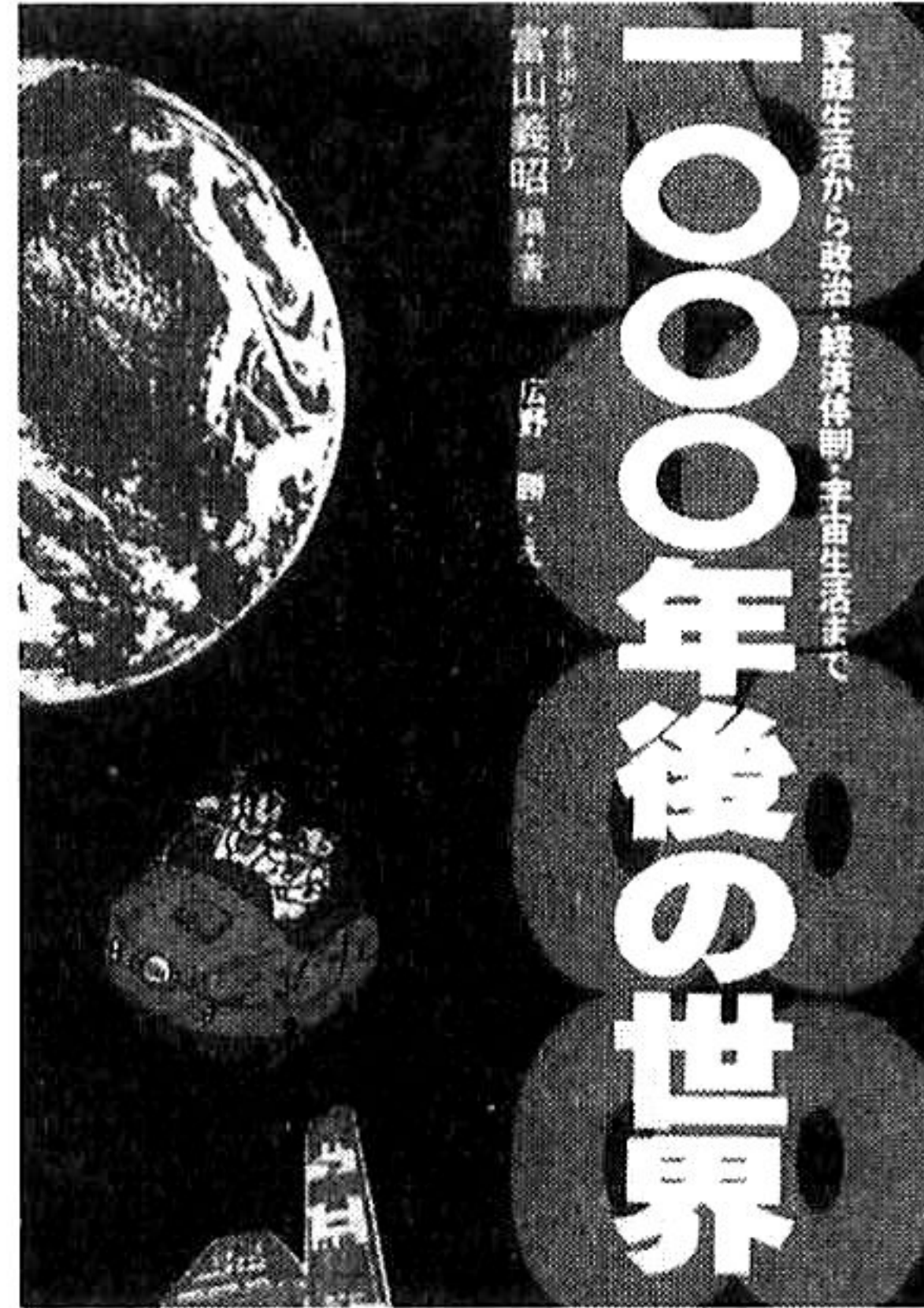
■著　者・

■発　行・エール出版社

■価　格・980円

■発行日・1988年1月31日

■購　入・

■トンデモ度数★★★★★

■ここがトンデモだ！
とにかく笑えるというか、驚くというか、見事なトンデモ本である。未来予想の概念を超えて、ほとんど漫才と化しているカンチガイな考証にSFでは忘れ去られたセンス・オブ・ワンダーの復活を見る思いがした。
こんな本は、作ろうと思ってもわざと作れるものではない。
こんなに凄い未来予測本が、まったく話題にならずに忘れ去られるのは惜しい。1000年待つことはない。まだたった10年後だが、ぜひ再評価してもらいたいものである。

TONDEMO FILE
2008
Reporter/Sun Fujikura

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・藤倉珊

■アイテム
[書籍]・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(　　　)

■タイトル
若し日本人が亜米利加を発見していたら

■著　者・

■発　行・政教社

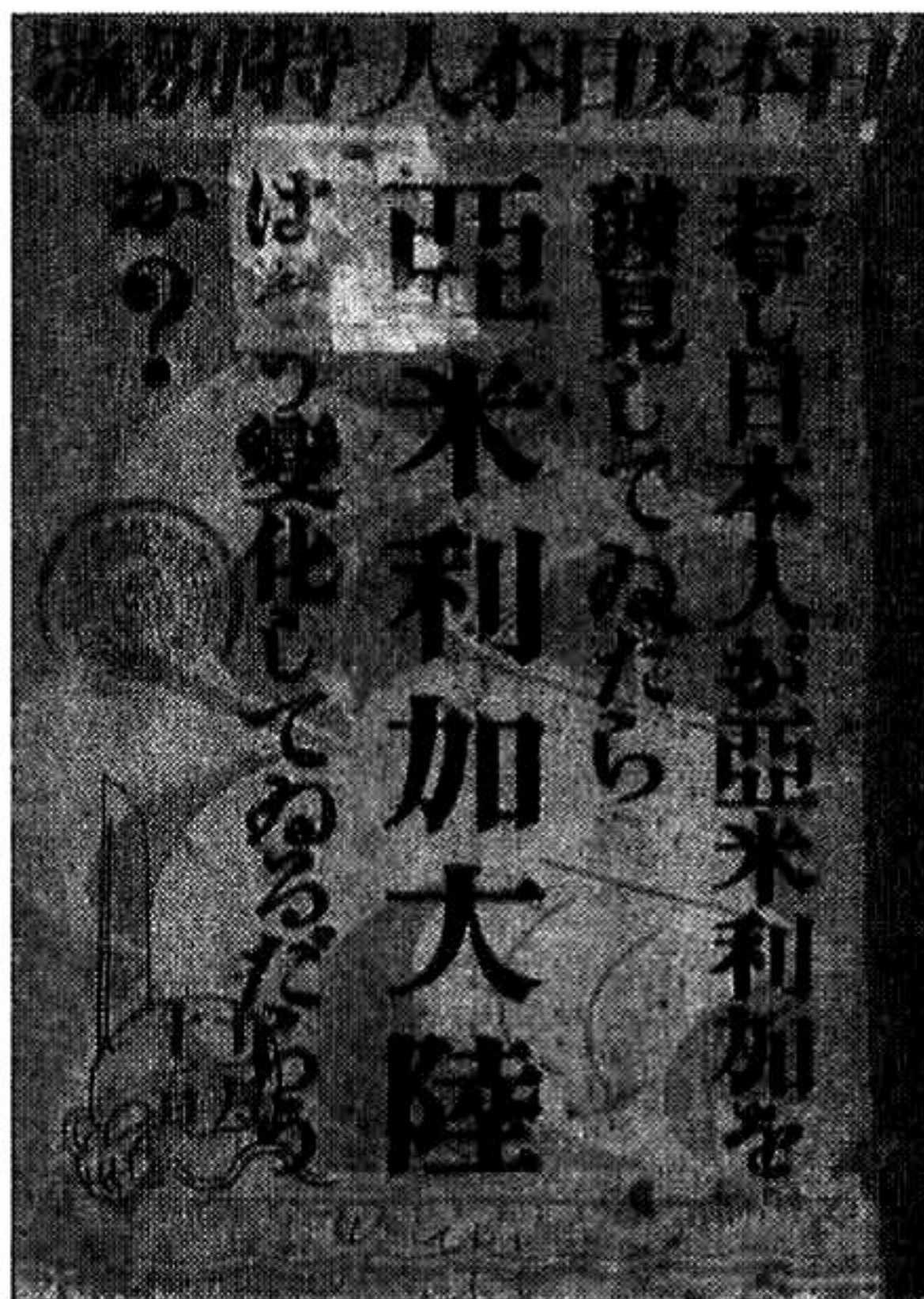
■価　格・

■発行日・大正10年11月11日

■購　入・80銭

■トンデモ度数 ★★★

(ただし、木村鷹太郎の執筆部分のみ。大体において真面目な雑誌なのである)

■ここがトンデモだ！
トンデモ史学の元祖が、こんなところにも顔を出しているという点のみ評価。説としてはあまり面白いものではない。
ただ、どうみても、この雑誌の中で、木村鷹太郎は笑い者にされるために執筆依頼されたとしか思えず、木村鷹太郎本人もそれを承知で執筆しているとしか思えない点が意外ではあった。

酒井和彦

「発狂くん」は辛(から)く、格闘技「黒崎イズム」は辛(つら)い

酒井和彦（さかいかずひこ） 1961年、宮城県出身。大正大学仏教学部卒業後、コンピュータ会社に入社。真面目なサラリーマンを装うも、部下と一緒にコミケの話をして盛り上がるなど、すでに正体はバレバレとなっている。と学会入会のキッカケは、やはりハマコンのトンデモ本大賞発表を見て、友人の長谷川氏と共に入会（飛鳥昭雄の漫画で、月から地球に滝のように水が降り注ぐ絵のインパクトは未だに忘れられない）。現在、浦和市並びに近隣在住のと学会員と共に「裏」ならぬ「浦と学会」として、主に例会後の飲み会で活躍中。

97年2月

今日は、と学会のほうでトンデモ本ということなんですが、最近、私も本が全然読めなくて、本じゃないものを持ってきました。あとで皆さんでお分けしていただきたいんですが、よく浅草のほうで辛子入りのものを売ってます。で、川越のほうでも名物ということで、こういうお菓子を持ってきました。

私、自治体関係の仕事をやってるんであっちこっち行ってるんですが、この間、川越市役所のそばをふらふら歩いてたら、「川越名物　ピリピリ辛い発狂くん」[写真1]っていう旗がはためいているのを見て、これはぜひとも皆さんにあげたいなと思って買ってきました。

よく見ると、ちゃんと商標登録されてるんです[申請書2009]（笑）。これは、1袋に2枚入っているセット物の「発狂くん」[注1]でして、通常は「発狂くん」というと1枚で、これよりもうちょっと大きいのが1枚組で売っているそうです。これをちょっと裏返してみますと、普通のせんべいですよね。ところが、こういうものを見ると当然チャレンジする人がいまして、両面がないかと。両面辛

いのがあって、それは「超発狂くん」っていうんですね（笑）、というのが売られてました。さすがに「超発狂くん」はチャレンジはまともに……、とりあえず今回、これを買ってきて、皆さんのほうで食べていただいて、私は大丈夫だという方がいらっしゃいましたら、次回は「超発狂くん」をお持ちいたしますので、ぜひ試していただきたいと思っております。ちなみに、

写真1

この1袋2枚入りのものを試しに食べたら、一晩、胃が熱くて寝られませんでした（笑）。最初は少し抑えめに食べたほうが後々健康のためにいいんじゃないかと思います。

以上です。後で休み時間にお配りしますので、ご自由におとりください（拍手）。

97年6月

1つビデオがありますんで、紹介させていただきます。『鬼の鍛練』[申請書2010]、黒崎健時[注2]。多分、格闘技に詳しい方はよくご存じだと思うのですが、黒崎道場、キックボクシングとかやってらっしゃる方なんです。この方が、「本物の強さとは何か、強くなるためにはどうしたらいいか。公開、黒崎イズム」ということで、何かというと、要は暴漢に襲われたときの逃げ方とか、そういうことを教えてるビデオなんですね。

で、この中で、例えば手をつかまれた時には逃げようとして手をまっすぐ引くと、そのまま相手の手がついてくるから、逆に手を前でひねるように出して逃げ

なさいと。でも一方で「女の人でも逃げられるんですか」とかインタビュアーが突っ込むと「おれだったら、絶対逃がさないぞ」(笑)。それじゃあ防御法にならないんじゃないかというようなことを、結構素直に話をしてくれるという方なんですが。

このビデオでは、そういう逃げ方だけじゃなくて、やっぱり本当に強くなるにはどうしたらいいかということも随分話をしてるんですが、「強いやつが強くなるのは当然だ。うちのところに来れば、弱いやつでもだんだん強くなる。ほかのところ、例えば10の力があるやつにいきなり15のことをやらせたってできない。だが、うちに来れば1のものをまず1.5からやらせると。で、それが1.5までできたら、今度2にすると。それが3になり、5になりで、7の力ぐらいまでできる」[注3]というようなことを言って、うちに来れば強くなれるということですね。

じゃあ強くなるためにはどうしたらいいんだ、運動選手になるにはどれぐらいの鍛え方をすればいいんだということを、この中で話をしてるものなんです。まあ精神的な限界を越えるところからやるよというような話なんですけども、結局言ってることは、やっぱり強くなりたいなと、どうしたらいいんだろうと、具体的なところをちょっと皆さんに聞いていただきたい。

まず、最低レベルのところ(画面に練習メニューが出る)。「腕立て伏せ500回、屈伸(スクワット)60回(1分)×10分=600回、縄跳び10分」……これが初心者のレベルです(笑)。(会場―「500回はきついよお」)。これで1のところを、まず1.5にするわけです(会場―「無理、無理」)。で、次はスポーツマンになるには(再び画面にメニュー表示)、「腕立て伏せ1000回、屈伸(スクワット)60回(1分)×20分=1200回、縄跳び30分」……ですね。これくらいやれば、山登りをする体力がつくでしょう(笑)。そして、一流選手になるには大体どれくらい練習すればいいかというと、1時間は必要。「うちの練習生は1日10～12時間くらい練習するが、真剣にやっているのはそのうち数分だろう。1日1時間真剣にやるということは、1日28時間運動しないとできない」。

やっぱり時空が歪んでます（笑）。ほかのところは結構まともなんですけど、時々怖いことを言ってます。ちょっとここに行っても、私はついていけないなと思います。まあ、強くなりたい方は是非1回行ってみていただきたいと思います。で、結果を教えていただく。

あと1つだけお詫びとお願い。お詫びというほどでもないんですが。前回持ってきてちょっと好評だったんで、今回も発狂くんの「超発狂くん」をお持ちしようかと思ったんですが、先週末、売ってるところに行く用事がちょっと先延べになってしまって行けませんでした。次回持ってきたいと思うんですが、そのときにちょっと皆さんにお願いがあるんで、もし持ってる方がいらっしゃいましたら、次回私が「超発狂くん」を持ってきますので、だれかドクター中松の[注4]「頭のよくなるお菓子」を持ってきてください。食べ合わせしてみたいと思います（笑）。「頭のよくなる発狂くん」、ぜひ試してみたいと思いますんで、誰かお持ちだったらばお願いいたします。以上です（拍手）。

注1　セットもの「発狂くん」

「発狂くん」シリーズは（勝手にシリーズにしてしまいました。お店の人ご免なさい）、2枚組（機械焼き）、1枚もの（手焼き）、両面辛子1枚もの（手焼き）→「超発狂くん」の3種類があります。このほかに少しだけ七味のついた「ちょい辛くん」というのもありました。

注2　黒崎健時

昭和5年、栃木県生まれ。極真空手時代にタイに乗り込み、ムエタイに挑戦。破れるも、打倒ムエタイを目指して昭和44年、目白ジムを設立。藤原敏男ら強豪選手を育てる。現在、黒崎総合格闘スクールを設立。格闘技のみならず、さまざまなスポーツ選手を育成している…そうです（ビデオより一部抜粋）。

注3　それが3になり、……7の力くらいまでできる

実際のビデオでは、10の練習ができるようになると言っていました。うろ覚えの発表で申し訳ない（もっとも10の練習ができるようになるには……）。

注4　頭のよくなるお菓子

正式名称は忘れましたが、ドクター中松ブランドで売られているお菓子の一つです。これを食べると頭が良くなるらしいのですが……。と学会でも、1、2回持ってこられた方がおり、「発狂くん」共々例会のお菓子として、重宝がられています（いずれ『と学会白書』でも発表されるかもしれません）。このほかに「目のよくなるお菓子」もあり、これは食べると良くなるのではなく、お菓子に空いた小さな穴からテレビ等を見るとよく見えるというもので、お菓子の成分等は一切関係ない代物でした。これでちゃんと特許を取ってしまうのだから大したものです（しかし、穴をのぞくだけなら何もお菓子でなくてもいいんじゃないの？）。

TONDEMO FILE
2009
Reporter/Kazuhiko Sakai

トンデモグッズ申請書

■申請者・酒井和彦

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（菓子）

■タイトル
川越名物ピリピリ辛い
発狂くん（商標登録1916644）

■発売元・みこもり煎餅

■内　容・七味唐辛子をまぶした煎餅

■価　格・1枚入り80円／2枚入り100円／
1枚両面100円（超発狂くん）

■トンデモ度数　★★★
（激辛度5）

■ここがトンデモだ！
赤い粉まみれで食べると狂ってしまうという、まるでメトロン星人の地球侵略兵器みたいなお菓子です。とにかく辛いので、舌と胃袋に自信のある方だけチャレンジしてみて下さい。

発狂くん誕生秘話／元々はちょっと辛味の効いた煎餅を作っていたそうですが（現在は「チョイ辛くん」の名称で販売中）、ある日、まちがって七味の中に煎餅を落とし、辛子まみれにしてしまったそうです。それを捨てずによく店に来ていた近くの高校生に試しに食べさせたところ（人体実験ですね）、「おばさーん、辛いよー。頭が狂っちゃうよー」と言われ、この煎餅の名前を思いついたとか。このネーミングセンスに脱帽です（この誕生秘話は、と学会の植木氏が直接命名者から聞かれたことをもとにしています。ご協力感謝！）。

TONDEMO FILE
2010
Reporter/Kazuhiko Sakai

トンデモグッズ申請書

■申請者・酒井和彦

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（　　）

■タイトル
鬼の鍛錬

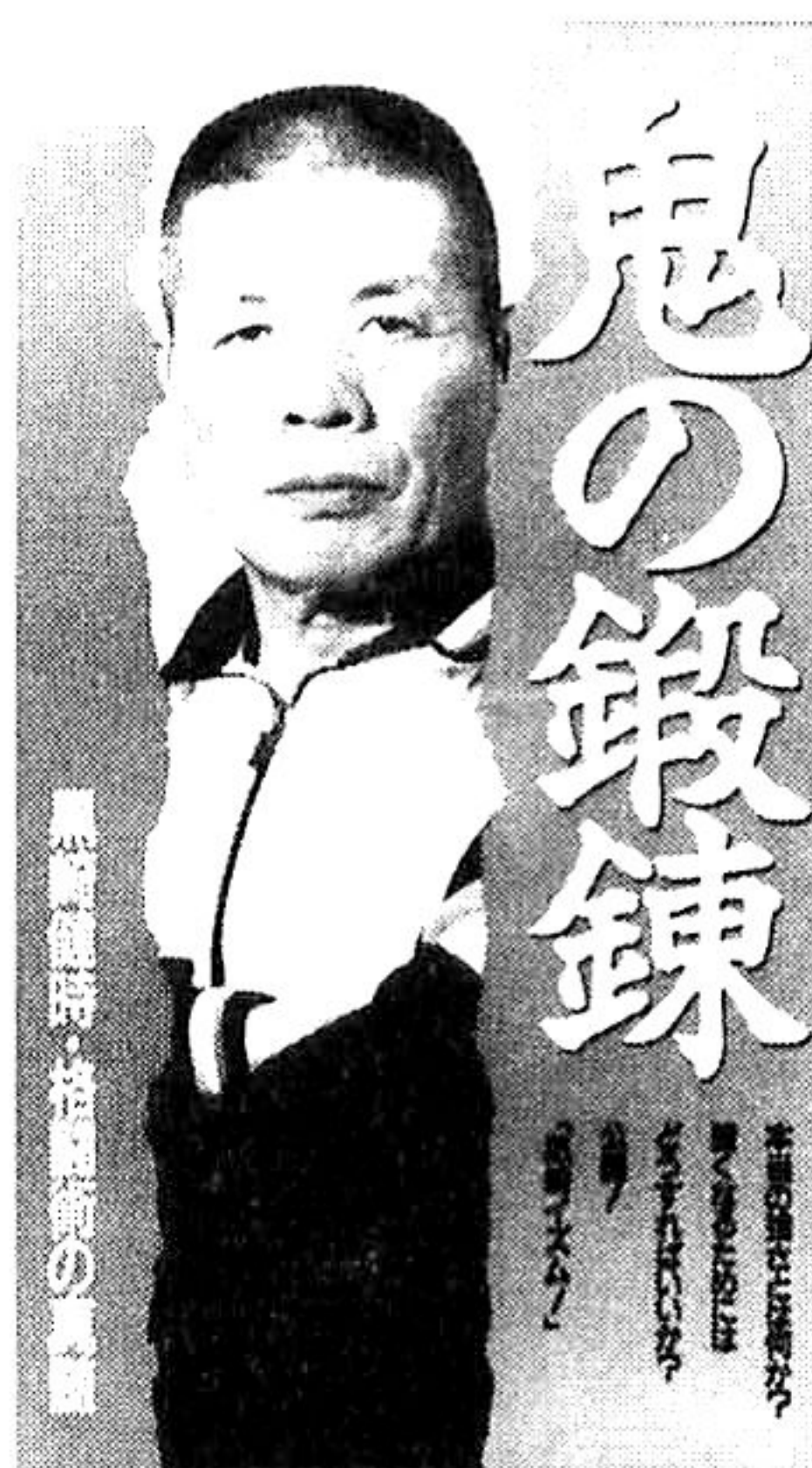
■発売元・（株）千早書房

■監修/出演・黒崎健時

■価　格・2500円（税込）

■時　間・45分

■購　入・

■トンデモ度数　★★

■ここがトンデモだ！

「本当に強い人は、我慢できる人なんだ。だから一生懸命に稽古する。だからこそ強くなるんだ」（黒崎健時）。この言葉に嘘はないでしょう。しかし「腕立て伏せ500回、スクワット600回（10分）、縄跳び10分」。このメニューを初心者用と言われ、一流選手になるには1日28時間練習が必要となると、やはり鬼の下での修行は生半可なことではできないと思ってしまいます。我々軟弱な現代人が強くなるためには、まだまだ我慢が足りないようです。

備考／ビデオ内で紹介されている防御法等は真面目なもので、相手をさせられている練習生もかなり痛そうな場面があって大変そうでした。

萩原孝昭

妄想幻魔大戦ジョータイ 同人誌

萩原孝昭（はぎわらたかあき）某人気育成シミュレーションゲームのCDドラマ用シナリオが一般公募された時、それに応募して採用されたことから、シナリオライターを自称し、友人が制作しているパソコン用RPGに関わったことからゲームクリエーターを自称し、今回『と学会白書Vol.2』に掲載させていただいたことから作家を自称する予定の失業者（笑）。「次は声優だ」と息巻いているが、その前にどなたか仕事を下さい。

97年2月

これは最近見つけたやつなんですが、今日のメインは冬コミ[注1]で買った同人誌なんですけれども、以前会長が「霊感商事」というサークルの同人誌を持ってこられたのを覚えていられる方もいらっしゃるかと思いますが、確かエルフの耳[注2]はほんとにグループSNE[注3]の『ロードス島戦記』のあれみたいにとがっているんですよ、みたいなことが書いてあって、会長が頭が痛いと言っていた（山本──「あの本ね。例会に持ってきたらなくしちゃったんで、この前の冬コミでもう1回買い直した）。

その冬コミで出ていた新刊なんですけれども、こういう本（『霊感商事フレンズ』〈申請書2011〉）がありまして、なんか下手なパロディ漫画が載ってるんですが、漫画のほうはあんまりおもしろくありません。これは、文章のほうがすごくおもしろいです。

例えば、この中に「よっしーでぃくしょなりぃ」というページがあるんですが、「よっしー」というのはこの著者のペンネームでして、「でぃくしょなりー」といっている割には項目が12個[注4]しかないんですけれども、食べ物が多くて

なかなか楽しいんです。食べ物以外でも面白いのは、「水」という項目があるんですけれども、こちらを読みますと、「これも、霊能者がよく使うアイテム（やっぱり僕はあんまり使わないなあ）。なんでも、『悪い感じのする場所にコップ1杯の水を置いておくと、次の日にコップに霊が溜まっている』そうです。その水をトイレに流して除霊終了、だそうだけど……、そんな無責任な除霊は好きじゃないなぁ」って、好き以前の問題だと思うんだけど、これは（笑）。こんなわけわかんないことを書いてあったり、あるいは食べ物について書いてあるところでは大抵、「こいつは霊能者にはいい食べ物じゃない」って書いてあって、単にこいつが嫌いなだけじゃないかとかいろいろと思うんですけれども、そういう「でぃくしょなりぃ」の割には2ページしかないというものがあって、ですが、漫画はあんまりおもしろくないです。

あとは知り合いの方に寄稿していただいた原稿のようですが……、あ、これは「お客さんといろいろ」という、本を売っていてなどの体験談みたいなものですかね。これではどれが面白いのがあったかな……（山本――[注5]「式神の話じゃない？」）。式神の話はどこだっけ。こちらの話は、「読者のKちゃんの紹介で、式神使いの女の子にあった。いやあ、式神って本当にいるんだね。びっくりした。マクドナルドでKちゃんと3人で食事したんだけれども、さっそくテーブルの上に小さな龍が泳ぎ始めました。お盆の上に丸い霊体が座り込み、別の竜が僕の足元に絡み付きます。『すごいや！　ほんとに龍だ！　頭に髭がいっぱいあるし、体にうろこがびっしりだ。すごいね、これ全部、君が作ったんでしょ？』『うん、まあね。』『へえ……あ、あそこに腰掛けてる、かわいい女の子も君の式神？』『そうだけど……男だよ』（笑）。『え？　あの、瞳が青くて、青い髪の毛が腰まで伸びてて、マントをまとってる娘だよ？　女だって』『作った私が男だって言ってるんだから男なの。あれね、[注6]クロノトリガーの魔王がモデルなんだよ』『えーっ……ああ、はいはいはい、確かに同じ格好しています。確かに、あれはクロノトリガーの魔王だね（だけど女の子だと思うなあ）。それにしてもさっきから僕の足元に絡み付いてる龍なんだけど、僕にずっと憑いてるって事はないよね？』『無いと思う。なんで？』『いや、な

にとなく……』。しかし、よっしーの予感的中。氷竜(という名前だそうだ)はよっしーに取り憑き、次の日の昼まで離れなかった。―(中略)― しかし、この件で、式神というものがかなり理解できるようになった。そのうち、作り方を公開しようね」というふうにあるんですけど、自分はこれよりも、この前のページの「助けてー1」、こちらのほうが好きなんですけどね。

「[前略]読者で、霊感がちょっとある女性がいるのですが、ある日、こんな頼み事をされたんです。『あのう、私の後ろに憑いているものを見て欲しいんですよ』『(めんどっちいなあ。やだなぁ)ああ、今度見ますよ。ええ』『え、あの、その、信じてもらえないかもしれないんですけど、……実は……』『(めんどっちいなー)え? 何が憑いてるって?』『……リーガー……』『え?』『……アイアンリーガー[注7]……』『な、な、な、何だってぇーっ?』。よっしーはその人と次の日曜日に会う約束をしました。こんなに面白い事、逃すわけがありません。そして、次の日曜日、会いました。そして、見ました。マジで、マジで、マジで……アイアンリーガーでした。人間に、アイアンリーガーが数体、とり憑いていました。―(中略)― 気になる正体だけど、どうやら彼女に接触したいという霊体が、『彼女の一番望む姿』になって彼女の前に現れた、というだけの話だったらしい。しかし、なんでよりによってアイアンリーガーかなぁ―(後略)―」とあるんですが、そうするとやおい[注8]同人のお姉様に霊体が憑いている場合はどんなことになってるのか、一度見てみたい気がします。それから次に、私が読んでいて布団の上でのたうち回るぐらい笑った話なんですけど、タイトルが「うきうき☆霊感バトル」とありまして、その内容は「ある日、大きな封筒が届きました。中には表紙にベッタリ紙が張り付いている『霊感商事デース』が入っていました。紙にはこんなことが書いてあります。『いらねえよ、返す! エセ霊感能者め! 本物の霊能者は力の事を霊感とは呼ばん。呪いの経験者には霊能者を名のる資格など無い』」

そういうふうなのが読者から来たそうなんですね。で、ちょっと中略しまして、

「まあ、つまり、ケンカを売られた訳です。文章の内容から、相手は明らかに霊能者です(だって一般人はこん

な事で怒らないでしょう)。リターンアドレスも書いて無いから、『霊能力で戦おうぜ』と言う事なのでしょう。よーしっ、もちろん、このケンカ買ったぁ！　楽しい霊感バトルのぉ、はっじまりだぁ！」ということで、「さて、まずは霊査です。相手の波長が分からなくては、術のかけようがありません。

『怒りの気』が手紙にこびりついています。これでは、正体を当ててくれと言っているようなもの。遠慮なく、読ませてもらいます」

相手の気を読んでみたら、女の子が送ってきたということがわかります。

「能力は……技術に関しては、僕と同格か、ちょっと下くらい。パワーは向こうが絶対に上です。でも、負ける気はしません。とりあえず、ちょっかいを出してみる事にしました。ちょっとしたイタズラです。彼女の波長は分かってますから、僕の気の塊(別に悪い気じゃないよ)を、彼女の近くに転送して、べったり顔に張り付けました。それだけです。彼女が気が付いたようなので、一旦退散します。さーて、どんな攻撃をして来るのでしょうか」というふうに待っていたけれど、しばらくたっても(反撃が)来ない。で、『こっそり、また彼女の様子を探ってみます。どうやら彼女も反撃したいらしいのですが、僕の波長が分からないので、反撃するにも出来ないようです。あっちゃー、情けない、早くも戦意喪失しそうになります。あれだけ(わざと)大量に僕の気を残してあげたのに、呪いか術かと勘違いしたらしく、全部お払いして吹っ飛ばしてしまったらしいのです」。

ということで、ここも中略して、「でも、明日には反撃してくるに違いありません。平気だとは思ったのですが、一応ベッドに結界を張って寝ました」。

そして次の日、友人の家から帰りの電車の中で相手からの反撃がきて、背中に痛みが走るので見ると、体に「気」が刺さっているということなんですね。「釣り針のように、U字に曲がっている上に、『返し』が付いています。攻撃的な気で、明らかに作り物です」。

というようなことがあって、まあ反撃されたわけです。時間がないので後は略しますけど、その攻撃を身代わりの術で避けたりといろいろあって、結局この著者は勝つ

んですけれども、問題点は、最初の同人誌が送り返されてきたところ以外は一切が証拠のない霊感による情報なんです(笑)。同人誌の件以外は、著者の完全な妄想幻魔大戦の世界だと思います。大変楽しい本です。回しますので、ご覧ください。以上です(拍手)。

97年6月

『ヘルメス　愛は風の如く』[注9]なんですけれども、ご覧になられた方はどのくらいいらっしゃるのでしょうか。やっぱりあまりいないようですね。

これがなかなか面白い映画だったんですが、それを見に行ったところで「幸福の科学」[申請書2012][注10]のパンフレットを一緒に配ってまして、あとコピーのチラシなんかも配ってて、1枚1枚きちんと色が塗ってあるのですが、信者の方々が一生懸命やったのかなと思うと微笑ましい気もしますけれども。

それを見ていましたら、なかに「試写会を観て」というコメントがあったのですけども、「完全にギリシャの時代に没入してしまった。4300年前に、この世界を駆けめぐっていた記憶が蘇ってきたような気がした」という、[注11]何か電波が入ったようなコメントが素晴らしいんですが。あと一番下の、「とても感動しました。始まりと終わりがとても素敵で、何か深いメッセージを感じました」ともありまして、映画を観た方はご存じかと思うんですけれども、最初のところで、おそらく神の力を象徴するような黄金(色)の鳥の羽が天界をキラキラと飛び回っているシーンがコンピュータ・グラフィックで描かれてたんですけども、その天界を飛び回ってるシーンで、(映画は)ギリシア神話をベースにしている世界観のはずなのに蓮の花がパアッと開いている(笑)。素晴らしい、いかにも「幸福の科学」的なシーンが出てきて。しかも終わりはというと、悪の力を倒したのは、それは信仰の力だというふうなことを言ってエピローグを迎えるという、(そういったことを考えると)いかにも信者らしいこういったコメントがちょ[注12]っと微笑ましいなというものでした(拍手)。

すみません、こんなものしかないんで、この辺で失礼させていただきます(拍手)。

注1　冬コミ

ここでは1996年12月28、29日に行われた「コミックマーケット51」をさす。「コミックマーケット」とは、通常年2回行われる漫画、アニメを中心とした日本最大の同人誌即売会である（漫画、アニメ関係で「日本最大」といった場合、現在のところその多くが「世界最大」と同じ意となる。もちろんコミックマーケットもそうである）。「コミケ」「コミケット」などと略して呼ばれることも多く、また主に8月、12月に行われるところから前者を「夏コミ」、後者を「冬コミ」と呼んだりもする。

注2　エルフ

もともとは北欧神話などで妖精一般を指す言葉であったが、J.R.R.トールキンの著作（『ホビットの冒険』『指輪物語』等）で「森に住む美しく高貴な妖精の種族」の名として用いられて以降、そのイメージが定着した。

注3　グループSNEの『ロードス島戦記』

グループＳＮＥは、と学会会長の山本弘氏も所属しているクリエーター集団。で、『ロードス島戦記』はその代表作の一つである。ヒロイック・ファンタジーの作品で、最初は雑誌『コンプティーク』にテーブルトークRPGのリプレイ（ゲームの様子を読み物として書いたもの）として連載された。1988年から角川書店よりグループSNEの水野良氏の手によって小説として書き改められたものが発売され（全7巻）、また1990年からはビデオアニメも発売された（全13巻、私も全巻買いました）。その他にもコンピュータゲームがいくつも発売されたりと高い人気を得、現在でもその関連作品である『ロードス島伝説』が続いている（関連作品といえば『ソードワールド』や『クリスタニア』もそうなんだけどね）。また、1998年4月よりテレビ東京でＴＶアニメが放送開始。

注4　項目が12個

その項目を順にあげると、「パラチノース」「唐辛子」「塩」「水」「鳴き声」「指輪」「酢」「長ねぎ」「呼吸法」「精霊界ハンドブック」「実は実話なんです」「エヴァンゲリオン補完計画」。50音順になっていないのは「面倒っちい」からだそうである。やれよ、12項目ぐらい（笑）。

注5　式神

陰陽道で言われる、いわゆる使い魔（術者の下僕として作られ使われる霊的存在）のようなもの。安倍晴明が、その使役が得意であったと伝えられている（『今昔物語』等）。一般には、映画にもなった『帝都物語』（荒俣宏著　全12巻　1985-1993）で広く知られるようになった（と思う）。

注6　クロノトリガー

ファイナルファンタジー・シリーズなどで有名なゲームメーカー、「スクエア」が1995年に発売したスーパーファミコン用ファンタジーRPG。

注7　アイアンリーガー

1993年からテレビ東京で放映されたTVアニメ『疾風！　アイアンリーガー』に登場するロボットのキャラクターたちのこと。この作品は、彼らが様々なスポーツで闘う物語である。その不思議な熱気をもつ物語故に、マニアに人気が高い。

注8　やおい同人

もともとの意味は違ったのだが、今では漫画などのキャラクターを使って（オリジナルキャラクターの場合もあるが）男同士の恋愛を描いた同人誌を「やおい同人誌」と呼ぶため、それらを好む人たち（そのほとんどが女性）を「やおい同人」もしくは単に「やおい」と呼ぶようになった。また最近では「やおい同人誌」（特にオリジナルキャラクターもの）のことを、同様のテーマを扱っている女性向けの商業誌（一般の書店などで売られている本のこと。同人誌と区別するためにこう呼ぶ）『ジュネ』にちなんで「ジュネ系同人誌」または単に「ジュネ系」と呼ぶことも多い。この時、作品中の性描写の過激さによってソフトなものを「ソフトジュネ」、ハードなものを「ハードジュネ」と読んでさらに区別することもある。

注9　『ヘルメス　愛は風の如く』

「幸福の科学」（注2参照）総裁の大川隆法（本名　中川隆）氏制作総指揮によるアニメーション映画。ギリシャ神話に登場する英雄ヘルメスを主人公とした物語だが、その内容は神話とはだいぶ異なる。1997年4月に東映系劇場でロードショー公開された。私は窓口で1800円を払って当日券で観たのだが、後日簡単にタダ券が入手できることを知り、大変悔しい思いをした。

注10　「幸福の科学」

1986年に大川隆法氏によって設立された宗教団体。GLAの流れを汲む、本来は仏教系の団体。

注11　何か電波が入ったようなコメント

このコメントだけなら、やや大げさな表現ながらも、それほど不自然なものではないが、「幸福の科学」側が「この映画は『ギリシャ神話』でありながら、総裁がご自身の魂の記憶を繙いて綴られた四千三百年前の『実話』である」（『幸福の科学』幸福の科学総本山本部発行1997年４月号）と述べていることと考え合わせると、味わい深い内容なのである。

注12　ちょっと微笑ましいな

以前『東京国際ブックフェア』に行った時、チラシやら何やらを両手に抱えて困っていた私に、そのブースの前を通っただけなのに、わざわざ手提げ袋を持ってきてくださったのが幸福の科学出版の方だった。別に「幸福の科学」に限らず、たいていの宗教団体でそうなのだろうが、宗教を信じている人は真面目で優しい人が多いのだと思う。そんな人たちの姿は、含むところなく文字通りの意味で微笑ましいと感じる。

しかし、私は生来のヒネクレモノなので、真面目な方々が信じているからといって、その内容が正しいとは限らないとも思うのである。

TONDEMO FILE
2011
Reporter/Takaaki Hagiwara

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・萩原孝昭

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(同人誌)

■タイトル
霊感商事フレンズ

■著　者・よっしー

■発　行・私家版

■価　格・500円

■発行日・1996年12月29日

■購　入・1996年12月29日

■トンデモ度数 ★★★★

■ここがトンデモだ！
この本の著者は霊能力者だそうである。しかし、私のもっている霊能者及び霊に対するイメージを次々にくつがえしてくれる人である。そうか、最近では式神をゲームキャラに似せて作るのか。浮遊霊がアニメファンの人に気付いてもらいたい時はアニメキャラの格好に化けるのか。昔気質の霊能者などは、そんなありさまを見て「近頃の若いモンは」と腹を立てているのかもしれない。霊能者に対しても、霊に対しても。
ところで、だとすると以前話題になった「窓の外に見えた飛んでゆくガメラ」も、目撃者の気を引きたかった浮遊霊が化けたという可能性があることになる。楽しい世の中になったものだ。

TONDEMO FILE
2012
Reporter/Takaaki Hagiwara

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・萩原孝昭

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
その他(フリーペーパーのパンフレット)

■タイトル
幸福の科学　イイシラセ

■著　者・
「幸福の科学」が発行したフリーペーパー。97年4月下旬に『ヘルメス 愛は風の如く』を観に行った映画館で入手。

■発行日・

■購　入・

■トンデモ度数 ★★

ヘルメス 愛は風の如く
イ・イ・シ・ラ・セ
幸福の科学
劇場用超大作アニメーション
4月12日から東映系劇場で全国ロードショー!
特別優待割引券付

■ここがトンデモだ!
基本的には単なる映画の案内。だからそのまま読めばトンデモでも何でもないのだが、私のような人の悪い人間が内容を深読み(邪推)すると結構楽しめる。

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

植木不等式

「Windows97」世界先行発売は中国？

植木不等式（うえきふとうしき）と学会運営委員。駄洒落をこよなく愛する30代後半の会社員。と学会には皆神龍太郎氏の誘いで92年初めに参加。『トンデモ本の世界』『トンデモ本の逆襲』の執筆者の一人で、ほかに自著として『悲しきネクタイ』（地人書館）、『世紀末おとぎ話』（大和書房）など。

特別原稿

これは1996年秋に中国・広州で売られていたというソフトです。[申請書2013]「マイクロソフト・ウィンドウズ97中文版」（！）。「95」じゃなくて「97」。こういうものが出回っているという話は前から聞いていたのですが、実物が堂々と店先に並んでいるという話にはびっくりしました。ビル・ゲイツもびっくりすると思います。

このもっともらしいパッケージには、「完全正版」だとか「お試しバージョンではありません」とかいろいろウソくさい文言が印刷されていますが、おっかないので、インストールする勇気はいまだにありません。いや、実はウイルスチェッカーにかけてみたのですが、ぞろぞろといるわいるわ、いろんなものが巣食ってました。皆さんもソフトウェアは信用がおけるショップで買われた方がよろしいと思います（笑）。

もうひとつ、中国製電脳軟件（ソフト）で、私自身が九七年春に四川省の成都（チョンツー。現地風に発音するとチェンドゥ）で買ったものですが、その名も[申請書2014]『決戦　核爆38°線』。金正日さんと戦車があしらってあ

る、なかなかインパクトのあるパッケージです。「一套國人自製中文戦略遊戯」とか書かれてあり、要するに輸入もんじゃない中国語版のゲーム・シリーズとかいった意味だと思いますが、中国でも金正日氏は人気者らしいです……共産主義勢力の一枚岩の世界戦略に警戒せよ、などとこいていた冷戦時代のダレスさん（アメリカの国務長官だった人）とかが見たら何と言うでしょうかねえ。金正日さんにもプレゼントしたら意外と喜ばれるかもしれません。まだこれもウイルスが恐くてプレイしてみてないんですが、中身はどうやら40本くらいのミニゲームが二枚のCD—ROMに収められているみたいです。

　以下もまた小ネタ集（申請書2015）ですが、こちらは97年夏に東京・板橋区の不動産会社が作って配っていたチラシから。ごく普通の不動産案内チラシなんですが、その右上に「季節の風景」みたいな感じで、何と広島の原爆ドームがあしらってあり、しかもそのわきには「男女営業社員募集中!!」という文字が……（会場絶句）。ここだけ取り出してみると、ひどくシュールなものに仕上がっています。まるで原爆ドームが本社社屋みたいなノリです。ええんかいな。

　一方でこちらは、東京・練馬区の雑貨屋さん（申請書2016）の97年冬のチラシ。キューティーハニーのまがいもんみたいな女の子と、「コーテーハニーP」の大文字。わきのルビが、「買うて～　はにい　ぷらいす」ですと、とほほ（笑）。ちょっと大阪、入ってます。さらに「お願い～　お願い～　値上げしないで～　私のおサイフがシクシクしちゃうの～」ですと。素晴らしいセンスの広告です。これで心動かされるお客がどれだけいるんでしょうね。私は動きましたが。ちなみにこれは、各地の雑貨屋さん・洋品店さん数十店が共同でつくったチラシのようです。

　あと、つけたしですが、酒井さんが発表された「発狂くん」（P38参照）の本舗に、先日私も行ってきました。そこでは、虫も殺さぬような温厚な面もちの女の人が店番をしておられまして、で、厚かましくも『発狂くん』の由来を尋ねましたところ、何とその方が発案者でらっしゃるとのこと。さらに詳しくお話を

伺うと、今から20年ほど前、そのお店ではちょっぴりだけトンガラシをまぶしたお煎餅を前から作っていらしたんですが（現在それは『ピリ辛くん』という商品となっております）、ある時、その製造中にうっかりトンガラシ容器に煎餅を落としてしまった。真っ赤になった煎餅を見て、これはこれで面白いと思っておられたところ、そのお店には近くの高校の野球部の生徒さんがよくおやつを買いに来ていたそうです。試しにその激カラ煎餅を食べてもらったところ、生徒さんたちが口々に、「おばちゃん、これ辛いよ、頭おかしくなっちゃうよ」とか感想を言ったそうなんですな。でも、評判は悪くない。そこで商品化を考えて、つけた名前が『発狂くん』だった、とおおむねそのようなお話でした。その後、『発狂くん』は商標登録もされ、おりからの激カラブームにも乗り、今では川越の銘菓としての地位を確固たるものにしておられます。

ささやかな偶然を見逃さず、着実なマーケットリサーチを行い、個性的な商品に育て上げる。と学会にもサラリーマンは多いですが、このお話には起業家マインドと申しましょうか、私たちも学ぶべき点が多いかと思います。

というあたりで、次の方どうぞ。

◆と学会こぼれ話・3

と学会の会合は初期には御茶ノ水の喫茶店、ルノアールで行われていた。やがて手狭になったことと、長々居座ることが申し訳なくなってきたことと、それに発見したトンデモ物件の発表にビデオ機材などが必要になってきたため、公民館や市民ホールなどを使ったが、帯に短したすきに長しで、格好な場所がみつらら
ず転々としたあげく、最近は某出版社の会議室と、某大学の教室とがメインの例会会場になっていて、交互に使用されている。

珍しい場所としては新宿のライブスポット、『ロフトプラスワン』を借り切って例会をやったこともあった。このときはたまたま年末にあたっていたため、例会発表が終わったあと、そのまま二次会の忘年会に突入して、怪獣もののビデオを流すやら何やら大騒ぎになってしまった。（唐沢）

TONDEMO FILE
2013
Reporter/Futoushiki Ueki

トンデモグッズ申請書

■申請者・植木不等式

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(CD-ROM)

■タイトル
Microsoft Windows 97
ソフトウェア

■著　者・

■発　行・

■価　格・

■発行日・

■購　入・

■トンデモ度数 ★★★★

■ここがトンデモだ！
ビル・ゲーツをものともせずにもっともらしいパチモンをこしらえた度胸というか脳天気には見るべきものがある。

TONDEMO FILE
2014
Reporter/Futoushiki Ueki

トンデモグッズ申請書

■申請者・植木不等式

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(CD-ROM)

■タイトル
決戦　核爆38°線
ソフトウェア

■著　者・

■発　行・

■価　格・

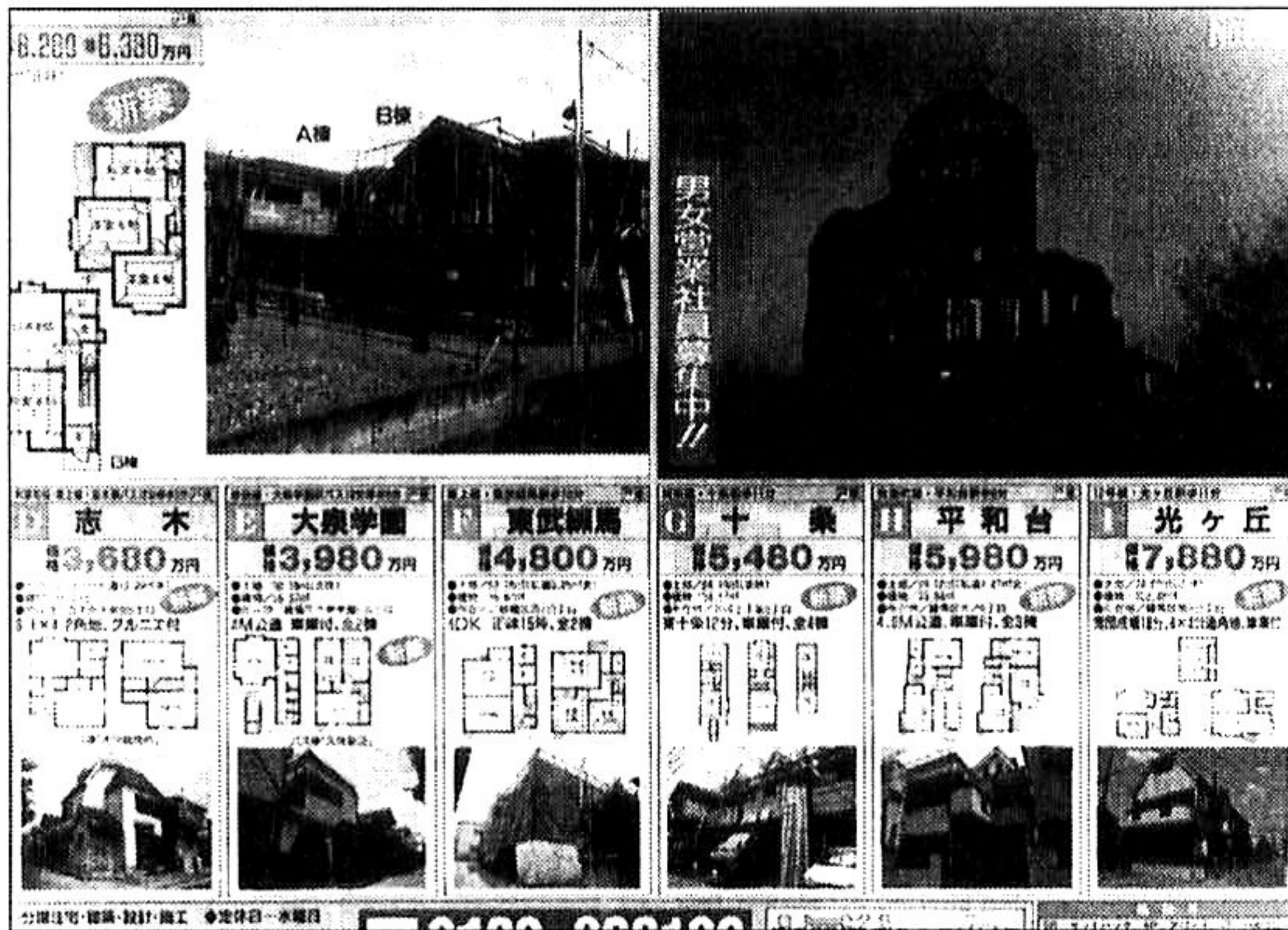
■発行日・

■購　入・

■トンデモ度数　★★★★

■ここがトンデモだ！
いちおう共産圏の国で、金正日氏をキャラクターに使った度胸というか脳天気には見るべきものがある。

TONDEMO FILE
2015
Reporter/Futoushiki Ueki

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・植木不等式

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(チラシ)

■タイトル
不動産広告の中のアイキャッチ

■著　者・

■発　行・

■価　格・

■発行日・

■購　入・

■トンデモ度数　★★★★

■ここがトンデモだ！
原爆ドームを深い考えなし(たぶん)にチラシにあしらう度胸というか脳天気には見るべきものがある。

TONDEMO FILE
2016
Reporter/Futoushiki Ueki

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・植木不等式

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（チラシ）

■タイトル
雑貨・洋品広告の中のアイキャッチ

■著　者・

■発　行・

■価　格・

■発行日・

■購　入・

■トンデモ度数　★★★★

■ここがトンデモだ！
キューティーハニーをネタにして強引きわまりない駄洒落をこしらえ、それを商品広告に使う度胸というか脳天気には見るべきものがある。

石山敏之

鄧小平も出る、12億人抹殺ゲームはキリがない

石山敏之（いしやまとしゆき）SF大会でアニメソングを歌い続けて10年あまり、最近は通信カラオケの普及に押され、新たな分野を目指すアニソンオタク。その実体は、雨の日も雪の日もフル改造の単車で出社するゲーム・プランナー。現在はパソコン通信を利用したRPG制作にあたっている。と学会へは、友人の紹介で、本原稿のきっかけとなった回から参加しているが、SF大会等で、以前よりよくニアミスをしていた。自ら主催していたアニソン・サークルの企画時間と、と学会の発表が重なり、涙を飲んだこと多数。ホームページ　URL=http://www.lares.dti.ne.jp/~ishiyama/

97年2月

初めて来て勝手がよくわからないんですけれど、あまり、と学会とは関係ないネタかもしれませんが、妙にタイムリーなネタがありまして……（カタログの表紙を見せる）。

先日、返還直前の香港へ遊びに行きまして、現地のオタク関係の名所を巡礼してまいりました。さて、そこで手に入れてきたのが、日本のオタク界では、マジコンと呼ばれている機械なんですね。マジコンと言うのはスーパーファミコン等のゲーム機のソフトを、カードリッチとゲーム機の間に挟むような形でセットして、ゲーム内容をそっくりコピー。フロッピーなどにバックアップする機械のことなんです。

さて、このカタログに乗っているマシンが、香港でヒットしたマジコンで、日本では「ドクターセブン」などと呼ばれています。香港では「超任博士」と呼ばれていたりします（笑）。普通のマジコンは、フロッピーにコピーしたゲームを、また読み込んで遊んだりすることがメインの楽しみ方なんですが、この、フロッピーのデータ形式というのがですね、パソコンで普通に読み込める形になっているの

です。おうちにパソコンが一台あれば、さらにコピーはしほうだい、データ改造は朝飯前、お友達とデータを分け合ってもいいよ、という非常にフレンドリーな機械だったりするわけですね。

さすが香港、何やってもいいって感じですね（笑）。

さあ、パソコンでデータが簡単にコピーできるとなると、そこら中のソフトのデータを大量にストックする輩が出てきます。何千本ものソフトをパソコンに溜めておいて、1本1本小売りする商売が出てきました。一時期日本の玩具屋なんかで行われていた、ファミコンのディスク書き換えサービスみたいなことを。そうですね、日本円で50～100円ぐらいで、自由にやっちゃう店がどんどん出てきたわけです。困ったことに、香港は何でもエスカレートします。そのパソコンにため込んだスーファミソフトのデータを、何百本もまとめてCD—ROMにして売るという商売まで出てきました。CD—ROMからデータを選んでフロッピーにコピーすれば、マジコンで自由にゲームができるわけですからね。日本の子供が見たら、大喜び間違いなしです（笑）。

さて、この超任博士の得意技というのがですね。なんと、CD—ROMドライブを接続できるということなんです。ソフトがたくさん詰まっているCDをセットして、どのゲームを遊ぶが選んで遊ぶことができるわけですね。いやあ、いい時代になったもんです。

前置きが長くなりましたが、このカタログは、何百本もデータが入っているCDの内容リストなわけです。現在、超任CDは7枚あると言われていて、私が行った店には、オリジナルのCDが1セットしかないとのことで、なかなか譲ってもらえなかったんですが。まあ、ここでは言えないようなやり取りの結果、現在、家にはCD—R[注1]でフルセット版があったりなんかします（笑）。全部のCD内容を足すと何本のソフトが入っているのかはまだ確認してませんが、店のおやじの話では3000[注2]本以上入ってるそーです（笑）。

さあ、この膨大なソフト群の中に、非常にタイムリーなものがありまして……（ページをめくる）（会場—「あっ、鄧小平だ！」）。これです。カルトな方々はご存知かと思うんですが、「香港1997（申請書2017）」というソフトが入ってまして、これがすごい。立ち上げますと、中文、日本文、英

文という選択肢がまずあって、日本文でやると日本語でちゃんとメッセージが出るんですね。ストーリー説明が、うろ覚えで申し訳ないんですが、「暗黒の1997年がやって来た。中国12億人がタンをはきながら香港に押し寄せてくる。このままでは香港は汚れてしまう。それを苦慮した香港政府は、ブルース・リーの親戚」。こちらの鄧小平の脇に立っている見にくい人物ですが……「チンを呼び、中国12億人民抹殺を依頼した。12億人民を一人残らず抹殺せよ!…一方そのころ」。ここがタイムリーですね、「中国ではすでに死亡した鄧小平を巨大兵器にすることが計画されていた（笑）急げチン！　12億人民を一人残らず抹殺するのだ！」。なんてソフトでございまして（笑）。

これは非常に難しいアクションゲームなんです。上から人がてくてく歩いてくるのを、このチンさんが下から撃つってな按配なんです。ブルース・リーの親戚だから、気でも放ってるのかもしれませんが、12億人がわらわらと押し寄せてくるもので、はっきり言ってとても難しい。私も頑張って数百人倒したんですけど

写真1

ね、なかなかエンディングを迎えられなくて…（笑）。
誰か頼みますから、うちに来て12億人民を虐殺してくれませんかね。カウンターリセットするだけかもしれませんが、最後どうなるのかぜひ見てみたい（笑）。
さて、それでは実際にビデオでお見せしましょう（拍手）。この曲がいいですね（会場―「同じフレーズだけですね」）。はい、延々これだけです。脳みそに染み渡るような曲で、単調なゲームの苦痛を倍加させて、だんだんいや～な気分になってきます。（画面にクレジット、西新宿7丁目のハッピーソフトが作成、とある。画面をさして）ちなみに、西新宿に7丁目は存在しません。確か3丁目までのはずです（笑）。実際にプレイしている画面を見てみましょう。写真1 普通のシューティングっぽい絵なんですが、やはり、異様に難しい。ライフは1つですから、何かに接触しようものならあっさり「陳、死亡」（笑）。たとえ死んでも、曲は延々このまんま。なにやらクレジットにシリコングラフィックの名前がありますが、これはどういったたぐいの冗談なんでしょうか（笑）。さて、チンが200人く

写真2

らい人民を倒すと、ストーリー中にありました「鄧小平ロボ」[写真2]が出現します（会場―「何これ。鬼太郎に出てくる、でかい首の妖怪みたいな…」）。これが噂の巨大兵器鄧小平です（笑）。ちょうど今、スコアのところが300となってますね。300人くらい倒したってことですが、鄧小平ロボは一体倒すと100人くらい倒したのと同じ効果があります（会場―「何度も出るんですか？」）何度も出てきます。8体までは倒しましたが、朝になってしまって力尽きました（笑、「この車は何なの？」「車は倒せないんですか？」）。車は危険です。触ると当然アウトですし、撃っても倒せない。それどころか速くなる（笑）。その他、飛んでくるパワーアップのようなものを触っても、爆発の脇を通りぬけても、とにかく死亡…。やはり、12億人分戦い続けないと中国には勝てないという教訓なのでしょうか？（会場―「赤い人民は通常より3倍速いですね」、笑）。そのようです（会場―「これ、さっきの住所に申し込んだら買えるんですか？」、笑）。いえ、ですから、さっきの住所は存在しません（会場―これ作ったの日本人ですよ）。お、さすが。ご存知でしたか（笑）。実は、このソフト、クーロン黒沢氏[注3]たちが作ったと言われています。詳しくは知らないのですが、彼らが遊びで作ったソフトが裏マーケットで流通し、終いにはご当地香港のコピーソフトの山の中に収録されてしまっていたという形のようです。意図したにせよしていないにせよ、作られたトンデモって感じですね（笑）。噂によるとカードリッチ内のROMに焼き付けた物もあるらしいのですが、当然、入手はまず無理でしょう。今のところ、こうしたコピーCDを入手する以外ゲットする方法はないようです（拍手）。

さて、もう1点、ここに来る前に、原宿の方でこんなオーラ写真[申請書2018]を撮ってきました。なかなか神々しいですね（笑）。この店の名前が「コスモスペース」（会場―「コスモでスペースってのがいいですね」、笑）。そうです。まずそこにひかれますね。さらに、店のサブタイトルが「宇宙からのメッセージ」[注4]。SFファンにはたまらない名前でしょう（笑）。（稗田―「その店は精神世界ギョーカイでは老舗ですよ」）。今、稗田先生が

おっしゃっていたように、ずいぶんとしっかりしたお店のようです。ちゃんとこのような鑑定図が出てきました。でも、ここに書かれていることがなかなか怪しいんですね（笑）。「あなたは病気かストレスか、多分深い神秘的な時期を経験しているかのいずれかである」とかなんとか（笑）、「あなたは病気か、のどが痛いか、あるいはあなたのアイデアと思想を伝達するのに苦労しているか、それとも、びっくりするような信じがたい幻想を伝えたいと言う強い願望があるかのいずれかである」などなど。これ、よく当たってるんですわ（笑）。

喉が痛いに関しては、私、SF大会で散々アニソンを歌う団体[注5]を主催しているんですが、それについて書かれているのでしょう（笑）。一度歌いすぎて血を吐いたこともありますし（笑）。さらによく読んでみると、私は生まれつきのサイキックであるとか、大錬金術者であるとか、権力をもつとか書かれていますので、みんな私と仲良くしておくと、いいことがあるかもしれませんよ（会場──「世界を征服しよう！」、笑）。あ、いいですね、今度やりましょう（笑）。以上です（拍手）。

注1　CD-R

特殊な書き込み可能CD-ROMの事。一度だけ書き込みを行うことができる。

注2　3000本入っているそうです

実際に、このカタログに収録されていたのは1635本でした。だいたい、そんなにソフト発売されていないはずですが……。

注3　クーロン黒沢

現在カンボジアに住んでいるらしい、アジア系電脳オタクのカリスマ的存在。著書多数。

注4　宇宙からのメッセージ

映画「宇宙からのメッセージ」。英題「MESSAGE FROM SPACE」。1977年に東映が制作したＳＦ映画、ここでは内容に関してのコメントは割けよう（笑）。

注5　アニソンを歌う団体

「まっは軒」という団体で、「歌と祭りで世界を制する」と言うコピーで、1994年から1997年まで活動。最盛期には、世界SF大会で日本のアニメソングを歌うパーティを開くなど幅広く活動を行っていた。

TONDEMO FILE
2017
Reporter/Toshiyuki Ishiyama

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・石山敏之

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(ゲームソフト)

■タイトル
香港1997
スーパーファミコン用ゲームソフト

■著　者・

■発　行・

■価　格・

■発行日・

■購　入・

■トンデモ度数　★★★

■ここがトンデモだ！

返還直前の香港で入手。カタログに乗っているゲームソフト。「1997年に中国人が香港に押し寄せてくる!」と言うアクションゲーム。返還後にこんなソフトを売ったら、かなりヤバイかもしれません。
実はこのソフト、日本人が遊びで作ったものだそうで、裏マーケットで流通していた物のようです。言うなれば、作られたトンデモか?
そして、このソフトを見つけたのが、数千本を誇るゲームソフト群がびっしり詰まったCD-ROMのカタログ「超任博士攻略本96 V.2」。そのすべてが違法コピーである。そうしたCDを売ってしまうのもスゴイが、直接スーパーファミコンに接続できるCD-ROMドライブを造り、堂々とカタログを出版してしまう精神にエールを送りたい。

TONDEMO FILE
2018
Reporter/Toshiyuki Ishiyama

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・石山敏之

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（写真）

■タイトル
オーラ写真

■製造元・Aura Imaging （USA）

■入手先・コスモスペース

■価　格・3000円

■発行日・

■購　入・

■トンデモ度数 ★★

■ここがトンデモだ！
写真もいいが、パソコンで出力された鑑定書がいい味を出している。どうやらアメリカ製のソフトを強引に日本語化したようで、文章がとても面白い。「貴方の第3の目は開き、活発に働き、透視も盛んになる」なんて言われても、困っちゃうんだけどなあ。私ゃ「三つ目が通る」の写楽君かい。その他にも、いいことばかり書かれている。これからトントン拍子に出世して、権力の座につくらしいけれど、本当だろうか？

鶴岡法斎

こんなところにまで!
エヴァネタ官能小説

鶴岡法斎(つるおかほうさい) 文筆家。1973年、千葉県生まれ。中学生の頃、占い師に「成人する前に死ぬ」と言われ、今日も生きている。編著書に『新世紀の迷路(アスペクト)』『呪われたマンガファン』(ジャパンミックス)『螺旋の薔薇』(共著・アスペクト)など。世話になっている唐沢俊一氏の暗殺を何度か試みるが失敗。どこかに時給1000円くらいで働くヒットマンはいないものかと考える。と学会の一部から「突撃隊長」「飛び道具」「下ネタ担当」などと呼ばれているが、要するにヨゴレ役か?

97年6月

どうも鶴岡です。今回は「著作権」というものについて考えてみたいのですが、あれはなかなか厄介なもので、私も仕事上、いろいろ苦労したりするんですよね。

で、まず最初にこの本なのですが、『妖怪学入門』(申請書2019)。佐藤友之という人ですね。有文ではないんですね。でもイキナリ前書きが「妖怪一同を代表して　デビル博士」って書いてあるんですよ。誰なんだろう、デビル博士って(笑)。

本の内容としては、まあ、妖怪図鑑ですね。目次を読んでいくと「天狗」「河童」などはいいとして、落語の「へっつい幽霊」。これなんかはまだいいほうなんですよ。問題なのはこれからです。「黄金バット」「ゲゲゲの鬼太郎」。さらに「ニャロメ」まで紹介されています(笑)。ニャロメって妖怪かぁ? どちらかといえば描いている人間が妖怪だと思うんですけど(笑)。しかも図版が紹介されていますけど、これは誰が書いたんでしょうね。著作権はどうなっているんだろう(笑)。

私の思うに、この著者はそれほど妖怪に詳しくない人だと思うんですよ。それで苦しくなった挙げ句にこんなことをやってしまったんでしょう。「猿の惑星」まで書いてますから。そうか、コーネリアスって妖怪だったのか。小山田圭吾に教えてあげたい（笑）。

このほかには「ゴミゴン」「ママゴン」などは時代を感じさせます。私は個人的にこういうのが好きです。

さて、次にこれなんですけど、マドンナメイト文庫、官能小説ですね。『発情期ブルマ検査』。松平龍樹という人です。確かこの人は、以前にと学会でセーラームーンの登場人物の名前をそのまま使った小説が発表されていましたけど、今回はそれを上回っています。メガミックスです。何だか意味がわからないですけど。ちょっと内容を紹介してみますと、小学生の男女2人がいまして、この女の子がオタクでコスプレと化してしまうんですよ。で、綾波のコスプレをした状態で男に聞くわけですよ。

「……直旗クン、このアニメーション見てた？」

「……ウン」

『いくら話題の超人気大作とはいえ、なぜ、半年以上前に終了したアニメーションのことを聞くのだろう？』と考えながら直旗は素直に返事していた。

「……そう、私も観ていたの。そして許せなかった」

直旗は身がまえた。まさか、巷のアニメファンのように、納得のいかない最終二話論争をやらかすつもりではないか、と考えたからだ。（『発情期ブルマ検査』より）

これのどこがポルノなんでしょうか（笑）。しかも小学生ですよ、コイツら。全編この調子でカラミとカラミの間にオタクな会話が入ってしまうんですよ。一体、誰に向かって作っているのでしょうか。こっちのほうが納得いかないですよ。で、それで、この女の子が綾波のことを語っているのに、この男はセックスをするんですよ。何を考えているんだ（笑）。「ちゅっちゅっちゅっ」とかキスの擬音が入ったりしてるんですよ。まあ、こういう関連商品が登場してしまうくらい凄いブームなんですね。庵野さんに教えてあげたい（笑）。

まあ、そういうわけで著作権無視の2作品でした。以上です。

TONDEMO FILE
2019
Reporter/Housai Tsuruoka

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・鶴岡法斎

■アイテム
[書籍]・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（　　　）

■タイトル
妖怪学入門

■編　集・佐藤友之

■発　行・ホーチキ出版

■価　格・750円

■購入価格・200円

■発行日・昭和51年

■トンデモ度数　★★★

■ここがトンデモだ！
ニャロメや『猿の惑星』も妖怪だったという衝撃の事実！　別に知らなくてもいい情報が満載。この本が『妖怪学入門』になることは多分、ない。

TONDEMO FILE
2020
Reporter/Housai Tsuruoka

トンデモグッズ申請書

■申請者・鶴岡法斎

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（　　　）

■タイトル
発情期ブルマ検査

■著　者・松平龍樹

■発　行・マドンナメイト文庫

■発　売・二見書房

■発行日・1997年1月

■購　入・

■トンデモ度数 ★★★★★

■ここがトンデモだ！
もはやポルノとしての実用性はなくなってしまっている怪作。セックスとアニメに早熟な小学生が織りなす物語……って、何のためにあるのだろうか。この著作は「トンデモ本大賞受賞作家」と自著の表紙に書いてくれた。少し嬉しい。

奥平広康

教祖、2題……。

奥平広康（おくだいらひろやす）

97年6月

ちょっとビデオのほうに行きたいんで、早目に進めます。

まず、韓国のＵＦＯ漫画です。ちゃんとＭＪ12も出てます、ハングル語でＭＪ12と書かれているという。これが宇宙人（笑）、こんな宇宙人です。

これから宗教ネタに入りますけども、まず『ヘルメス、愛は風のごとく』ですね。サントラ盤、５０００円出して買いました。で、「月夜の歌」というのがあるんですが、これは要するに大川隆法先生が４３００年前に今の奥さん、大川きょう子主催補佐先生にプレゼントした曲ですね。

それから、『大震災サバイバルマニュアル』という本。これだけだったらまともな本なんですけども、作ってるところは幸福の科学。それで、最初はいいんで、最初はいいんですよ。最初は第1章とか、最初はいいんです。第2章も、備えはどうするとかいって、家庭で用意しとくものとか書いてあって、ちゃんと地震の本になってるんですよね。ところが第4章からとんでもなくなるん

ですよ。第4章は、「それでも……もし死んだら、どうする」（拍手）。ここからがすごい。

それで、死とは何か。死んだら終わりではないという、途端におかしくなってしまうんです（会場―「さすが宗教家」）。そうそう。三途の川の渡り方とか、ちゃんと出てるんです（笑）。それで、生前を映すスクリーンというのがあるらしいんですよ、霊界に。それを使って生前のことが見えるらしいんですけれども、ということは神戸の酒鬼薔薇君はちゃんとホラー映画のごとく、首を切ったシーンが見れるんでしょうね。

それから、きのうネタを何にしようかなと思って神保町界隈をぶらぶらっと歩いてたら、『深見東州の申請書2022ギャグ300連発！』を三省堂で見つけました。今日はこのビデオにいきたいんです。これ2時間あるんですよ、本当は（会場―「2時間？」）。だから、おもしろいところだけにしてだいぶ縮めました。

（ビデオ上映）阿波踊りの中継番組をやってるんです。これ、深見先生です（会場―「だって、これ板東英二でしょう」）。そうです（会場―「別にこの番組だって、ただ単に踊ったところ映ってたんでしょう」）。踊ってたのが映ってたと。次に、これ見てれば絶対に刺されると思います（ビデオ―天皇陛下のまね、会場―「しかし、天皇の次が地縛霊？」）。ほかにもあるんですけどね、大分切りましたんで。これは「走れエロス」、「ヘーデルとグレーデル」などで世界名作文学集。これは「老人と海」。これはユリ・ゲラー（笑）。十八番らしいです。でも、こんな格好で出る教祖もいませんよ。近所のおやじじゃねえかという（笑、会場―「これ300もやるの？」）。ですから一生懸命やって大分縮めたんですよ（会場―「さらに短く編集できたという話……」）。こんな格好で信者が出てくる（笑）。教祖も教祖なら、信者も信者だと。これがハコフグのまね（笑、会場―「このビデオ欲しいな」）。

宇宙戦艦ヤマトを歌ってるシーンもあるんです。尾崎紀世彦と佐々木功のものまねで宇宙戦艦ヤマトを歌うというのがあるんですけども、ここら辺で終わりにします（拍手）。

TONDEMO FILE
2021
Reporter/Yasuhiko Okudaira

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・奥平広康

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（　　　）

■タイトル
大震災サバイバル
マニュアル

■著　者・

■発　行・幸福の科学出版

■価　格・1000円（税込）

■発行日・1995年3月15日

■購　入・

■トンデモ度数　★★★★

■ここがトンデモだ！
初版が1995年3月15日。この本は書店の防災関連の特集でみちけました。しかし、本屋も気付よー。この本が阪神大震災に便乗した悪質な「宗教書」だということを（うっ、やばい。ここまで書いたら「FAX攻撃」されたりして）。

TONDEMO FILE
2022
Reporter/Yasuhiko Okudaira

トンデモグッズ申請書

■申請者・奥平広康

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(　　　)

■タイトル
深見青山のギャグ300連発!

■著　者・

■発　売・株式会社たちばな出版

■価　格・3500円（税込）

■発行日・

■購　入・1997年3月頃

■トンデモ度数　★★

■ここがトンデモだ！

ビデオと一緒に入っていた説明書には、「(このビデオは)いわば能楽における演能五番中の狂言であり、交響曲におけるスケルツォであり、懐石料理における箸休めであり、アイスクリームを食べる時のウェハースのようなものです」だそうです。

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

川井豪山

動いてこそアニメ。苦心のテクニックはイメージを膨らませ・・ないか。

川井豪山（かわいごうすん） 1973年福島県生まれ。「バトルコサック」「タイホウバッファロー」という“絶対メジャーにデビューできないバンド”を活動中に、バンドメンバーである鶴岡氏のすすめで97年、と学会入会。現在ではライター、ホモ映画男優、AV監督（しかもフェチ物）、脚フェチショップ店員等、自分でもわからなくなるくらいに様々な活動をしている。

97年2月

初めて参加させていただきます川井豪山。つい先日まで古本屋で働いていたんですけども、そこの古本屋というのが、結構トンデモない本がよく入ってくるところなんですよ。その中で最もトンデモないモノというのが、今回ご紹介する、この（申請書2023）『スーパーテクニカルアニメ ザ・将軍』というビデオです。

ストーリーを簡単に説明すると、大奥では夜ごとイヤラシイことが行われている、といったモノで、一応エロアニメってことになっているんですが、まったくヌケません（笑）。ヌクどころか、見た瞬間に寝込んじゃうくらいトンデモないモノなんですよ。で、このビデオのどこがトンデモないかというと、タイトルにも入っているように、とにかくテクニカルなんです。見ていただければわかりますが、いきなりタイトルが手書きなんですよ。さらに、絵が動きません（笑、会場――「どこがアニメなんだ」）。しかし、この動かない絵を動かしてしまうんですよ、このビデオは。なんと、絵がグルグル回っちゃうんです（笑）。エヴァンゲリ

オンもビックリ、こんなにテクニカルなアニメ見たことない（笑）。
まあ皆さん、もうおわかりだと思いますが、かなりの低予算で作られています。声優も4人ぐらいしかいません。そうなれば1人2役は当たり前かもしれませんが、このビデオではもっとすごいことをしてくれます。なんと、1人の女を数人の女がいたぶるというシーンでは、男が裏声を出して、責める側の女の役を演じているという、なんてテクニカル（笑）。さらに責める役の人も責められる役の人も、ずっと叫びっぱなしなんですよ。こんなにも叫ばなくてもいいだろってぐらいに。まさに、これでヌケたら百万円って感じですね（笑）。ちなみに、このシーンは15分間ずっとこのまま続きます（笑）。
あ、あんまり見続けると皆さん寝込んじゃいますから、このあたりで止めておきましょう（笑）。続きが見たい方は中古ビデオ屋さんで500円ぐらいで売ってますので探してみて下さい（会場—「定価はいくらで発売されたんですか」）。これ結構高いんですよね。定価は1万3800円（笑）。やっぱり通販かなんかで定価で買った人がいるんじゃないかと思うんですよ。すごくかわいそうというか、楽しいというか（笑）。でも、宅配の裏ビデオよりはある意味マシなんじゃないかな、と思うんですがね（笑）。といったところで、以上です。ありがとうございます。

◆と学会こぼれ話・4

と学会運営委員の一人・志水一夫氏は日本の超常現象研究家として第一人者だが、本書にもある通り、会合などへの遅刻魔としても有名。あるUFOシンポジウムには、パネラーであったにもかかわらず、とうとう最後まで姿を現さなかった。その日がちょうど二三日だったため、UFO出現の特異日を主張する故・大田原治男氏が、UFO研究家は二三日に事故にあう、などと言い出して会が大騒ぎになったことも。（唐沢）

TONDEMO FILE
2023
Reporter/Gousun Kawai

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・川井豪山

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（　　　）

■タイトル
スーパーテクニカルアニメ
ザ・将軍

■制作・発売元・株式会社映研

■価　格・13800円

■購入価格・500円

■購　入・

■トンデモ度数　★★★★

■ここがトンデモだ！
例会では途中までしか上映しなかったが、とにかく最初から最後まで「テクニカル」。動かしたくても動かない絵を、一生懸命動かそうとしている、このビデオのスタッフの努力に拍手。

備考／と学会発表からこのネタだったし、毎回必ずエロネタを持ってきていたのでいつの間にか、と学会のエロ班に。最近ではネタになりそうなものを自分で制作する毎日。なんだかなぁ。

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS SINCE 1992

横山信太郎

昔は良かった(?)、昭和SF雑誌のノー天気さ。

横山信太郎(よこやましんたろう) 1958年、神戸生まれ。81年、東京工業大学理学部卒。同年より86年まで、(株)本田技研工業(本田技術研究所)に勤務。と学会入会は93年。日本SF大会の常連参加者で、SF大会では「替え歌吟遊詩人」の異名をとる替え歌作りの名人として知られる。現在、千葉県習志野市に在住。

97年6月

今日は少し古い雑誌をご紹介します。昭和53年に創刊された雑誌で、ちょうど日本で初めて『スター・ウォーズ』が公開された年の11月に出てるものですね。内容は、当時公開中もしくは放映中だったテレビアニメや映画の紹介記事、あとはオリジナルのコミックや小説が何本か。ただ、その紹介記事は大変ずさんです。

ちょっとご覧いただきたいんですけども、例えば「東宝映画はこれまで多くのSF映画をつくってきた。中でも『地底軍艦』や……」(笑)、誤植なのか無知によるまちがいなのかは、私にもわかりません。

それからコミックも何本か載ってるんですが、出てくる『宇宙戦艦』はご覧のように、ヤマトに出てきたガミラス空母や「キャプテン・ハーロック」のアルカディア号のもろパクリです。

次は、終わりのほうに載ってる漫画の内容を紹介します。タイトルは、恐怖SF漫画『地球沈没』。地球に一滴の水滴が降ってきて、それがどんどん水分を吸収していく。最後に地球上の生物の水分を全部吸収し

てしまって、大洪水になり、宇宙から巨大なホースが降ってくる。宇宙人が水を吸い取って、これで我々の星の給水制限がなくなりました、万歳と言って終わりです（会場―「ただそれだけなの？」「あの頃、すごい水不足があったのを覚えてるな」）。
最後に次号予告。期待できそうなタイトルです。三大迫力劇画。『アドベンチャー・スター・ナイン』、SFアダルト『乳お化け』（笑）、SF版『世界の童話』、絵物語『怪人宇宙少年』。内容は、残念ながら2号以降を買っていないため確認できません（会場―「おれもたしか3号まで持ってるんだけど……」「3号まであります」）。ということで、終わります（拍手）。

◆と学会こぼれ話・5

UFOやオカルトを無条件に信じる人々を〈ビリーバー〉と言うが、このビリーバーの人々とと学会メンバーが真っ向から対決したのがJPC（日本超科学学総合センター）主宰のイベント「UFO＆サイキックルーム」。山本弘・皆神龍太郎（本名で参加）・志水一夫の三人が、秋山眞人・堤裕司・大田原治男・韮沢潤一郎氏などと、UFO、宇宙人、レイ・ライン、超能力、催眠術、気功、キルリアン写真、オーラなどの事象に対し、肯定・否定の立場から徹底して論じている。いわゆるケンカ沙汰にならずに、ここまで否定・肯定両派が長時間論議を重ねた記録は日本では他にちょっと例をみない。
この模様はJPCから『サイキックバトルロイヤル』という記録集となってまとめられているので、読みたい方はお問い合わせを。（唐沢）

TONDEMO FILE
2024
Reporter/Hiroshi Yamamoto

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・横山信太郎

■アイテム
書籍・コミック・**雑誌**・ビデオ
レコード・CD・その他(　　　)

■タイトル
SFビック創刊号

■著　者・

■発　行・創明社

■価　格・380円

■発行日・昭和53年11月1日

■購　入・

■トンデモ度数 ★★

■ここがトンデモだ！
1970年代終わりから80年代初頭にかけてのSFブームに便乗しようという意図が見え見えですが、作りがあまりにずさんなため、見事に狙いを外してしまい、笑い者にされるだけに終わった、という代物である(トンデモ本というよりノーテンキ本かもしれません)。

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

皆神龍太郎

グレイの絵本、E・Tの塩漬け人形、モルモンネタの私家本など。アメリカの出版、通販はトンデモの宝庫！

皆神龍太郎（みなかみりゅうたろう）日本一（たぶん）の疑似科学ウオッチャー。何も信用してないくせに、アヤしさ爆発の超常現象を深く“愛して”いる。著書に『トンデモ本』シリーズのほか、『宇宙人とUFOとんでもない話』（日本実業出版社）などがある。E-mail:minakami@e-mail.ne.jp

97年2月

アメリカから取り寄せた、とってもすばらしい心暖まる絵本の紹介です。

これは小学校入学前の小さな子供用に売られている『セトの新しいお友達』（「CETO'S NEW FRIEND」）という絵本です。子供に新しいお友達ができて良かったね、というありがちな絵本なんですけど、この場合、そのお友達というのが、なんとグレイなんです（笑、拍手）。

いくら友達がいないからって、おまえ、グレイなんかお友達にしてどうするんだという気はしますよねえ。これはほんとに短い絵本なので、中身を紹介しましょう。まあどうしようもない内容ですけど。

とにかくグレイがいまして、実はセトというのはこのグレイのほうらしいんですが、男の子と女の子が遊んでいるところに突然このセトがやってきて、「僕も入れてほしいな」って、目が光ったりしながら、言葉巧みにすり寄ったりするわけです（笑）。

それで、互いに目と目で話しながら、「わーい、お

友達だ」と、E・Tと楽しく遊ぶわけですね。そして、いろいろ遊んだ後、「どうだい、僕のところに来ないかい」なあんて言ってうまいこと連れ出し、UFOに乗せてアブダクション（誘拐）するんですね。グレイといえば、アブダクション。これは、お約束です（笑）。アブダクションした後どうなるかというと、「どうやって目で話すか教えてあげよう」なんて、目の光り方なんか教えたりするわけですね。

UFOの中でボタンの押し方とか、何かわからん波動を見て、そのうち眠くなったので「おうちに帰ります」と言って、おうちに戻してもらって、そのかわり証拠として遊ぶためのキューブをあげて、セトのほうはお空に帰っていきましたという、これだけなんです。

これは心暖まりますね。でも、本当は何したかわかりませんね。グレイは、さらった人間は生体実験するのが常ですから。最後に眠くなったところなんて、実はアヤシイですよ。

本当にこの本、どうしようもないと思ったんですけど、米国のUFO専門の古本屋で、全く買う価値はないけれどもコレクターズ・アイテムと書いて売ってたもんでつい買ってしまいました（笑）。

何でこれがコレクターズ・アイテムかというと、実はもう一つ理由があるんです。この本の著者紹介によると、この本を書いた著者のレア・ハレイさん自身がアブダクティーなんですよ。そして、絵を描いた画家が米国最大のUFO団体「ミュフォン」の会員という、これはとってもコレクターズ・アイテムですね（笑）。

次は、全然つまらない一発の写真物です。単に私とオヤジさんが笑っているだけのなんともない写真です。ただ、この場合の最大のポイントは、握手の手の握り方。これ、わかる人いますか？　これは「ライオンズ・フォー」と言われている、メーソンの第3階位まで上がった人間たちがする握手で、こちらに写っている方は実は日本のメーソンの最高幹部のお一人なのです。つまり、日本のメーソンの最高幹部と、と学会の幹部がついに固い握手をしたという（笑、拍手）、と学会はフリーメーソンの手先かという、単に世の中に広まってる誤解を広めるだけのような、しょーもな

い写真です。この写真は誤用されるといけないので公開を禁じます（笑）。

メーソン・ネタが出たので、次はモルモン・ネタです。モルモン教の教典を全部最初からチェックし直して、そのどこがどう間違っているかというアラ探しは向こうのキリスト教の牧師がよくやっている仕事なんですけれども、この本は、そういうモルモン教アラ探し本のルーツともいえる本です。最初のページにあるのがジョセフ・スミスの絵。いわゆるモルモン教を開いた方ですね。これがブリガム・ヤング。常温核融合なんかで有名なブリガム・ヤング大学なんかをつくったというか、その名前のもとになっている人ですね。モルモン教の二代目の長となった人です。

今の1ページ目なんですけど、次の2ページ目から急に「濃く」なります。ジョセフ・スミスは、実は月に人間がいたと言っていたということから2ページ目が始まるんです。これ、聞いたことないですよね。「濃い」です。開祖のジョセフ・スミスによると、月には人間がいて、どんな格好をしているかというと、彼らは普通の人間と全く同じような格好をしているそうなんです。でも、二代目ブリガム・ヤングはそうじゃないと言い出すんですね。どういうふうに言っているかというと、月になんか人はいないと言うんです。「ヤングさんて科学的！」と思うとちょっと甘くて、実は太陽に人間がいるんだと彼は言っていたそうです。何も、月に人がいるか太陽に人がいるかで、開祖と二代目が論争しなくてもいいと思うんですけど。

その他、この本の中でどんなことをやってるかというと、これはモルモン教の原本の写本と今残ってるモルモン教典の正誤表を作って、どことどこが全面的に書き換えられているということを延々とやってます。それで何でフリーメーソンの後にモルモン教の話をやったかというと、実はほとんど知られてないんですけど、モルモンには秘儀というのがあるそうで、秘儀ですから人に見せてはいけないのですが、一種の踊りのようなことをするそうなのです。

その時はこのような格好、アンダーパンツを着て、このような踊りをするという、ほとんど知られてない

内容が書かれてます。
それで実は、開祖であるジョセフ・スミスがモルモン教を作った1年後にフリーメーソンに入りまして、これら秘儀はフリーメーソンから学んだものだとも言われているというわけなのです。
最後に、この本は自費出版でして、アメリカでもほとんど手に入らないです。でも、500ページ以上あるのに16ドルという大安売りな本でして、どうにか手に入りました。アメリカで唯一通販しているのが見つかった所がどこかというと、エリア51だけで通販してたってのもヘンでしょう！ 終わりです（拍手）。

97年6月

前にUFOコンタクティーのビリー・マイヤーさんの本を持ってきて、マイヤーさんのいろんなアヤシイUFO写真の話をしたんですけれども、その中に怪獣の国になぜかマイヤーさんが行って、そこで撮ったという実に変な写真があるのを紹介しました。この写真がそうです。プテラノドンであることはミエミエなんですけど、このプテラノドンの口の前にあるひもというか、草のようなものは何かなということが気になりませんか？ 実は、最近UFO研究家がこの謎を解明しまして、この写真の元となった絵の全景が見つかりました。だめだよ、マイヤーさん。人の絵全部写しちゃということですね。プテラノドンが自分の子供にちゃんと魚のえさをやっていたかどうかということが正しいかどうかわかりませんけど、その想像図を白黒写真に撮って単に張ってしまっただけという。マイヤーさんもちょっと手抜きしましたねえという話でした（笑）。
それとあと、これは通販物なんですけども、ご存じの方いますかね。『BRAINSTORMS』（申請書2027）という（写真1）、これ私がすごく気に入ってる通販なんです。このE・Tの塩漬け人形なんか唐沢さん、喜ぶでしょう（唐沢――「すいません、持ってるんです」）。持ってるでしょう。だって、この前持ってこられた尼さんのパンチング人形も載ってるもん、ちゃんと（笑）。
次のこれなんかすごくいいでしょ。大人の子供心をくすぐるといいますか、子供の体ほどあるポップコー

ンなんて、こんなもの買う人いるのかと思う代物。その下にあるのは馬糞型のパイ、こんなのも誰か買う人いるんでしょうかね、本当に。こんなものばっかり売ってるんです、この通信販売。

あとは、例えばこういうものですね。これも何なんでしょうね、人間の指がたくさんついてるんですけどね。あとこれ、手、写真2心臓、脳が皿に載ってたりして。ちょっと危ないですね、これはね（笑）。実はこれみんなゼリーに色つけて作ってあるんですね。だから、これはみんな自分で作れるんですよ。それを作るためのカップというか、入れ物を売ってるわけで、手首や心臓そのものを売ってるわけじゃないです。

それで、次のこれは私買ってしまいました。輪ゴム鉄砲です。いわゆる木でできた輪ゴム鉄砲で単に撃つだけです。でも「これさえあれば君の人指し指は要らない」という、このキャッチ・コピーが気に入って、つい買ってしまいました。

本当に一番欲しかったのは次のこれなんですけど。これは輪ゴム鉄砲でもちょっとケタ外れで、輪ゴムが何十発も連発で撃てるんです（笑）。これは欲しい！　百連発の輪ゴム・ガトリング砲！　これ本当に欲しかったですね。だけど、ちょっと高いんですよ。２９９ドルもするんで、買えませんでした。これは後で回しますから、皆さんが絶対欲しくなる一品ですよ。誰か買ったら僕にも遊ばせてください。

ここに出ているシャツなんかもつい買ってしまおうかと思いました。これは普通のシャツなんですが、背

写真1

中の部分に順に数字が書いてありまして、「スクラッチ・マイバック」というんです。よく背中を人にかいてもらう時に、なかなかうまくかゆいところに手が行かず、「ほら、もっと右上、右上」なんてことありますよね。そんな時に「Cの3」と言えば、それだけでもうかゆい場所がすぐわかるという、大変なスグレ物です。これはすごくいいですね。

次は、もはや日本じゃ誰も覚えている人がいなくなったという、かわいそうなブラジルの謎の生物、「チュッパ・キャブラス」[申請書2028](Chupa Cabras)です。実は最近、チュッパ・キャブラスがついに捕まりまして、その姿が今インターネットで流れてるんです。これがチュッパ・キャブラスだというのをいくつか持ってきました。これです[写真3](拍手)。これ、いくら何でもこの目はないだろ、この目はという気がします、これは。だもんで、さすが載ってるサイトにも「マペットである」とことわり書きしてました。やっぱりこれはいくら何でもちょっと恥ずかしいですね、ここまで来るとね。

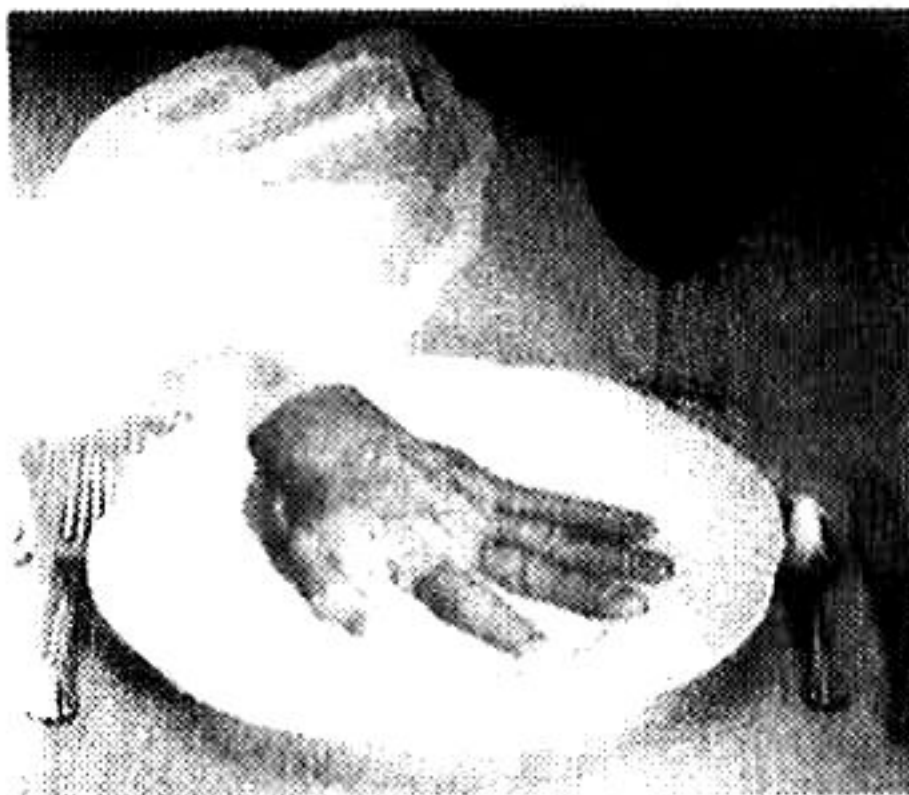
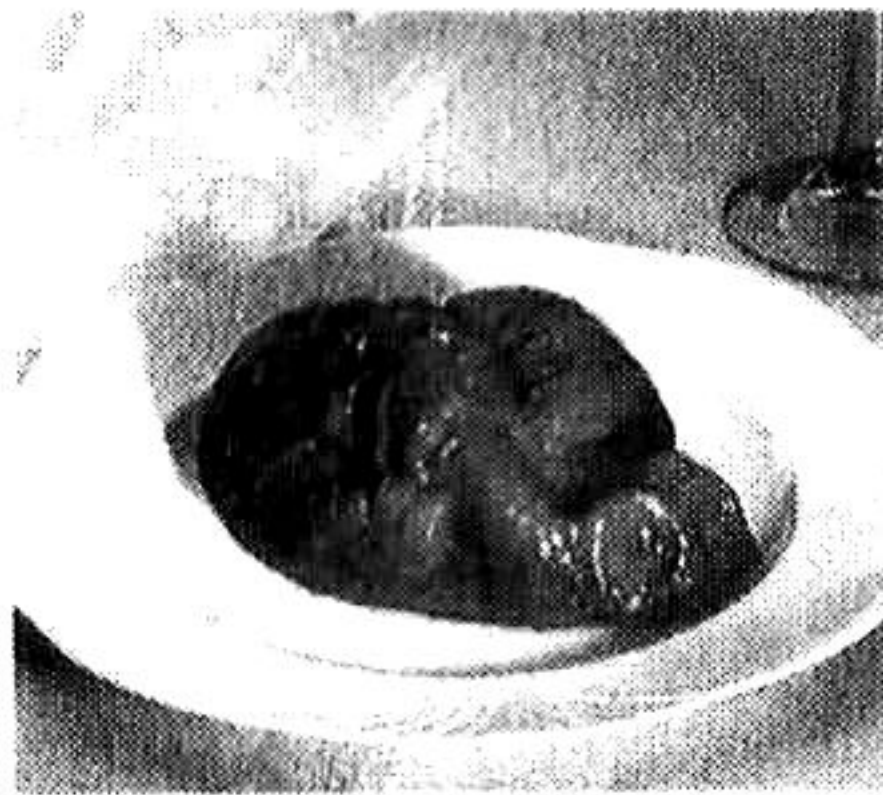
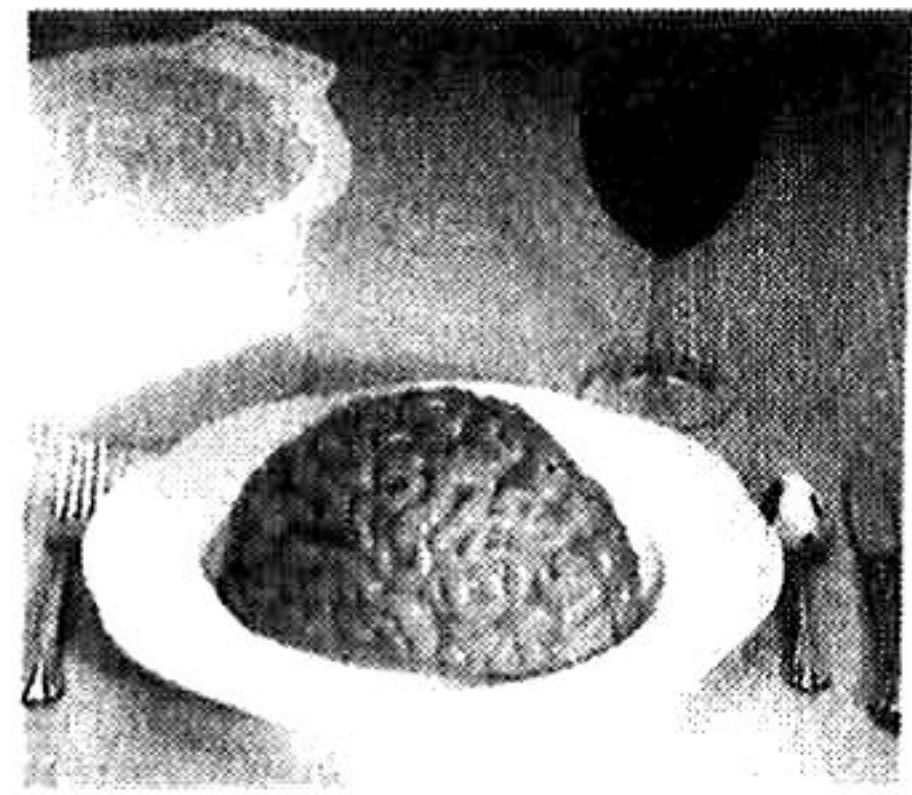
[写真4]次のこれも結構好きですね。これは多分オリジナル

Fill the Plastic Mold with Peach or Watermelon Flavored Gelatin and a Few Hours Later, Out Pops a Flesh-Toned Left Hand
What's next—Gelatin Man? Maybe. Our test

Fill the Plastic Mold with Cherry or Strawberry Gelatin and a Few Hours Later, Out Pops a Jiggly Heart-Shaped Dessert
Grab a spoon and taste the right ventricle.

Fill the Plastic Mold with a Gelatin Mix and a Few Hours Later, Out Pops a Life-Size Brain-Shaped Dessert
Yes, we have sick minds to think that anyone

写真2

写真3

作品だと思いますね。特に、この毛がいかにもブラシでなでつけてやったという感じでいいですね。

　次のイラスト。何かちょっと情けないですね。ついに捕まったというチュッパ・キャブラスの死体写真（写真5）というのがありますが、宇宙人でも何でも最近はすぐ出ますね、死体写真が。これ、何なんでしょうね。一応背中のガリガリ以外は何かよくわかんない写真ですよね。何か明らかに背中にとってつけていますけどね。これを前から撮ると口が結構かわいかったりするのがブキミです。

（写真6）次のは、ある人の書いたチュッパ・キャブラスの想像図なんですけど。全然似てませんね、何のつもりなんでしょう（笑）。ほとんど牛にとげとげをつけただけ、何かどうしようもないですね。

　本当、今日はろくなものを持ってきてないんですけどもう一つ、用意してきたビデオ（申請書2029）をお見せしましょう。このほどブラジルで宇宙人が捕まりまして、そのビデ

写真4

http://www.artbell.com

写真5

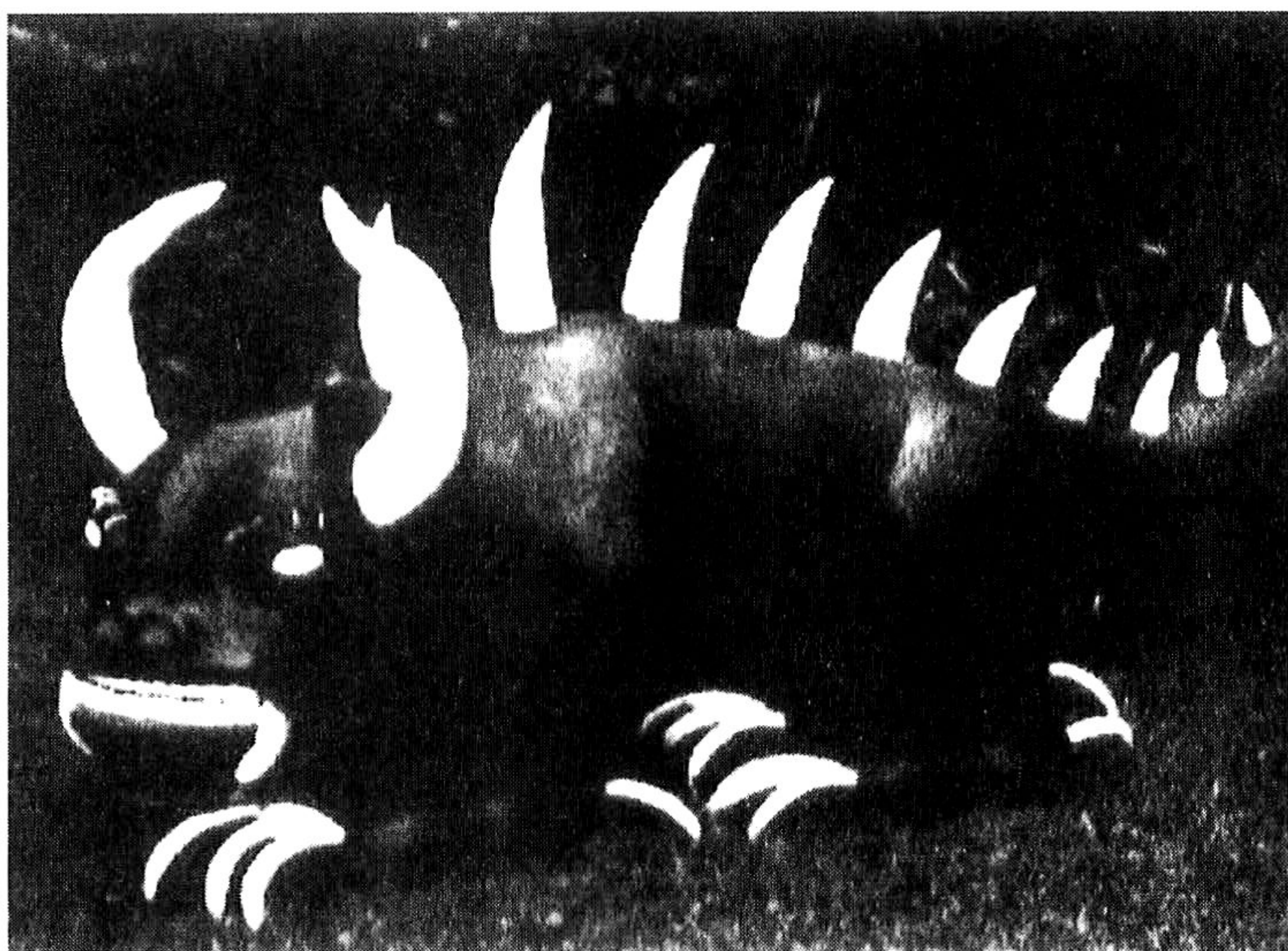



写真6

オを早送りで少しだけやりましょう。宇宙人を見つけたというのはブラジルの女の子の3人組で、一番年上が12歳といいますけど、その割には結構育ちがいい。この娘たちがどうしたかというと、単に歩いてたんですよね。歩いてたら、E・Tが座ってた（笑）。イラストが何かこう怪しい。壁の隅みたいなところに何かいたんだそうです。どういうふうなやつがいたかというと、こんなのがいたそうですね（笑）。座りうんこをしてるみたいですね。すごい情けない宇宙人ですね。体が油でヌタヌタしてきて臭かったという、そういう話ですね。あとは娘たちが逃げるという、単なるお決まりです、これだけ。

それで、結局僕が思うのは、宇宙人の正体は単に浮浪者さんが座りうんこをしてて臭かっただけじゃないかと（笑）。だって、ほかに何にも証拠がないんだもん、この事件。

このビデオ、実はオカルト雑誌の『ボーダーランド』に買ってもらったんですが、ビデオを一目見た編集部員が余りの内容のひどさに怒って投げた、というい わく付きのビデオです。そのため、ケースが欠けてしまいました。もう「皆神さんにあげる」とか言って私にくれまして、結局記事のネタにしませんでした。でも、その後に『ムー』でちゃんとネタにしてましたから（笑）。『ムー』はエライです。ここらが、つぶれる雑誌としぶとく生き残る雑誌の差かもしれません。

まあ大体こんなもんですけど、終わりです（拍手）。

◆と学会こぼれ話・6

と学会には、この本書に登場しているメンバーの他にも、さまざまな業界のさまざまな人達が参加している。宇宙開発評論家の江藤巌氏、マンガ家の伊東岳彦氏、物理学者の菊池誠氏、前野昌宏氏、特殊翻訳家の柳下毅一郎氏など。それから、藤倉珊氏の『日本SFごでん誤伝』のタイトルの元ネタ提供者であるSF作家の横田順彌氏も特にお誘いして会員になっていただいている。だから、ひとつのネタに対しても、と学会内部であらゆる分野からの光が当てられ、ツッコミが入るのだ。この豊富な人材もと学会の強みだ。（唐沢）

TONDEMO FILE
2025
Reporter/Ryuutaro Minakami

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・皆神龍太郎

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(　　　)

■タイトル
CETO'S NEW FRIENDS

■著　者・Leah A, Haley/
Illustrated by Lisa Dusenberry

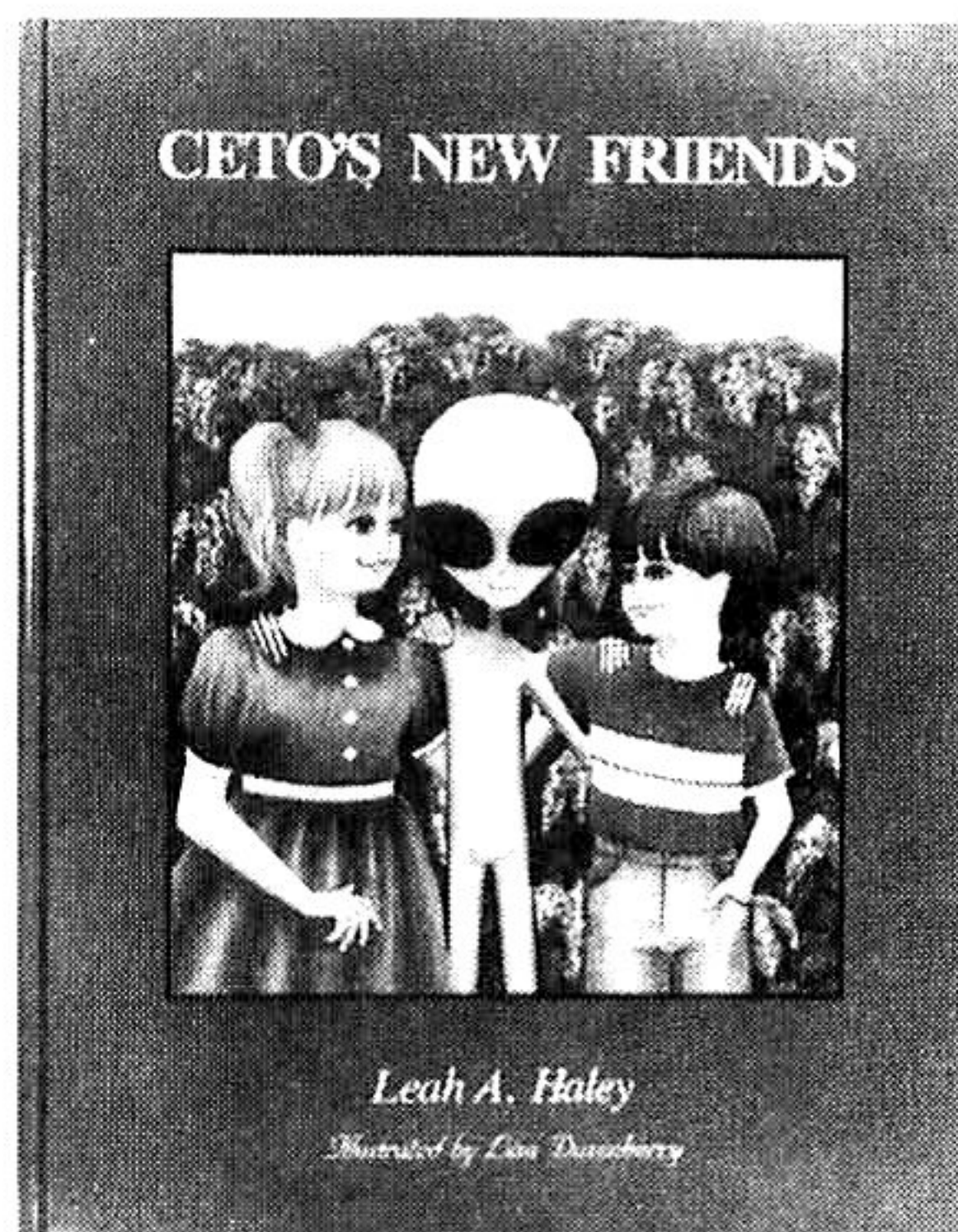
■発行・GREENLEAF PUBLICATIONS

■価　格・

■発行日・

■購　入・

■トンデモ度数　50

CETO'S NEW FRIENDS
Leah A. Haley
Illustrated by Lisa Dusenberry

■ここがトンデモだ！
グレイをお友だちと読んでしまうグッドなセンス。それに著者本人が宇宙人による誘拐(アブダクション)の被害者である、という点を除くと、本当に買う価値は何一つないといってよい1冊。

TONDEMO FILE
2026
Reporter/Ryuutaro Minakami

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・皆神龍太郎

■アイテム
[書籍]・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(　　　)

■タイトル
MORMONISM. SHADOW or REALITY?

■著者・JERALD&SANDRA TANNER

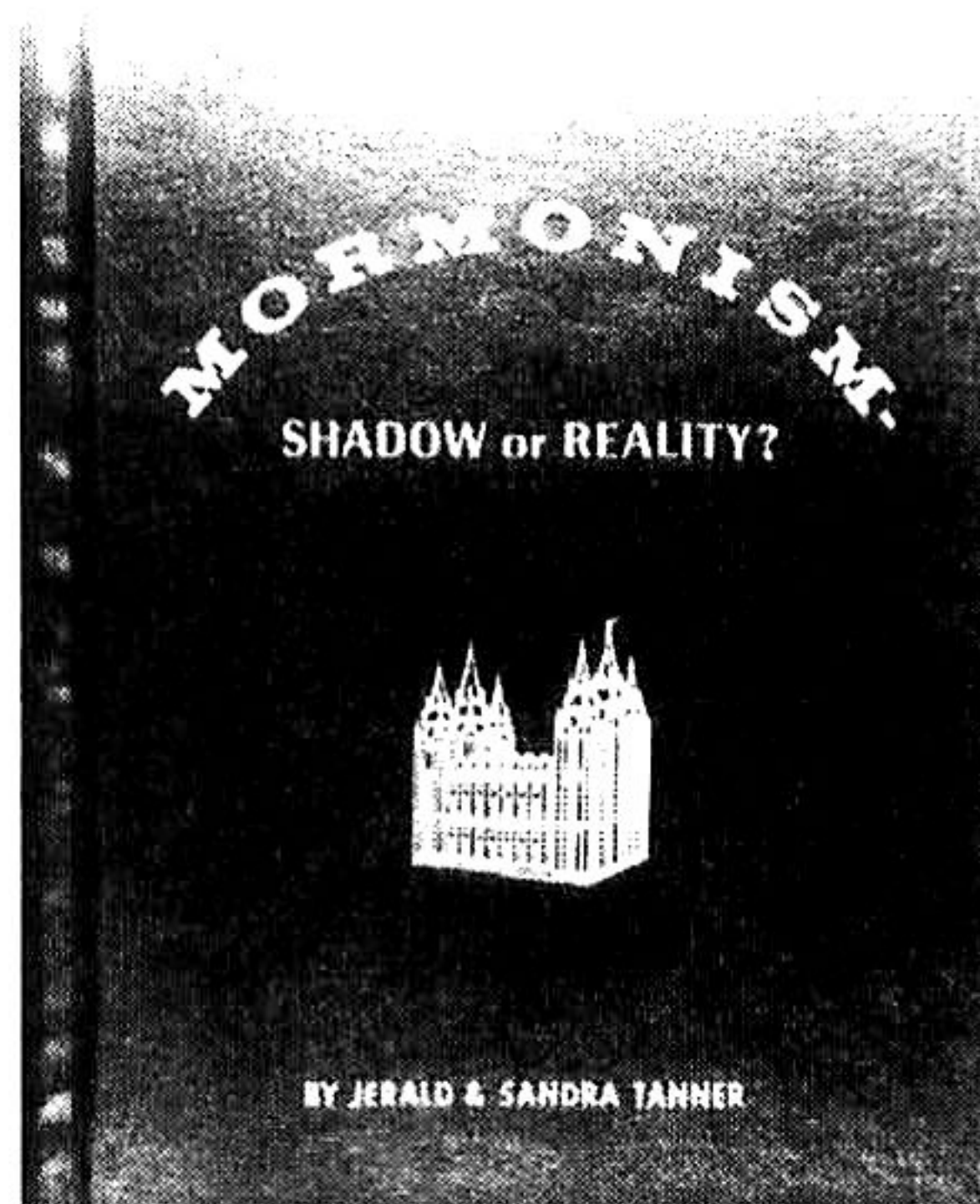
■発　行・Fifth Edition from Utah Lighthouse Ministry

■価　格・

■発行日・

■購　入・

■トンデモ度数

MORMONISM. SHADOW or REALITY?
BY JERALD & SANDRA TANNER

■ここがトンデモだ！
この本そのもののことを「トンデモ本」と呼ぶのはふさわしくない。……しかし、ユタ州の中で、こんな本を出している勇気は凄いと思うけど……。

TONDEMO FILE
2027
Reporter/Ryuutaro Minakami

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・皆神龍太郎

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(通販カタログ)

■タイトル
BRAINSTORMS

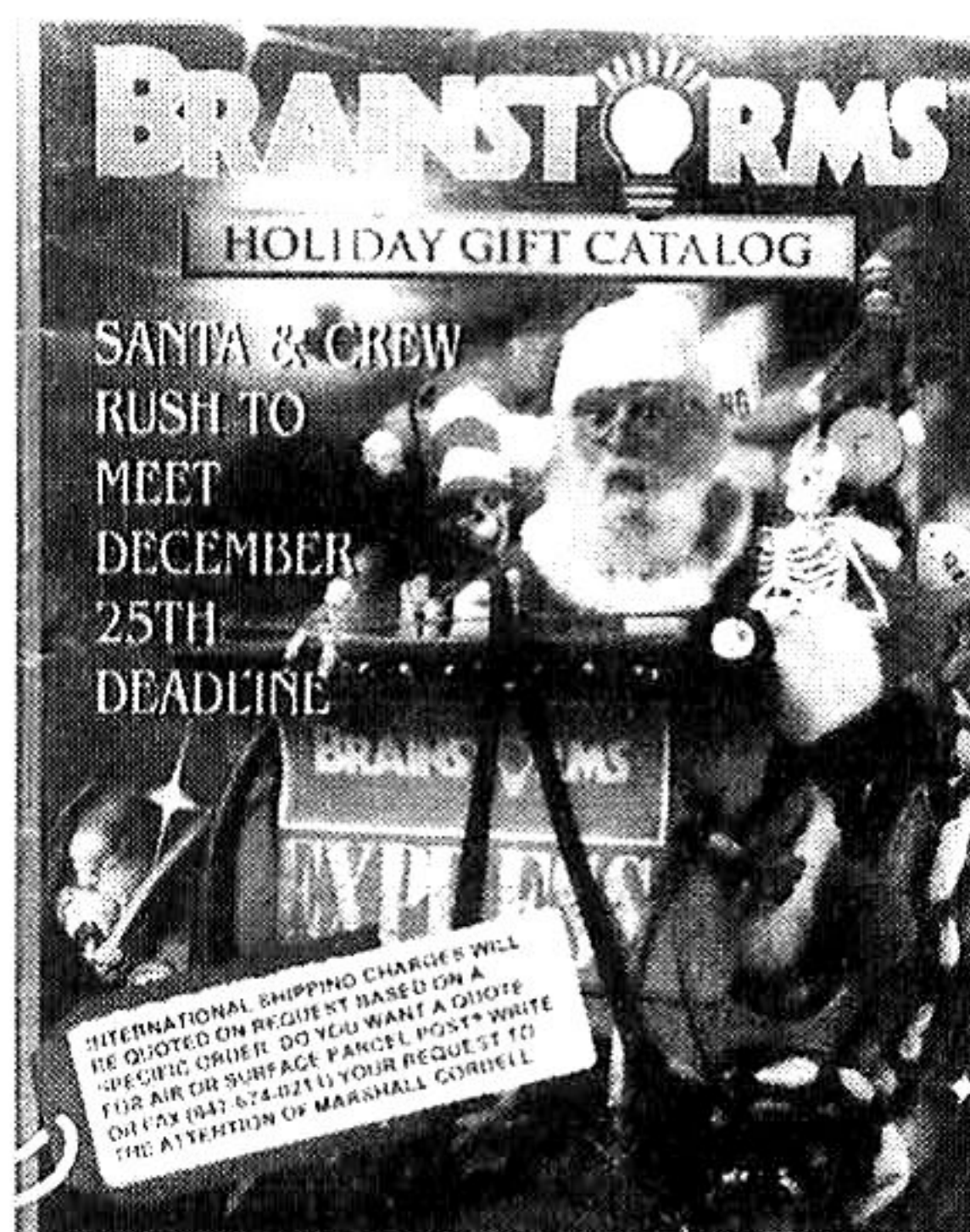
A Division of Anatomical Chart Co.
8221 Kimball,IL 60076-2956

■価　格・

■発行日・

■購　入・

■トンデモ度数　80

BRAINSTORMS
HOLIDAY GIFT CATALOG
SANTA & CREW RUSH TO MEET DECEMBER 25TH DEADLINE

■ここがトンデモだ！

BRAINSTORMSの関連店舗というのも3店あるらしいのだが、そのうちの1店が、なぜか大阪のアジアン・トレード・センター内にBare Bonesという名で入っているのだとか。ただ、この後、BRAINSTORMS自体は、トンデモグッズの通販を止めてしまい、骨格標本関連グッズの専門店になってしまった。しかし、内臓の形のゼリー型など一部の商品は、インターネットのAnatomical Chart Company（http://www. anatomical.com/）から通販することができる。

TONDEMO FILE
2028
Reporter/Ryuutaro Minakami

トンデモグッズ申請書

■申請者・皆神龍太郎

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
その他（怪獣写真とイラスト）

■タイトル
チュッパ・キャブラス

■著　者・

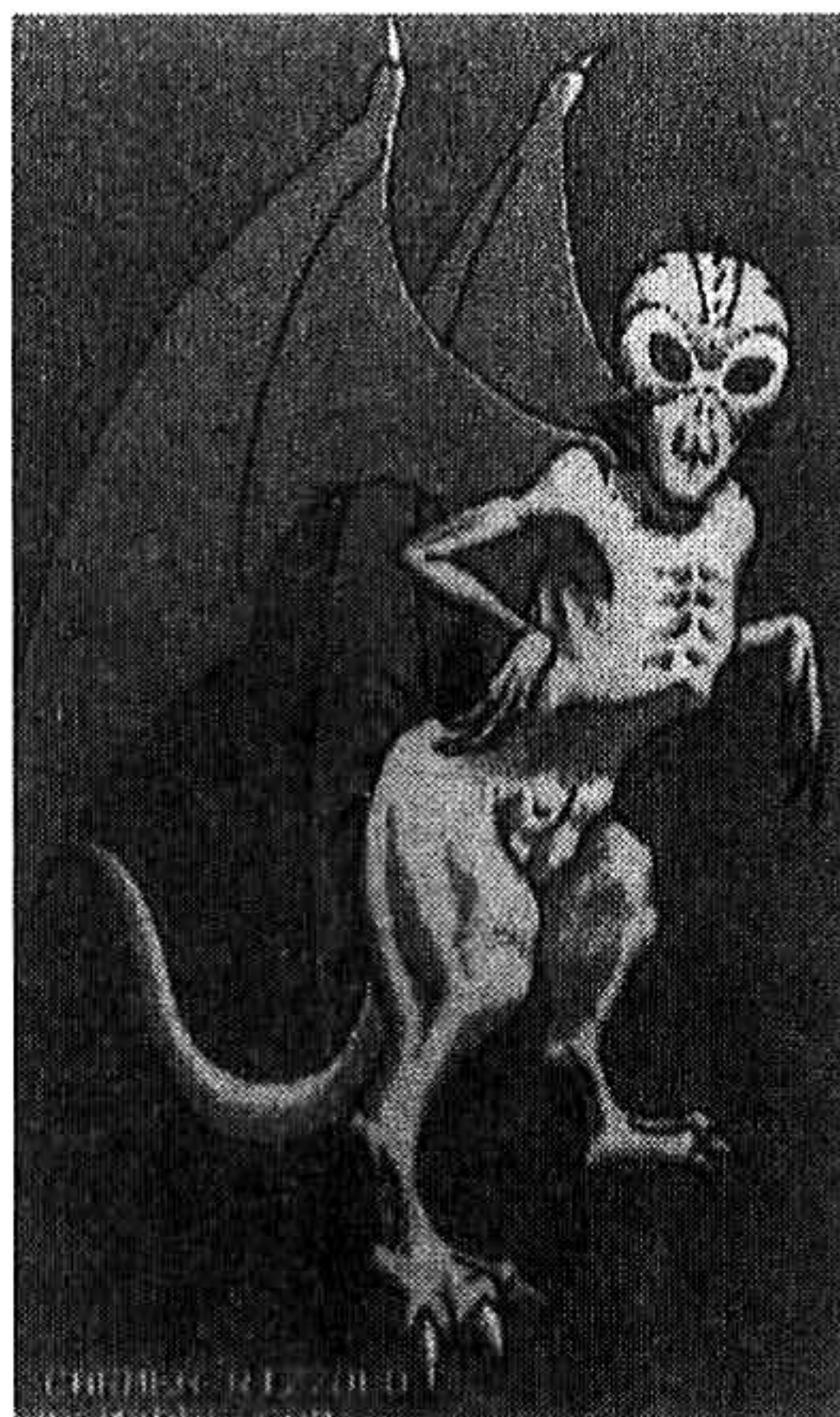
■発　行・

■価　格・

■発行日・

■購　入・

■トンデモ度数　50

http://www.artbell.com

■ここがトンデモだ！
インターネットの中には、ETだって雪男だって、ネッシーだって棲んでいる。チュッパキャブラスがいたっていいじゃないの！　“本物”ならもっといいけどさ。

TONDEMO FILE
2029
Reporter/Ryuutaro Minakami

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・皆神龍太郎

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・[ビデオ]
レコード・CD・その他（　　　）

■タイトル
Aliens Capured in Brazil

John Carpenter, MSW,LCSW
c Carpenter Research

■価　格・

■発行日・

■購　入・

■トンデモ度数　60

■ここがトンデモだ！

E・Tを捕獲したという、今じゃありがちな話のビデオ。UFO研究者によると、ブラジルの軍や病院が関わっており、関係者の個人名まで特定されているのだが、未だに何一つ具体的な証拠が出てこない。というさらにありがちな展開を見せている。
このまま忘れ去られる、というさらにさらにありがちな結末で終わるという可能性に1票。

眠田 直

凄いの一語。トンデモ本の一方の極致。

眠田直（みんだなお）漫画・アニメからゲームまで、何でもこなせる万能作家。代表作は『スターピンキーQ』（漫画／原作）『新・超幕末少年世紀タカマル』（ビデオアニメ／脚本）『鉄甲気艦アトラゴン』（パソコンゲーム／監督）他。また、最近はと学会会員の唐沢俊一、岡田斗司夫と共にオタク芸人トリオ「オタクアミーゴス」を結成し、各地で公演活動も行っている。共著の『オタクアミーゴス』（ソフトバンク）も好評発売中。眠田直ホームページ／(MINDY POWER) http://member.nifty.ne.jp/mindy/

97年2月

これが今日のネタです。『地獄に落ちた宗教界のドン　悪魔の祈女男』[申請書2030]。著者・発行者、共に天川生願。ハードカバーの立派な本ですが、どこにも出版社名が書いてありません。おそらく著者本人が自費出版した本だと思います。

アニメーターの芦田豊雄さんからいただいた本なので、入手経路はよくわかりません。と学会の活動が有名になったおかげで、最近は自分で苦労して集めなくても、周りの人が変な本を見つけると、私のところに送って下さるようになりました。ありがたい事です。

これは一応、創価学会批判本なんですが、単なる批判本だったら僕は持って来ません。著者の妻の美鈴さんという人が学会に入ってて、どうも学会の人と浮気しちゃったらしく、それが天川生願さんが創価学会を批判するようになったきっかけなんですけど、途中からだんだん妄想がひどくなります。

まぁ最初の一、二回の浮気は本当だったのかもしれませんが、天川さんはとにかく、妻とちょっとでも話

をした男性は、全部浮気相手だと思い込み始めて、例えばここに「美鈴はペアーでやったり複数でやったり、夫にわからない様に巧妙な手口でスリルとサスペンスを楽しんでいたのです。学会の会合が夜の9時に終わっても、すぐ帰ることはありません。副婦人部長なので幹部との打ち合わせで十一時~午前0時までは度々です。会合に行っていない時もあり、家庭指導に行っている時もあり、男の所に行っている時もあり、子供と母子相姦をやっている時もあり、学校の先生と関係している時もあり、昼間幹部とやっている時もあり、婦人部とお茶を飲んでいる時もあり、通院している医者とやっている時もあり、区会議員とやっている時もあり、私が車で事故を起こされた社長と関係している時もあり、私が請け負った電気工事の社長と関係している時もあり、農夫とやっている時もあり、親戚とやっている時もあり」…って、いくらなんでもそんなにはやってないと思うんですけど（笑）。で、美鈴さんの年齢ははっきり書いてないんですが「妻はもう生理があがっている」という記述があるので、多分40歳以上だと思うんですね。それで本当にこれだけやってたとしたら、逆にスゴイと思いますが。

母子相姦というのも出てきますが、この著者は本業が電気工事の職人さんなんですけど、その知識を活かして、家の中に盗聴器を取り付けたりするわけですね。それで息子と妻の会話を聞いているうちに、どんどんいろんな妄想にとりつかれていきます。

例えばこの章「家計簿に日記、不思議な文字」。「家計簿に読まれてまずいことをミミズが這っているような字体で書いてある。ローマ字でもない、ひらがなでもない、速記でもない、漢字でもない。何年も前からの家計簿が十数冊もあり、これだ…と思った」要するに妻が暗号で浮気日記をつけている、と思ったわけですね。

で、生願さんは東京大学の国文学の先生に、この暗号の解読を頼んだそうですが、「そんな事は出来ない」と簡単に断わられたそうです（笑）。そりゃまぁ、そうだろうなぁ。

本の中盤から生願さんの行為はどんどんエスカレー

トしてきて、ついには妻の浮気相手を殺害しようと本気で計画を立て始めます。「計画は鈴木が福生池田文化の会合に行く日々は知っているので、行く日に決めた。鈴木は車に乗って行くはずである。私は鈴木の車の後を追って、頃合を見て、『ドカーン』と追突をすれば、車は止まるはずである。鈴木が車から降りたところを、『大ハンマー』で頭を殴れば、死ぬだろう。殺した後に、『ペンチで鈴木の魔羅男根』を切る計画である」とか怖い事を言ってるんですが、

この時は結局、ターゲットの鈴木さんが子供連れだったので、「この状態・状況で後ろから追突すれば、子供も婦人も巻き添えになり、血だらけになってしまうだろう……と思うと、尻込みをしてしまった。この時、鈴木だけなら殺していたかもしれない」と、未遂に終わったんですけど、鈴木さん危機一髪ですね。

この後には「坂下農夫」という、奥さんの新しい浮気相手なんかも登場するんですが、なぜ生願さんが坂下農夫と妻の関係を怪しんだかと言いますと、単に隣に住んでる農家の方が、天川家との境の垣根のところにナスを植えたんですね。ところが生願さんの手にかかると「ナスは男根の象徴である。これは美鈴と浮気をしているというサインだ」という事になってしまう（笑）。かわいそうに坂下農夫は、この後生願さんから「このジジイはスケベです。何をするかわかりませーーん」とか罵倒されまくります。何をするかわからないのは著者の方だと思うんですけど。

この後はさらにハードな展開になります。妻の浮気相手が働いている工事現場の事務所に乗り込んで、「富士工の工事現場であばれる」「現場事務所を炎の海に、灯油で」とか、物騒な章題が続きます（会場—「本当に放火したんですか？」）。やっちゃったんですねぇ、コレが（笑）。はい、これが放火の現場図です。図1この本、こういう図が載ってて親切ですね。

そして次の章が「浅見と武田を大ハンマーで追い回す」ですが、さすがにここまで行きますと逮捕されますね。「豚箱は国際色豊かな留置場」。……で、当然留置場から精神病院の方に回される事になるんですが、天川生願さんは不屈の闘志を持つ人ですから、脱走を

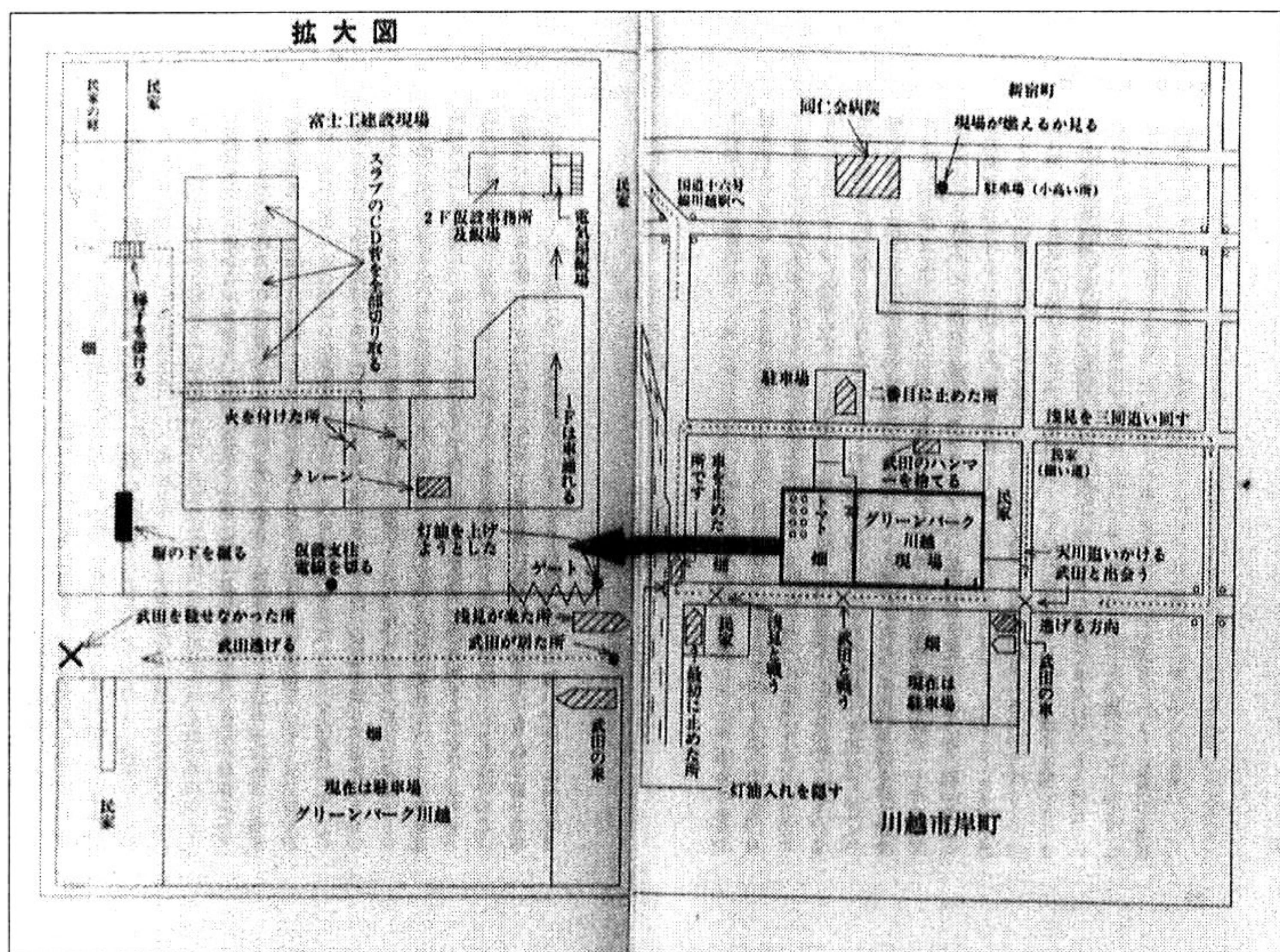



図1

企てます（笑）。「病棟から脱走、死を決意する」の章ですね。一度は脱走に成功するんですけど、結局捕まってしまい、最終的には弟さんが身元引き受け人になる事で、なんとか退院を許可してもらい、晴れて自由の身となり、この本を書き上げたという、なかなかに波瀾万丈な手記です。

あとがきも凄いです。「俺はこの本にすべての真実を書くから、これが嘘だと言うなら名誉毀損で告訴しろ」といきまいております。生願さんが奥さんと関係したと思い込んでいる人物の住所・氏名まで掲載されちゃってます。そのリストの横に「右の七人が、三ケ月以内に『告訴』しなければ、美鈴と肉体を関係した事に『決定』する」と高らかに宣言してます。

いやぁ、生願さんの周りの人はかなり困ってるんじゃないでしょうか。というところで終わらせていただきます（拍手）。

TONDEMO FILE

2030

Reporter/Nao Minda

トンデモグッズ申請書

■申請者・眠田　直

■アイテム

[書籍]・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（　　　）

■タイトル

**地獄に落ちた宗教界のドン
悪魔の祈女男**

■著　者・天川生願

■発　行・自費出版

■価　格・不明

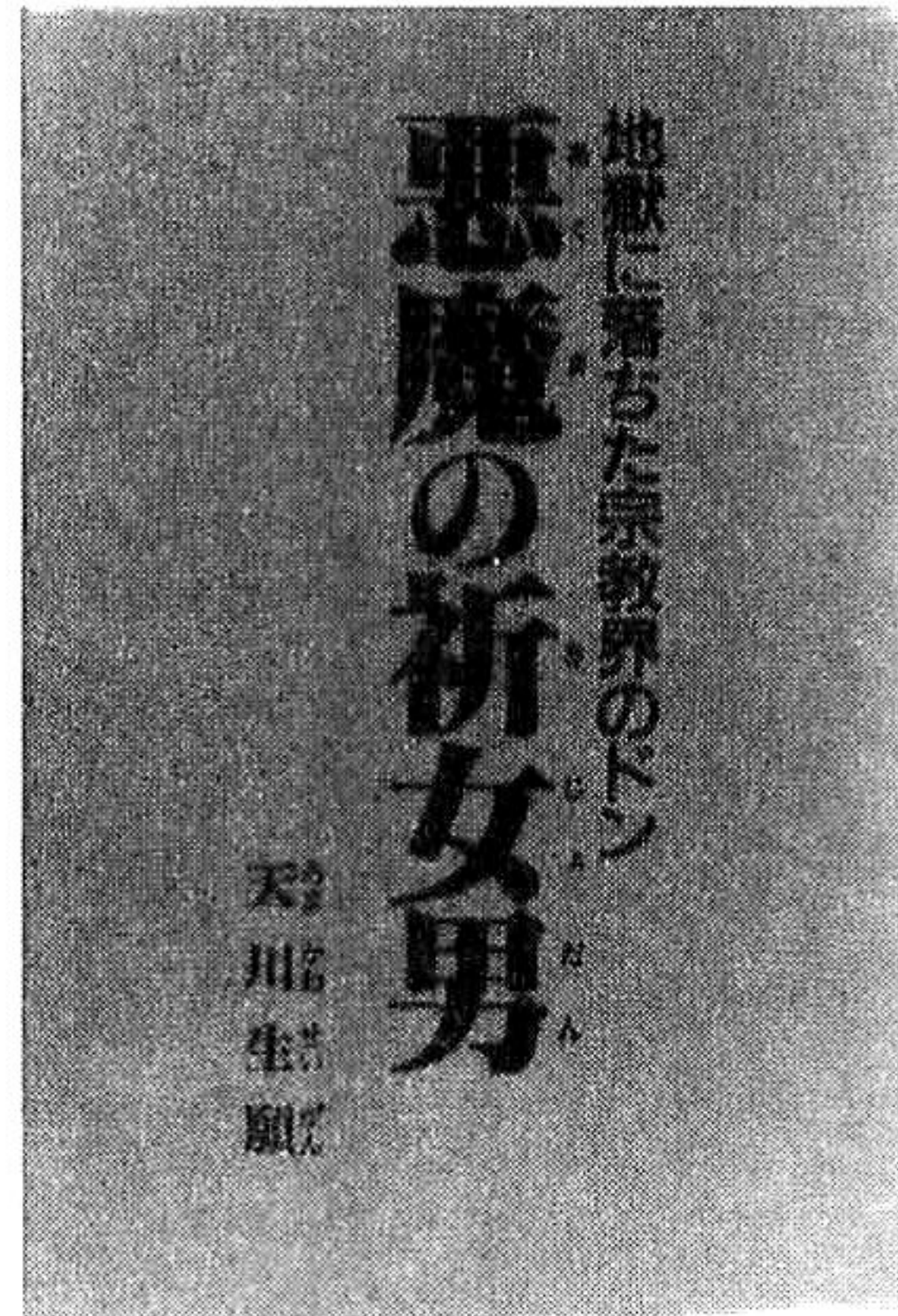
■発行日・平成6年1月5日

■購　入・

■トンデモ度数　★★★★

■ここがトンデモだ！

一見、よくある創価学会批判本のように見えて、ほとんど宗教的な部分の批判が無いところが素晴らしい。
美鈴さんの浮気に関する部分はおそらく著者・天川生願氏の妄想と思われるが、仮に事実であったとしても、その「やりまくり」ぶりは別の意味でトンデモないからイイや（笑）。

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

稗田オンまゆら

トンデモの発見のヒントは「微に入り、細にわたる」の典型

稗田オンまゆら(ひえだおんまゆら) 霊感タロット・水晶霊視を得意とする謎の占い師。志水一夫先生、唐沢俊一先生等のご厚情により辛うじて入会。「と学会公認黒魔術師」(!?)の異名を持ち、会員の懐の広さの証明となっている。どちらかといえばトンデモ業界に身を置き、『ニクい男、イヤな上司の呪い方教えます』(徳間書店)という「と本」の著者でもある。が、本人は「信じる人には水をかけ、信じない人には不可思議の世界を説く逆コウモリ」と自負(?)している。全ての宗教的事象、宗教や類似団体、不思議グッズの宣伝物が大好き。勿論占い記事執筆、個人鑑定など占い師としての仕事もこなす。お問い合わせはVEV01507@niftyserve.or.jp

97年2月

今回のテーマは「不謹慎」です。これは『なまえのない新聞』[注1]といいまして、ニューエイジ系の方のための新聞だと思うんですが、「暮らしの中のフラワーレメディー」、という記事です。まあいろいろ書いてあります。レメディーというのはお花を使った治療薬なんですけれども、「レメディーとはコミュニケーションの楽しさと答えることができます。花たちとのコミュニケーションとは、人間の歴史の中でいつの間にか片隅に追い込まれ、無視され、殺されてしまった多くの小さな生命、弱い存在と再び交流することでした。花々とのコミュニケーションは、無視され殺されてしまった小さな生命や弱い生命を知ることだと前述しましたが、それは言葉をかえていうなら、忘れ去られた大いなる宇宙の愛の存在に出会ったといえるでしょう」。

すごいですねえ。で、これ実際にレメディーというお花の治療薬をどうやって作るかというと、(作り方の図に付いているキャプションを読む)「よく晴れた日の早朝、満開の花をつむ。ガラスのボールに天然水

を満たす。花の治療のエネルギーを水に移す。同量のブランディーと花のエネルギーを移した水で原液でき上がり」。

まあいいんですけれども、花って種を作って子孫を残すために一生懸命咲いてるわけですよね。その首（正確には生殖器ですね）を引きちぎってこういうふうにするということが、忘れられた小さな生命との交流だということは、すばらしいと思いませんか（笑）。いいですねえ、すばらしいですね、感動しちゃいましたね（会場─「何だかなあ」「大交流だ」、笑）。

不謹慎その2。『聖母の騎士』（申請書2031）という、これはカトリックのまじめな雑誌です。長崎のほうの修道会が出している伝統ある雑誌なんですけれども、この中に、小ネタです。笑えない人は笑わなくて結構です。「カトリックの教え」という記事がございます。復活の経緯としまして、キリストがいかに復活したか、復活がいかに真実であるかということが書かれてあるんですが、それはいいんです。「明確なことは、キリストが実際に亡くなったことです。その点で聖書の記録は疑う余地はありません。『血と水が流れ出る』ほど心臓を槍で貫かれます。ファリサイ人の敵たちも死亡の事実を十分に認めています」。

そう、キリストは確かに死んだということですね。そして、……（一瞬の間をおいて）「全身を麻布で包まれ墓に葬られるため、生きていても窒息してしまいます」（笑）。

そこまで言うかという感じですね。キリストが死んだということをいくら強調されても、なぜ復活が本当なのかというのは、やっぱり私のような不信心者にはようわからんのですけれども、『聖母の騎士』を読んでいるようなカトリック信者の方にはそれがわかるということでしょう。恐らくそうだと思います。

97年6月

良識ある社会人の方々のお誘いでニフティーデビューを果たしました黒魔術師にして善良な市民、稗田オンまゆらと申します。よろしくお願いいたします。

まず、今日のテーマは、「健全な育成」でございま

す。まず、健全な女の子の育成に欠かせないのが、この「ANA'Sリカちゃん」でございますけれども、（プロジェクターを操作しながら）これはどうするんですか、黒魔術師は機械に弱いんです。（手伝ってもらって映る）……これは（申請書2032）ANAの機内で販売されたもので、2月の末に春休みを見込んで売られたんですが、1週間で売り切れだそうです。「家で待ってるお子様たち」にというコンセプトなんだそうですけれども、家で待ってる18歳の息子さんに買っていった方がいらっしゃったかかどうか、それは知りません。

　中身はいろいろ入っておるわけですね。ANAの制服を着たお人形ですとか、エプロンですとかストッキングとか機内サービス用の小物とかあるわけでございますけれども、例えば、（上着を少しずらしながら）こういうことをしてジョンベネちゃんごっこをしてみたりとか、あと全部あれしてこれして、そういうことをフライトアテンダント（スチュワーデス）の友達の前でやって嫌な顔されました（笑）。

　ちなみに、フライトアテンダントさんに言わせると、自分たちと全く同じ洋服を着ているお人形の服を脱がせられると、やっぱり何かイヤな気分になるそうです。欲しい方は7月頃ANAに乗るか、フライトアテンダントさんのコネを探してください。

　これは（写真1）非会員の某氏（ノンケ）[注2]が見つけたんですけれども、ある豊胸トレーニングの広告なんですね。健全な育成にはやはり「ペチャパイにさようなら」ということで、健全な胸の発育を促しましょう、私は遅かったんですけど。

　これ、まあいろいろあるんですね。体験者（申請書2033）のお写真なんでございますけれども、よく見てくださいね。18歳ですね、キョウコさんね。19歳カナコさん、21歳ケイコさん、みんな同じ服じゃないかという気がするんですよね。えりのところを見てください。ということは、これは卒業アルバムからとったんじゃないかという（笑）。これなんかどうしたら35歳に見えるんだろうって、たまにはノンケの視線も侮るべからずということでございまして、某氏にはオタク波動[注3]NC中です（笑）。

写真1

次、ご存じでしょうかね。これ何かよくわからないんですけど「毎月新聞」[申請書2034]（ミニコミ誌様の紙切れ）。私が出ている占いショップに投げ込まれたそうなんですけれども、詳しいことはともかくとして、見えますかね。「邪気—マイナス波動を発する品物とは」という大宮市Sオさんの投書です。「マイナス波動を出しているのは本、ビデオ、品物ということで、自宅には仏壇があり、先祖代々の位牌と両親の写真が飾ってあります。あとは恵比須、大黒の像です。書物はオカルト恐怖体験の文庫本、霊能者の体験談、大予言の解説本などがたくさんあります。これらの中でヤバそうなものを教えてください。また、マイナスエネルギーかどうかの判別は手のひらで行うのでしょうか」。

これだけでかなりヤバいと思うのは私だけでしょうか（笑）。ところが、この大宮市のSオさんはいろいろありまして、「TDIのCD[注4]『サイ』『リレーションヌエボ』『バックボーン』の3枚を持っています。『エンドジェスACTH』『脳梁』の2枚と交換してください」。

誰か持ってる人いますか（笑）。で、また大宮市のSオさん。「CDトニックはさっぱりききませんが」という見出しです。「5月号の記事を読み、大枚1万両をはたいてトニックを入手しました。5分でバカ笑いどころか、10時間聞いても耳が痛いだけで、クスリとも見えません。どういうわけか、責任ある答弁をしかと承りたい」。

ということで、この新聞の発行者がこういった商品を絶賛した記事を前号に書いたみたいなんですよ。そ

れでせっかく買ったのに、と言ったら、この人の回答。「ドーパミン（稗田注・いわゆる脳内麻薬というヤツですね）の本来量の差です」とのこと。「苦情はパーフェクトハーモニー（稗田注・メーカーらしいです）の方へ言ってください」。正論ですね。「それはともかくとして、エネルギー、いいかえれば情報がどれだけの価値、効き目を持つかは受け手次第です」。要するに、受け手次第だと[注5]。こういう新聞を作る人も投げてしまうマニアは世の中にいるんだなということで、次いきます。

　これは日刊スポーツです。チャラチャーン、「三島に見せたい『黒蜥蜴』」[申請書2035]。これはいいんですが、この美輪明宏様のソウルメイト（魂の友人）でいらっしゃるところの横尾忠則様のコメントです。こうおっしゃってますね。「世の中全部が美輪さんのような魂を持っていれば、地球も人類も滅ぶことがない。美輪明宏のすごいところは『私』に徹底したからだ。これこそが人生の極意である」。

　つまり、大蔵官僚も美輪明宏、警察官も美輪明宏、銀行員も美輪明宏、八百屋のおじさんも魚屋のおじさんもみんな美輪明宏になれば、この世は滅亡しないということで。皆様、想像してみて下さい（笑）。

　でも、私は思うんですね。なぜ滅亡しないかと言いますと、「オカマと言われても平気。私は文化に生きている」。つまり、みんながオカマになって異性との生殖行為をしなくなれば、人類の増加が抑えられるということなのではないかと。

　この間、発表したアクアマックスという化粧品なんですけれども（『と学会白書Ｖｏｌ１』Ｐ１０１参照）、皮膚の防護作用を破壊するとかどうたらとかという化粧品ですね。随分控えめになっちゃいまして、せっかくこのチラシ[写真2]を取り寄せたんですけど、わざわざ。「アクアマックス魔法の液体、骨太効果、化粧品の効能効果を倍増」。何かこんな洗剤みたいな瓶になっちゃって。「その他の効果、冷凍した肉や魚を解凍する際、アクアマックスを薄めたものをかけると、あら不思議。肉汁や魚汁が染み出ません」。

　細胞膜を破壊、バリアを破壊するんじゃなかったん

写真2

驚異の効果――"魔法の液体"

NACIIアクアマックスの驚異の効果

①「骨太」効果

②化粧品の効能・効果を倍増

●商品お申し込みは➡同封のハガキに必要事項をご記入の上、ポストに投函

でしたっけ、これって。それでも何で肉汁が、えっ？　何で何で何でとか思ったりするんですけれども。

じゃあ、ほかにもいろいろあったんですけれども、この方は万師露観(バンシロカン)様の奥様ですね。写真3 注6 このコスプレのセンス、すばらしいですね。この方は、ちなみに聖観音の生まれ変わりだそうですから、皆さん疑わないように。はい、失礼しました(拍手)。

正装(?)の稗田女史

写真3

注1　なまえのない新聞

発行所アマナクニ　一部400円　当該号は1996年末から1997年初めごろと思われます（残念ながら紛失してしまいましたので）。

このフラワーレメディー療法そのものを否定しているのではありません。ただ、この療法を賛美する筆の滑り方に突っ込みを入れさせていただいているわけです。
お花が一生懸命子孫を残す為に咲いているのを引きちぎって、花首を水にさらして、命を奪って、心身の調子が悪い人間を癒させていただく訳ですよね。それを「コミュニケーションの楽しさ」というのも一つの感じ方ではありましょう。が、私なんかは「なんらかの命をいただかなければ生きられないこの人間という存在の業の深さ」を感じてしまいます。

鯨やイルカを守ろう、などという文もよく寄せられています。鯨やイルカという命を守ろう、という運動はとても素晴らしいことだと存じます。この様な運動をされる方々は、「牛は神聖な生き物なのに、食べるなどとんでもない」「ブタを食べるなど野蛮な」とかいう抗議が他の国から来た場合、ビーフもポークも食べない方々なのでしょう。確かに、日本は鯨やイルカを捕って食べる野蛮な国です。ですが、昔昔、どこぞの国がスポーツとして「狐狩り」をしたり肉料理に舌鼓を打っていたころ、鎖国していた日本は、「四つ足」のモノを通常食べない国でした。……黒船が来るまでは……それでも、エビの踊り食いをするのは、やはり野蛮な国民なのでしょう。

注2　ノンケ

もとはホモ気（ルビ・ケ）の無い男性のこと。ここではオタクの「気」が無い人、という意味。

注3　NC

伯壬旭氏（＝万師露観氏。後述）率いる「ザイナスティア」（元・ザインの会）経営の「金環蝕」というショップで売られている「聖品」に施されているという「特殊技能」。
高い振動を持つ「数光線」の振動波形とそのものの原子核が持っている振動波形を狂信、いや共振させることでパワーボルテージを飛躍的に高めて、物質とか肉体などの目に見えるものの奥にある「エーテル体」（プラズマ体、ともいうそうです。大槻先生の出番だ！）とかいうものを改良するんだそうです。

で、「数光線」とは何か、というと……数多く存在する波動のなかでも原型となる極めて純粋なエネルギーで、0000〜9999の1万の種類があるとか。で、それぞれに「キーワード」が存在するそうで、ザイン・エネルギーにより明確勝つ強固な目的を抱いて天下った神々なんだそうです。

というわけで。ここではそのマネをして、と学会例会の波動を浴びせることにより、もともとオタクでない人のオタクボルテージを飛躍的に高め、オタクとしての自分に目覚めさせてみようかな、という位の意味です。この『トンデモ世紀末の大暴露』をお読みになっていらっしゃる方も、この本の波動によってさらにオタクボルテージを高めて下さいませ。

注4　TDIのCD『サイ』『リレーションヌエボ』……

多分CDを聞くことによって意識に変革をもたらすとかいう「精神世界グッズ」の商品名ではないかと思われますが、私も詳しいことはわかりません。

注5　受け手次第

続々と寄せられる埼玉のSオさんの投書を前に、複雑な顔の回答者（発行者）が目に見える様ですね……。

注6　万師露観氏（現・伯壬旭氏）

宇宙皇帝ザインはすでに地球の背後の力を掌握しており、万師露観氏はその地上身であられるそうです。同氏率いる「ザイナスティア」の出版部は「典範局」、会員は「国民、ブラザーフッド、朝士、聖騎士」などと呼ばれ、武道の鍛練に励んでいらっしゃいます。いずれ本当に革命を起こし、本物の「神帝政」国家になるとか。

この例会で見せたのは「金環蝕」発行の「核石倶楽部」34号（1996年12月発行）の表紙と記事です。万師露観氏の奥様（御帝室さま、とお呼びするそうです）であらせられる識緑姫氏が、冠を付け、剣を片手にした神々しいお姿が表紙です。

1986年の「悪魔戦争」の時には、悪魔に取り憑かれて苦しむ奥様が、「敵を斃したとたんにニッコリと微笑む」のだけを報酬に、数千回にわたる戦いを勝ち抜かれたそうです……この結果、宇宙皇帝ザインであられる万師露観氏は神と魔を融合させたそうです。
「妻緑姫こそ観音だ。観音の中の観音、聖観音なのだ」（記事より）
……「この平成の日本の片隅で、今この瞬間も、地球の運命をかけてサタンとの戦いを繰り広げている人たちがいるのだ。この驚くべき事実は、もっと多くの人が知っておくべきだと思う」（『トンデモ本の逆襲』より）。

◆と学会こぼれ話・7

と学会からはさまざまな人間関係が派生しているが、一番大きいものは、何と言っても岡田斗司夫・眠田直・唐沢俊一の三人によるトーク・トリオ『オタク・アミーゴス』だろう。もともと学会の二次会で交わされる、濃いオタク話の面白さを、自分たちだけが楽しんでいてはもったいない、という理由で、岡田氏が他の二人に呼びかけて結成したもので、すでに二十回以上も公演をし、各地で大絶賛を浴びている。ソフトバンクから『オタクアミーゴス！』という単行本も刊行されているので、興味のある方はそちらもぜひ、参照してみてください。（唐沢）

TONDEMO FILE
2031
Reporter/Om Mayura HIEDA

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・稗田オンまゆら

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（　　　）

■タイトル
「聖母の騎士」中の記事

■著　者・

■発　行・宗教法人コンベンツアル・聖フランシスコ修道会

■価　格・140円

■発行日・1996年10月1日

■購　入・

■トンデモ度数　自粛させていただきます

聖母の騎士 10
SEIBO NO KISHI CATHOLIC MONTHLY

■ここがトンデモだ！
恐らくこの方は「完全に死んだ状態」からの復活を強調されるために、「窒息してしまいます」とまで書かれたのでしょう。学校や寮などでさんざんカトリックの教えやシスター方にお世話になりながら洗礼を受けず、このような異端の道に走った罪深き身を、どうぞお許し下さい……。

TONDEMO FILE
2032
Reporter/Om Mayura HIEDA

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・稗田オンまゆら

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・[その他(玩具)]

■タイトル
ANA'Sリカちゃん

■発売元・全日空商事株式会社機内販売係

■製造元・株式会社タカラ

■価　格・5000円（税込）

■発売日・1997年2月下旬

■購　入・同　上

■トンデモ度数　★★★

(機内アナウンスのシナリオまで付いています)

■ここがトンデモだ！

最初にこの商品が企画された「企画会議」の方々は、本当に「家で待ってる小さなお子様たちへのおみやげ」以外の買われ方をするとは予想だにしていなかったのでしょうか。だとすれば、「制作者の意図とは違った意図で楽しめる」という「トンデモの定義」を十分すぎるほど満たしていることを以下の事件は示しています。某月某日　と学会の例会の二次会において、このANA'Sリカちゃんと思われる人形が裸にされた上、ワリバシにハリツケにされ、さらにはイカのゲソ焼きとからまされて「ホクサイマンガ(北斎漫画)!」、刺身の舟盛りに乗せられて「女体盛り!」とさんざんにもてあそばれた上、写真に撮られるという悲劇が発生。と学会のノリについてゆけない心やさしい女性ゲストを恐怖のどん底に陥れた。その場でいちばん盛り上がったと思われるM神先生、U木先生、H田氏等は「記憶にない」と後にこれを否定。事件は伝説のうちに葬り去られた、という。

備考／このように「ごむたいな遊び方をしながらも、まず本体が汚れないようにラップできちんとくるむ」「『北斎漫画』『女体盛り』という日本の古き良き文化(?)をモチーフにしている」「持ち主の意図を尊重し、最後の良心としてパンティとストッキングは脱がせない」という点に、と学会会員の良識(どこが?)を感じるものである。(M神先生談)　この後、リカちゃんは丁寧に包み直され、大切にしまわれています。リ、リカちゃん、ごめんなさい……!!(モノダマにあやまる稗田)

TONDEMO FILE
2033
Reporter/Om Mayura HIEDA

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・稗田オンまゆら

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(雑誌広告)

■タイトル
豊胸トレーニング講座

連絡先等は自粛します

■価　格・

■発行日・

■購　入・

■トンデモ度数 ★★★★★

友達から、羨望の的に……。
香川県(18才)
■京子さん
夏になるとTシャツになるのがいやでした。

上向きの、形の良い乳房に!
北海道(21才)
■恵子さん
一日十五分のトレーニングでOKというコピ

Aから Cへ。奇跡を実感!
福岡県(19才)
■加奈子さん
器具や手術は絶対イヤだし、かといって色気

効果に主人も驚いています。
神奈川県(24才)
■千代子さん
半信半疑で始めました。少しでも形良くなれ

■ここがトンデモだ!

この豊胸トレーニング法が正しいか否かはわかりませんが……(AカップがCカップに……、えーっと、03-××××-、ハッ、私ったら何を……!)。いえ、この3名の方と2名の方が、たまたま同じ学校に通っていて、その後全国に散り、たまたま同じ豊胸トレーニングを受けて、カンドーの誌上ご対面……なのかもしれません。

だったとしたら、ごめんなさい。

TONDEMO FILE
2034
Reporter/Om Mayura HIEDA

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・稗田オンまゆら

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(新聞)

■タイトル
毎月新聞

■発行人・小川孝義

■価　格・1部300円

■発行日・平成9年増刊号(私が週2回出ている占いSHOPに投げ込まれていたそうです。どんな方だったのかはわかりません)

■トンデモ度数 ★★★
(著者の意図したとおりに楽しんでしまったようなので)

■ここがトンデモだ！

「超能力者よ驕るなかれ」「邪気を祓うカバラの秘法」「猫手気功」など盛りだくさん。「新聞の形式をとっていますが、気功、超能力の秘伝書」だそうで。「この新聞で野菜を包めば長持ちする」んだそうです。「実際、顔は内臓の状態を映し出す自前のスキャンだ(スキャンの後ろにティはつけないでもらいたい」など、オヤジギャグ満載の文体は、通常の「電波系チラシ」と違って結構楽しく読ませて下さいます。むしろ、読者投稿の法が濃い。その他にも「CDトリートメントTRをCDパパベルと交換して」などなど、能力開発グッズ(私にもよくわかりません)の名が次々出てきます。でも、「交換して」というからには、1)目的を達成した、2)効かなかったので、他人の持っているであろう効きそうにみえるモノと取り替えてもらおうとしている……、どちらでせう。ところでこの大宮のSオさんの本棚に『と学会白書』や拙書『ニクい男、イヤな上司の呪い方教えます』はあるのでしょうか。発行人氏によれば「宮崎某氏の部屋に山と積まれた残酷なホラー映画から発する邪気は、気功をいくらかでも訓練した人なら、足を踏み入れることさえ出来なかったと思われます」のこと。と学会員の部屋やと学会例会の会場は……、恐ろしいですねえ。

TONDEMO FILE
2035
Reporter/Om Mayura HIEDA

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・稗田オンまゆら

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（新聞）

■タイトル
三島に見せたい黒蜥蜴

■発　行・
日刊スポーツ 平成9年5月25日26面
（美輪明宏さんインタビュー記事中の横尾忠則さんのコメント）

■価　格・

■発行日・

■購　入・

■トンデモ度数 ★★★★★
（横尾忠則さんのコメント部分のみ）

三島に見せたい
黒蜥蜴
美輪明宏

■ここがトンデモだ！
おまわりさんも八百屋のおじさんも、みーんなみーんな美輪さんのように美しく装えば、きっと世の中美しくなることでせう。カンリョウも銀行員もあの姿でノーパンしゃぶしゃぶへ入って行けば、ノーパン娘もハダシで逃げ出すことでせう。
「美輪明宏さんは僕のソウルメイト（魂の友人）だ。（中略）天才に愛される美輪さんも当然天才だ。美輪さんはもう二度とこの地球に転生しない人である。全てのカルマ（業）を解消してしまっているからだ」（横尾忠則さんのコメント）……合掌。

備考／ある番組で美輪さんにお会いしたことがありますが、思わず「私にもDHC化粧品下さいっ！」と叫びたくなるほど、美しい方でした。カリスマ性とはこういうのを言うんだなあという、存在感のある方でした（ビリーバーモード）。

志水一夫

春画と般若心経のトンデモな邂逅

志水一夫(しみづかづを) 作家・科学解説家。1954年、東京都新宿区生まれ。慶應義塾大学文学部卒。日本で唯一『科学朝日』(現『サイアス』)や『ウータン』などの一般科学誌と『ムー』や『ボーダーランド』などのいわゆるオカルト誌との双方で活躍。95年4月、ゲスト講師として、正規のカリキュラムの一部としては史上初めて、東京大学でUFOをテーマに講義を行なった。『トンデモ超常学入門』『「神々の指紋の」の超真相』(共著)『UFOの謎』『大予言の嘘』(以上、データハウス)『宜保愛子イジメを斬る!!』(小池書院)『トンデモ超常現象99の真相』(共著、洋泉社)など、著書多数。訳書に『超古代史の真相』(東京書籍)がある。

97年6月

この間と学会のパティオでご紹介しましたこれが『春画 般若心経』(申請書2036)。どういうのかというと、題名どおりでございます(笑)。中は春画と般若心経の解説が1見開きごとに入れ子になって載ってるという(笑)。題名に偽りはないんで、副題に「色は即ち是れ空なり空は即ち是れ色なり」とあるように、要するに色即是空の色というのをいろいろにとったと(会場―「その時代をテーマに描いた空海の漫画によく似てる」)。

内容はちゃんとした紹介で、誰が解説文を書いたか何も書いてないんですけど、脚注は『広辞苑』第4版によったと書いてあります。本文は下手な新興宗教のよりよっぽどまともな内容でございますが。

で、前半が「春画 般若心経」なんですが、後半が唐突に……まあ、ページが余っちゃったんだと思うんですけど、「艶色江戸草紙(つやいろ)」になっちゃってて、江戸小話という(笑)。よくわからないんですけど、全然宗教に関係なくて、ごく当たり前の小話がいろいろ書いてある。下の方の挿し絵はいろんな春画のモノクロ

のトレースですね（会場―「出版社はどこですか」）。出版社は三心堂出版社という（会場―『神秘人』の」）、そうそう、なぜか大槻教授が連載をもってて、スグになくなっちゃったオカルト雑誌ね。他にも『ココア健康法』とか、いろんな本を出してますけども。

そのいろんな本を出している、これも割とミスマッチですけど、やっぱりこの本が一番ミスマッチですよね。ただ、前半は歌磨の完全無修正版なので、定価1300円なら、まあお買い得かなという本でございます。

それから、来る途中に『マシュマロくらぶ』というエッチ雑誌（会場―「まだあったんだ」）、いや、これ古いんです。古本屋さんで平成8年12月発行の第15号で（会場―「古いエッチ本って古本屋に売ってるもんなんだ（笑）」）、何でこれを買ったかというと、ほかのページもおもしろいんですが、やっぱりこれですね。丹波哲郎と毛利高明「キ○ガイ同士のトークバトル」という（笑）。

要するに前にやってた丹波哲郎のテレ東の深夜番組『丹波哲郎の不思議議世界』の話で、これは画期的なトーク番組であると。なぜかというと、ゲストがしゃべらんで、ホストばかりしゃべる（笑）。要するに、ゲストがいつも同じで、ホストが変わるような番組であるという点が画期的だという、それはたしかにそうかもしれませんね。

ところが、1回だけ例外があって、それが毛利高明君という、これは大槻教授と同じ事務所にいる少年霊能者といわれてた人です。ただ、大槻さんも事務所が変わったので、あのとき彼はどうしたかというのは何も報道がなかったんですけど、誰か知ってる人は……、いないですよね。事前に察知して逃げたというなら大したものですけど。それで、毛利君はあまり早口なので、さすがの丹波さんもあれには入れなかったという、それだけの話なんですが。あと、顔がすごい怖い。栗本慎一郎と今田耕司と三波豊和を足したような顔。で、よくいえばというか何というか、外国の俳優の若いころに似ていなくもないというふうに紹介してありますが、さあて。

霊能力があると称する人のほとんどが甲状腺に障害を持っているという話があるけども、早く医者に行けって書いてあります（笑）。ほんまかいな。
　まだ時間があるんで、ちょっともう一つ。ご存知、徳間書店の吉田大洋著『謎の出雲帝国』です。私、これが感動したのはなぜかといいますと、中に出てくる富當雄（とみまさお）さんという方が主人公というか、あれなんです。ここに出てくる『女性自身』という女性週刊誌の「シリーズ人間」という、大体、普段は身体に障害のあるお子さんをもったお母さんの苦労話とか、そういうのが載ってるわけですけど。そこで「4000年のタイムトンネルに生きる男」というすごいタイトルで、これは何じゃといったら、要するに出雲系の神話を一子相伝で語り継いでるということなんだけども、語り部であって語り部じゃないんですね、これ。一子相伝で門外不出なんで、語ろうにも語れない語り部という（笑）。
　私、当時この『女性自身』を読みまして、強烈に知りたいと思った。でも、この本の著者の吉田さんが連絡をとってみたら、内容はすべて話せないけど、質問に答える程度ならいいでしょうと言って会ってくれたと。で、いろいろ聞いた話を確かめに出雲の何とか神社という所に行って、ここのご祭神は今は何とかという神様だけども、昔はこの神様でしょうって聞いてみると、「えっ、何で知ってるんですか」という話になる。明治時代に朝鮮系の神様なんで、祀り変を強制されたんですけど、実は本来は主祭神がこちらで、今は副祭神になってますというような話をされて、そこそこの背景はあると。まあ、明治時代には、出雲に限らずそういうことは全国的にあったらしいんですけどね。
　で、実際に一緒に出雲に行くと、「ここで私の先祖が殺された」と言って泣き出したりするという、なかなかすごい話なんです。
　というのは、この吉田大洋さんという人は超グローバル史観の人なんで。どうしてこの富さんが話してくれるようになったかというと、シュメール語訳の『古事記』という、戦前に、発禁になるのに決まっている

ので50部だけ刷ったというやつを持ってらして、それに基づいた話をしたら、私が聞いてるのと同じだと言ったというんですね。おいおいという。

シュメール語訳の『古事記』というのは、漢字で書かれた古事記の発音をシュメール語に当てはめて、それでシュメール語で読むという無茶苦茶な、トンデモ系のノストラダムス本も顔負けみたいな読み方をしてるんですけど、それがなぜか妙に一致したということになっておりまして（会場―「持ってるよ」）。本当？さすがと学会ですね、見たい見たい。で、その後、富さんという人がこれがまた経歴というか、生い立ちがすごくて、元産経新聞編集局次長というのがすごいなという。当時67歳だから、今ご健在かどうかわかりません（会場―「いや、もう16年ぐらい前に亡くなられました」）。そうですか、じゃあもう永遠の謎になっちゃったんですか（会場―「一子相伝はしたんですか」「吉田大洋さんが次の後継者になったんです、結局」）。

じゃあ、一応全部彼は話を聞いたんだ（会場―「そうそうそう」）。そうですか。それ、どこかで全部発表せんかのう（会場―「だから、吉田さんはそれから口が重くなっちゃって、あまり書いてくれない（笑）」）。そう、しょうがないなー。大体、今一回本を出せば、かの八幡書店が日本政府の向こうを張って、戦前に弾圧されて1冊も残ってないはずの本でもちゃんと見つけてきたぐらいだから、一度活字にして出しておきさえすれば……、いつか誰かがトンデモ本のネタにしてくれるかもしれない（笑）。

というわけで、今回もちょっと薄いんですが、とりあえず何とか3点用意できました。また次回をお楽しみに（拍手）。

TONDEMO FILE
2036
Reporter/Kadzuwo Shimidzu

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・志水一夫

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（　　　）

■タイトル
春画般若心経
色は即ちこれ空なり　空は即ちこれ色なり

■編　者・三心堂出版社編集部

■発　行・株式会社三心堂出版社

■価　格・1300円（税込）

■発行日・1996年6月5日

■購　入・

■トンデモ度数　★★★

■ここがトンデモだ！

「般若心経」をめぐるトンデモ本っはいろいろあるが、そういうものの多くは、内容、特にお経の解釈がトンデモないというのが大部分である。ところがこれは、その部分に関してはマトモすぎるくらいマトモなのだ。しかし、タイトル通り、構成が実にトンデモない。

恐らくは、「般若心経」をめぐる数々のトンデモ本の中でも、構成のトンデモなさでトンデモ本になっている唯一の存在なのではないかと思われる。　これ、「般若心経」の部分のために購入する人って、いるんでしょうか？　次はぜひ、唱え続けると死者さえ生き返ることがあると言われる『延命十句観音経』で出してほしいものです。きっと大いなる御利益があることでしょう。なお、今回たまたまエッチ系の本がいくつも登場しましたが、エッチ系の本のコラムには意外にオカルトネタが登場することが多く、しかも本音で書いているせいか、なかなか参考になることが少なくないのです。

TONDEMO FILE
2037
Reporter/Kadzuwo Shimidzu

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・志水一夫

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（　　）

■タイトル
謎の出雲帝国
天孫一族に虐殺された出雲神族の怒り

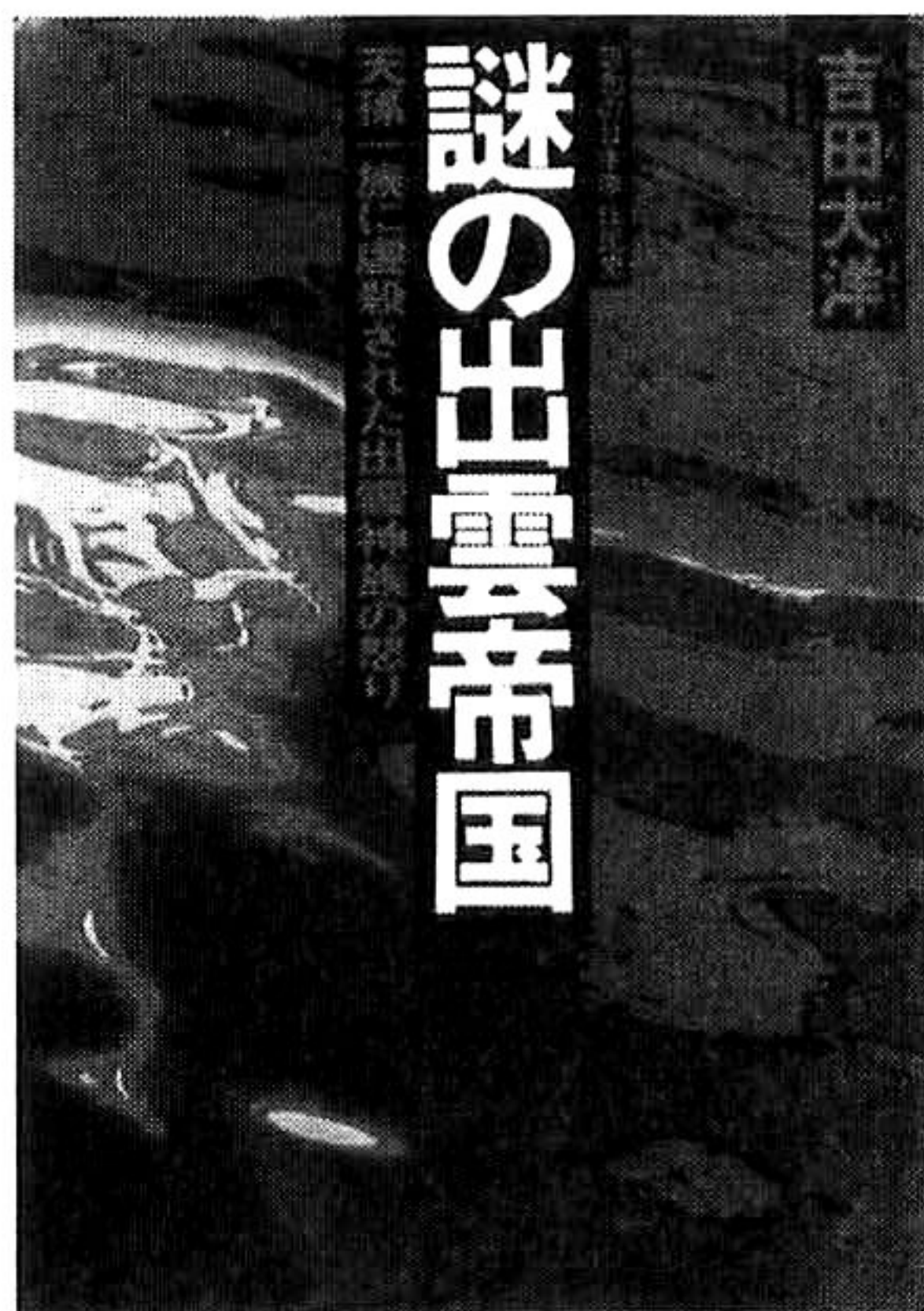
■著　者・吉田大洋

■発　行・徳間書店

■価　格・980円

■発行日・1980年5月31日

■購　入・

■トンデモ度数　★★

■ここがトンデモだ！

国譲り神話として美化されている天孫族の出雲族征服の歴史を一子相伝で口伝えされているという人から聞き出した、本当の日本古代史!?

話自体もすごいけど、聞き出せたきっかけが「シュメール語訳古事記」だったというのも、なかなかすごい。両方がよく似ているというのだが、どちらも危機の裏返しなので、結果的に似てしまったものなのか否か……？　そう言えば、『ヤマト』の逆をいった『ガンダム』の逆をいった『マクロス』が、どことなく『ヤマト』に似ていたってこともありましたっけ。

ひょっとして、それぞれの氏族の秘史を語り継ぐ、似たような「語れない語り部」は、かつては日本のあちらこちらにいたのではなかろうか。

そして、いわゆる「古史古伝」（戦後書かれた偽書であることが明白な『東日流外三郡史』以外は、実際には江戸自体に成立したものと思われる）の中には、実はそういった情報が核となっているものもあるのではないかという気がしてならないのである……？

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

神 博士

トンデモ系大学教授 2人の理論

神　博士（じんひろし） 1960年生まれ。会社員。新潟県出身。新潟県在住。日本南極地域観測隊の経験あり。格闘技オタク。特に神秘系格闘技に興味あり。

97年6月

『水の記憶が病気を治す』[申請書2038]、続編が『情報水だけがあなたの病気を知っている』[写真1]。古本屋で100円で買ったものです。最初、題名を見た時ホメオパシー[注1]かなと思ったんですけど全然違いまして、ラジオニクス[注2]と飲尿療法の組み合わせでした（会場―「尿の中にも情報が入っているんだ」）。小便の磁気情報を水に移して、それを飲むと健康になるという（笑、会場―「飲みやすいですね」[注3]「それはやっぱり尿を写真に撮ってその上に乗っけておけばいい」「上にフロッピーを乗せるとか」）。それで、なぜ水に情報が移るかというのがちゃんと書いてあって、水の分子が磁気を帯びて、ビデオテープやフロッピーディスクのように情報を記録するということですが、この人はフォーマットという概念を知らないんでしょうか（笑）。

あと本文を見ると、この治療法で治ったという人の症例がいろいろ出ています。小さい頃からのアトピーが1カ月で治ったという劇的な治癒例もありますが、1年とか2年単位で治った人もいて、これって自然治癒じゃな

いかという（笑）。プラシーボ[注4]効果もないんじゃないかというレベルだと思うんですけれど。情報水を保存していたペットボトルがむれて異臭を発して、そのために不健康になったという、そんな例まで出ています。こういうのでも研究したいという人がいるそうで、中国の上海交通大学微型計算機研究所副教授、電子工学の助教授ということですが、この人は装置の回路図を見た上で研究したいと言ってるんでしょうか？

巻末には本文で紹介した施設の御案内。いろんな医療施設が興味をもってこの療法をやっているということですが、よくみると、「HOF青山」と「タカハシサービスセンターHOF」、この2つは名称から考えて同じ団体ではないでしょうか。それから「アクアパーククリニック」「波動薬膳研究会」。どんなことをやっているのか興味ありますが、これも「HOF青山」と同じ住所なんです。この4つの団体は実は1つではないか？（会場——「一応ちょっと違う書き方をしてるんだ」）ということで、何か信用できないなという感じでした。

『申請書2039 ET地球大作戦』。ジョークなのかマジなのかよくわからない本でしたね。内容はぶっ飛んでいるのですが、構成はまともですし、通常この手の「宇宙から信号が来て云々」という話を書いている人にしてはずいぶん書き方が違います。「これは惑星進化のための3次元版マニュアルである」と、本当にマニュアルとして書いてあります。基礎用語とかね。それで内容は、「我々は銀河系の使命を背負っているけれども、ほとんどの人はそれを忘れてしまっている。それでその使命を思い出した、覚醒した人のためのマニュアルだ」という。内容はあれこれ言ってもしょうがないのです

写真1

が巻末にはET国勢調査と称して覚醒した人のためのアンケート調査もあります（笑）。
　それで、著者のほうは多分ジョークですが、訳者あとがきを見ると「私達は無限の宇宙に存在している」とか「プレアデスのメッセージ伝達云々」とか、訳者は完全に信じていますね。この訳者、このほかに『プレアデス十かく語りき』[注5]といったチャネラーの本を訳しています。玉川大学文学部外国語学科教授だそうです。

◆と学会こぼれ話・8

　と学会の主な情報交換はパソコン通信のパティオ上で行っているが、残念ながら会員しかアクセスできない。公開の会議室ではニフティ・サーブのＳＦフォーラム３にある超科学会議室に、山本会長がときどき書き込んでいる。また、歴史フォーラムの超歴史の部屋では永瀬唯氏が活躍。唐沢俊一氏はコメディフォーラムに自分の会議室「裏物探偵団」を持っているし、このフォーラムにはオタクアミーゴスの会議室もある。興味のある方は一度のぞかれては？（唐沢）

注1　ホメオパシー

　18世紀末サミュエル・ハーネマンによって開発された治療法。病気と同じ症状をおこす薬品を水で極端に薄めて飲むことによって病状が改善するという。水の中に薬品の分子が1個以下になるまで希釈するため、通常の理論では薬効があるはずがない。そのためホメオパシー支持者の中には、水の分子がなんらかのかたちで薬品の情報を記憶していると主張する人々もいる。

注2　ラジオニクス

　1900年代初頭、アメリカ人医師エイブラムズが銅線や抵抗を組み合わせて作った装置。これを用いて病気の診断や治療を行ったが、電気的にはまったく意味のない回路。ここでは科学的根拠のない診断及び治療装置の総称として使っている。

注3　写真に撮って……、フロッピーを乗せる

　三上晃著『植物は警告する』に由来する冗談。『トンデモ本の世界』（洋泉社）P48ページ参照。

注4　プラシーボ効果

　偽薬効果。要するに「イワシの頭も信心から」「病は気から」。病人に薬効のない偽の薬を投与（例えば水を注射する、小麦粉を飲ませる等）しても、患者が効くと信じていれば病状が改善する。

注5　『プレアデス十かく語りき』

　株式会社コスモ・テン発行　バーバラ・マーシニアック著　大内博訳。プレアデス人とチャネリングした著者がプレアデス人のメッセージを記したもの。日本語版のまえがきはプレアデス人とチャネリングした大内夫人が書いている。ここでいうプレアデス人はプレアデス星雲のエネルギーの集合体で、ビリー・マイヤーがコンタクトしたプレアデス人セムヤーゼとは違うようである。

TONDEMO FILE
2038
Reporter/Hiroshi Jin

トンデモグッズ申請書

■申請者・神　博士

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（　　　）

■タイトル
水の記憶が病気を治す

■著　者・増田寿男

■発　行・メタモル出版

■価　格・1200円（税込）

■発行日・

■購入価格・100円

■トンデモ度数　★★★★

■ここがトンデモだ！
最もインパクトを受けたのは、飲尿療法とラジオニクスの組み合わせだが、その他にも「情報水」をビデオテープに例えている点や微弱な磁気情報といいながら、ノイズ対策に言及せず、誰でも簡単に行えるといったり、ツッコミどころは多い。

備考／続編『情報水だけがあなたの病気を知っている』もある。

TONDEMO FILE
2039
Reporter/Hiroshi Jin

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・神　博士

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他（　　　）

■タイトル
ＥＴ地球大作戦

■著者・銀河カウンシル作戦本部&ゾーブ・ジョー

■訳　者・大内博

■発　行・株式会社コスモ・テン

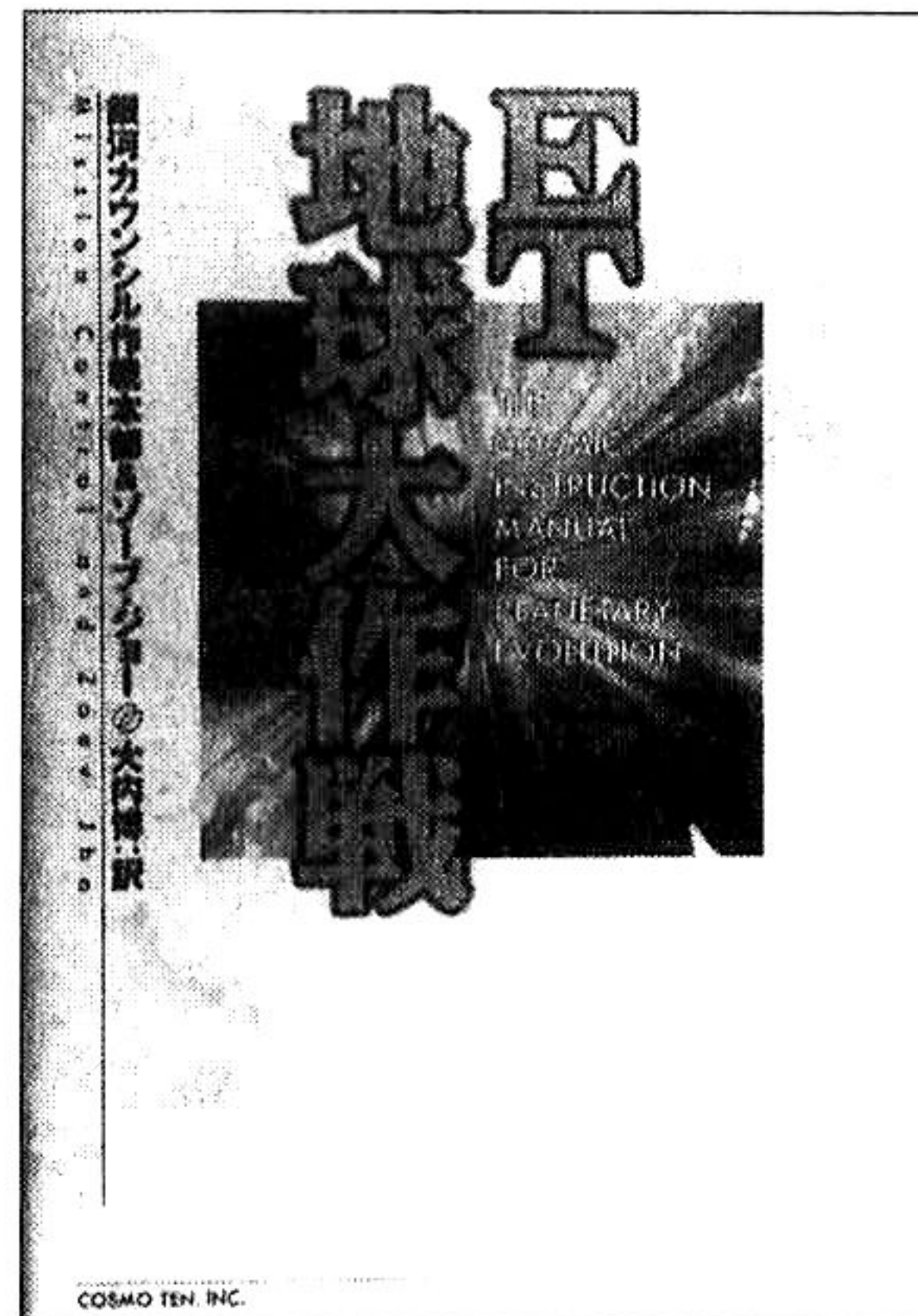
■価　格・1600円（税込）

■発行日・1996年10月26日

■購　入・1997年3月頃

■トンデモ度数　★

■ここがトンデモだ！
本文から感じられるテイストは、SFファンのそれである。しかし、訳者あとがきはビリーバーのものであり、この組み合わせがトンデモである。本文だけ、あとがきだけ、ではトンデモと言えるほどのものではない。

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

原田 実

壮大なテーマに迫る卑近なアプローチ

原田　実（はらだみのる） 文明史家。1961年、広島県生まれ。龍谷大学文学部卒業の後、出版社、昭和薬科大学助手を経て、パシフィックウェスタン大学博士課程修了。著書に『幻想の超古代史』『幻想の津軽王国』（以上、批評社）『黄金伝説と仏陀伝』（人文書院）『怪獣のいる精神史』（風塵社）など。その他、古代史関係の論考多数。インターネット「作家原田実のホームページ」http://www.dtinet.or.jp/~techno/

97年6月

何かゾッキで結構出ていたそうですけど、これ中国の健康食品を扱っている華僑の人たちが日中友好、観光のおともにということで出した『四遊記』[申請書2040]という叢書です。

まず『東遊記』といいまして、これは田中芳樹先生の『創竜伝』ですとか、ジャッキー・チェンの『酔拳』ですとか、あるいは水木しげる先生の『悪魔くん』とかでおなじみの8人の仙人が出てくる話ですね。人間界の国に介入して戦争を起こさせたりとか、あるいは龍宮に攻めていって海ごと焼いてしまうとか、ろくなことしません（笑）。

同じ叢書で、これが『南遊記』でして、この主人公が実に激しい鍛錬をやってるところですとか、ちょっとどこかで見たような絵がよく使われてます（画面に[写真1]明らかに白土三平と諸星大二郎の劇画からとった絵）。割とアリモノの絵を使っているんですよ、この叢書。これなんかもどこかで見たような感じの絵がまとまっています（画面に複数の恐怖劇画のコラージュとおぼ

南遊記

霊光厳しい鍛錬

龍王、倒れ滅びる
子供に油断大敵

35

写真1

しき絵）。これは地獄の風景でして、次のこれは主人公の華光が地獄からお母さんを助け出すところ、「ポアーポアー」と言いながら出てくる、とっても怖いお母さんです。「ポア」というのは、人喰い妖怪という意味なんだそうです（笑）。

『南遊記』には『西遊記』の孫悟空ですとか、『封神演義』の哪吒（なた）とか出てきますし、この『北遊記』のほうは『三国志演義』の関羽が出てきます。『南遊記』と『北遊記』というのは冒険活劇なんですけども、何せ主人公が次から次へと輪廻転生を繰り返して、そのたびに新しい人間関係をつくるんで、もう話がどんどん収拾つかなくなっていきます。もともと壊れた物語の上に、この翻訳が本当に適度に壊れた日本語ですので、とっても心地よくなります（笑）。

それから、前田豊さんの『古代神都東三河』（申請書2041）と『倭国の真相』。よくありそうなテーマの本だなと思われがちですが、まあ自分のうちの近所に邪馬台国と大和朝廷の起源と蓬莱山とピラミッドがあって、聖徳太子までいたという、それだけのよくあるテーマの本です。

ただ、二つ、ほかの似たような本にあんまりない特徴というのがありまして、一つはこの著者にとっては「目に映るすべてのものがメッセージ」なんです（笑）。読めますか、この辺（画面に「君子国云々」というくだりのページが現れる）。『山海経』[注2]に君子国という、虎を飼っている国のことが出てくる。この国が著者の家のご近所にあるはずだということで調査に行きます。すると、そこには「旅館『とらや』」がいやでも目に入る。なるほど君子国はここに違いない」と、そういう話がこの本にはたくさん出てくるんです。『倭国の真相』のほうでは、[注3]青山閨秀を読んでうなずいたってちゃんと書いてあります。

それから、もう一つの特徴は、この人はすごくたくさん本を読んでまして、学術書とか専門書はないんですけれども、とにかく本はいろいろ読んでいる。で、大体こういうことを言い出す人というのは、ほかの人を攻撃するんですね。ところが、前田氏はほかの人の説をけなさない。すごく人柄がいいんです（笑）。

で、けなさずにどんどん引用するわけです。デカン

高原が高天原だという高橋良典[注4]さんとか。結局、高橋良典さんの本でも、ちゃんとこの人が読んでいけば東三河の方にもってこれるようになっている（笑）。

それから、大杉博[注5]さんという阿波ファンダメンタリストの人がいるんですけども、その人の本からの引用でも、阿波じゃなくてちゃんと東三河にもってこれるようになっている。つまり、この人は引用することで相手を全部相対化するという、ひょっとしたら真っ向から否定するよりひどいことをやっているんです。本当に困るのは、そうやって相対化されている中に原田実の『優曇華花咲く邪馬台国』（批評社）という本も入ってるんです（笑）。これは、1994年発行。邪馬台国所在地の結論は肥後北部説なんですが、前田豊氏にかかると、東三河説の本として読めてしまうらしい。

というわけで、ハート・ウォーミングな2題でした（拍手）。

注1　哪吒　（なた）

中国明時代の伝奇小説『封神演義』の主要登場人物の一人。神仙が作った少年の姿の人造人間。『西遊記』にもゲスト出演、天界で謀反を起こした孫悟空と戦った。中国での人気は高く、彼を主人公とした映画、コミックが今も多数作られれている。

注2　山海経（せんがいきょう）

古代中国の地理書。中国とその周辺の物産、神怪などについて記す。夏王朝の祖・禹（ウ）王やその治世を助けた伯益などに仮託されるが、実際の成立は戦国時代（前403～221）以降。現行の刊本には東晋の郭璞（カクハク）（276～324）の注がつく。

注3　青山闇秀

『理性の揺らぎ』『アガスティアの葉』『真実のサイババ』などの著書でサイババとアガスティアの葉のブームを巻き起こした人物。アガスティアの葉は青山氏と某女流将棋士が結婚すると告げたそうで、自らその予言があてにならないという実例となった。

注4　高橋良典

日本探検協会会長。地球文化研究所所長。太古、日本の人が地球全域を支配していたという証拠を求め、世界各地の遺跡をフィールド・ワーク中。主著として『謎の新撰姓氏録』（徳間書店）がある。

注5　大杉　博

倭国研究所所長。徳島県在住。四国山中に邪馬台国、高天原、蓬莱山があり、さらに古代イスラエルの「契約の箱」（アーク）まで隠されていると主張する。主著として『天皇家の大秘密政策』（徳間書店）がある。

TONDEMO FILE

2040

Reporter/Minoru Harada

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・原田　実

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(　　　)

■タイトル
四遊記

■著　者・
『東遊記』『南遊記』『北遊記』
及び『西遊記』3冊の全6冊翻訳本
『西遊記』は堀江和正監修・訳。他の3冊は竹下ひろみ訳

■発　行・エリート出版社

■価　格・1600～2000円

■発行日・1987～88年　一時はゾッキ本で出ていました。

■トンデモ度数 ★★★★

■ここがトンデモだ！

日本であまり知られていない明代伝奇小説『南遊記』『東遊記』『北遊記』をメジャーな『西遊記』と合わせるというアバウトな企画。一つの叢書になると、なぜ他の3つが『西遊記』のように有名になれないのかよくわかる。意味がわかる程度にこわれた翻訳の加減も絶妙。しかし、『西遊記』以外の日本語訳はこれが唯一というあたり、まだまだ中国ブームも本物ではないと実感してしまう。

備考／版元のエリート出版社の所在は名古屋だが、発行協力者として「上海日中友好有志」と奥付けにある。全巻揃えると健康食品（花粉もしくは仙人茶）がもらえるという初版特典あり。次に漫画版、アニメビデオ版を出すという企画も予告されているが、実現しなかったらしい。

TONDEMO FILE
2041
Reporter/Minoru Harada

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・原田　実

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(　　　)

■タイトル
古代神都東三河

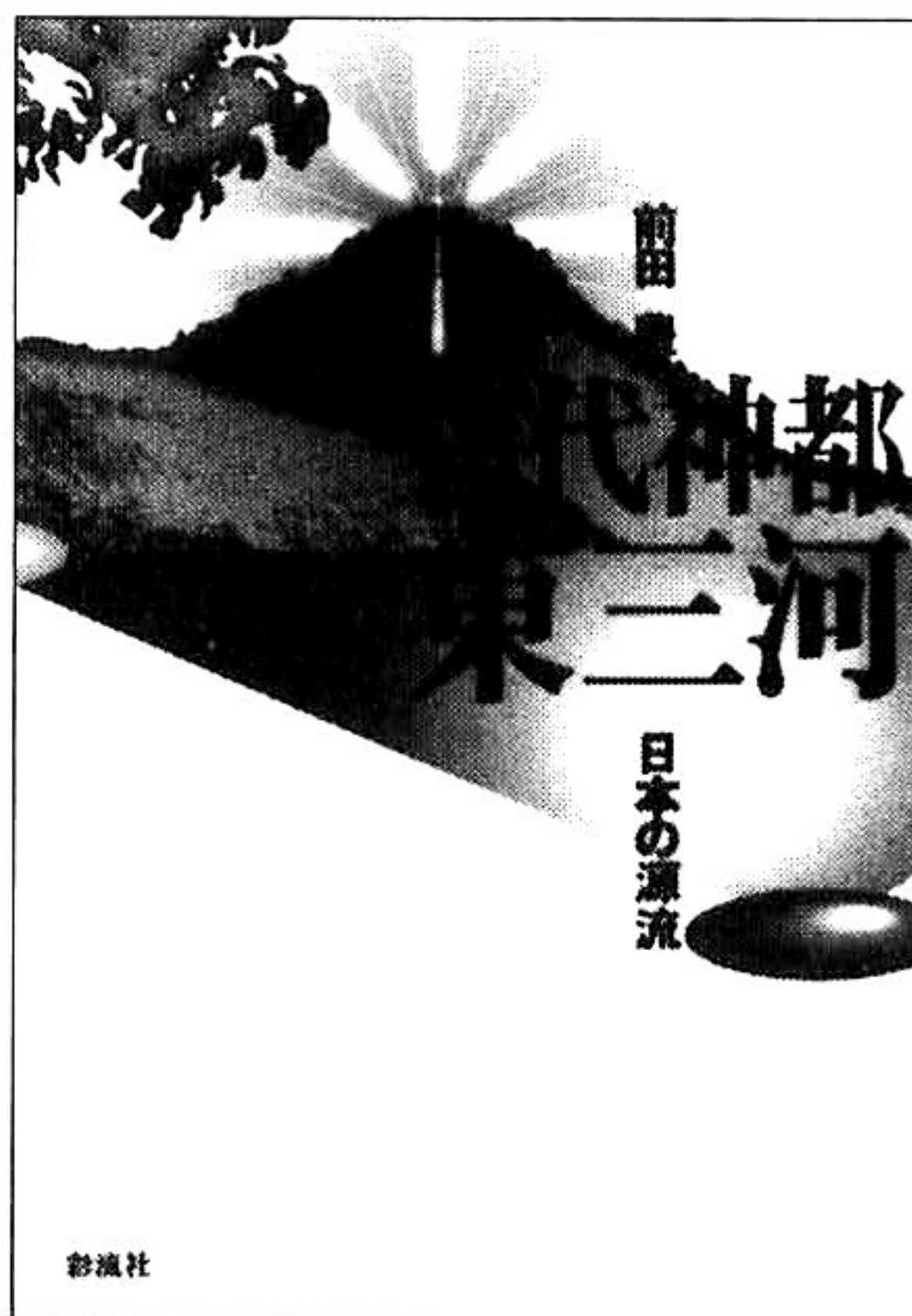
■著　者・前田豊

■発　行・彩流社

■価　格・1900円(税込)

■発行日・1996年4月10日

■購　入・

■トンデモ度数 ★★★

■ここがトンデモだ!

お国自慢(ただし前田氏は愛知県出身ではない)型の古代史本は数あるが、こうまで総家的にありがたいものをご近所に集めたシリーズは珍しい。旅館や社員寮、街路樹など、どう考えても古代にさかのぼりえないものを無理やり古代人のメッセージに仕立てていくあたり、ノストラダムス本にも通じるものがある(と思ったら「アンゴルモアの大王」も三河と関係あるというくだりがあった)。他の人の著書を自説に我田引水していくあたり、アマチュア古代史の一つの行き着く果てを示すものかもしれない。

備考/前田氏には同じ発行元から、続編として『倭国の真相』という著書もある。

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS SINCE 1992

小林淳二

安心できるか、安心丸

小林淳二（こばやしじゅんじ）SFファングループTDSF代表。現在、某電子顕微鏡メーカーでソフトウエアの設計と開発を行っている。仕事をしている限りは、まじめそうに見える会社員。

97年6月
「安心丸」申請書2042のチラシです。有害電波を吸収して生体によい電磁波に変換してくれる製品らしいのですが、材料は、ある特定地域で採集した天然石となっていてよく分かりません。効果の測定には、毎度お馴染みの波動測定器が使われています。その他にも似たような測定器が使われていたりします。

例えば、抹消血液循環測定器というやつを何か使ってやってるんですけれど、これ一応悪化したデータの、何もつけずに見ると悪化するよという。つけると良くなるよということなんですけど、安心丸をつけてテレビを見る前に、41歳男性のケースが、Dという何か悪いやつが60分後にBマイナスというやつになっていたということなんですけど、つける前にBだった。これが同じ人だったかどうか全然わかんないですけど、これが60分後にBマイナスになっていて、一応血液循環が悪化したとなってるんですけど、結局はどっちも60分見るとBマイナスということで効果が何にもないいんじゃないかと多少思ってしまうんですけど。

一応、これが近所の本屋で売ってまして、これが何か結構売れてたりするんで困ってしまうんですけれど、この店はほかに太陽とか月の写真のバカ高いやつ、あれも売ってまして……（会場—「その『安心丸』はミカミさんもかんでると思うんですけども」）。

ここにはミカミさんの名前はちょっと出てないんですけれど、天笠啓祐さん。一応、何か会社になっていますね、マインド・フィットネスというところに。ここに何かかかわっているかもしれないですね。

もう一つ、完全に一発芸に近いんですけれど、これ昭和33年に出た『世界の艦船』というやつ。最後のほうなんですけど、4月の魚雷艇の話云々ということを書いていて、これを投書した人が実は東京都杉並区の宮崎駿さんという方です。どうもこの方、このあと、何回も投稿しているらしいというのが、これをいただいた知り合いからほかにも出てきましたというのがあって、何か3、4回出ていたようです。

◆と学会こぼれ話・9

と学会の例会には通常40人近くの会員が出席し、発表をする。発表ネタが多い場合には、会場の借り時間内に発表が終わらないこともよくあるので、最近は発表時間制限を設け、発表時間をオーバーするとベルが鳴って知らせるシステムになっている。

このシステムがなかった頃の発表の最長記録は永瀬唯氏による、宜保愛子のビデオネタで、宜保愛子のテレビ特番を見ながら、そのトリックをあばいていくというもの。つまり特番丸々一本ぶんの時間をかけてやるというもので、発表タイトルが『ギボギボ90分』。この時は他の人が一人も発表できなかった。（唐沢）

TONDEMO FILE
2042
Reporter/Jyunji Kobayashi

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

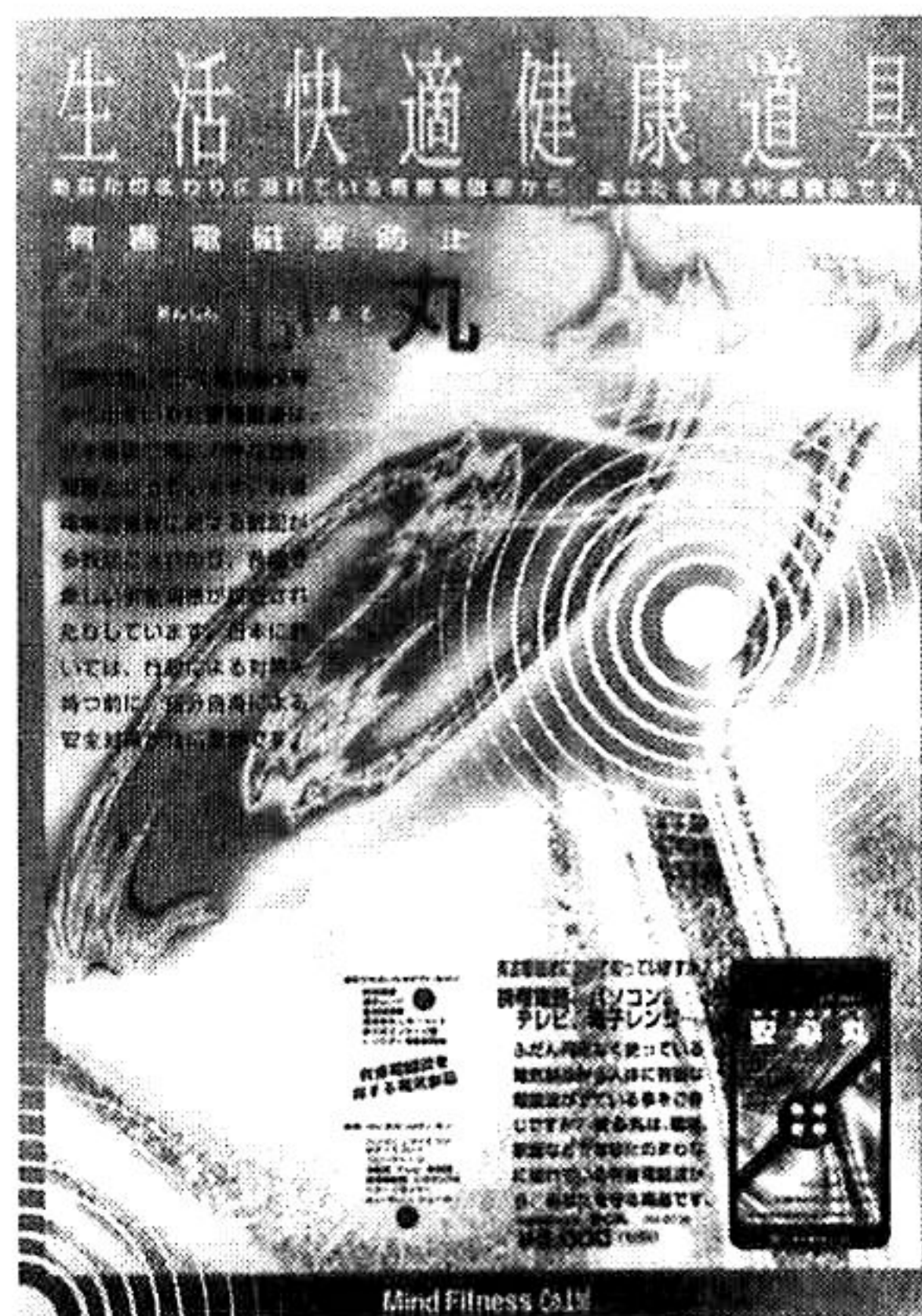
トンデモグッズ申請書

■申請者・小林淳二

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(チラシ)

■タイトル
安心丸

有害電磁波を生体によい電磁波に変換してくれる快適商品のチラシ。書店で販売されていたので、思わずもらってきた。

■トンデモ度数 ★

■ここがトンデモだ！
有害電波を生体によい電磁波に変換する作用があるある特定地域で採集された天然石と数種類のセラミックをブレンドし、「波動測定器で効果を科学的に実証済み」。このようなおなじみのキーワードが書かれた、いたってマジメな商品紹介のチラシ。でもよく読むと、ツッコミを入れたくなることばかり。

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

長谷川徹

カン違いエヴァ本の決定版!

長谷川徹（はせがわとおる） 職業は普通の会社員。「と学会」と関わったきっかけは、友人（酒井）に例会に誘われて参加したことである。その後（設立当初ということもあって）どさくさに紛れて会員になっていた。もともとこういうトンデモ系の本は好きだったので、そのまま居着く。好きなものは「と」の他にTRONプロジェクト全般。フリーのBTRONを作成するプロジェクト「B-Free」にも参加している。
E-mail:NBF01763@niftyserve.or.jp URL:http://www.sccs.chukyo-u.ac.jp/B-Free/

97年6月

『エヴァンゲリオン』[注1]関連ものがいろいろ出てまして、今さらと思いますけども、一応『エヴァンゲリオン』を挙げておきます。

『エヴァンゲリオン補完計画』[申請書2043]というやつでして、緒方邦彦[注2]さんという方がいるんですが。この人はどういう人かといいますと、１９４３年生まれと書いてありますんで、年齢でいいますと50幾つの方ですね。その方が書いたと。で、結局これは一応トンデモ本といえばトンデモ本なのかもしれないんですけども、どこをそう思ったかといいますと、あとがきを先に見たいんですが、最初の1行目ですね。「私は残念ながらアニメファンではない。恥ずかしながらアニメに関する知識は皆無である」（笑）。

結局ここ（「アニメ」という部分）を物理学とか相対性理論とかに置きかえると……（会場―しばらくして「なるほど」「うまい！」笑）、というふうになるわけですね。実際、中身はそんな感じでして、もう勘違いしまくりですね。

しょっぱなのほうを見ていただきますと、まずここですね。「私も多くのファンが指摘するように、この物語は余りにも結末に謎が多過ぎることはまず認めよう。しかし、この物語には読者がすんなりと解明できるための法則というものがどこかに隠されているのではなかろうか」。そんなわけないんですけどもね、一生懸命この方は法則を探そうとするわけですね。

ところが、それをまた勘違いしまくり、例えばこういうところがあるわけですね。まず、オープニングのところですね。

「さて、まず最初に私が気になったのはオープニングのタイトルバックに描かれている女性のシルエットのことである。そこにはレオタードか水着を着ているらしい若い女性のシルエットがさりげなく挿入されている」（笑）。「だから、最初にこのビデオを見たとき、私は直観的に次のように思ったものだ。なるほど、このアニメはさりげないエロチックなシーンを売りの一つとして計算しているのだ」。してないと思うんですけど（笑）。

というような勘違いが延々と続きまして、いろいろ矛盾もあるわけですね。例えば、シンジの性格について書いてるわけなんですけども、「シンジは恐らく人を殺したとしても感情の周波に波風一つ立たないような、そんな無機質な少年として描かれている」というようなことが書いてありながら、ここがまた矛盾しているわけですね。つまり、「レイはあくまでも人生に対して受動せざるを得ないタイプであり、シンジはあらゆる困難に対してアクティブに行動するタイプの人間だ」（笑）。何か全く逆じゃないかと思うんですけど。

この方も使徒がやっぱり謎であるということでいろいろ解明をしようとするわけです。

例えば、第四使徒シャムシェルはこんなんだというのが書いてありまして、「彼らの攻撃に対して『使徒はこちらの都合などお構いなしに来襲してくるんだから』と軍本部でぼやくミサトの声が聞こえる。そう、この第四の使徒は人間の持つ負の属性の一つである気まぐれを持っていた怪物だったのだ」。全然関係ないような気がするんですけど、こういうようなことです。

あと、第六使徒ガギエルはこうだと。「これまで第三新東京市を狙っていた使徒が太平洋上まで進行してきた点に、使徒たちの追い詰められた心の焦りがうかがえる。『人類は思ったより手ごわい』という使徒たちの焦燥の声が聞こえてきそうだ」（笑）。聞こえないと思うんですけども、こういうようなのが出てくるわけですね。

こういうのが延々と続きまして、結局この人、何でこんなものをいきなり書いたんだろうというふうに思ったんですが、ちょっとあとがきの方を見るとそこら辺の謎が解けるなと。

著者略歴を見ていただきますと、主な著書に『オレが都知事だぁ』『ゼロ歳から始めます!?』『タイガー・ウッズ強さの秘密』（近日刊）。結局、この人はこういうはやりものを追いかけているだけだったと、こういうことがわかったということでございます。

これは結構安かったですね。１０００円プラス悪税ということですので、皆さんぜひ見ていただければと思います。

注1　エヴァンゲリオン関係の書籍

96年から97年にかけて、実に呆れるほど大量のエヴァ関係の本が出版された。インターネットで検索すると97冊がヒットした。おそらく検索にかからない本もあると思われるので、優に100冊は下らないだろう。

私も全てに目を通したわけではないが（できない）、立ち読みでチェックした限りでは、（ビジュアル中心のものを除くと）ストーリーやキャラクターの解説に、数多くある「謎」に解明らしきものを付加しただけのものがほとんどである。その中にあって、是非読むことをお勧めしたいのは以下の2冊である。『ターミナル・エヴァ』（永瀬唯編・著　水声社刊）、『新世紀の迷路〜疾走するエヴァンゲリオン』（鶴岡法斎編・著　アスペクト刊）。あ、両方とも「と学会」関係者の本だ。

注2　緒方邦彦の主な著書

この後、『〜補完計画』の続編ともいうべき本、その名も『くたばれ！エヴァンゲリオン』が上梓されている。もちろん、これも「と」である。いずれ紹介したいと思う。

ついでに彼の著書を調べてみた。著者一覧をご覧いただきたい。学校霊、青島都知事、トヨエツ、タイガーウッズ、コムロミュージック、そしてエヴァ。一貫したテーマも何もない。まさに流行りものを追っかけてるだけなのが一目瞭然であるが、出版された時期を見ると世間一般の「流れ」からは微妙にズレている。ここらへんが緒方邦彦を読み解く鍵なのかもしれない。いわゆる「マイブーム」といったところか。そして最後の本には驚いた。何と『ガラスの仮面』である。彼がどのように『ガラスの仮面』を理解して最終章を考えたのか、是非読んでみたいものである。

緒方邦彦著書一覧

	タイトル	出版年/月
1	ホントにあった学校霊	1994/03
2	ゼロ歳から始めます!?	1994/08
3	オレが都知事だあ～!	1995/06
4	妖しき俳優豊川悦司の謎	1996/05
5	エヴァンゲリオン補完計画	1997/04
6	タイガー・ウッズ「強さの秘密」	1997/04
7	くたばれ!エヴァンゲリオン	1997/07
8	天才コムロ学講座	1997/09
9	試論「ガラスの仮面」最終章!?	1997/12

◆と学会こぼれ話・10

と学会運営委員の植木不等式氏と皆神龍太郎氏は共に同じ会社に勤めるサラリーマンなのだが、余暇を利用してトンデモ研究に余念がない。植木氏にはビジネス書のトンデモ感覚を紹介した『悲しきネクタイ』（地人館）、皆神氏にはそのものズバリ『ＵＦＯ・宇宙人とんでもない話』（日本実業出版社）の著書がある。会社でも二人は有名で、植木氏のデスクの上にはよくトンデモ本が「貴兄向けだと思います」と書かれて乗っているというし、皆神氏は部署を移った際、そこの部長が「彼がＵＦＯで有名な皆神さん」と紹介したとか。（唐沢）

TONDEMO FILE
2043
Reporter/Tooru Hasegawa

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・長谷川徹

■アイテム
[書籍]・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(　　　)

■タイトル
エヴァンゲリオン補完計画

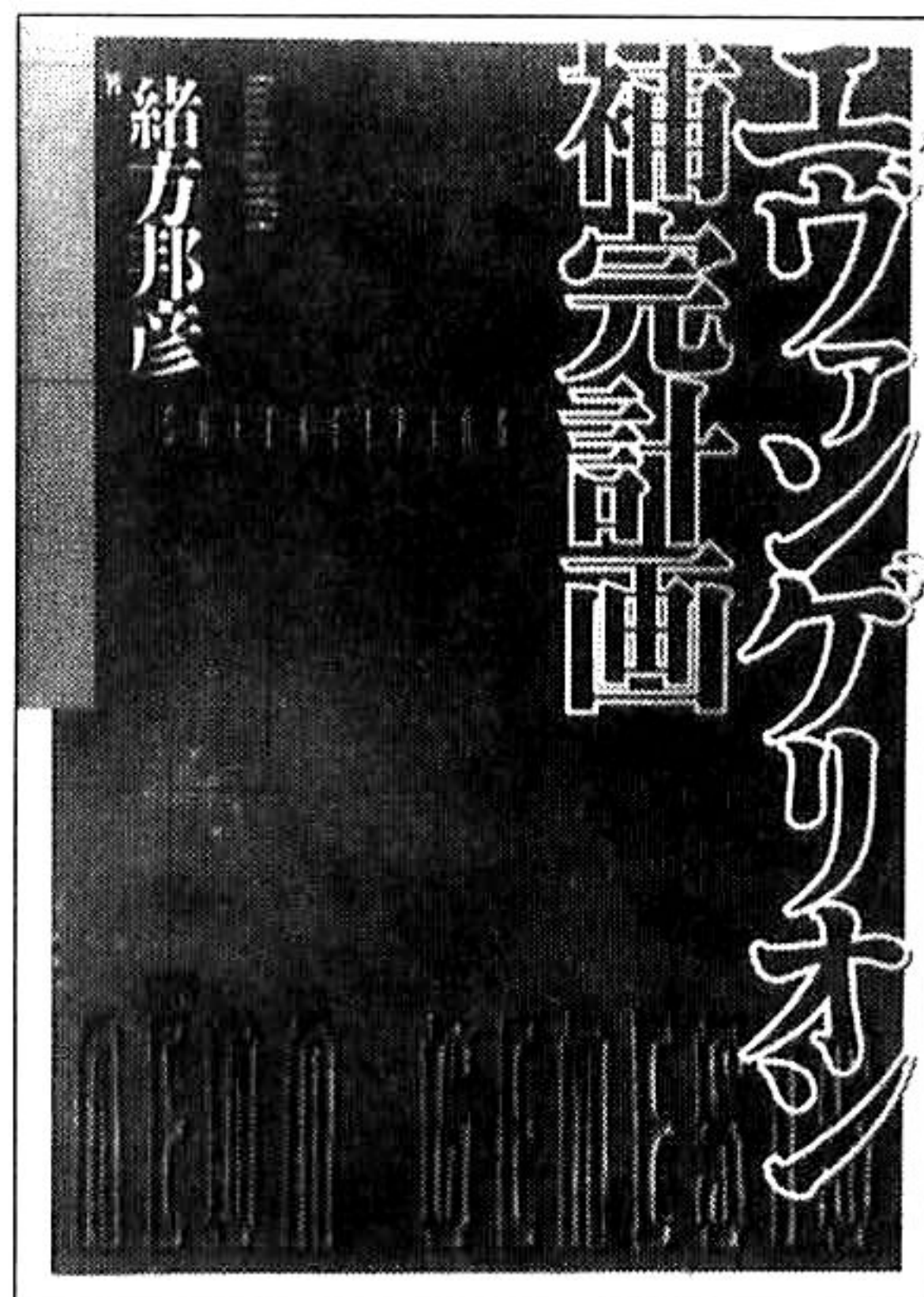
■著　者・緒方邦彦

■発　行・シネマサプライ(現ヴィ・マックス)

■価　格・1000円(税別)

■発行日・1997年4月30日

■購　入・1997年5月

■トンデモ度数　★★★

■ここがトンデモだ！

本人曰く、「アニメに関する知識は皆無」である著者が書いた、エヴァ勘違いしまくり本。本人は一生懸命作品を理解しようとしている。使徒の心理分析をしたり、また数々の謎を解き明かそうと努力しているが、全く見当はずれで、爆笑を誘う。続編『くたばれ！エヴァンゲリオン』でもこの勘違いパワーは衰えることを知らず、ますます磨きがかかっている。今後とも目の離せない「トンデモさん」である。

阿波六吉

学術系トンデモ本には味がある

阿波六吉（あわろくきち）動物学者。1959年生まれ。芝居見物が何よりも好きで、年間50〜60本は見るが、トンデモのネタにはなりにくい（あっても報告手段がない）のが難点。

97年6月

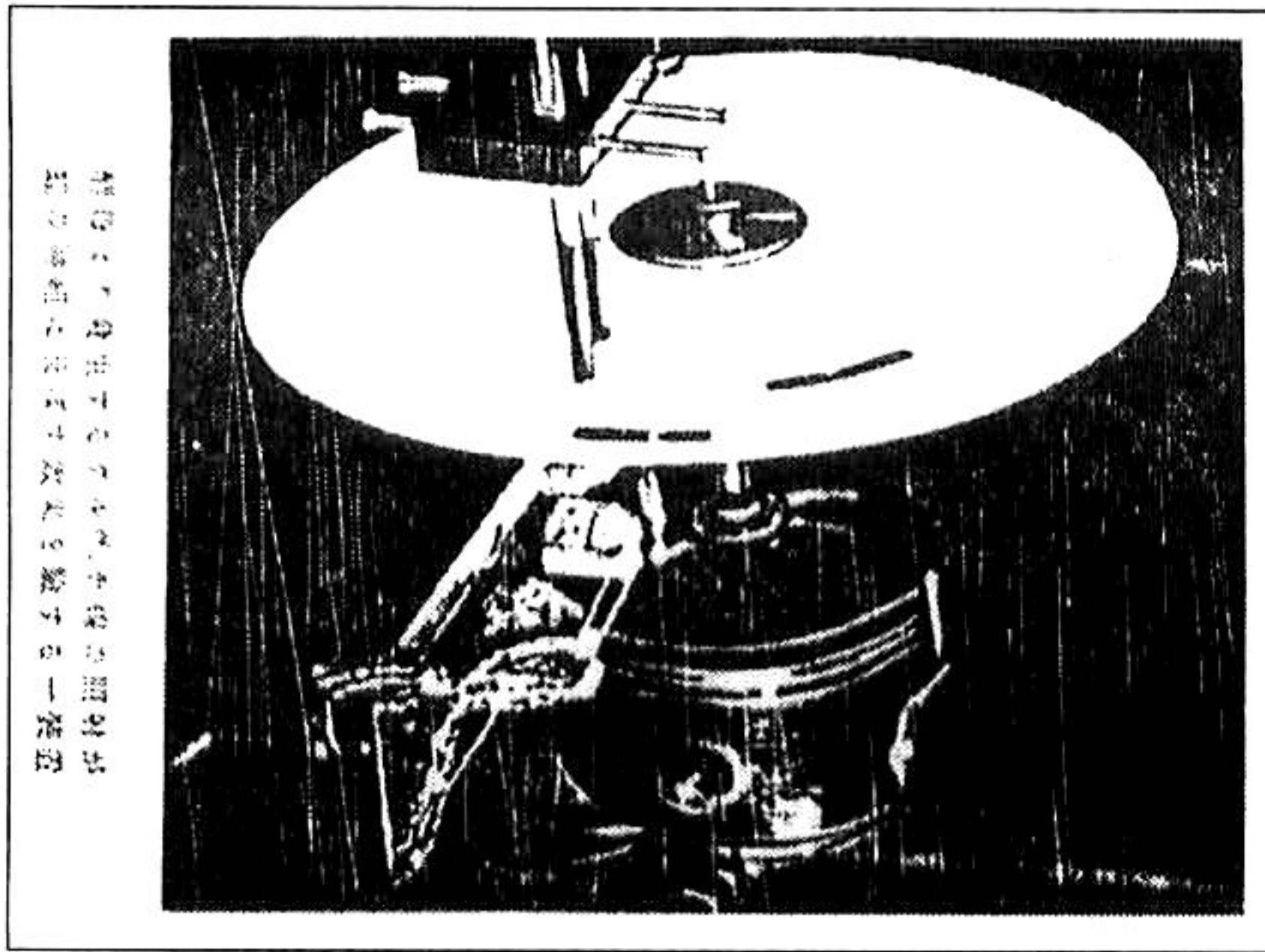
ちょっと、トンデモというより境目的なやつなんですけれども、1つは歴史物で、前からちょっと欲しいなと思ってたのを見つけて、コピーを手に入れたもので、こういうやつですね。『細胞分裂誘起線』[申請書2044]という、これはミトゲン線[注1]とかN線[注2]って、昭和の初期ぐらいに言われてたやつです。要するに生物が出す謎の線で、それが当たると、ほかの生物が細胞分裂が盛んになるとか成長が促進されるというようなやつです。

で、それを日本で本格的にこういうふうに書いた方がいらっしゃったんですね。これが昭和13年ですね。それで正式な名前としては、この人が主張しているのはグルヴィチ線というやつですね。それで、ミトゲン線というのと同じです。ミトゲン線という言い方もされてるけど、こういう訳は正しくないよというようなことを言ってます。

私、不勉強でN線と一緒にしてたんですが、N線というのは1900年にフランスの学者さんが見つけたもので、この本が書かれたのが1930年代なんです

が、この頃にはもうこれは嘘だというふうになってる。ただ、もっとこれが客観的にソフィスティケートされて、ミトゲン線が見つかったんだという、そういう話のようです。

で、それについてのいろんな実験のデータがここにあります。こういうのなんですが、例えばこれなんかは酵母ですかね。写真1 酵母から発されるグルヴィチ線の照射がカエルの神経に及ぼす効果を験する一装置というやつですね。

写真1

そのほかデータが出てまして、いろんな方法があるんですが、その中でちょっとおもしろいのが、どういうものからこのグルヴィチ線が検出されたかというやつで、原生動物。これ原始動植物という言い方をしてますけどね。この頃、「ざうりむし」と書くんですね。まあゾウリムシですけども……。

それから、主にタマネギが非常に人気があります。タマネギの根っことか、「床」というのは何なんでしょうね。それから、それを砕いたものですね。それから、エンドウマメ、ヒヤシンス、ヒマワリ、馬鈴薯、球根、ニンジンと。大体、八百屋さんで手に入るような材料を使ったんだなということがわかります。

それから、ヒドラがありますね。それから、原毛虫というのはちょっとよくわからないんですが（ちなみにムカシゴカイのこと）、次はウニの受精卵。それから、ミジンコ、貝類ですね。それから、脊椎動物は両棲類の桑実胚。それから、「蝌蚪」というのはオタマジャクシですね。こういうのから、それからアホロー[注3]

トルをこの頃使ってるんですね、まだ昭和の初期ですけども。それから、カエルの神経。そういうものから出ているよということなんです。

で、例えば実験例なんかですと、これはタマネギの発育なんですが、こっち側にオタマジャクシをすりつぶしたものを置いてるんです。それで、そこからグルヴィチ線が出たためにタマネギの根がこっちのほうがよく発育してこっちにずっと寄ってきちゃったという。そういう例が数多く出ている、豊富なやつです。というのをちょっと手に入れたんで、まあ自慢がてらですね。グルヴィチ線はこの頃大分人気があった研究で、随分これで業績を稼いだ人もいたらしいんですけど、今はあまり取り合わなくなってるんですが。

それで、これが出されたのが1938年なんですが、その60年後、こういうのが出てます。これは『化学と生物』[申請書2045]という科学雑誌なんですが、これはちょっと微妙なところです。これは今、東海大学の松橋通生さんという方がやってるんですが、どういうものかというと、「増殖できないでいる細胞に働いて増殖を可能にする細胞シグナルがそれである。ここで機能する細胞シグナルは空間を超えて伝わるばかりでなく、プラスチックの壁は1㎜ぐらいの鉄板を越えて伝達される」。

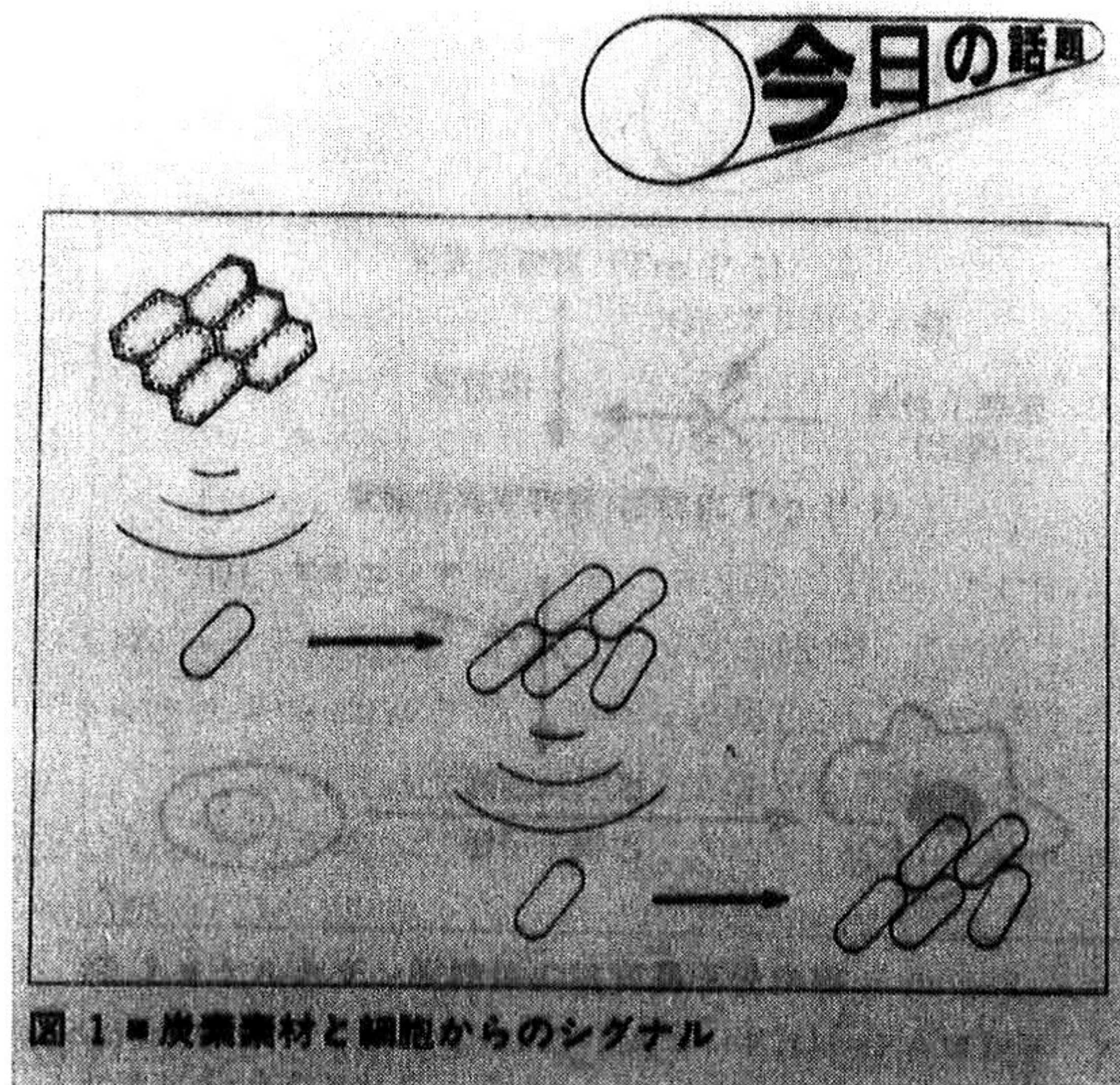
何というのかな、要するにシャーレの中でバクテリアを殖やしてる。しかも、その近くにまたちょっと別のシャーレを置いてやる。後者は殖えないように何かストレスをかけてるんですが、前者がどんどん殖えると、つられて後者もどっと殖え出す。細胞を殖やすシグナルをこういうふうに透過して伝達してるんだという研究なんですが、それがこんな図式で、片方が殖えるともう片方がつられて殖える。グルヴィチ線のほうが紫外線だと言われてたんですが、こちらは音声である、超音波か音波であるというふうに言ってます。

例えば、ちょっと気に入ってる表現ですと、「細胞1匹1匹の出す音波は極めて弱い。しかし、それが何億、何十億匹になると一大コーラスになるであろう。その音の中には互いに相殺されてなくなるものがあろうが、一緒になって大きな音になる部分もある。第九交響曲の1000人の合唱の声は 100人の声より

も確かに大きい」と。そういうことで細胞が殖えるわけです。この場合はバチルス属というバクテリアの細胞なんですが。

それで、さらにこの人たちが発見したのが「黒鉛活性炭などをまいてやると、その周りに驚くほどの勢いで増殖してくる」と。炭素素材からある極めて弱いシグナルが出て、近くの細胞を励起するということで考えられてる図式（写真2）はこれで、これは炭素ですね。ここからシグナルが出る。これは音波かどうかわかんないです。これによってバクテリアが殖えると、これがみんな一斉に合唱して、ほかのやつもどっと殖ふえるというやつなんですね。

で、多少まゆつばとも見られてますが、ちゃんと『JOURNAL OF BACTERIOLOGY』（写真3）という雑誌の学術論文としても出てます。これはアメリカ微生物学会のちゃんとした学術雑誌です。というので、これの真偽はよくわかりません。

今後これがトンデモあるとわかることが明らかにされるのか、大発見として市民権を得るのか、まだわからないというやつですね。これがその一連の話。

ついでに隣でも学会をやってますんで、あんまり紛れ込まないように（笑）。

今日の話題

図1■炭素素材と細胞からのシグナル

写真2

注1　ミトゲン線

細胞分裂誘起線とも訳される放射線の一種。主に成長の盛んな生物の組織から放射されて、他の組織の細胞分裂を盛んにする効果を持つとされた。ロシアの科学者アレクサンダー・グルヴィチがタマネギの根の先端を用いた実験の結果から、1923年に主張し始めた。本文でグルヴィチ線の名を使うべきだというのはこのことによる。この線は波長200mmくらいの紫外線と考えられ、1930年代まで極めて多数の研究が行われたが、現在では一般に認められていない。

注2　N線

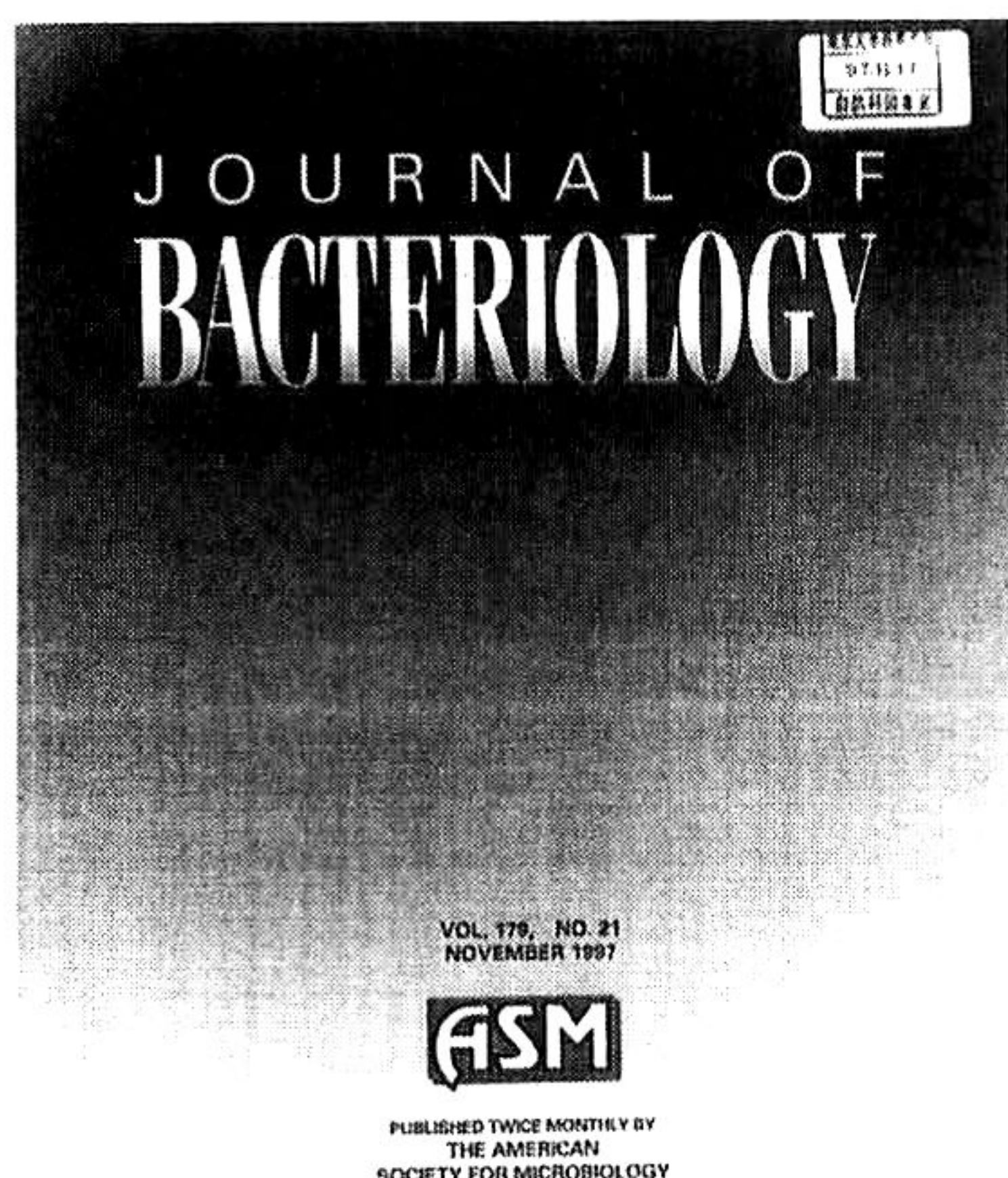
1903年にフランスの物理学者ルネ・ブロンドロが発表した放射線。様々な物体から放射され、電気スパークの輝きを増大させるという性質を持つ。公表後、多くの研究者によって膨大な研究論文が発表され、人間の神経系から放出されるということや、N線を浴びた目は暗い所でもよく見えるようになるといった発見が相次いだが、測定法が主観的すぎるという批判を浴びて、1907年頃には誰からも話題にされなくなったが、ブロンドロだけは1930年に死ぬまでN線の実在を信じて研究を続けた。

注3　アホロートル

ペットショップなどではウーパールーパーの名前で売られているメキシコサンショウウオの幼形成熟個体のこと。幼形成熟とは子供の形質を残したままで、繁殖可能になること。アホロートルの場合、サンショウウオのオタマジャクシが持つ鰓（エラ）をつけたままの形態で、オタマジャクシ同様に水生生活を続けているが、繁殖能力もある。近年、ペットショップで入手可能だが、1930年代から実験動物化されていたとは意外であった。

写真3

TONDEMO FILE
2044
Reporter/Rokukichi Awa

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・阿波六吉

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(　　　)

■タイトル
細胞分裂誘起線

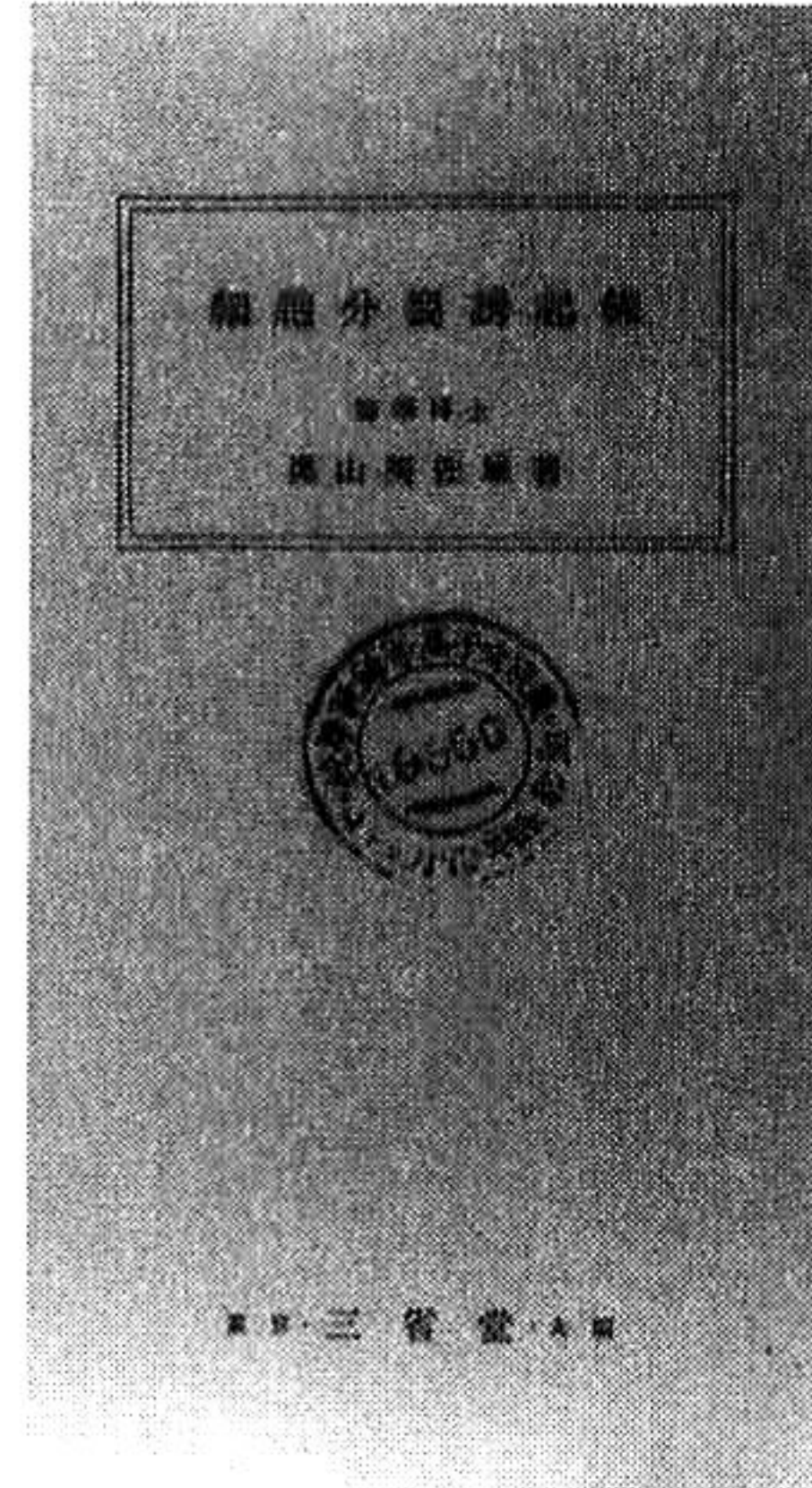
■著　者・奥山美佐雄

■発　行・三省堂

■価　格・2円60銭

■発行日・1938年5月20日

■購　入・知人よりコピー入手

■トンデモ度数　★★

■ここがトンデモだ！
まず世界中の科学者を夢中にさせたテーマだということも評価したい。さらにメディアの発達していない時代に、すばやく同時代の世界の研究の先端を紹介していることに驚くが、結果として同時代の試行錯誤を移入したことになる。しかし「進んだ」科学知識に基づく「正解」を知っている現代人が、昔の人の「誤答」を笑うような態度で見るのだけは避けたい。むしろ捉えどころのない現象と格闘すべく絞り出されたアイデアの数々とそれをもたらした想像力をこそ楽しみたいし、成功が約束された伝記物にはない科学的思考の跡をたどりたい。それこそが科学の魅力の一つなのだから。

TONDEMO FILE
2045
Reporter/Rokukichi Awa

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・阿波六吉

■アイテム
書籍・コミック・[雑誌]・ビデオ
レコード・CD・その他（　　　）

■タイトル
音波（超音波）による細胞増殖の制御～新しい増殖制御因子BIOSONICS

■著　者・松橋通生

■発　行・学会出版センター

■所　載・「化学と生物」34巻11号

■価　格・1000円（税別）

■発行日・1996年11月25日

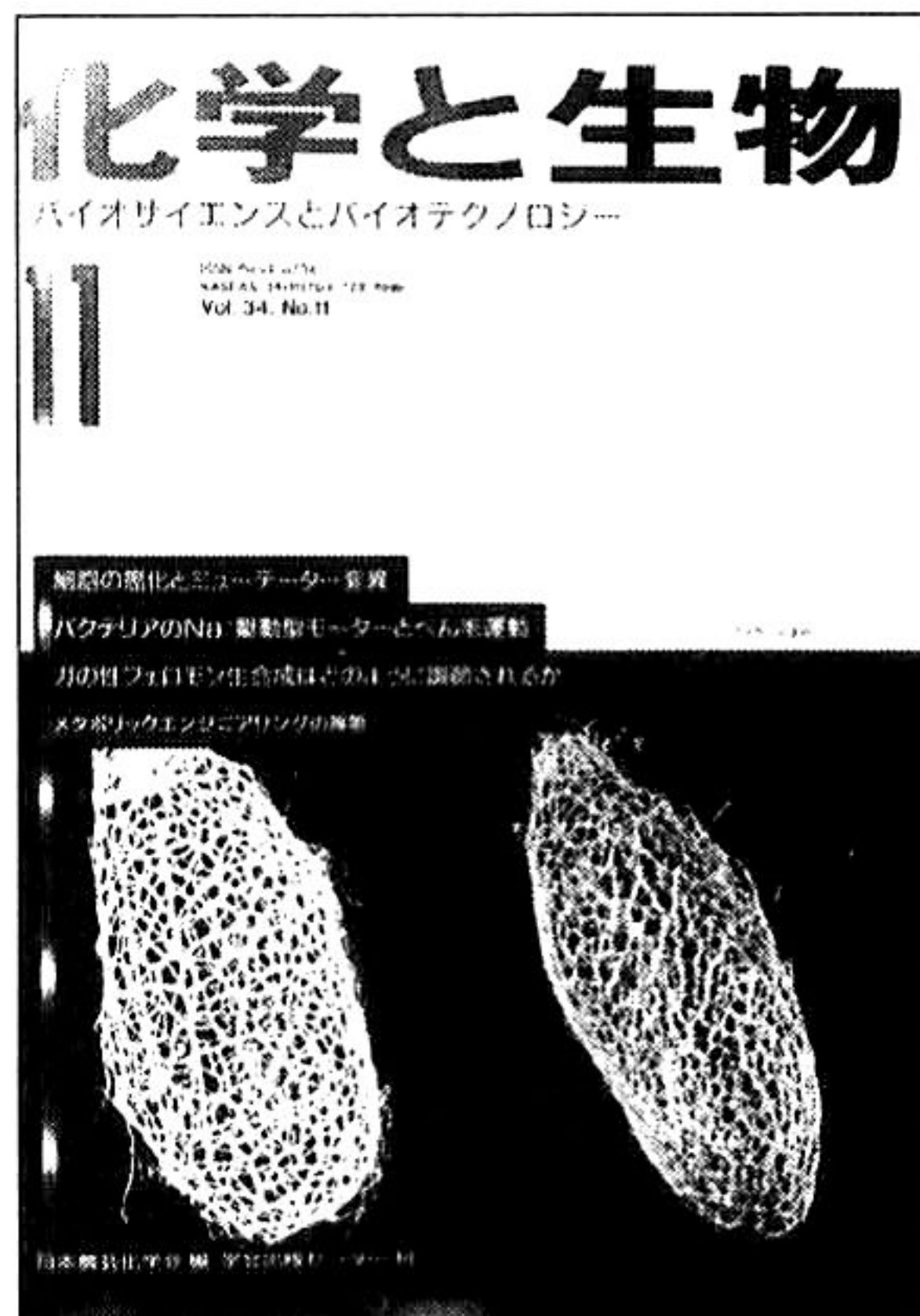
■購　入・知人よりコピー入手

■トンデモ度数　？

■ここがトンデモだ！

この研究がトンデモだというわけではないし、著者自身もかなり警戒している。しかし、現在我々が科学的真実だと信じている事柄が、後世から見ると第2第3のN線やグルヴィチ線であるかもしれないという想像力を刺激してくれるという点でナイス。今も昔も、「ちゃんとした研究」であるかどうかの基準は論文が権威ある雑誌に出るとか権威ある学者が参画するかどうかであり、N線やグルヴィチ線に多くの科学者が夢中になったのも同じ理由なのだ。多くのトンデモ研究と真っ当とされる科学研究の境界線を考えさせてくれる。

備考／なお、本物件は以下のものとワンセットだと思いますので、記しておきます。（タイトル：Studies on Carbon Material Requirements for Bacterial Proliferation and Spore Germination under Stress Conditions: a New Mechanism Involving Transmission of Physical Signals.／著者：松橋通生ら10人／発行：アメリカ微生物学会／所載：「Jounal of Bacteriology」177巻3号／価格：$4.00(?)／発行日：1995年2月

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

大沢 南

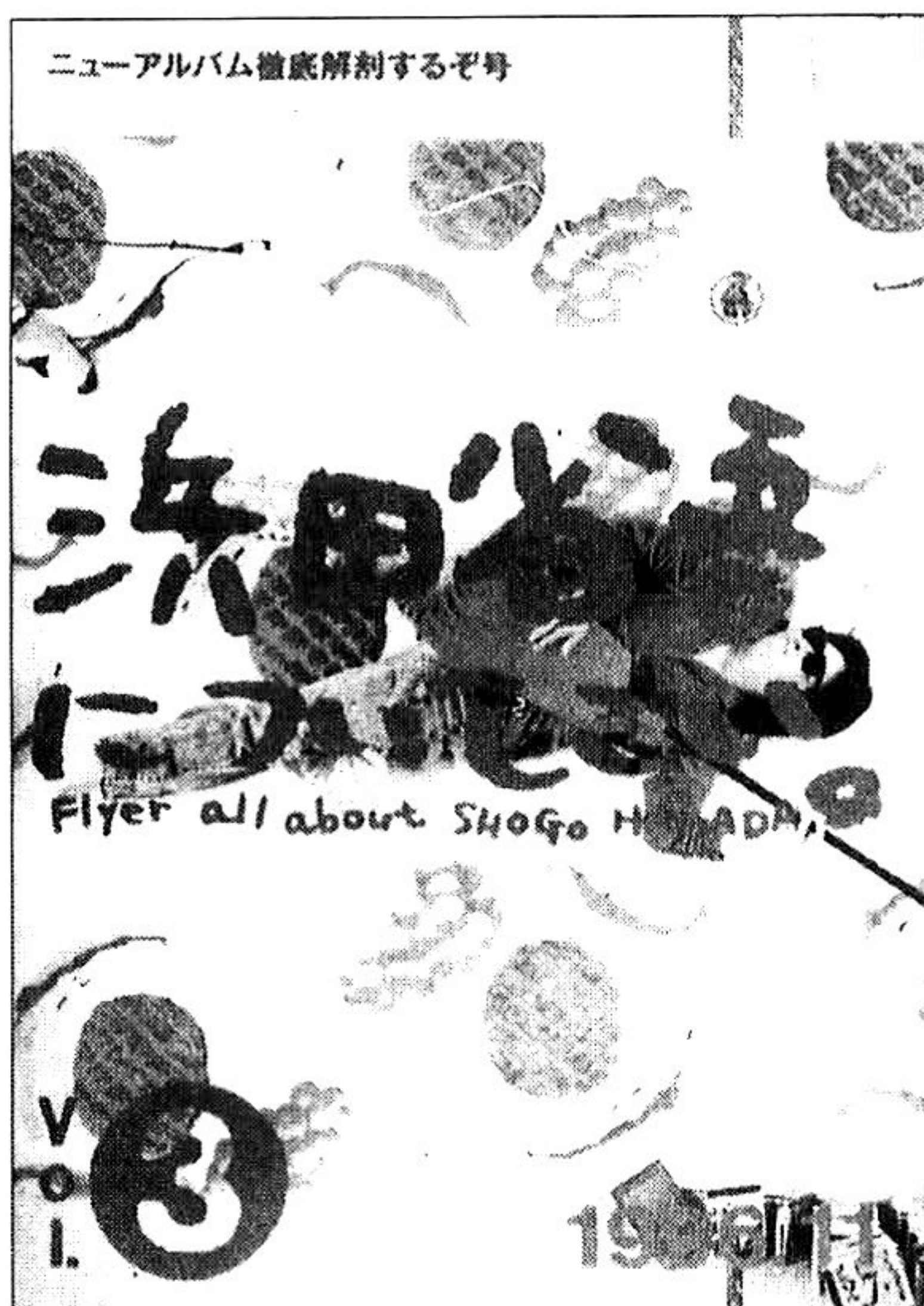
トンデモの拡散と浸透を物語る4題

大沢南（おおさわみなみ）会社員。37才。妻と4才の息子がいる。普段は社畜として長時間労働に耐え、帰宅後は息子の世話に明け暮れる。公団の分譲マンションのゴミ、汚れ物が散乱している中でトンデモの収集・整理に使える時間は少ないが、休日に一家で出かけてもつい変なモノを探してしまう、トンデモ愛好家のサガである。最近は、私が変なモノの写真を撮ると、息子も自分のオモチャのカメラで撮影の真似事。う〜ん、末恐ろしい。妻はあきれているが、平気でゴミ、汚れ物を散乱させ、生協から届けられた肉・野菜を腐らす生活態度は、立派なトンデモである。性格は直らないモノらしい。私は、トンデモと結婚した。

97年6月

小さいネタばかりで、すぐ終わりましょう。

浜田省吾のファンクラブに入会すると「Ｒｏａｄ＆Ｓｋｙ」という会誌が送られてくるのですが、それに同封されているパンフレットです。（写真1）「浜田省吾についてこい」というパンフレットのようなものですが、こんなところにも（申請書2046）「浜省トンデモ解釈ワールドコーナー」がありまして、トンデモという名前がついているから持ってきました。『さよならゲーム』という浜田省吾の歌ですね。どちらかというと、恋人とヨリを戻したいという歌詞をどう解釈するか。それを何の因果かギャンブルで競馬で狂った女を呼び戻そうと努力する男の話という、わざと読み違えるという、こういう浜田省吾マニアにしか受けない内容。トンデモの拡散と浸透を物語るものとして紹介しました。

あと小ネタばっかりですね。最近、演歌というのは視聴率が稼げない。演歌歌手はテレビになかなか出演の機会が少ない。で、どういうプロモーションをやってるかというと、レコード屋にこんなチラシを配って

いるのです。この川久保由香という歌手の「風の哀歌」[申請書2047]というチラシは、肩の線を出した写真でアイドルのグラビア写真の表紙のようで、何か思わず下から、つまり胸を見たくなるというような、こういう線で売っていたり、これはレコード店の新星堂のチラシ「演歌まつり」の美帆さゆみのようにイラストのみで、顔を出さないですね（笑）。

必ず演歌歌手というのは経歴が丹念に書いてある。

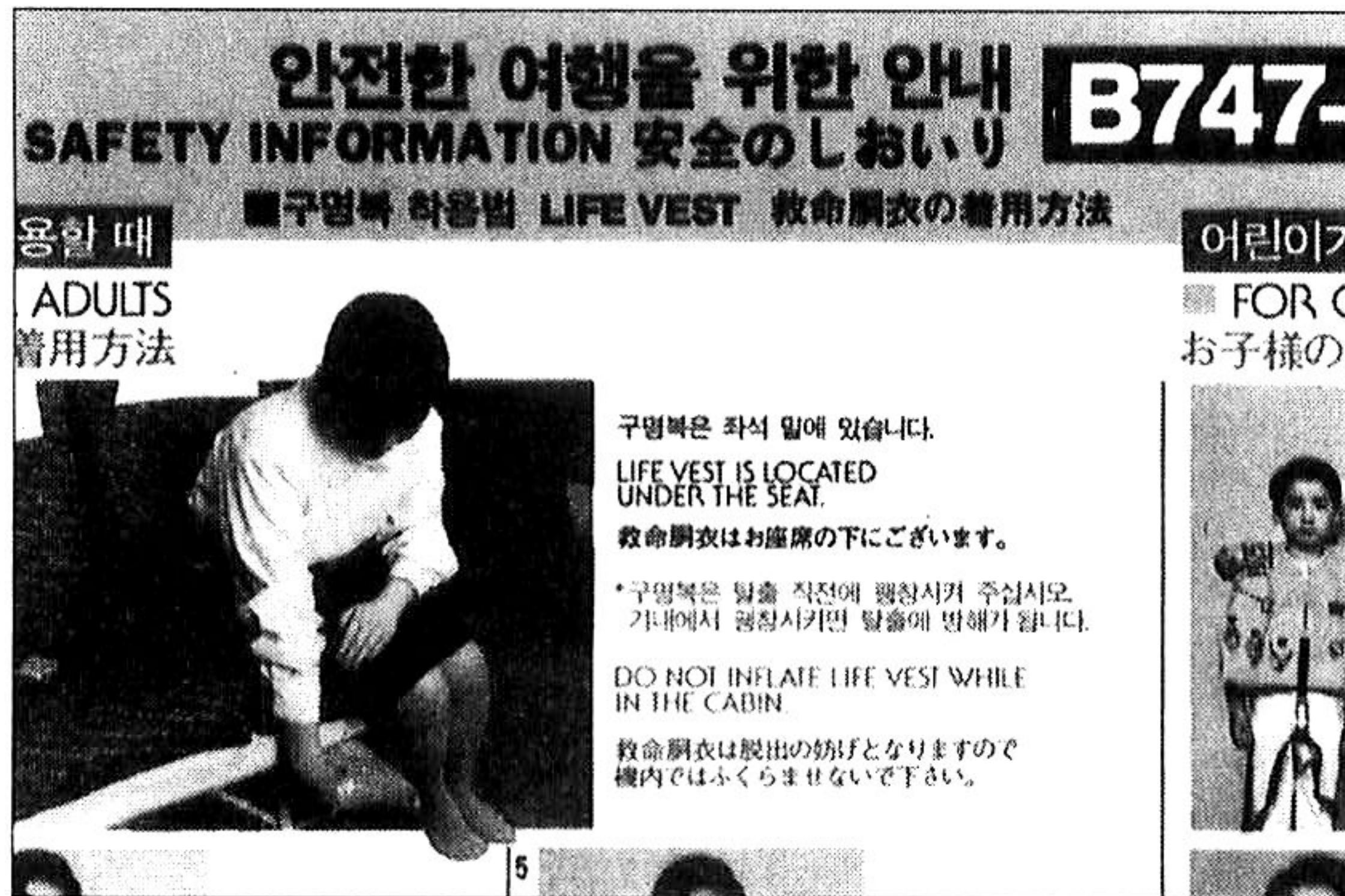
写真1

何とかお子様選手権に入賞しただの、好きな食べ物だの、好きな言葉だの。「エレクトーンがひける」なんて、普通恥ずかしくて書けないですね（笑）。

さらに、演歌歌手というのはやっぱりカラオケで売れないともうからない。そこでカラオケの歌唱指導があると。例えば歌唱指導、「ヒュルルヒュルルルル……むせび泣くような寂しい感情の深さを持って」とかですね。

あともう一つ、桂川宗子『ソーラン恋唄』。これもなかなかすごいですね。「『北に延びていく海岸線の列車の窓に漁火が』という歌詞を歌う時の歌唱指導ですが、北に延びていく広がる情景を大きくたっぷり、場面転換を漁火の方を指さす気持ちで」。非常に丁寧に歌唱指導してると。

安室奈美恵の曲であれば、普通の雑誌に女子高生向けに歌い方が書いてあるんですが、演歌歌手というのはやっぱりそういうのを全部自分で宣伝して、レコード屋さんに配って回らなきゃいけないというような現状でした。大変苦労しておられます。

写真2

これは大韓航空のシートの背中に入っている安全[写真2]のしおりですね。これは安全のしおりです。裏を見返してみると、安全の「しおいり」になってる（笑）。これは、本当は持ち帰ってはいけないものですので、まねしないでください。並んでいる写真を裸眼立体視すると、結構イケます。

で、ロサンゼルスで家族旅行というので、ディズニーランドに行って全くの家族サービスでおもしろいネタはなかったんですが、これが向こうの自動販売機で25セントで売っている風俗雑誌『L.A.X...PRESS』[申請書2048]です。25セントで期待して買ったんですが、中身は全然おもしろくない。時々妙な広告があります。で、背開きでこんなふうに。で、全然おもしろそうなとか予測させるようなものなんですが、そのものずばりの写真はなかなか載ってない。何だか、コスチューム[写真3]が塗りつぶしたように見えるのです。ところが、『L.A.WEEKLY』[写真4]という無料雑誌には、同じ写真が水着で広告になっていて露出度が高い。どういうことでしょうか？

次は、『CLASSIFFIED』[申請書2049]という、書店などに置いてある無料で持ってけ雑誌ですね、これも。最近そういうネタばっかりです。

さて、東京には、日本中から世界中からいろんな人たちがやってきます。北海道、東北、北陸、関西、四国から九州、沖縄。そして、アメリカ、中国、ヨーロッパ各国、イランにイスラエル。仲の良いものから悪いものまで、東京にやってきて、ひしめき合っているわけです。そして、それぞれが独自の通信網も持って

写真3

OPEN
7P.M. - 2A.M.
THUR
FRI-SAT
Continuous Shows
Cocktails

FREE
PASS

FEMALE MUD WRESTLING

Hollywood
TROPICANA

Dancers Wanted
Apply In Person.

1250 N. Western Ave.,
Hollywood.

写真4

います。だから、特定の国の人々がたむろして、一種異様な雰囲気の場所ができたりします。

ここに紹介する雑誌『CLASSIFFIED』は、東京に住む外国人向けの無料配布の情報交換雑誌、週刊です。私がそれを発見したのは、銀座イエナ書店で洋書を選んでいた時の、階段の踊り場でした。A4サイズで20ページの体裁で無料配布のパンフレットの一つと思い持って帰ったのですが、よくよく見ると、そこでは怪しい情報交換が行われていたのです。

基本は「ください、あげます」「探しています」という投稿をたくさん並べた情報交換雑誌です。投稿記事のほとんどは英語で、日本語はわずかです。

丹念に読みくだしていきますと、例えばいろいろ人探し。カナダの30歳ぐらいの白人は「親切な女を会いた．私に手紙を書けば、手紙を送ってあげます」（原文のまま）。バングラディッシュの男性30歳、「日本の女性とれんあいしたいとおもいます．お電話ください」（原文のまま）。

ということで、この投書欄を丹念に探していくといろいろとあります。イタリアンビジネスマン紳士は、「日本人または外国人の億万長者見習いたい方へ。誠意と熱意のある方、真剣に働きたい方、電話ください」。こういう外国人のために、中にはゲイとかレズビアンのための人紹介のコーナーとか、いろいろあります。

どうやら日本には、こういう外国人の情報誌には日本人じゃなく地球人以外からも来ているんじゃないかという（笑）。「僕は26歳、サムライできる」（笑）。こんなことを書くぐらいだから、恐らくほかにもっと探すと宇宙人からの投書とかあると思うんですが、この辺で終わりにしておきます（拍手）。

TONDEMO FILE

2046

Reporter/Minami Ohsawa

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・大沢　南

■アイテム

書籍・コミック・雑誌・ビデオ

レコード・CD・その他(パンフレット)

■タイトル

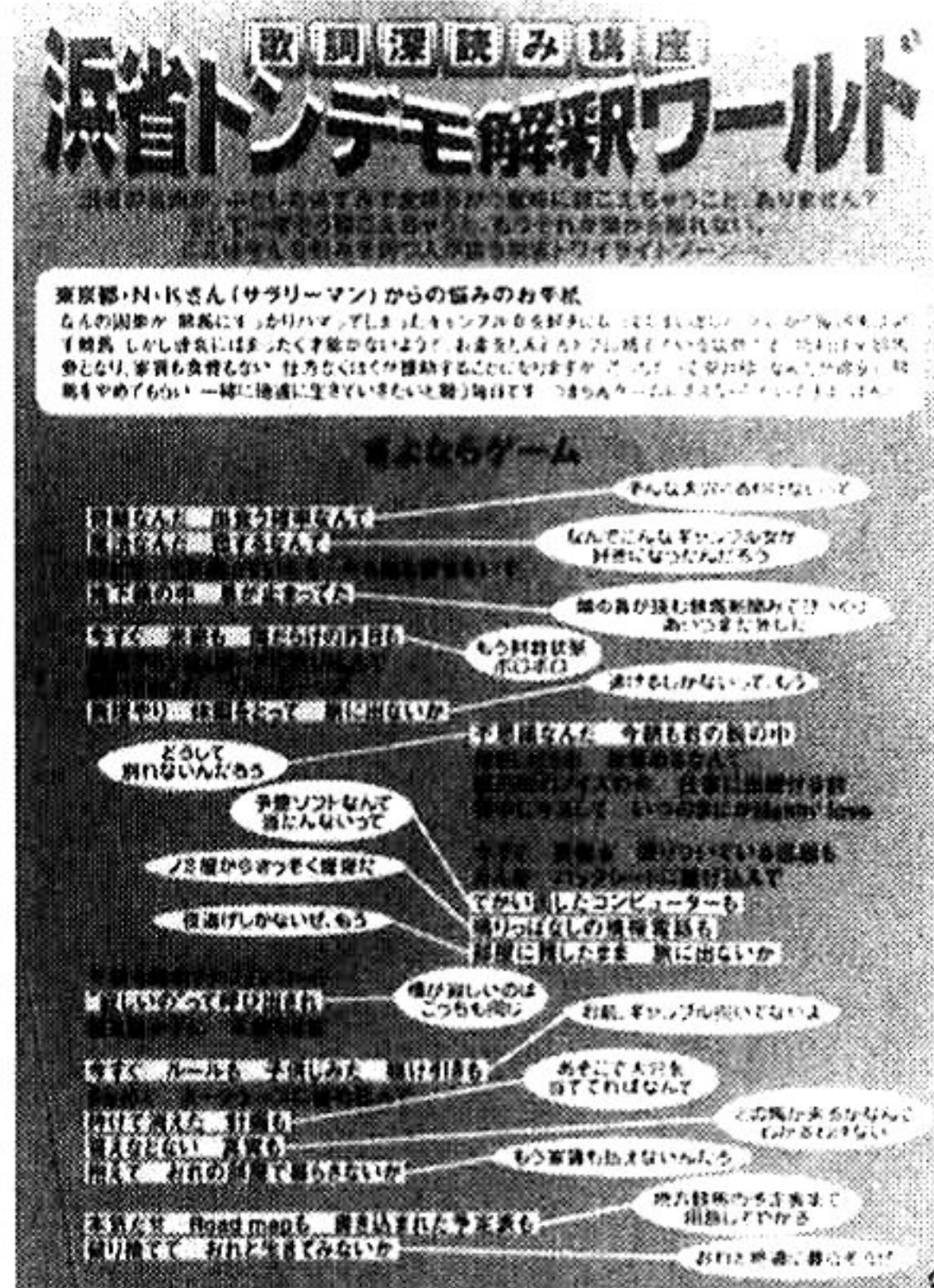
浜田省吾についてこい

浜田省吾ファンクラブの会誌「Road&SKY」の付録「浜田省吾についてこい」の中に「省吾トンデモ解釈ワールド」という、歌詞をトンデモなく解釈するコーナーがあった(1996年11月号)。

■購　入・

■トンデモ度数　★★

歌詞深読み講座

浜省トンデモ解釈ワールド

■ここがトンデモだ！

メディアに登場することがほとんどないのに、コンサートをするとチケットが奪い合いになる歌手、浜田省吾。そんな歌手の、濃いファンクラブ誌の付録に、「歌詞深読み講座」として、「浜省トワイライトゾーン」を紹介している。恋人とヨリを戻したいという内容を競馬に読み替える解釈自体はあまり面白くないが、トンデモという言葉がここまで普及したという証拠として紹介します。

TONDEMO FILE
2047
Reporter/Minami Ohsawa

トンデモグッズ申請書

■申請者・大沢　南

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(歌手宣伝チラシ)

■タイトル
風の哀歌　川久保由香

メディア露出の少ない演歌歌手が宣伝のため、レコード店に配っていくチラシ。新星堂にて採集しました。

■購　入・

■トンデモ度数 ★★☆

■ここがトンデモだ！
TVやラジオなどで流れる機会の少ない演歌というジャンル。宣伝のためにはアイドル写真集まがいの写真、歌詞、楽譜、歌唱指導からプロフィールまで、充実した内容のチラシをレコード店に配ってPRに励んでいます。ここまでしないといけないの？　と思うほど。「(むせび泣くような淋しい感情の深さを持って)ひゅるる　ひゅるひゅるる……」と唄え、と言われても……。
アイドル写真、古くさい歌詞、必死な売り込み姿勢のアンバランスが笑えます。

TONDEMO FILE
2048
Reporter/Minami Ohsawa

トンデモグッズ申請書

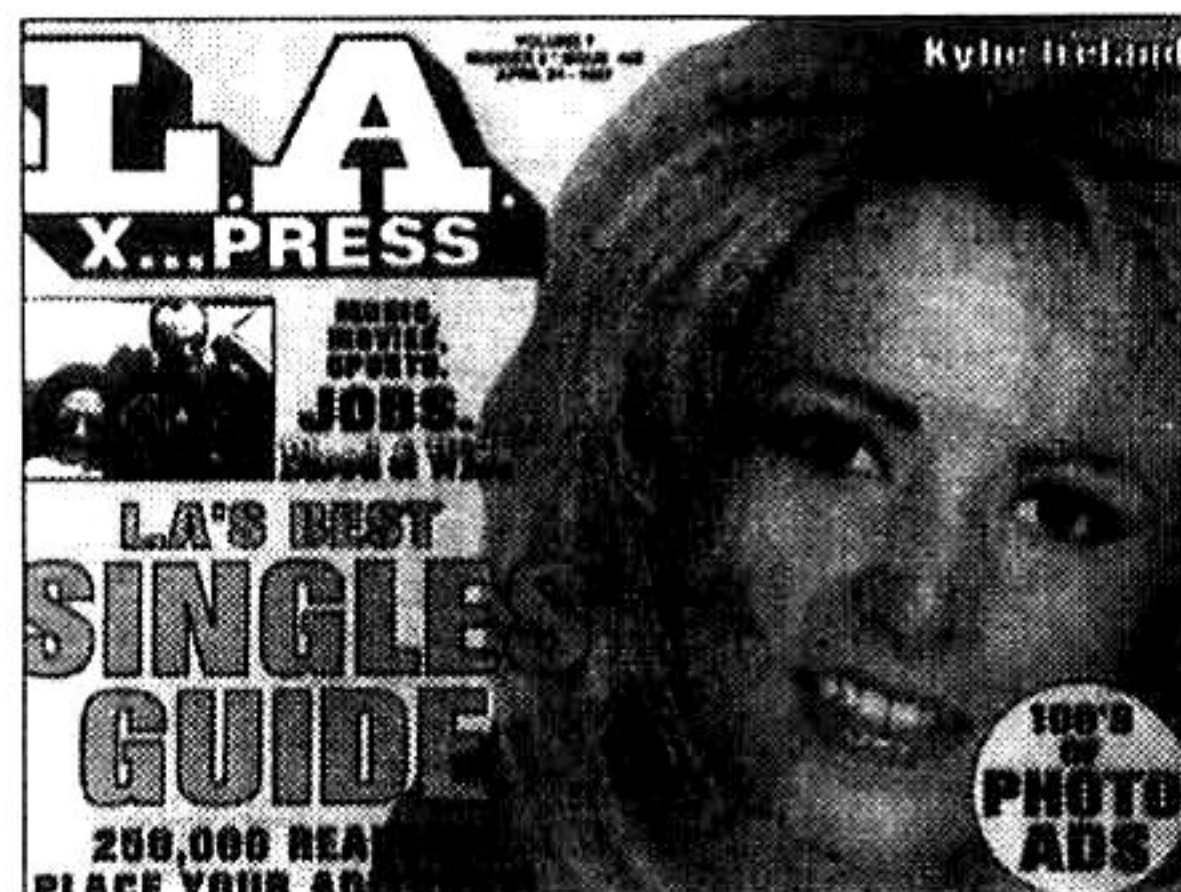
■申請者・大沢　南

■アイテム
書籍・コミック・[雑誌]・ビデオ
レコード・CD・その他（　　　）

■タイトル
L.A.X...Press

1クオーター（25セント）で売っているロス・アンゼルスの風俗雑誌（自動販売機で購入）

■購　入・1997年3月頃
ロサンゼルス

■トンデモ度数　★☆

■ここがトンデモだ！
アメリカは自由の国だが、それは義務を伴う、責任を持つ自由。テレビ番組も映画も、雑誌もレートがつけられ、子供に見せていいか、親が判断すべきものか、成人向けか仕分けされている。何しろアメリカにはピストルを撃つ自由もあるから。で、有料で売っている風俗雑誌なら、何かいい写真でもあるのではと期待するのに、何と無料で配っている「LA WEEKLY」より女子レスリングを見せる「Hollywood TROPICANA」の広告の掲載写真の露出度が低いとはどういうことか？　倫理規定が無料誌より厳しいのか？　やはり自販機ではなくて、お店できちんとした風俗雑誌を買わないといけないのか？

TONDEMO FILE
2049
Reporter/Minami Ohsawa

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・大沢　南

■アイテム
書籍・コミック・[雑誌]・ビデオ
レコード・CD・その他(　　　)

■タイトル
TOKYO CLASSIFIED
東京に住む外国人向けに情報を交換する無料雑誌

■発行・CRISSCROSS INCORPORATED

■体　裁・A4版　20～24ページ

■発行日・

■購　入・銀座イエナ書店で採集。

■トンデモ度数　★★★

TOKYO CLASSIFIED
COMMUNICATING COMMUNITY
Hachisch
The Empire Strikes Back
Music
Thousands of Classifieds
free!

■ここがトンデモだ！

これこそ、私が宇宙人が東京にも現れているらしい証拠ではないかと思い、以後この雑誌を収集するキッカケとなった投稿を紹介します。

「ぼくはアジアからきた、ちきゅうじん。28才。男。しんらいできる女性、れんらくして下さい(電話番号)　(原文のまま)

わざわざ「ちきゅうじん」と断っているということは、この雑誌は、宇宙人の情報交換にも使われているということか？　もしかして、ここに載っている記事の何割かは宇宙人の連絡なのだろうか？　他の証拠はないかと、記事を読んでいるが、なかなかしっぽをつかめない。しっかし、まったく、どいつもこいつも、東京にやってきて何したいんだ？　日本の地方からやってくるヤツが、東京の情報誌に投稿するのはもっとつつましいぞ。でも、単に程度問題というか、外国人が自分に正直なだけ、という気もしないでもない。

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS
SINCE 1992

唐沢俊一

連綿と続く
トンデモの系譜

唐沢俊一（からさわしゅんいち）1958年、札幌生まれ。古書マニアが高じてB級古本評論家となる。他にオタクモノ評論家、薬局評論家、演芸評論家、マンガ原作者の肩書きを持つ無節操マルチ人間。と学会マスコミ対策部長（自称）でもある。主著に『まんがの逆襲』（ベネッセ）『美少女の逆襲』（ネスコ）『古本マニア雑学ノート』（ダイヤモンド社）『薬局通』（早川書房）『怪体新書』『トンデモ怪書録』（以上、光文社）『アジアンコミックパラダイス』（KKベストセラーズ）など、著書多数。ホームページ解説準備中。　E-mail:CXP02120@niftyserve.or.jp

97年2月

今日はお子さん連れが来てるということで、ちょっとネタ的にやばいのがあるかなとは思うんですけれども、一応と学会というところは基本的に大人のための団体です（笑）。子供は柳田理科雄とか、そういうのを読めばよろしい（拍手）。

で、ものはカストリ雑誌です。きのう神田の古書展で見つけました。どういうものか、例会前の日というのはこういうネタを拾う確率が高くなりますね。（会場―「と学会の認める唯一の神秘現象じゃないか」）。まさに、という感じであります（笑）。

『風流草子』（申請書2050）、昭和28年10月号という、まあカストリ雑誌なんですけども、ＳＦネタがなんと二つもありました。「美男ロボット誕生」（写真1）という（笑）、要するにマッドサイエンテストが美男子のロボットをつくって、それと自分の体をシンクロさせて、こいつに女性をナンパさせて、そのキスの快感とかペッティングの快感を自分が味わおうという話で、小松左京さんなんかが昔似たような話を書いてましたね。ま、こっちのほう

が発表時期は先なんですが、出来は当然ながら比べるべくもありません。ロボットは完璧な美男にできたんだけども、残念ながら天才博士をもってしても、男のあの部分だけはつくれないのですね（会場―「何でですか？」）。神秘的な器官だからだそうです（笑、拍手）。で、ノッペラボーのあそこを見て驚いて、「女は気絶をしてしまいましたとさ」と、ただそれだけでSFだと称している、まあ厳密にはSFとは当然ながら言ってませんで、「奇抜小説」と銘打ってますが、何にせよむちゃくちゃなものでございます。

写真1

この本には、ほかに「奇々怪々空飛ぶ変態男」とかいうすごいタイトルの小説もありますが、まあ、カストリ雑誌の読み物というのは、大体がタイトルが一番すごいというものが大部分ですから、期待しないほうがいいです（笑）。

次はホモネタです（笑）。実に大人向けだ（笑）。『ホモ族の世界』（申請書2051）、山路民夫という、これもこの前の前あたりの古書展で手に入れたんですけども、産心社というところから出ているんですが、発行が昭和51年ですね。実はこの後、出版界でちょっとしたホモブームが起きまして、この本もタイトルを代えて再版いたしました。そのタイトルってのが、『沖田総司はホモだった』というミもフタもないもので（笑）。

要するに歴史の中の英雄とか豪傑とか、そういう連中にはホモが多いんだって言ってるんですが、このカバーの下に書いてあるように、沖田総司と土方歳三と吉良上野介と浅野内匠頭と将軍綱重と柳沢吉保はホモだったというんですけども、南條範夫さんとか稲垣史

生さんとか、その類のことを言っている人は他にも沢山いらっしゃいます。別にこの本の説がユニークというわけじゃない。では何がユニークがというと、他の方は南條さんにしろ稲垣さんにしろ、文献とか手紙とかそういう記録類を発掘して、それを証拠とするんですけども、この本の著者はご自分がホモなんですね。だから「要するにホモの気持ちはホモにしかわからないのだ」といいばって、資料をあげて「私のような趣味を持ってる者にはわかるのだが、こういう言い方をする人物はホモだ」と、片っ端から全部断言するわけですね。もう、すごい自信です（笑）。

で、その断定に使う史料は何か。普通、江戸時代のことを調べようとする人なら、図書館とかで江戸時代の史料とか文書を読むんですけどね、この人はそんなめんどくさいことをしない。司馬遼太郎の小説とかを読んで済ます（笑）。例えば土方歳三なら、司馬遼太郎の『燃えよ剣』から引用して、「『男の一生というものは』と歳三はさらにいう。『美しさをつくるためのものだ、自分の、そう信じている』『私も』と沖田は明るくいった。『命のある限り土方さんについていきます』」……と、ここまで司馬遼太郎さんの小説の引用でして、その後にこの作者が、「『そして目と目が絡み合い、お互いに体を求め合うことになった』とは書いていないが」と言うんですね（笑）。

そして、「世の中の人間はこのようなはっきりとした証拠があるのに、沖田総司がホモだということを認めないのである」って、どこがはっきりとした証拠だ、おまえはという、こういう本でございます。決して私はホモを差別したり、馬鹿にしたりするつもりはないわけなんですが、まあ、今回はたまたまホモ本のトンデモを見つけただけと、こう解釈くださいませ（拍手）。

97年6月

今日は小ネタばっかりを特集してみました。……まずこれ、土曜日だから昨日ですね。昨日の古書市で見つけて、昔懐かしいなと思って買ってきた『冒険王』（申請書2052）で、表紙のこれはピープロ製作のTVヒーロー、ジャガーマンですね。「テレビ放映迫る」と書いてますけ

ど、結局されませんでした。ちなみに、次の号では全然デザインの違う、リアルな豹柄のジャガーマンが出てますから、本当にころころころころと設定が変わっていたということがわかります。
いろんな漫画、『サイボーグ009』とかいろいろ載ってて懐かしいんですけども、『タイムトンネル』という漫画がありまして、これはあの懐かしいSF番組『タイムトンネル』をいろんな漫画家に月替わりで描かせるという企画です。今回は『矢車剣之助』の堀江卓先生が描いてます。
で、この企画がすごいのは、設定のみテレビから借りてきて、ストーリーはオリジナルなんです。ここに新撰組が出てきますよね。つまり、日本の京都に行ってしまうわけですよ、主人公たちが。
で、新撰組に「そこの二人、降りてこい」と、取り囲まれるんですね。「外国からのスパイがここにいる」というわけです。まあ、幕末の日本に外人がいれば怪しまれるとは思うんですが、そこで二人は新撰組が追っている本当のスパイと知り合うわけです。
で、結局追い詰められて、「ああ、せめてタイムトンネルからマシンガンの一丁でも送ってくれたら助かるのに」と言ったら、新撰組が笑って、「何、マシンガン？　フフフ、これのことか」ってパッと取り出すわけですよね。主人公たち以上に我々読者が仰天します、この展開。それで、ガガガガン、とマシンガンが連射される。やっぱり堀江卓先生は、この連射がなきゃ始まりません（笑）。（注・堀江卓作品は銃の乱射が必ず出てくることで有名）
ところが、何と新撰組のマシンガンが熱線で溶けてしまう。「マシンガンが溶けたぞ、どういうことだ」というと、実はこのスパイ、この男も主人公たちと同じく未来からやってきた男で、レーザーガンを持っているというドンデン返しなんですね。すると、新撰組がうなります。「うーむ、まさかレーザー銃を持っていたとはな。近藤さん、どうする？」「ナーニ、土方君。万一と思って大石さんに無電を打っといた。すぐに来る、おお来たぞ」。そして「ドドドドドドド」と地響きを立てて、なんとそこに戦車部隊が現れるん

ですね（笑）。筒井康隆の小説みたい。もう、読者混乱の極致です。しかも、その戦車部隊の隊長さんが大石内蔵助。「戦車部隊、ワシを入れて47台」（爆笑）、「近藤殿、敵はどこじゃ。何、五重塔？　それは一大事じゃ」と言うので、「射程距離１００メーター、目標前方の五重塔、撃てっ」てんで、「ガガーン、ガガーン」と赤穂戦車隊一斉射撃（爆笑）。

するると、五重塔がこのようにロケットになってですね（笑）。「バオー」と。……もう、ここまでくると勝手にせいという感じですね。実はこれには秘密があって、要するに江戸時代だと思ったここは未来世界で、ここに「春は京都村へ」って書いてありますけども、要するに日光江戸村みたいなものがこの時代にはもっと大がかりにできていて、金持ちたちがここで時代劇の扮装をして遊んでいたと。そういう設定だったことがわかるんですね。で、さっきの近藤勇が京都村の警察署長、大石内蔵助が防衛隊長というわけです。もちろん全部コスプレで、本名は別にあるというんですけど、この二人、なりきってしゃべってますね。「うーむ、とうとうスパイに機密処理と宇宙船を持っていかれてしまった」「近藤どの、えらいことになりましたな」と言ったら「へへへ、大丈夫でござんすよ」という声が聞こえまして、そこへ出てきたのが「おお、お前は五重塔の守衛の座頭市ではないか」。もうむちゃくちゃ（笑）。「これを見ておくんなさいまし」と出したのが、「おおっ、これは宇宙船の給油缶のとめがね」（笑）。「かわいそうに、今ごろじゃ原子燃料がどんどん流れ出し」。流れ出すもんなんですね、原子燃料てのは（笑）。「五分後には大爆発でござんすよ」。

その会話を聞いていたタイムトンネルのスタッフたちの努力で、爆発寸前にトニーとダグの主人公二人は転送されて、タイタニック号みたいな豪華客船の甲板に現れます。

助かったと二人は喜ぶわけですが、その船はマリー・セレスト号じゃないが、誰もいない幽霊船。そうしたら巨大なゴキブリが出てきて、二人を襲います。息もつかせぬ設定ですね。ところが、これまたドンデン返し。こいつが放射能で巨大化してみんなを食ったんだと思ったら、実はこの船自体が子供のおもちゃで、そして巨大な土星人の少女が出てきてですね（笑）。

実はここは土星だった、というオチがつく。で、また二人は転送されて、果たして……というところで次号へ続くんですね。

つまり、時代劇の京都の江戸時代の幕末に移ったと思ったら、実はそこは未来の世界で、未来から現代に戻ったと思ったら、実はそこは土星のおもちゃの船の上でという、ドンデン返しの繰り返しがすばらしくスリリングでして、さすが堀江卓先生だなという話になっております。

この作品、子供のころ読んだもので、実に印象深かった作品なんですね。長いこと、何とかこれを手に入れられないかなと思っていたんですが、明日がと学会の例会だという日に古書市で手に入れる。これだから涙が出ますね（拍手）。

◆と学会こぼれ話・11

と学会はやはりトンデモ本の執筆者さんたちから目のかたきにされている。なかでもコンノケンイチ氏は『宝島30』にと学会の連載が掲載されていたときに、抗議文を送りつけてきて、数度にわたって論争があった。それからもコンノ氏は、著書の中でと学会に対する悪意を隠していない。『植物とお話する法』の三上晃氏は、最初はと学会のおかげでマスコミに注目されたと喜んでおられ、感謝の手紙までくれたが、やがて、「彼らはあなたをバカにしているのです」と植物さんが教えてくれたとのことで、これまたと学会を嫌いになられたとのこと。大槻義彦教授は、ご自分の主宰する科学雑誌『パリティ』で最初、山本弘氏に原稿を依頼してくるほどだったが、教授の著書の中のトンデモぶりを指摘されて、トンデモ本大賞特別賞を差し上げてからいたくお冠らしく、『噂の真相』誌のエッセイでもと学会に不快の念を表明していらっしゃる。ただ、そのエッセイの中でもカン違いしてと学会の本でもないものをと学会の本と言っていらっしゃるあたり、いかにも教授らしい。パソコン通信やインターネットの会議室となるともう、と学会憎しの声は充満しているようで、すでに地球滅亡のとき人類を救ってくれるUFOの母船に、と学会を乗せないよう進言した、などと言っている人もいるようだ。これらも全て、と学会のネタにされることは言うまでもない。（唐沢）

TONDEMO FILE
2050
Reporter/Syunichi Karasawa

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・唐沢俊一

■アイテム
書籍・コミック・[雑誌]・ビデオ
レコード・CD・その他(　　　)

■タイトル
風流草紙

■著　者・

■発　行・蒼空社

■価　格・90円

■発行日・昭和28年10月20日

■購　入・1997年3月頃

■トンデモ度数　★★

風流草紙
男嫌いの女を陥落させる秘訣
風流珍具の話

■ここがトンデモだ！
昭和28年、まだSFマガジンもない頃に、こんなカストリ雑誌にロボットものSFが発売されていた。もっとも、お話の情けなさもすごいもの。

TONDEMO FILE
2051
Reporter/Syunichi Karasawa

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・唐沢俊一

■アイテム
書籍・コミック・雑誌・ビデオ
レコード・CD・その他(　　　)

■タイトル
ホモ族の世界

■著　者・山路民夫

■発　行・株式会社　産心社

■価　格・680円

■発行日・昭和51年7月7日

■購　入・1997年3月頃

■トンデモ度数　★★★

■ここがトンデモだ！
歴史系トンデモ本には、有名な東日流外三郡誌はじめ、我田引水なものが多いが、この人の理論というものの強引さと安直さは特筆もの。

備考／こういう本を集めていたおかげで、某『噂の真相』誌にバイセクシュアルと書かれた。トホホ。

TONDEMO FILE
2052
Reporter/Syunichi Karasawa

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS

トンデモグッズ申請書

■申請者・唐沢俊一

■アイテム
書籍・コミック・**雑誌**・ビデオ
レコード・CD・その他(　　　)

■タイトル
冒険王
昭和43年2月特大号

■著　者・

■発　行・秋田書店

■価　格・210円

■発行日・

■購　入・

■トンデモ度数　★★

■ここがトンデモだ！
表紙のジャガーマンは、「怪傑ライオン丸」のピープロ制作のヒーロー物番組だったが、放映決定とまで言われながらとうとうオクラ入りとなってしまった、幻の作品。

備考／この当時の少年マンガには、かなりブッ飛んだものが多い。要注目。

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS
SINCE 1992

Chapter 2

発表！'97年日本トンデモ本大賞

数々の伝説を生んだ、あの日本トンデモ本大賞の全貌が、
今初めて明かされる！
1997年8月25日、広島プリンスホテルは笑いと興奮に包まれた。
毎年夏、全国各地で大規模に開催される
日本SF大会で最も人気の高い本イベントは、
前年までに出版されたトンデモ本の中からノミネート作品をあげ、
参加者からの人気投票によって大賞を決めるという趣向である。
はたして、大賞に輝いた作品は一体何か。
過去5年間のいわくつきにして栄えある（？）大賞に
新たな1ページが加わる。

■と学会出席者
山本弘／藤倉珊／唐沢俊一／志水一夫／永瀬唯

第1部　ノミネート本5冊、一挙発表

（オープニングビデオ上映。海外の古い怪獣映画のフィルムを編集したもの。最後に「輝け！第6回日本トンデモ本大賞」というタイトル文字が出て、会場が明るくなる。大拍手の中……）

山本　今回も日本トンデモ本大賞にたくさんのご参加ありがとうございます。

　ここに来られた方には説明は不要かと思いますが、昨年3月から今年4月までに出た本の中で、一番トンデモない本を選ぼうという非常に楽しみな会でございます。

　皆さんにお配りした投票用紙にも書きましたが、今からノミネート作品、一応5作品ですが、これをずらっと紹介しまして、その間に一番おもしろいと思ったものにマルをつけて投票してください。集計して、今年のトンデモ大賞を決めるという内容になっております。

　申し遅れました、私がと学会会長の山本弘です（拍手）。今日の出席者をご紹介します。一番端から、肩書は何となるのでしょうか。

永瀬　今日は岡田さんいませんから、大学講師と言わ

と学会会長　山本弘氏

せてください。「東大講師」と一緒の時は格で負けるんで、あえて名乗らないんです（笑）。

山本　大学講師の永瀬唯さんです（拍手）。トンデモ本の発見者である藤倉珊さん（拍手）。ＵＦＯ研究家の志水一夫さんです（拍手）。

永瀬　あれっ、哲学博士じゃなかったの？

志水　いろんなのがあるの（笑）。

永瀬　志水さんて、通信教育でトンデモな資格を集めるのが趣味なんですよね。

山本　次が毎度おなじみの唐沢俊一さんです（拍手）。

唐沢　正体が不明の人物を紹介するときは、おなじみのとかご存知のとか言っておけばいい、というやつですね（笑）。

志水　キャストのテロップはクエスチョン・マークになるという（笑）。

山本　じゃあ時間が押していることもないんですが、なるべく早くやっちゃいたいので、これから5作品をババババッと紹介していきますが、1作ごとにコメントを求めていきますのでお願いします。

じゃあ最初の本からいきましょう。電気を消してください（紹介する本がモニターに映し出される）。1冊目です。『太田千寿が解き明かす霊界と天上界の大真実』、徳間書店です。

太田千寿という人は前にも『トンデモ本の逆襲』で取り上げましたが、霊界の三島由紀夫からメッセージを受け取っておられるという、いってみれば霊媒師というかチャネラーみたいな人ですね。今回は霊界と天上界の真実を解き明かしているわけです。

20年前に初めて修行を開始した時のことです。断食

ノミネート
A

『霊界と天上界の大真実』
著者／太田千寿
発行／徳間書店
定価／1200円（本体1165円）
発行日／1996年8月

を53日間続けた。日本民族が移動する姿が見えてきた。小松左京氏の『日本沈没』みたいですが、日本人がみんな移動しちゃって、その後、日本は動物王国になってしまったと（笑）。

断食をやっていると、11日目に日蓮が来て、12日目に親鸞が来て、13日目にユダが来た（笑）。21日目に三島由紀夫さんが来まして、三島由紀夫が水中に潜って2時間瞑想しろと言った。無茶ですね。

この方は、ちゃんと指示通りいろいろやったんですよ。その結果、水中に2時間潜っていたのが原因で高熱が出て大変な風邪を引いてしまった（笑）。

で、この方が解き明かした霊界の構造ですね。一次元、二次元、三次元、四次元、五次元と次元が上がると高級になる。次元というのは重箱みたいに重なっていると思っているらしいですね。

一番上が七十二次元です。次元というのは七十二次元しかありません。七十二次元の神様がダブルゼータ（笑）。宇宙の最高は七十二次元。で、「太陽系の外は十一次元以上の空間で、星によって次元が異なっています」「ですから、アメリカの人工衛星『ボイジャー』が太陽系の外に出ていきましたが、あれは大変なことをしでかしています。三次元の物体が〈外宇宙〉に出ているので、〈外宇宙〉に穴をあけてしまっているのです」（『太田千寿が解き明かす霊界と天上界の大真実』P58より）。……と。

で、三島由紀夫氏が死後どこへ行ったかというと、UFOの中で目覚めたというんですね。驚いていると神様の声が聞こえるんですね。

「そなたはこの宇宙船で四年間、孤独に耐えるのだ」「もうすぐそなたの同胞が下界からやってくる。引田天功と田宮二郎だ。彼らがやってきたら、三人で力を合わせて、この宇宙安泰のために働くがよい」（同書P103より）。三島由紀夫と引田天功と田宮二郎が力を合わせてこの宇宙を守っている（笑）。

宇宙の構造はというと、地球がありまして、惑星連邦というところを三島由紀夫が管理しています。宇宙連邦は田宮二郎が管理しています。で、この間を行ったり来たりしているのが尾崎豊（笑、拍手）。

惑星連邦にはクラーク・ゲーブルとか、ユル・ブリンナーとか、ヘレン・ケラーとかがいます。ヘレン・ケラーはいいでしょう、キュリー夫妻とかウォルト・ディズニーとか。ウォルト・ディズニーは二十二次元ですね（笑）。

で、もう一つ、宇宙連邦のほうは、赤木圭一郎、沖雅也、天地茂、夏目漱石、ヘミングウェイ。ちなみに、この中で一番次元が高いのは天地茂ですね（笑）。あと、ウォルト・ディズニーからのメッセージです。

「ミッキーマウス、ドナルドダック、かわいいだろう。少年少女、そして青年淑女に夢を与えたかったんだよ。君たちは僕の愛らしいベイビーだ」（同書P98より）

というのが来ています。

坂本九からのメッセージは、飛行機が落ちることを予知できなかったのがはがゆいとか言っています。

あと、手塚治虫さんからのメッセージで、「僕が『鉄腕アトム』を作れたのは、子供達に夢を与えさせようとテレパシーを送ってくれていた大宇宙の男神のおかげである。だから、今度は僕が地上の漫画家に波動を送る。その名前は美内すずえ」（同書P113より）（笑、拍手）。

「そして今話題の『オウム真理教』の麻原彰晃被告。彼は五次元霊界です。それなりには霊能力があります。しかし、五次元までしか見られない人物に、『ハルマゲドン』が分かるはずがありません」「彼のいるところは、怪物王国で、悪霊がたくさんいるところです。そこには〝ガ〟というオス的なものと〝ガメラ〟というメス的なものがいると知らされています。ムソルグスキーが作曲した『はげ山の一夜』のような所のようです」（同書P86）という解説があるんです。

で、こういう本なんですけど、このコメントですが、どなたか。

唐沢　太田千寿さんという人は、この本を見てもわかりますけど、三島由紀夫が大変に好きで、時々、三島由紀夫の霊が降りてきて三島由紀夫になりかわってしまう人です。一水会の鈴木邦男さんのところに三島由紀夫になって電話をかけて、「あっ、わしじゃ、三島じゃ」と言ってくるそうです。そんなわけで、鈴木さ

んが大変に困っていて、誰かに、この人を譲りたいと言っています。私はいいですと言って断ったので、どなたか太田千寿に乗り移った三島由紀夫を譲られてほしい人、後で私のところに来てください。鈴木邦男さんを紹介しますから。

山本 しかし、この人の霊界ほど芸能人の多い霊界って珍しいですね。

唐沢 霊能者って大体、芸能人をすごく好きだよね。

志水 大川隆法も十二次元までしかわからないって書いてる。

山本 だから、日本はそういうインチキな霊能者が多いので、日本霊能者検定協会とかつくって、全国霊能者資格検定審査試験を受けさせろって書いてありますね。本人、この試験に受かるのでしょうか(笑)。

永瀬 いや、ドクター中松のように自分で冠をつけるんですよ。

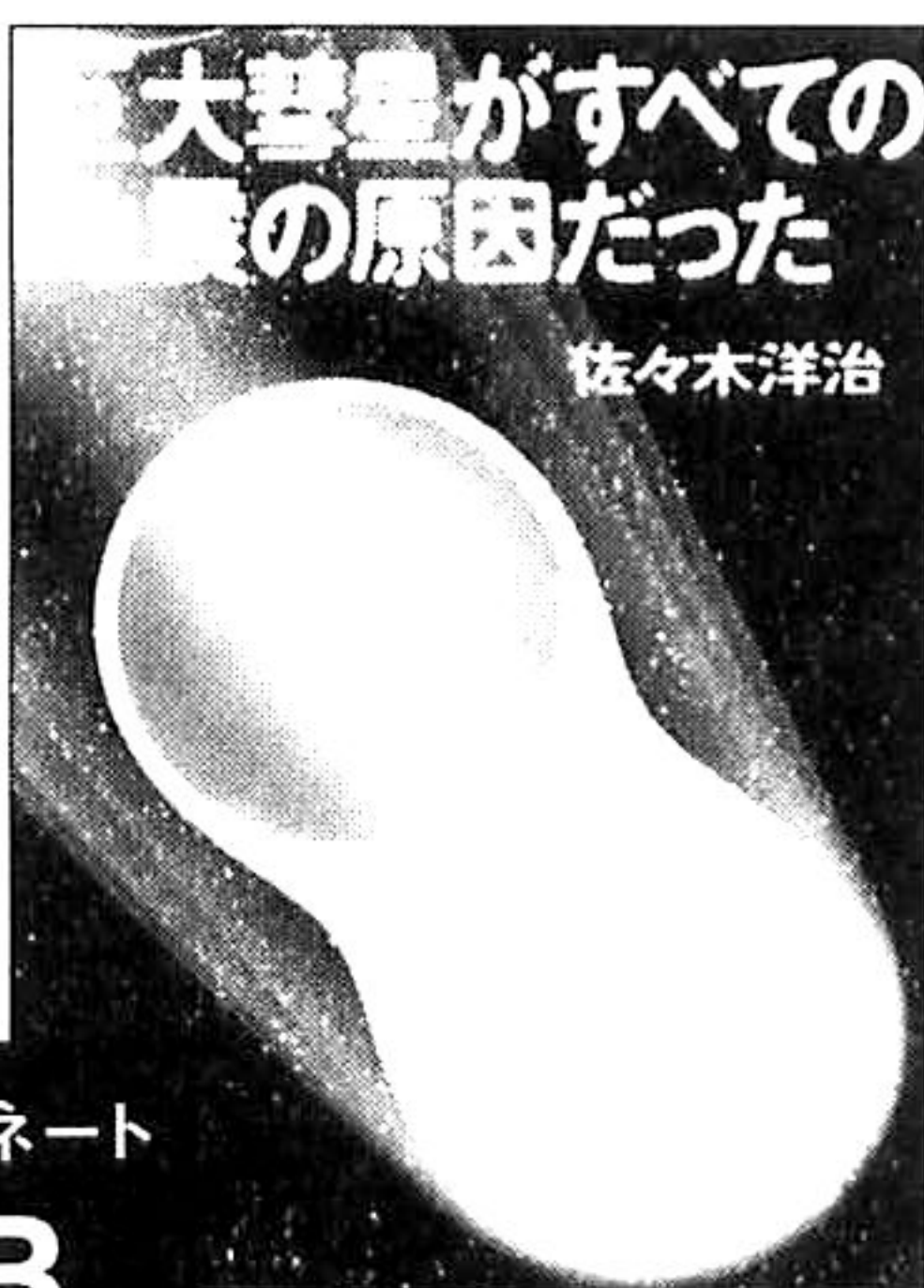
志水 国際霊能学者を名乗って、国際霊能者検定協会というのを作ってね。

山本 ほかにも、「人間の肉体には、『リン』という物質があって、それは霊体にある幽体ホルモンという分泌物に影響を与えています。この幽体ホルモンというのがはいわゆる『幽体離脱』を誘発する物質です」とかいろいろ書いてあります。

これ1冊で宇宙の秘密は全部わかります。お買い得な本ですね。

次の本に進みます。次は『巨大彗星がすべての地震の原因だった』、佐々木洋治。まあタイトルだけでトンデモ本とわかるという珍しい本ですね。

この人は地震雲の研究をされているんですけど、雲

『巨大彗星がすべての地震の原因だった』
著者／佐々木洋治
発行／徳間書店
定価／本体1500円十税
発行日／1997年3月

ノミネート
B

の形で地震の予知をするという民間の研究をやっているうちに、彗星が地震の原因だったということを突き止めてしまうんです。で、その彗星が地震を起こす原因。まず、「彗星が太陽コロナに接する。シンクロトロン放射で磁気団が発生。太陽風に乗って48時間後に地球に到達」。あっ、この磁気団というのは、モノポール（単一磁極粒子）です。モノポールが地殻の下に集合します。で、その継ぎ目にモノポールがたまります。これがドーンと上に噴出しますと地震雲ができるわけですね。で、同時に火山の噴火や地震が起こるという原理になっているわけです。

何でモノポールが出てくるのかさっぱりわからないんですけど、このモノポールが地球上のすべてのものに影響を与える。「若者は英気として、年老いた者には健康のチェック機能として、魚にはその生命の維持増大のバロメーターとして」（同書P69より）、モノポールの増大によってイワシが豊漁になったりする（笑）。

「ちなみに、私の親しい友人でもある長野県北佐久郡望月町出身の江本茂氏は、これを取り出すことに成功したという。そのエネルギーは『ピラミッドパワー』とも『気』とも言われているものである。そして、このエネルギーは身近には、果物の腐敗を防ぎ、ガソリンの燃焼をアップさせ、人間を元気にする。このエネルギーを発生させるボードを部屋に置くと気分が和らぎ、音楽の音色が良質になる」（同書P219より）。

これ、モノポールじゃなくてタキオンですね（笑）。「阪神大震災もハレー彗星が関係していた」。ハレー彗星のせいで阪神大震災は起きたんだそうです。時間が随分ずれていると思うんですけども。

この方は阪神大震災の予知に成功したというんですよね。この人は地震の予知情報というのをしょっちゅう出しているそうで、その中で阪神大震災が起きるぞと警告していた。これがこの人の出した予知情報の実物なんですが、発生予想日が7日、8日、9日、11日、12日、13日、14日、15日、16日、17日、18日、23日、24日、29日、30日と、大体1月の半分ぐらいが危険日になっています。この本にあるエネルギー蓄積地域と

いう図を見ると、地震のエネルギーが蓄積してるところに大地震が起きますよというんですけど、これだと日本じゅうが大地震ばっかりですね。しかし、近畿地方をよく見てください。兵庫県の南部と淡路島だけちょうどエネルギー蓄積地域から外れてます（笑）。これは「ハズレ」と普通は言いますね。

志水　彼に、ここには地震がないと言われたら気をつけろと（笑）。

山本　皆さんも地震雲という言葉はお聞きになっていると思うんですけど、どんなのが地震雲かというのはあまりご存じないと思うんです。で、この本には地震雲の写真が載っていますので、これを見ると地震雲というのがどんなものかというのがよくわかります。この方が研究なさっているのを写真に撮っているわけです。これですね（写真が映る）。これはただの飛行機雲だと思います（笑）。

プラズマ雲という名称がついた雲ですけど、これも飛行機雲ですね。あと、これはただのウロコ雲ですね。これも飛行機雲ですね。これもただ普通の雲だと思うんですが。

こういう写真がいっぱい載ってるんです。どれもこれも、どこが変な雲なのだろうと思うんですけど、この方の説によると、これがモノポールで起こるんです。

さらにモノポールの研究を続けていくうちに、島崎藤村とか宮沢賢治がモノポールを知っていたという説になります。これが島崎藤村の詩なんですけども、「空をながむれば行く雲の／更に秘密を開くかな」（「雲のゆくえ」より）と、これが地震雲のことを書いているとこの方はおっしゃってます。島崎藤村が地震を予知したという話は聞いたことないですけども。

さらに、宮沢賢治もモノポールのことを知ってた。その証拠に『風の又三郎』にその一節があるというんですね。「そこでは［又三郎］は因子であり、だからこそドードー、ドドット、ドドットドー」と現れて、作中の主人公［コウイチ］の『稲をたおしたり、屋根を吹きとばしたりする悪さをする』という抗議に次のように言い、『耕一、風車もぶっこわさな』……『そうら、言った。風車は誰が回すの』と又三郎は高く笑

う――のである。ここにモノポールのＹ粒子を感じるのは私一人ではなく、ここまで読まれたあなたも同様ではないだろうか」（『巨大彗星がすべての地震の原因だった』Ｐ２４５より）。多分この人だけだと思います（笑）。

志水さん、この本、読まれてますか。

志水　僕はこれ見てない。

山本　でも、地震雲というのは昔からよく聞きますよね。

志水　うん、でもあんなんじゃないよ。

唐沢　阪神大震災のときに見られた地震雲はどんな形でしたっけ。

山本　この方によると、地面から放射状にたちのぼったらしいんですけど、写真を見ると単に並行に流れている絹雲が遠近法で先細りになっているだけですね。

藤倉　阪神大震災でも断層に沿って雲が走っていたという証言がいくつもあるんですけど、まあそういうのは大抵後知恵ですから。

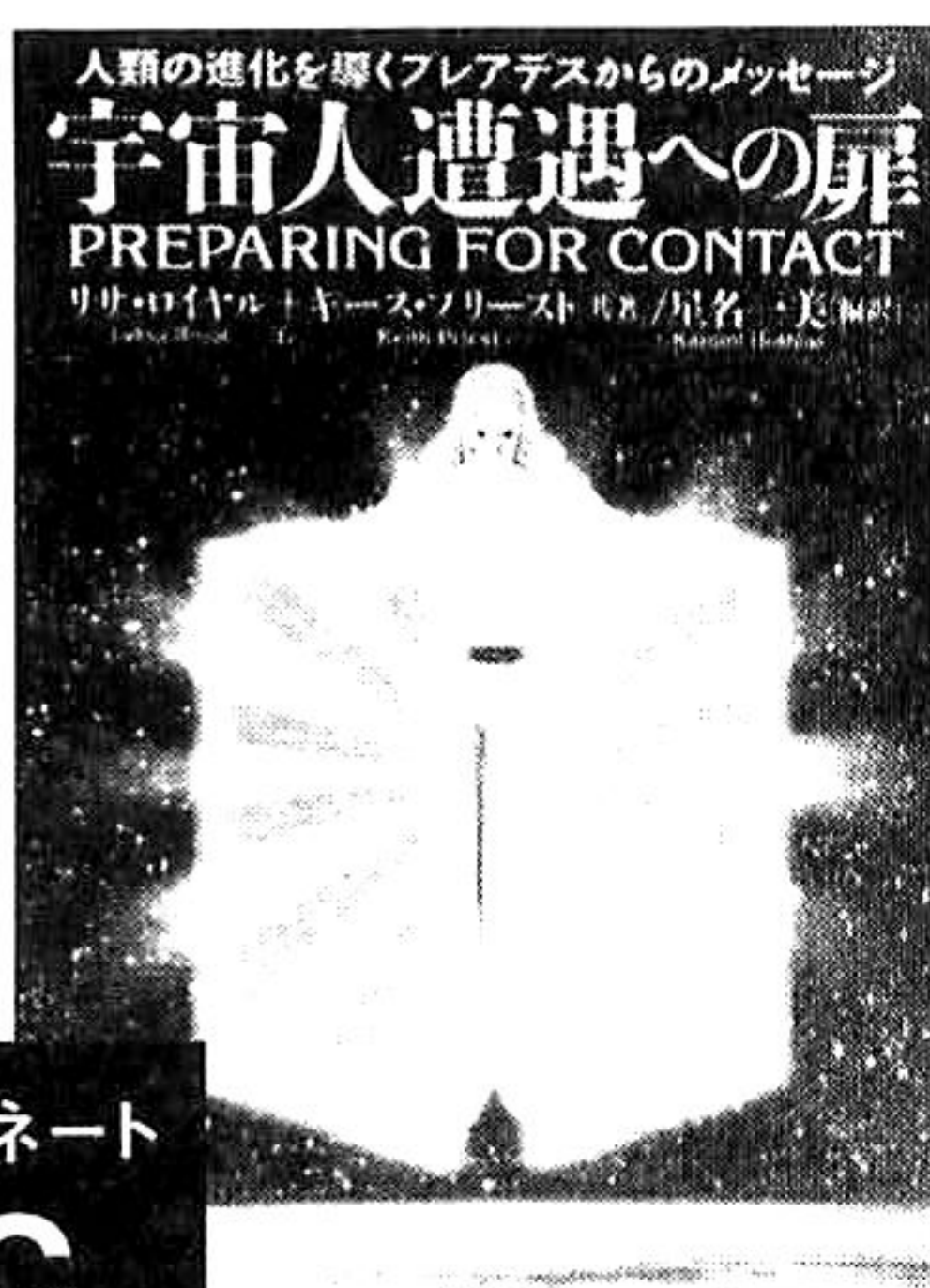
山本　確かに地震は予知できるかもしれないと思うんですけども、こんなに危険範囲が広かったら役に立たないですね。

志水　「いつかどこかで」（笑）。

山本　ちなみに、この本の最後に暦が載ってるんですよ。地球バイオリズム暦というのがありまして、この日に地震や火山噴火が起こるよって警告してあるんです。３カ月書いてありますけど、そのうち約半数が危険日になってるんですね。こんないいかげんな表現では役に立たないと思うんです。

次が、リサ・ロイヤルとキース・プリーストの『宇宙人遭遇への扉』。これも徳間書店です。別に徳間書

『宇宙人遭遇への扉』
著者／リサ・ロイヤル＋キース・プリースト
編訳／星名一美
発行／徳間書店
定価／1500円（本体1456円）
発行日／1997年2月

人類の進化を導くプレアデスからのメッセージ
宇宙人遭遇への扉
PREPARING FOR CONTACT
リサ・ロイヤル＋キース・プリースト 共著／星名一美 編訳

ノミネート
C

店ばっかり選んでいるわけでもないんですけども、何でか知らないけれど徳間書店がたくさん候補に入ってしまいます。

これを書かれた方は、いわゆるチャネラーですよね。宇宙人からのメッセージを受け取っているわけです。これまでにも何冊か本を出しているんですけど、今年出た中ではこれということですね。

リサ・ロイヤルさんにメッセージを送ってくるのは、サーシャというプレアデス星人の女性です。やっぱしお姉さんの名前はスターシャですかね（笑）。（注・サーシャとスターシャは、アニメ『宇宙戦艦ヤマト』に出てくるイスカンダル人の姉妹）で、この本の一番の売りは何かというと、地球人の90%は既に宇宙人に遭遇している。皆さん、この会場に300人ぐらいいると思うんですが、ここだけでも270人ぐらいがすでに宇宙人と会っているんですね。だから、日本人1億人ぐらいが多分宇宙人と会っている。

なぜそれに気がつかないか。宇宙人が近づくと人間は非常に眠くなる。ここに例が書いてあるんですが、オフィスで残業しているときに宇宙人が入ってくるとフッと居眠りしてしまう。だから朦朧とした状態で接触するので覚えてない。

あと、UFOを見ても、それが星とか飛行機に見えてしまう。人間の心には抵抗がありますから、宇宙船が目の前に現れても、それを飛行機だと思ってしまう。だから皆さん、空に飛行機を見たとしても、それはひょっとしてUFOかもしれないんですね。

じゃあ、どうやって宇宙人と遭遇したとわかるんだろうか。宇宙人との遭遇が起きたことを示す証拠というのが項目で挙げてあります。「電気・電子製品の異常」、UFOが近づくといろんな故障が起きます。だから自動車のエンジンがかかりにくかったり、電気がちらついたりするのは、UFOが近づいた証拠です。

「説明がつかない感情のあらわれ」。何かというと、UFOに関心がないのになぜだか知らないけどUFOが怖いとか宇宙人が怖いと思っている人は、過去に誘拐されたことがあります（笑）。要するに、そういう怖い体験があったので実は宇宙人のことが怖い、それ

を知らないでいる。
「星や宇宙への郷愁」。これはさっきと逆ですね。星を見ていると、何か懐かしいなとかきれいだなと思うのはなぜかというと、昔、宇宙人にUFOに乗せられて宇宙旅行をしたことがある。そのためにお星様や宇宙が懐かしいと感じるんですね。
あと、「ミッシング・タイム」です。ミッシング・タイムとは何かというと、ある場所に行くときに予定よりも早く着いたり遅く着いたりした場合は、その間に宇宙人に誘拐された可能性があります。志水さんはしょっちゅう誘拐されてますね（笑）。（注・会合等への志水氏の遅刻常習犯は有名）
「ひらめきや情報のダウンロード」。突然すばらしいアイデアがひらめいた、そういうときってよくありますね。それはなぜかというと、宇宙人に教えてもらったことを思い出しているからです。
で、皆さんの中でこういうことに覚えがあるという方は、昔、宇宙人に会ったことがあるんです。僕もこの項目の四つぐらいは覚えがありますね。そういう体験をもとにSF小説を書いたりする人もいるそうです。ですから、皆さんが読んでいるSF、ほんとは実話だったりするかもしれませんね。
この本の著者自身の遭遇体験がありまして、プリーストさんの場合は寝る前に扇風機をかけっ放しで寝て起きたらスイッチが切れていたとか、アイマスクを目にかけて寝て起きたらその上下が逆になっていた。これが宇宙人との遭遇という証拠ですね（笑）。
リサ・ロイヤルさんの場合は、夜中にバスルームに行ったら、バスルームの中にゼータ・レチクル星人がいる気配がした（会場―「チカン宇宙人」、笑）。真夜中に行ったので頭がぼーっとしてたんですけども、頭がはっきりするとその気配は消えていたと書いてあります。これは普通は「ねぼけていた」と言うと思います。
ゼータ・レチクル星人というのは、いわゆるグレイというやつですね。グレイというのは悪者扱いされていまして、地球人を誘拐して生体実験したりするひどいやつだというふうに言われてますけど、この本によると違います。

ゼータ・レチクル星人、グレイは実は人間を愛してるんです。ただ欠点がありまして、無意識とか潜在意識のメッセージしか受信できない。例えば、ある女の人に接触しようとすると、その女の人は「やめて！」と叫んでるんですけど、潜在意識はそうじゃなくて、「私を虐待して」といってるんだそうです。で、「私を虐待して」という潜在意識のメッセージをゼータ・レチクル星人が受信しまして、その人を虐待してあげる（笑）。

要するに、アブダクションというのはSMプレイだったという（笑）、意外な真相ですね。

志水さん、リサ・ロイヤルとキース・プリーストは結構有名ですね。

志水 そうですね。日本にも来たようですね。ファンも結構いるから。ただ、確かに有名だけど中堅ぐらい。

唐沢 志水さん、UFOに誘拐された記憶はあります？

志水 何か、さっきの場合に全部当てはまるかな、なんて（笑）。

山本 仮に日本人が1億3000万人いたとして、過去50年間に90％が宇宙人と遭遇したとすると、年間200万件ぐらい発生してる。

唐沢 本人が気がつかないのはともかくとして、周りの人間が気がつかないんでしょうかね、例えば自分の恋人とかさ、子供がいなくなったとか。

山本 この本のとおりだとすると、UFOとの遭遇事故というのは交通事件よりも件数が多いんですよ（笑）。

唐沢 そりゃ、タクシーの運転手が宇宙人なんだから（笑）。（注・『トンデモ本の世界』参照）

山本 かもしんないですね。皆さんもこれから注意してください。飛行機を見てもUFOかもしれません。

宇宙人の本は本当に山のようにあるんですけど、これはちょっと極端といえば極端な例ですよね。

じゃあ宇宙人とはどんなものであるかというので、『宇宙人大図鑑』（グリーンアロー出版）という本が出ました。著者は中村省三さん。この方も大分古いUFO研究家で、昔『UFOと宇宙』という雑誌の編集長もしておられました。この方が過去に起きたいろんな宇宙人との遭遇事件というのをいっぱいまとめて、イ

『宇宙人大図鑑』
著者／中村省三
イラストレーター／長谷川元太郎
発行／グリーンアロー出版社
定価／1600円（本体1553円）
発行日／1997年3月

ノミネート
D

ラストつきで本にしたわけなんです。これを見ると、過去に一体どんな宇宙人が地球にやってきたかが全部わかる。

これは有名なフラットウッズモンスター[イラスト2①]、昔、ゼネプロがキットにしてましたね。これがアメリカのフラットウッズというところに現れたんですけども、身長3ないし5m、かなりでかいですよ。で、そいつが乗ってきたUFOが高さが1.8m（笑）。腹這いで操縦してたんでしょうか。

これが陽気な小人ヒューマノイド（本書P20③参照）。これはイタリアのロッティ夫人の前に現れた。何をしたかというと、ロッティ夫人に近づいて、彼女が手にしていたカーネーションの花束とストッキングの片方をひったくった（笑）。宇宙人のチンピラなんでしょうか（笑）。

こっちの宇宙人は何かというと、犬をとりに来た宇宙人（本書P179③参照）です。宇宙人はブロークンな英語で「自分たちは平和的な存在だ、ただ、君の犬が欲しいだけだ」と語った。で、飼い主にどなられて逃げていったそうです（笑）。

これはクッキーをくれたヒューマノイドです。UFOが降りてきて、水をくれって宇宙人が言ったので水をあげたら、お礼にクッキーをくれたんですね。これは羽のある妖精型ヒューマノイド（本書P20⑤参照）です。本当に宇宙人じゃなくて妖精じゃないかなという気がするんだけど（笑）。これはヒングリー夫人という人のところに朝早く現れて、ヘルメットのてっぺんのライトから、レーザー光線を発射した。で、ヒングリー夫人がタバコに火をつけると、宇宙人たちはワ

ッと外へ逃げていった。

で、これがまたお節介な（イラスト2②）ヒューマノイドで、明石家さんまみたいな顔してんですけど、夜中にある夫人の部屋に入ってきて、黒い球を使って、地球上で起きたあらゆる戦争のドキュメンタリー映画を上映したんです。「夫人が戦争は嫌いだと言うと、宇宙人は地球で起きたのはこうしたことばかりだと答えた」（『宇宙人大図鑑』P134より）。午前4時に何をやってるんでしょう、この宇宙人は（笑）。本当にお節介ですね。

こういうのもいます。これはイスラエル（イラスト2④）に現れた楕円頭の宇宙人。何をやったかというとプードルをいじめてた（笑）。ソメッチさんの家に夜中に現れてプードルを投げ飛ばしてた。「宇宙人は、彼女がぼんやりとした薄笑いを浮かべていることに気づいたようだった。『にやにやするのをやめるんだ。犬にしたように、お前も痛めつけることができるんだぞ。お前を蟻のように踏みつぶすことができるんだ。そんなことはしないから、お前も亭主のところに戻っていろ』と、宇宙人は、この遭遇にふさわしいごろつきのような言葉遣いでハナに語った」（同書P150より）（笑）。

で、この宇宙人のUFOの着陸痕には赤いオイルが残ってた。「これが宇宙人の何らかのメッセージなのか、宇宙人が単にゴミを捨てていっただけなのか、あるいは犬が小便を引っかけるように宇宙人の縄張りを示すものなのか、研究家によって意見が分かれている」（同書P150より）そうです（笑）。

これはロボットらしいですね。短足で腕のない小型ロボット。倒れたらどうやって起きるのかというのがちょっと疑問なんですけど（宇宙人のイラストが次々に映し出される）。こんなのもありましたし、こういうのもありました。これはブラジルで目撃者の男とセックスしたという宇宙人ですね。

で、これ（笑）、これはちょっとコメント不可能ですね。だんだんわけがわからなくなってきちゃう。こういうのもありました。このロボットは、いくら何でもないだろうという（笑）、これは『丸出ダメ夫』のボロットですね（笑）。宇宙人のメカデザインのセンスは古いみたいですね。

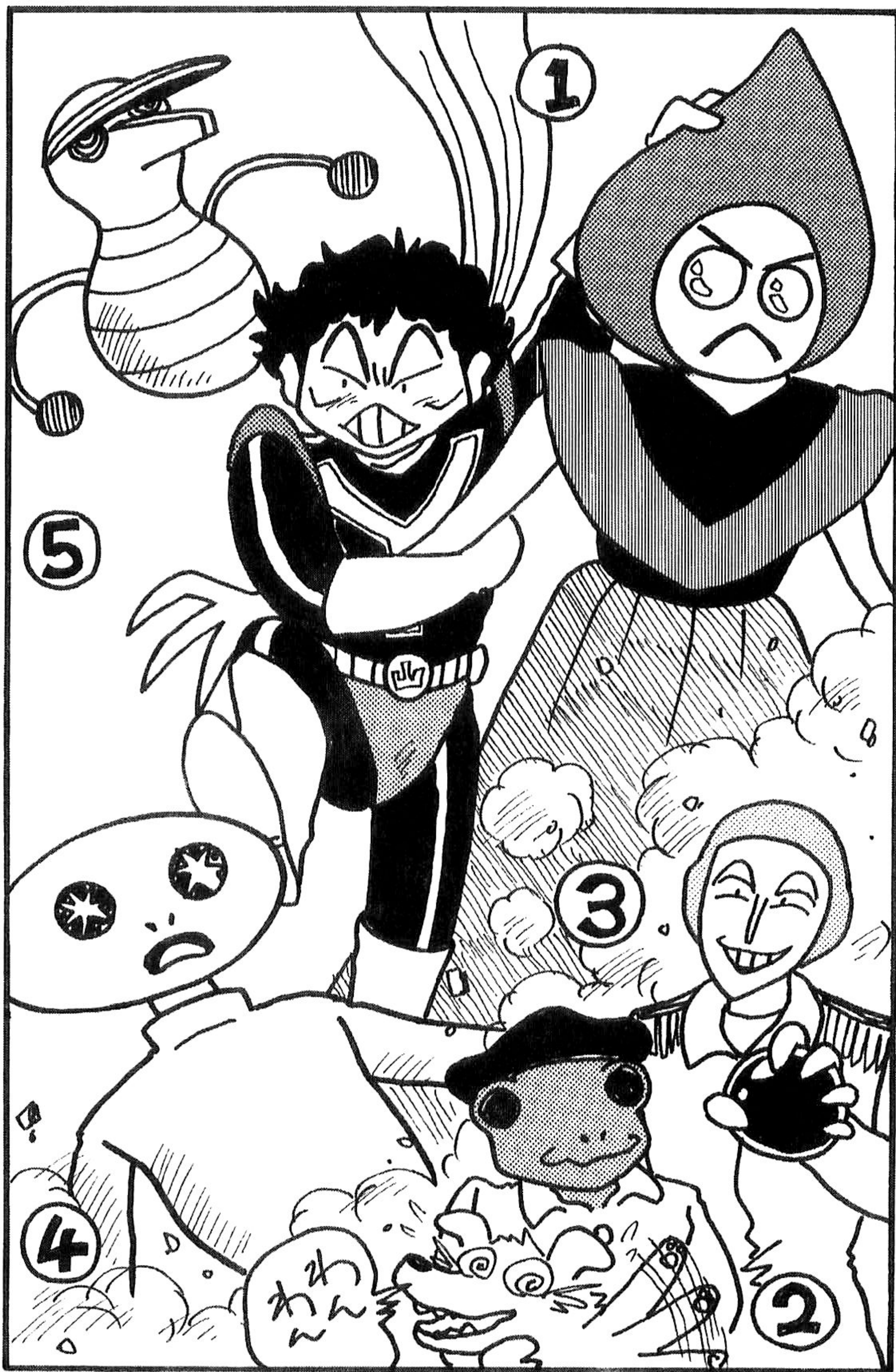



イラスト2

これもロボットです。ピーナッツ[イラスト2⑤]型宇宙ロボット（同書Ｐ150より）。かわいいっていうのかな。これはミシュランマン・エイリアンです。ミシュラン・タイヤの広告に出てくるミシュランマンにそっくりの宇宙人（笑）。こういうのも出ました。これは、マレーシアの小学生が目撃した狂暴なミニ・タイプの宇宙人。身長7・5㎝ぐらいしかないそうです（笑）。シャツに星の模様がついているんだけど、よくそんな細かいところまで見えたなと思うんですけど。これが掃除機を持ってる宇宙人。何か掃除してるんでしょうか、この宇宙人（笑）。こういうのもありますね（笑）。こういうものありますし、これなんかただの暴走族みたいですね。

　志水さん、こういうことは志水さんが専門だろうと思うんですけど。

志水　ほとんど、ＵＦＯマニアならどこかで目にしていると思います。こういう目撃談はあるにはあるんですよね。

山本　一応、全部実際にあったとされる話ですね。

志水　話としては、本当に「私、こういうの見ました」っていう人がいて、向こうの研究会の人たちが話を聞きにいって、向こうのそれなりの権威があるとされている研究会誌とかに載ったものが一応集まってる。

山本　で、その結果がこれということですね（笑）。

志水　さっきの身長３ｍの宇宙人が1.8ｍの円盤でという話でも、一応そういう形でね、あったわけなんです。

山本　だから、この本は非常に正直なんですよね。

志水　そうです。目撃者の証言をそのまま絵にしたら、ああなっちゃったという。この中村さんて東大出てて、英語・フランス語ペラペラのすごい秀才なんですよね。

山本　だから、この本も資料本としては非常に役に立つんですね。

志水　そう、参考文献ですね。

山本　永瀬さん、たしかグリーンアロー出版ってこういう本も出して……。

永瀬　グリーンアローというのは、ワールドフォトプレスの単行本の出版部門ですね。で、中村さんはむしろ編集実務よりは執筆のほうですけども、イラストを

書いてる長谷川さんは知ってますけれど、みんないい人です（笑）。

山本　でも、このイラスト、もうちょっとカッコよく描くほうがいいなと思いますね。

唐沢　本当は、こういう宇宙人のものばかり書いてる人じゃないんでしょ。

永瀬　基本的には図案屋さんなんですよ。『MONO（モノマガジン）』なんかに載っかってる線図の図解なんか書いてる人ですから、中村さんが正直に、証言どおりの内容を日本語にすると、その内容を見て、そうか、ピーナッツ型の宇宙人がいるのかって、ピーナッツそっくりそのままの恰好を書くんですね（笑）。いやあ、でもいい味出してますね。

山本　このイラストだけで、この本は買いですよね。

志水　でも、あのイラストはみんな向こうのUFO研究会の会誌とかに載ったイラストを下敷きにしてるんですよね。

山本　普通だったらもうちょっとカッコよくアレンジしようかなという欲望が出そうなものだけど。

永瀬　でも、世界観が統一されてますからね（笑）。

山本　最近、宇宙人っていわゆるグレイ・タイプ一色なんだけども、実はいろんな宇宙人がいたんだよって分かりますね。

永瀬　でも、本当に参考になるのは、ある時点より以前の宇宙人のイメージというのは本当にてんでんばらばらだった。いつの間にか物語みたいのができ上がって、標準的な宇宙人のイメージができ上がったというか、これを見ると、年代とあわせてというのがよく分かる。

山本　あと、宇宙人というのはバカだと僕は思うんですね。

志水　何で来てるんだろうなあ。

唐沢　ほかの銀河系からわざわざやってきてさ、「戦争はよくない」って、そんなことはだれだってわかってるんだから、どうすれば戦争をやめられるかというそれが知りたいのにさ……。

山本　犬取って行くことないだろうな（笑）。水欲しかったら川で汲みゃあいいと思うんだけど。あと、地球に核戦争の危機が迫ってるぞ、とかって、そこらの

おっさんを捕まえて言ってもしようがない。
だから、UFOってほんとはこういう楽しい話ばっかりなんですというのを皆さんに知っていただきたくて、こういう本をあえて紹介しました。
じゃあ一番最後にいきます。はい、『発情期ブルマ検査』。
志水　出ました（笑）。
山本　昨日も実は話題に出たんですけども、これはマドンナ社というところから出ているポルノ小説です。作者は松平龍樹。主人公の直旗クンは小学校6年生なんですね。で、同級生の静音ちゃんという女の子に憧れてるんですけども、実は相思相愛だったとわかって、で、グチャグチャするという。小学校6年で。
で、問題は、この静音ちゃんというのがアニメ・ファンだったんですよ。同級生とどういう会話をしてるかというと、
「わたし、この間ようやく『ガメラ2』を観たのよね」
──（中略）──
「そっか、Hグチさん、頑張っているんだ」「Hグチさんって言えば、もう一度『Eヴァンゲリオン』の絵コンテ切ってくれるのかしら？」「そうよねえ。最終

ノミネート E

『発情期ブルマ検査』
著者／松平龍樹
発行／マドンナ社　発売／二見書房
定価／本体495円十税
発行日／1997年1月

回二話はまるまる作り直すみたいだし、劇場版もあるんだから、絵コンテ切ってほしいわよねえ」。(『発情期ブルマ検査』P11より)

こういう子供たちが「あふううンン……!」とか、こういうことをやってるわけですよお。

僕、小学生がそういうことをするのかという以前に、今の小学生って学校でこういう会話をしてるのかなって疑問なんですけど。

この静音ちゃんはアニメファンなもんで、コスプレをするんですね。で、初めてやるコスプレが婦人警官です。婦人警官の姿をして直旗君の前に現れるんです。小学生の女の子の体格に合う婦人警官の制服ってどこにあるのか(笑)。

さらにコスプレ会場に行っちゃうんですよ。このシーンでは静音ちゃんは『真サムライ・スピリッツ』のNコルルのコスプレをしまして、ここでいろんなドラマがあったあげくに、救護室でNコルルのコスプレでやっぱしやっちゃうという、そういう展開になっちゃうわけですね。

これがNコルルのコスプレでやるシーン、ちょっと読むの恥ずかしいから読みませんけどね(笑)。クライマックスシーンがいよいよAヤナミのPラグスーツのコスプレで直旗クンとやるシーンですね。

「なぜ、長い黒髪をしたAスカのコスプレでなく、短く薄い色の髪のAヤナミのPラグスーツを着ているのだろう?

(いくらAヤナミの人気が高いからっていっても少しやりすぎじゃないのかな?)

—(中略)—

「……直旗クン、このアニメーション観てた?」

「……うん」

『いくら話題の超人気作とはいえ、なぜ、半年以上も前に終了したアニメーションのことを聞くのだろう?』と考えながら直旗は素直に返事していた。

「……そう、私も観ていたの。そして許せなかった」(笑)。

直旗は身がまえた。

まさか、巷のアニメファンのように、納得のいかな

い最終二話論争をやらかすつもりではないか、と考えたからだ。

（ううう……、ボクだって納得いかないケド、カントクじゃないんだから、ムツかしい話はカンベンしておくれよ。ボクが頭を使った論争で、静音ちゃんにかなうはずがないじゃないか）（同書P190より）。

で、幸いにも最終話のことじゃなくて、レイの最後についてだったんですよね。

「たとい、クローンだとはいえ、心を……、魂を持って生まれてきたのなら……、ある特定の人間の野望を達成するための道具の、代替がきく部品ではなく、人間性のカケラもないよう極悪非道なIカリ指令のために……、自分が初めて流した涙にとまどいながら死んでいった……。──（中略）──『私の代わりはいる』……？　そんなのウソよっ！　どんな……、どんな人間にも、代わりはいないわ……ッ！　──（中略）──　そんな多くの人間を犠牲にして、踏みにじってまで推進しなけりゃあいけない計画って何？　『絶望的な状況にある我々に残された最後の希望』？　多くの人間を……、人生を……、想いを踏みにじってまで『補完』しなけりゃいけない人類なんてとっとと死滅してしまえばいいのよ。最後の破滅でもなんでも起こってしまえばいいんだわ……ッ!!」。（同書P194より）

で、「直旗クン、抱いて……ッ。このままの姿で抱いて……」というわけで、2人で「Aヤナミ、好きだよ……」「ああ……、Sンジくん、わたしもよ……」（笑）。

以下は、こういうプレイが延々と続きますけれど、これをポルノ小説だと思って買った人は、こんな話だとは思わなかったんじゃないでしょうか。

唐沢さん、お読みになられました？

唐沢　ええ。この松平龍樹という人は、前に同じようなシチュエーションで「セーラームーン」のものを書いてます（笑）。

山本　『セーラー服下半身解剖』、登場人物が全員「セーラームーン」のキャラクターのパロディーになってるという。

唐沢　そうそうそう。で、次が「エヴァンゲリオン」ですからね、大体このタイトルとか、ストーリー紹介

が後ろに書いてあるんですけれども、そういうもので絶対こういう内容とわからないが、まあこの作者が書いたものはチェックしておいたほうが（笑）。

永瀬　やっぱり次は「ジ・エンド・オブ・ブルマ検査」でしょ。

唐沢　そうそうそう。

山本　しかし、ポルノとしての出来は問題がある。

唐沢　アダルト系の出版社って、案外チェックがうるさいんですよ。例えばお笑いが入ってたりするとダメとか、それからポルノのいわゆる濡れ場の数がいくつ以上ないとダメとかというチェックがかなり厳しいんですけども、この人のはなぜ通るのか（笑）。ここの会社の社長もやっぱり「エヴァンゲリオン」マニアなのか。

山本　でも、読んでみたけど結構さわやかな話なんですよね。

唐沢　「エヴァ」そのものよりはずっとさわやか（笑）。

山本　あんまりドロドロしなくて。

唐沢　まあ、こういう作品を好むファンもいるとは思いますが。読んで怒らないのか、オタクでないポルノファンは（笑）。

山本　何でエヴァ論争を読ませられなきゃならないんだって。

唐沢　読んで興奮するどころじゃなくなるよね、これ。

山本　いやあ、いよいよ女の子とエッチしようとしている瞬間に「このアニメ見てた？」ですからね（笑）。

唐沢　やだよね、そんな女はね（笑）。

山本　萎えちゃいますよね（笑）。こういうのもトンデモ本と言われそうですけども、トンデモ本の定義というのは、要するに作者が意図したところとは違うところで楽しめるということですから、ポルノとは違うところで楽しめる本だということをご理解いただけるかと思います。

■選外トンデモ本もツブ揃い

山本　さて、ノミネートには漏れたんですが、ほかにも今年の収穫だったトンデモがいろいろありますけ

ど、ざっと見ていきましょう。

『2000年5月5日宇宙人大襲来』（第一企画出版）。これは何かというと『インデペンデンス・デイ』は将来、宇宙人が侵略に来るので、それに対抗しようと呼びかける、アメリカ政府がつくったプロパガンダの映画だったというのを主張してるわけです。で、宇宙人に対して一番有効な作戦は何かというとゲリラ戦法だと書いてあります。

謎の超音速機、オーロラのイラストがちゃんと載ってます。こういうものです（笑）。このイラストは何なんでしょうね。

『多重人格はこうして作られる』、これも徳間書店です。はやりの多重人格本かなと思えます。まあ確かに多重人格らしいんです、この著者は。

ただ、何で多重人格になったかというと、秘密結社の陰謀で私は多重人格にさせられたと主張する本です。著者がつくったイラストのコラージュがずっと載ってまして、著者の精神状態を反映してるらしいんですけども、いろいろ解説を読んでみたけど、はっきり

いって何のことだかわかりません。全部既知外のタワゴトです。

とにかく読もうとしたんですけど、この本、読めないんですよ。タワゴトが全編にわたって書いてあるもので。

志水 よく訳したよなあ。

山本 ええ。こっちは『コスミック・ヴォエージ』という本。これも徳間です。これはコートニー・ブラウンという人が、透視能力を使って、火星人のことを透視したとか書いてある本で、モンタナ州かどこかに火星人のコロニーがあるとかって書いてありましたね。

とにかく本人はＳＲＶ（科学的遠隔透視）とか言って、科学的だと主張してるんですが、ちっとも科学的じゃないです。

志水 科学、科学って強調する人ほど、そうじゃない傾向がありますね。

山本 『それでもアインシュタインは間違っている』、これも徳間ですね。これはカナレフというロシアの人が書いたんですけども、アインシュタインは間違ってる、私は相対性理論を負かす理論を発見して発表したんだけど、だれにも受け入れてもらえない。これはやっぱり科学界の陰謀であるというふうなことを主張した本です。やっぱしロシアにもそういう人がいるんだなあと思ったんです。

志水 我がロシアにはもっと大きなトンデモ科学者がいる、ってわけか（笑）。

山本 一応、こういうのも挙げておきましたけど、ハンコックの『神々の指紋』（翔泳社）。はっきりいってつまらない本です。読んだけども、全然おもしろくなかった。

『サイバーX　地球が人類を滅ぼす日』（工学社）、これは『I／O』というパソコン雑誌の別冊なんですけども、コンノケンイチさんは出てるし、飛鳥昭雄が出てるしで、結構お買い得でしたね（笑）。コンノさんが例によって相対論にいちゃもんをつけてるんだけど、やっぱしわかってない人です。

『コズミック』（講談社）清涼院流水。これはミステリーなんですけども、これが発売された途端にミステ

リー界がパニックに陥って、大論争がくり広げられたといういわくつきの作品ですね。

密室卿という犯罪者が今年じゅうに1200の密室殺人を行うと宣言して、次から次に、次から次に次から次に密室殺人が起きる（笑）。もう読んでるうちに嫌になってきます。で、ミステリーですからトリックは明かしませんけども、タネ明かしを読んだ途端に、バカにすんなよって思いましたね。ここに実物ありますけど、こんなに厚いんですね。

タビサ・キングの『スモール・ワールド』（扶桑社）。これは唐沢さんが解説を書いておられますけども、スティーヴン・キングの嫁さんが書いたホラー小説で、人間を縮小する機械が出てきて、作者はホラーのつもりらしいんですけども、まあ何ていうんですか、……ウーンなんですね。

訳者の方が僕の知り合いなんですよ。ただ、この本、ペンネームを使って訳されてるんです。何でかというと、この仕事は経歴に残したくないと（笑）。だから別に、スティーブン・キングの嫁さんだからって面白い小説を書けるわけじゃないよなというのがよくわかる本でした。まあ人間を小さくする機械の原理の説明のところだけでも、皆さん読んでください。絶句しますから。

唐沢　早く山本さんの奥さんが書いた本が読みたいですね（笑、拍手）。

山本　いやほんとに。ボブ・ラングレー『衛星軌道の死闘』（新潮社）。これはまともな冒険小説なんですよ。ただ、宇宙にいっちゃった途端に変になります。何でかというと、この作者はどうも慣性の法則が分かってないみたいで、衛星軌道の宇宙船が攻撃を受けると即座に地球に墜落すると思ってるみたいですね。あと、現代の話なのに衛星がバリアを持ってたり、そのバリアを敵が攻撃するのに、宇宙空間にウイルスをまくとか（笑）。

いや、ウイルスをまくんですよ、宇宙空間で。そうしたら、敵の宇宙船のエアロックにくっつくから、それで相手が感染しちゃうとか、そういう話。

『ザ・プロファイリング』、これは毎日新聞社が出し

たゲームブックです。
プロファイリングの技術をゲームから学ぼうという本です。このイラストに書いてある女の人、ちょっと怖い顔してますけど、これがアメリカ帰りのお嬢様でして、アメリカでプロファイリングの技術を学んだ。彼女が主人公の刑事とコンビを組んで犯罪を捜査するんですけども、この出会いのシーン、このお嬢様がふとよろめいて主人公にドンとぶつかって、その拍子にキスをしてしまう。今どきの少年漫画でもそんなシーンねえよ（笑）。
ちなみに、ゲームブックとか言いますけども、途中に話の分岐がいくつかあるだけで、はっきりいって読者が推理するシーンはありません。
あとはトンデモ研究本といいますか、最近こんな本がいろいろ出てます。これは洋泉社の『映画秘宝』のシリーズ。僕も『底抜け超大作』という本の中で『さよならジュピター』の悪口をさんざん書かせていただきました（拍手）。
ということなんですけれども、じゃあ今年の総評みたいなものと、今後の展望みたいなのを語りたいんですけど、いかがなものでしょうか。

唐沢 今年は不作だと思ってたけども、案外ありましたね、こうして見ると。

永瀬 ツブはありますね。

山本 というか、去年あたりがあまりなくて、今年の初めあたりから一気にドドッっと出始めたなという気がするんですね。

唐沢 やっぱり、周期ってあるんですかね。

山本 うーん。

唐沢 今年、ロズウェルの50周年だからもっとロズウェル本が出るかと……。

永瀬 いや、翻訳の作業ってのがあるから、向こうの50周年のリアクションはもうしばらくですよ。

唐沢 映画で「コンタクト」であるとか「ＭＩＢ」が日本で公開するあたりからバッと出るんですかね。

永瀬 ロズウェル関係のツアーを組んだらしいんだけど、参加者はあんまりいなかったんじゃないかと思う。

唐沢 そうそう、あのロズウェルツアーはハリウッド

に行ったとき、僕も誘われた。宇宙人仮装コンテストとか、UFO型パンケーキ食い放題とか、いろいろイベントがあって。

永瀬　村おこしでID4街道とかいろいろつくって、地元でいろいろ盛り上げようとしているらしい。

山本　宇宙人仮装大会というと、やっぱしフラットウッズ・モンスターみたいなの？

唐沢　いや、一番気味の悪い扮装をした人が勝ち。

永瀬　で、おまけに米空軍まで、実は気球が正体という真相曝露レポートを出して、水をかけるどころか、かえって火に油を注いじゃったりした。

唐沢　ロズウェルの50周年記念日の1カ月前に、UFOの大編隊がロズウェルの上を飛んで、NASAがこれを完全に無視したとか、向こうのファンは騒いでいる。そりゃあ、わざわざ見に行ったら笑われるからだろうと思うんだけど（笑）。宇宙人、地球のカレンダーで動いているのかよって。

永瀬　今回、インターネットのトンデモ関連ホームページ探索をしたら、先週の初めくらいにもイスラエルに宇宙人が降りてるそうです。

山本　何しに？

永瀬　いや、さっきと同じような用件だったみたいですけど（笑）、最近のイスラエルは特に多いらしい……そんなこと心配してる暇があったら、少しはパレスチナ問題を考えろって（笑）。

山本　さっきのプードルをいじめてた宇宙人もイスラエルでしたね。

永瀬　そう、イスラエルにやたら多いらしいです。

唐沢　やっぱり宇宙人がイスラエルを好きなんですか。

永瀬　唯氏

永瀬　いや、世界のトンデモ陰謀史観の人たちがユダヤ民族を目の敵にしてるっていう困った現象はあるんだけど、イスラエルって国は、この場合、いじめられる立場の人で、何故なんでしょうね、そのイスラエルの地元のほうで見たっていうのが多いのは？

山本　ＵＦＯ後進国というか、ＵＦＯ情報がアメリカほど盛んじゃない国の方が面白い。アメリカなんかだとグレイ一色になってきちゃって、あんまり変な話をする余地がない。

永瀬　そうそう、ここらあたりがまだ定まってないんですよね。で、イスラエルもそうだし、一時期は南アメリカが意外に多かったよね。最近は少なくなりましたけど。

山本　宇宙人と初めてセックスしたのはブラジル人でしたね。

永瀬　ええ、中南米はもともと多いですよね。スピリチュアリズムもそうだし、宇宙人はヒスパニックだったというね（笑）。

山本　今回の本なんですけど、いろんなものがあったんですけど、どうも傾向が似通っちゃったかなって。超科学本が少なかったなっていう気にはなりますね。巨大彗星のやつぐらいで、どうもいまイチおもしろくない。

永瀬　最近、徳間が意外にトンデモとマジメの境目あたりの、一見科学的に見えるというか、組立自体はマトモにつくってる本を出してるんですけど、でもどうなんでしょう。売れてるんですかね。

山本　というか、おもしろくないんですね。

永瀬　徳間の担当者がそのへんを真面目にやってるんですね。そこら辺をつくったやつが売れるかというと、そうでもない。トンデモの戯言をそのまま出してるやつは売れてるんだけど（笑）。で、とにかく今、出版業界は不況で、売上げが見込める本しか出しちゃいけないみたいになっていて、ますますイッてる系のトンデモ本がたくさんふえるはずですから、今年の後半から来年は注目じゃないかと思うんです。

唐沢　だから今、インターネット関係でトンデモサイトをみんなとにかく探して、これはいけると思うと、

その人物に日本を語らせようという（笑）。

永瀬　おまけに、『ボーダーランド』はつぶれてしまいまして、やはり角川兄弟関係のトンデモ本がふえてますから、今年から来年にかけてはやっぱり角川系列と徳間系列が狙い目なんですよね。実際、歴彦さんの本家、角川書店も割と最近多いんですよ。

山本　この『多重人格はこうして作られる』も、わけ分かんない本ですね。

志水　ここまで何言ってるかわからない文章をよく翻訳したと思います。

山本　翻訳者、大丈夫かと思いますね。まったく意味不明な文章ですから。

藤倉　解説者は多分太田竜ですよね。

山本　解説者はペンネームを使ってるけど、太田竜ですね。天寿学と書いてある。しかしウーン、よく分からない本なんです。トンデモ本でも分裂系とパラノイア系というのがあって、『多重人格はこうして作られる』は分裂系だと思うんですよね。

唐沢　アメリカとかのサイトを見ると、かなり論理的にくるってるというか（笑）、トンデモはトンデモなりに何とか理屈を通そうというのが多いんですけども、私、英語があまり得意でないので日本のを探すと、日本のは本当にただ単に変なヤツというか。

山本　去年の武田了円さんのは、あれはあれで理屈がちゃんと通ってるんですね、本人の中ではきちんと。

永瀬　あれは本当に日本には珍しいですよね。

唐沢　まあ、どこかまったく僕らの知らないところに、すごい理論系トンデモの鉱脈があるのかもしれないけど。

山本　僕らも、本屋さんへ行くとどうしても同じところしか回らないというのがあって、さっきの『発情期ブルマ検査』にしても、僕は発見できなかったですね、さすがに。ある人がと学会の例会で持ってきたんですよ。

唐沢　運営委員の我々はもうそれぞれの芸風というか、専門分野が確立しちゃってるんで、一般会員の人たちがそれとできるだけ違うところを回ろうという、最近そういう動きが出てきましたよ。

山本　後でもちょっとしゃべるけど、トンデモ本でも今までのパターンに当てはまらないものをどうしても探しちゃうんですね。同じようなものばかりだと飽きちゃうから。僕も陰謀論はもういいんじゃないかとかね、反相対論ももういいやとか思ってるから。

唐沢　反相対論も1冊ごとにユニークなことをいってくれればいいけど、大体サイクルだって同じなんですよね。

山本　内容が同じなんですよ。

唐沢　『神々の指紋』だって、本当に大体前に似たようなことをいってる本っていっぱい出てるし、どうなんですか、向こうのほうの学会での評判というか、トンデモ本としての評判はどうなんですか。

志水　どうでしょうね。僕が読んでる本に出てこないからほとんど無視されてるんじゃないかと思うんだけど。

唐沢　騒いでいるのは日本だけですか。

志水　いや、向こうでも売れてますよね。ベストセラー。だけど、要するにマトモなといっても何ですけど、もうUFO研究家とかからはほとんど無視。

山本　僕なんかも『神々の指紋』は、本屋へ行って初めて見たとき、こんな本、絶対売れないだろうって思ったの。だって、おもしろくなさそうだし、今まで読んだようなことしか書いてなかったし。

志水　ゆうむはじめさんに言われてへエって思ったんだけども、あの本も紀行文なんですよね。

永瀬　デニケンと同じなんです。

志水　要するに、私がどこどこに行ってこういうことを見てきましたといって、学者さんみたいに本だけ調べるんじゃなくて、私はそこへ行ってちゃんと見てきましたって。

山本　だって、あれは観光旅行でしょう。

志水　そうそう。

永瀬　そういえば、デニケンが連続的に翻訳されたころに、東京創元社で売れに売れていたのが「プリンス・マルコ」という観光スパイ小説シリーズですね。ちょうど日本人が海外旅行や何かし初めて、でもちょっと奥まったところは行ってないようなときあたりに扱って、本って売れてたんじゃないの。秘境旅行記と

して。

唐沢　日本でそれをまだやっているのは高橋良典さん。彼はアガルタでしたっけ、何か地下の黄金郷を探すツアーというのを組んで、それでこれは前に自分が行ったんだけれども、南米の政府に邪魔されて到達できなかった、今度は本当に地下帝国を探すって。だから「ツアー員募集・生還は期せず」とかいって、20万円とか参加費用取るんです。20万円でアガルタへ行けるそうですよ。

永瀬　今思い出したんだけど、ちょうど70年代のデニケンとか「プリンス・マルコ」と同じころに、やはり観光伝奇小説というのを荒巻さんあたりがやってる。

唐沢　あとほら、日本全国を旅行するミステリーですか、旅行ミステリー。

永瀬　ところが今やOLがセイシェルやザイールや何かに平気で行くような時代になってると、もうデニケン的な観光旅行はちょっとつらいというね。

唐沢　そうでしょうねえ。

山本　ピラミッドへ行ったからって一体何なのっていう。

志水　だけど、デニケンの場合は反論があるならあなたも自分で行ってきてからお答えくださいっていうわけよ。つまり、秘境ものですよね。要するに、ジャングルの奥地で有尾人を見ました、ウソだと思ったら自分で行ってみてくださいっていうヤツ（笑）。

唐沢　よく言われる「コミケとかSF大会ってオタクばっかりでしょ、何でそんなものへ行くの」とかって、「くやしかったら来てみろ！」って（拍手）。

山本　ちょっと違うかもしれない（笑）。

永瀬　ちょっと話ずれるんですけど、ハンコックの関係でいうと、去年から今年にかけて、世間でこれはトンデモ本だというふうな格好でしゃれのめして売れてるような本て、我が学会ではほとんど取り上げられていないという、柳田理科雄でしょ、ハンコックでしょ。

山本　うーん、『脳内革命』もそう。

永瀬　うん、脳内革命もそうだし。ちなみに竹内久美子の本も帯にトンデモということをみずから……。

唐沢　あれは完全に我々と学会に対する反論本ですよ

ね。科学というのはでたらめをいうところから始まるんだって、そうかなあとかって思うんだけど。
志水　でも、その『もっとウソを！』の場合は、文春から出てる『本の話』という雑誌があるでしょ。あの中での対談のときはと学会の名前が出てくるのが、なぜか単行本の同じ箇所では削られていますね。
藤倉　竹内久美子って単行本のと学会の本で扱ってたっけ？
志水　『トンデモ本の世界』で『小さな悪魔の背中の窪み』をやってますね。その後、ボクも同じ本を『科学朝日』のトンデモ本特集で扱ってます。
藤倉　前書きでトンデモ本のベストセラーになると攻撃したでしょ。
山本　そろそろ10時半になりました。一たん休憩して、そこで集計します。ご協力よろしく。

第2部　日本トンデモ本大賞発表

■トンデモ本とバカ本

山本　一応始めたいと思います。ちょっと宣伝するのを忘れてましたけど、今こんな本が出ています。『ノストラダマス　予言書新解釈』（彩文館出版）。これ、僕も解説を書いてます。志水さんも解説を書いておられますけど、要するにノストラダムスの本当の詩をもとにして、しようもない予言を読み取ろうというやつで、例えばアニメに関する詩だと『エヴァンゲリオン』の予言だとかいっぱいあるわけですね。碇シンジが映画の中でアスカをオカズに一本抜くということを予見した詩だとか（笑）、あと、『超者ライディーン』のあの連中が変身解くたびに裸になって恥ずかしがってるシーンの詩だとか。本屋に並んでますので、よかったら買ってやってください。要するにノストラダムスの詩というのはその気になったらどんな予言でも読み取れることを証明した本です。

唐沢　要するに、トンデモ本のやってるやり方というか方式を応用したわけですね。

山本　そうそう。ただ、もう2年後に迫ってるから、これからまたいろんな変なノストラダムス本も出てくると思うんだけど。その前に売り逃げをしちゃおうという連中が絶対いる。

唐沢　2年たったらどうなるんでしょうね。

山本　いやあ、みんなどんな弁解を聞かせてくれるか楽しみですね。

唐沢　もう、五島勉は逃げにかかってるんですよね。

藤倉　五島勉は、この前の本では、ノストラダムス以上の大予言を発見したと言ってまして、誰かと思ったらこれがウェルズなんです。

唐沢　ウェルズっていうのはオーソンじゃなくて（笑）。

藤倉　いや、H・G・ウェルズです。

唐沢　予言書なんて書いてましたっけ?

藤倉　もちろん、予言書ではなくて、『世界はこうなる』というSFを予言書だと言っているんです。

唐沢　あれは本当のことですか。

藤倉　一応、世界の歴史を予言してますね。もちろんSFですけど。

志水　ウェルズは『世界文化史』の著者としても有名なので、ウェルズの「未来史」として宣伝してたことがありますね。

永瀬　あれは夢で未来を予言したという体裁になってるから、ちょうど1920年代に有名だった夢の予知やなんかをやってるダンという人の本をモトネタにしてウェルズがあれ書いたんですね。でも、おかげで予言書として読むというトンデモない人たちあたりが出てきた。太田竜も書いてますけど。

山本　前にちょっとパロディーで考えたことがあるけど、E・E・スミスのレンズマンは本当にいたとか（笑）。

唐沢　言おうと思えば何だって言えるんだよね。

山本　そう。だって、フィリップ・ホセ・ファーマーがターザンは実在したという本を書いてるし。もちろん全部パロディーなんだけど、ターザンの会見記なんか載ってる本ね。

唐沢　最近はフランケンシュタイン博士が人間をつくったときの実験ノートだとか、そういうものがどんどん出版されてますからね。

山本　この前買った本で、絵本なんだけど、『妖精のそだてかた』（白泉社）という本。

唐沢　あったあった。

山本　これがなかなかいい本で、きれいなイラストで妖精のいろんな生態が描いてあって、どういうエサを与えたらいいかまで書いてあってびっくりしたことが

ある。妖精のフンの色までちゃんと書いてある、カラーで。こういうふうなフンの色をしてるときは病気ですとか、そんなことまで書いてある細かいマニュアルなんですよ。そこまで徹底してやってくれるのがちょっとうれしかった。

唐沢　『恐竜の飼い方』という本もありましたけど、あれのシリーズですか。

山本　どうなのかな、ちょっと……。

唐沢　『恐竜の飼い方』でティラノザウルスのエサはこういうのをやったほうがいいですとかっていうような、あれじゃないの？

山本　最近、いわゆるトンデモ本だけじゃなくて、変な本というか変わった本にも興味があるんです。トンデモ本の範疇に入らない本もいっぱいあるなって。今日持ってきたのは『勇者王ガオガイガーGGG超兵器図鑑』（小学館）というの。買った人（会場――「はい！」）。

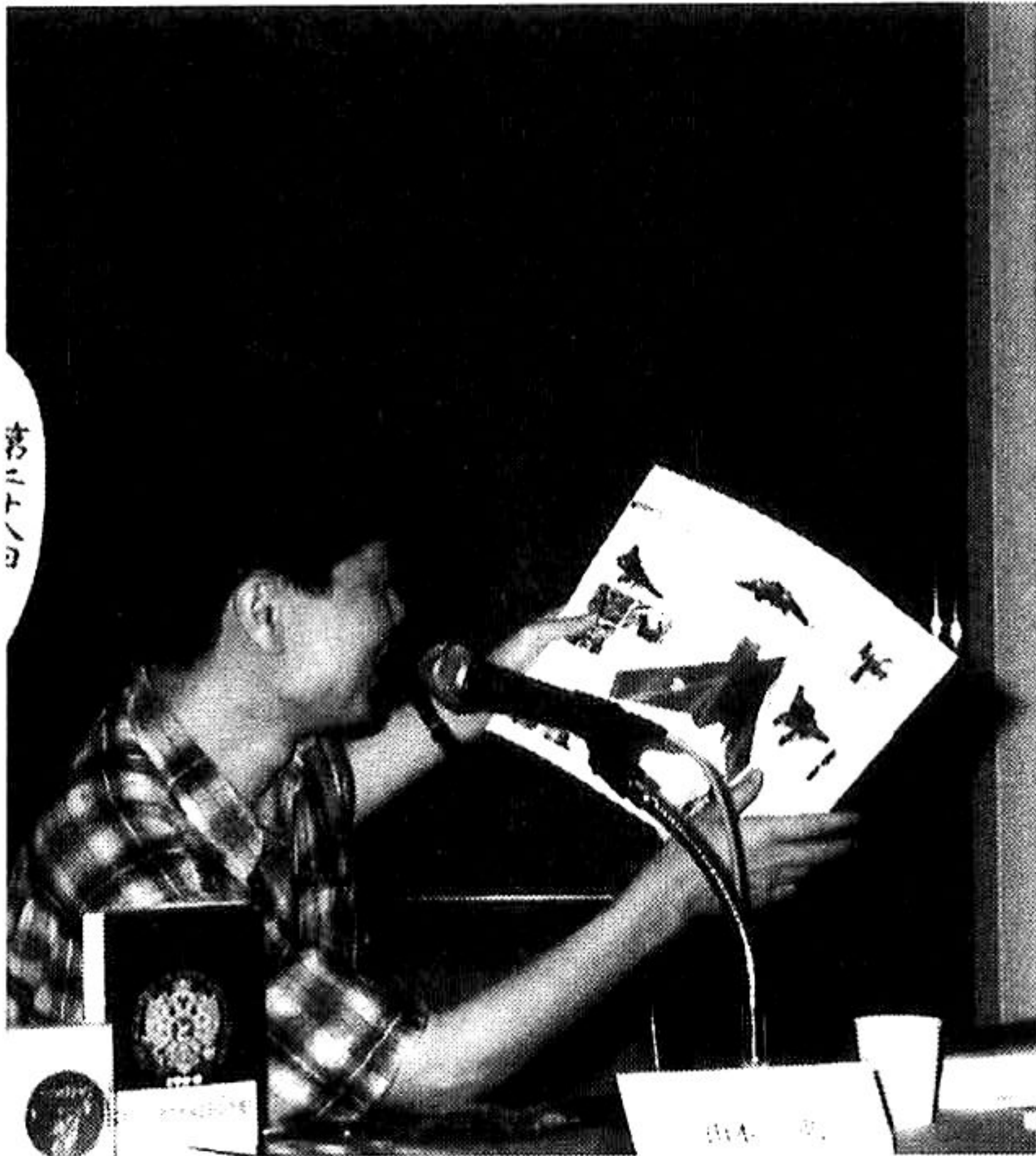
わあ、いるな。何かというと、ガオガイガーの図鑑なんですけど、何がすごいって、普通アニメの本っていうとアニメの設定書がずらっと並んでて、巻末にちょっとおもちゃの紹介が載ってるんだけど、この本がすごいのは、おもちゃの紹介と設定書の紹介が同じページに入ってて、しかもマール社とかから出てる図鑑のパロディーになってるんですよ。このGGGベイタワー基地のページに函館の五稜郭の写真が載ってるし、三大飛行甲板空母のページにタカラのダグラムの写真が載ってる（笑）。で、強襲揚陸補給船のところに諸葛亮のイラストとスミス&ウェッソン44マグナムの写真が載ってて、弾丸Xのページに弾丸の写真が載ってる。まあ、この辺はまだ許せる範囲内なんだけど、後半がすごくなってて、ステルスガオーのページにオーストラリアのアボリジニーのブーメランとか（笑）、ボルフォッグのページにドーベルマンの写真が載ってるわけね。

問題はこれですよ。ディバイディング・ドライバーとプライヤーズのページにドライバーとカニとヤットコの写真が載ってるんです。

で、一番最後は、これがすごいんだ。ゴルディーマ

ーグのページに釘と釘抜きとハンマーの写真が載ってる。よくぞやったよな、というか、ここまでやれば偉いよ、という本ですけれども、ちゃんと図鑑の体裁になってるところがすばらしいですね。

　これは意図してつくった本だからトンデモ本とは言わないんだけれど、こういう本とかも取り上げたいなとか思っちゃうんですよね。

唐沢　今までの出版常識というものからはみ出た本というのまでトンデモに入っちゃうわけですか。

山本　というか、トンデモじゃなくて、別の定義が必要だなっていう気がする。

唐沢　そうですね、「亜トンデモ」とか（笑）。

山本　昨日もその話をちょっとしたんだけど、洋泉社でまた今度新しい本を、これはと学会の本じゃないんだけども、バカ本というのを研究してる人たちがいるっていうので、そのバカ本の本を出すのに原稿を書いてもらえますかって頼まれてるんですよ。バカ本て何かというと、トンデモ本ですらないような本。トンデモ本というのは読んで楽しめるような本なんだけど、読んで楽しむことすらできないような本（笑）。

唐沢　それってつらくないですか（笑）。

山本　僕ね、その原稿を頼まれて、こういうのがバカ本の代表ですと何冊か送られてきたんだけど、確かにこれは紹介するのがつらいなあという気がした。本当につまんないですよ。

唐沢　何か悲惨な本になりそうな気がするんだけども。

ガオガイガーを説明する山本氏

山本　どう紹介したらいいのかなと思ってちょっと悩んでるんですよね。

唐沢　コンセプトだけはおもしろいけど、読んでみるとそれほどおもしろくないって本もありますよね。

山本　多分これもバカ本だと思うんだけども、『「超」パズル版新世紀エヴァンゲリオン』（飛天文庫）という本がある。これが何かというとですね、中にクロスワードパズルがいっぱい載ってるんですよ。ヨコ2のカギは「旅行に行くときに使います」とか、ヨコ10のカギ「USAはドル、日本は？」とか、非常に単純なクロスワードで、それを解くと答えが「カツラギミサト」だったり（笑）、「シンクロリツ」だったりとか「プラグスーツ」とか、こんなのアリ？という……。

永瀬　えー、関係者、来てます（笑）。

山本　ええっ（笑）、来てる？

永瀬　で、成立の事情も聞きました。

山本　マジ？

永瀬　パズル作ったところと、企画元は別なんですよ。で、パズル作った会社というかグループは業界でも3本指に入るところ。依頼した側のほうはエヴァ絡みのクイズ本を出すつもりだったんです。ところが、パズルのグループにエヴァ・クイズの依頼が来てしまった。で、パズルとクイズの違いは当然わかりますよね。知識自慢というのがクイズだけれども、パズルというのはそこに出てくるように中身関係なしのゲーム性のほうに重点があるはずなんですけれども、それを勘違いして、エヴァについて知識自慢をしたい人間がパズルのグループに依頼した。それでそういうものになってしまった。

唐沢　エヴァ絡みがトンデモ本って案外多いと思うんだよね。

永瀬　ええ。でも私、天に向かってツバすることになるのでちょっと……（笑）。

唐沢　10月あたりにアスキーの第9書籍からエヴァンゲリオンにはまったトンデモさんたちのインタビュー集というのが、たしか永瀬さんもエントリーしてたんだけれども、私もされてるんです。

永瀬　いや、本物は一人しかいませんから。

唐沢　いや、アレとアレと二人はいるでしょ（笑）。で、一人が宗教というかオカルトにはまってる人がいて、それがエヴァはやっぱり陰謀なんだって（笑、拍手）。エヴァに限らず、この夏に公開されたアニメは陰謀だと。なぜかというと、すべて宗教絡みである。「エヴァ」はカバラ、「もののけ」がアニミズム、「ヘラクレス」がギリシャ神話、すべて神話でしょ。「レッツ&ゴー」はどうなんだろう（笑、拍手喝采）。

山本　見た人の話によると、「レッツ&ゴー」が一番おもしろかったという話ですけどね。

永瀬　今回のラスト完結編の前、この春くらいから宗教絡みのエヴァのトンデモ本がたくさん出るんじゃないかと思っていたんですが、意外に出てないんですね。

志水　うん、出てないね。

山本　アポカリプス21研究会というところが出してるエヴァ本をチラッと見たんだけど、やっぱしフリーメイソンが出てきますね（笑）。

唐沢　と学会がフリーメイソンとかっていうのはもっと出るかと思ってるんだけども、なかなか出ませんね。一応、サイコップの手先とは言われたんでしたっけ（笑）。

山本　しかし、なぜエヴァってこんなに人を狂わせるんだろうね。

唐沢　いや、狂った人がつくってるからじゃないですかね（笑、拍手）。

山本　あれが昔、メガネかけてウルトラマンをやった人とはどうもね（笑）。最近、メガネをかけてウルトラマンっていってもね、若い子は知らないんですよね。

唐沢　知らない知らない。昨日トークして驚いたんだけど、今の若い人たちっていうのは本当に昔のこと何も知らない。大月ウルフもキイロアリジゴクも知らない。（注・大月ウルフは「レインボーマン」等に出演した悪役俳優。キイロアリジゴクは『人造人間キカイダー』に登場する悪のロボット）

山本　それは知らないよ（笑）。この前もそういう話、パソコン通信のUFO会議室でもぐちったんだけど、何でUFOマニアってこんなに薄いんだろうと思う。アニメマニアや特撮マニアって本当にくだらないこと

でもよく知ってるのにね。やっぱしＵＦＯマニアだったら、四国のＵＦＯぐらい知ってて当然だよなって。

唐沢　やっぱり知っちゃうと信じられなくなるからじゃないですか。

山本　ああ、やっぱし知らない人が信じちゃうのかな。

唐沢　何ていうか宇宙人がクッキーをくれたとかさ、プードルをいじめたとかっていうんじゃあ、やっぱりこれは違うんじゃねえかと思うわな。

山本　そういう話をいっぱい知っちゃうと、何か疑問に感じてきちゃう。

唐沢　だから、山本会長がやってる、これは科学的に間違ってるからこうこうという説得、あれはある意味で非能率なんじゃないかと。こんなくだらない話があって、こんなくだらない話があってと、それを紹介したほうが解毒にはいい。

山本　この前ふと思いついたのが、ＵＦＯに関する思い切り濃い話ばっかりずらっと並べた本作ったら結構おもしろいんじゃないかなという気はしたんだけど。最近、本当にＵＦＯ関係の本て、グレイ関係のとかああいう話ばっかりなんで、エリア51とかロズウェル事件とか、ああいうの一色じゃあちょっとつまんないなって思ってるんですよね。

永瀬　ずれるかもしれないけど、南山宏、中村省三、志水一夫、共通してること……残念ながら一度もＵＦＯを見ていない（笑）。いわゆる真面目な研究者ほど見てないいんですね。

山本　荒井欣一さんも見たことないって言ってましたね。

永瀬　荒井さんもそうですね。

志水　高梨さんも見てないと思います。実は並木（伸一郎）さんと私は一緒に見たことがあるんだけど、あんなのは「光り物」であって、ＵＦＯの内には入らないってブツクサ言いながら帰ってきた（笑）。

山本　高梨さんはどうなのかな、見たのかなあ。そういう話、聞かない。

唐沢　会場でＵＦＯを見たことある人（会場―該当者挙手）。これは多いんですか、少ないんですか。

山本　割合からするとそんなものだと思います。

永瀬　じゃあＵＦＯを呼んだことがある人（笑）。
山本　それじゃあ「夢芝居」を歌いながら踊るとか（笑、拍手）。あ、こんな話が通じる……偉いっ（笑）。
永瀬　あるいは、タクシーに乗った運転手さんが宇宙人だったとか。
唐沢　あ、いい人ですねって。昨日大会が終わった後で、と学会のみんなで飲みに行くときに、乗ったタクシーの宇宙人が、アキコンて何ですかとかいろいろ聞いてきた（笑）、こんなに詳しくアキコンのことを知りたがるなんて、これはきっと宇宙人に違いないと思った（笑、拍手）。普通のタクシー運転手がこんなにＳＦ大会のことに知識欲があるわけがない。
　でも考えてみれば、タクシーの運転手に化けていれば人間はさらいやすいですよ（笑）。
山本　でも、どうやってライセンスをとって、どこで車を調達したのか。結構疑問に思っちゃうよ。
唐沢　大型の免許を取るとさ、一緒にバイクの免許もついてくるからね。ＵＦＯの免許を取ると一緒に普通車もついてくるんじゃないですか、自家用二種の。
山本　じゃあＵＦＯの操縦は大型？
唐沢　大型じゃないですか、あれ。いろんなものを運んできて、だからハマキ型の大型（笑）。
永瀬　自衛隊に入ればＵＦＯの操縦もできる。
唐沢　ＮＡＳＡに入るとＵＦＯの免許がもらえますとか。（客席に向かって）と学会はこんな話ばかりしてるわけじゃないです、まともな話もやってる。念のため（笑）。
山本　ＵＦＯマニアっておちょくられると怒っちゃうのね。
唐沢　そうそう。何かすごいのがいましたね。と学会の皆さんはＵＦＯのことなんか話すよりも、車イス押して福祉の仕事をしたほうがいいと思うって、説教されたことがあった。どういうつながりなんだかよくわかんないんですけど。
山本　あの人からメール来て、実際に本人、福祉の仕事をしてるらしいんですよ。
唐沢　それは個人の自由なんだけど（笑）。
山本　そうなんだけど、やっぱし論点が違うよなとい

う気がする。でも、アニメファンは自分の好きなアニメのことでさんざん悪口を言うよな。

唐沢　でも、エヴァファンはあまり言わないじゃない(笑)。

藤倉　そうですね。

山本　そうかなあ。

唐沢　だから、客観的な第三者的立場に立てないという共通点があると思うの。シャーロック・ホームズのシャーロキアンていう人たちって原典にあるミスとか矛盾とかを自分たちでつついて楽しむという大人の楽しみ方をしてるじゃないですか。自分の立場をメタにするとそういう楽しみ方ができるんだけども、アダムスキーとかをそういうふうにして楽しむ人たちってあまり見たことがない。

山本　やっぱ信者になっちゃうとまずいんですね。

唐沢　いい人が言ってることが本当っていうわけでもないでしょ。いい人でもやっぱりバカはバカ。

山本　ああいう人たちって悪い人ってあまりいないでしょ、逆に。いい人だから高尚な思想にはまっちゃう。

そういう人たちの夢を壊してるんだから我々のほうが悪人かもしれない。

唐沢　どっちかというと。だから「ロマンがない」とか、と学会によく言われるのは「夢を壊す」とか。

■「たま」と「徳間」は要チェック

山本　藤倉さん、さっきから読んでるのは何ですか。

藤倉　これ？　これはトンデモ本、UFOとは関係ないです。『1000年後の世界』という、エール出版というところから出た1000年後を予想した本ですね。SFファンじゃないとトンデモない予想をするという、そういう例で。

唐沢　どんなふうな？

藤倉　結構能天気な本で、例えば3000年後には火山のエネルギーを缶詰にするとか。

唐沢　3000年後でも缶詰ってあるんですか(笑)。

藤倉　いや、地震エネルギーの缶詰工場の絵が書いてあるんです(笑)。こっちは火山で、ここから缶詰が

ポロポロ出てくるという。

唐沢　しようもない（笑）。どうしてこういうイラストってもう少しましな人間を使わないんだろうね。

藤倉　この後、1000年後にはペットにしゃべれるようになるとか言って……。

唐沢　イブキ友也と同じこと言ってる。（注・『トンデモ本の世界』参照）

藤倉　ええ。だけど、問題意識はなくて、牧場で馬が「お元気ですか」とか語りかけてくる（笑）。だけど家畜は家畜なんですね。

唐沢　その肉は食うんですか。

藤倉　食うんでしょうね。

山本　「お元気ですか」って、元気じゃないんだよ。もうじき殺されるんだから。

藤倉　まだイブキ友也のほうが知能を持ってて社会問題などを言ってるだけ、これよりましです。

永瀬　で、牛が「ドンナドンナ」歌いながら缶詰工場へと行進して行く（笑、拍手）。

山本　いやだなあ（笑）。

藤倉　これね、そんな古い本じゃないんですよ。

唐沢　うん、昭和63年。

藤倉　それなのに1000年後の結婚式といってエアカーが出てくるという。

唐沢　エアカー（笑）、昔の我々の子供のときは、未来都市っていうと必ずエアカーが走っていて。

藤倉　相当年くった人が書いてる。

唐沢　昔の『少年マガジン』とかのグラビアページばっかり見て想像したような未来だな。……何これ、サラリーマンの定年は125歳って（笑）、人間の平均身長が1ｍ以下になるのでノッポは嫌われる、ひでぇなあ。

藤倉　もともとトンデモ本て、むしろこういう能天気なものに引っ掛かったんですけど。

山本　能天気というか、書いてる本人は真面目だけど、読んでてやっぱし楽しめないとね。

唐沢　そうそう。だから、笑えるか笑えないかというのが大事な基準であって。でもやっぱり笑うというのがと学会を嫌われ者にしてる。間違いを指摘してくれ

るならまだいいが、笑われるのは許せない、って人が多いみたいですけどもね。

山本　最近出た水島保男の『黙示録の真実』（たま出版）という本なんだけど、水島保男さんというのはこの人もアダムスキー信者で、昔からUFOの研究なんかをやってきたんだけど、とうとう黙示録にはまっちゃった、天文ファンなんですよね。天文ファンが何で月に空気があるとか、太陽が熱くないという話を信じられるのかよくわかんないけど。黙示録の内容がヘール・ボップ彗星の到来を予言してたという説を展開してるんだけども、中を読んでみると別にヘール・ボップ彗星というのはメインのネタじゃなくて、やっぱし陰謀論なんですね。

　陰謀組織がどんなことをやってるかというと、「彼等は映画の題名でも連絡している。『大統領のクリスマスツリー』、『クリスマスの黙示録』など、これをあわせると『大統領への黙示録』となり、また巨大地震を扱った映画が封切られている。―（中略）―「もっと細かなこともあるがこれらを総合して考えると、偽予言者たちの『黙示録計画』、は24日、28日あたりに飛行機の墜落大事故を計画しているように受け取れる。そして実際にハイジャック機の墜落がプロパガンダされたのだ。衛星放送の外資系放送の映画に『W・ハイジャック』というのが放映されていたのは偶然だろうか」（『黙示録の真実』P70より）。

唐沢　偶然だよ（笑）。

山本　「また、26日のCBSニュースでは最後の特集に『日本の女子高生の売春』の特集をしていた。とい

うことは彼等は日本を『大淫婦バビロン』と連絡しているのだ」（同書Ｐ71より）、「12月21日午前9時20分ごろ、テロリストたちは人質38名を突然解放した。そのニュースが報道されてから1時間後、正確には66分後に茨城県南部を震源とする強い地震があった」（同書Ｐ73より）（笑）。

　だから、その地震も当然陰謀組織が起こしてるんですよ、ちゃんと６６６になるように。

志水　すごいなあ。

山本　で、当然エイズとか狂牛病、Ｏ１５７とか、あれ全部、陰謀組織の陰謀で、部下にメッセージを伝えてるわけですよ。で、「このようにして現実の世界で起こっている様々な事件、事故、あるいは経済的出来事、戦争、政治などの中に、彼等の狂気を見ることが出来るのだ。秘密工作員がこれらの事件を演出しているのである。当然、『こんなばかなことをしていったい何になるんだ』と思うだろう。私もそう思う」（同書Ｐ64より）（笑）。

「はっきりと言えば、彼等は気が狂っているのであって、正常な思考回路で現在の出来事を見ている人々にとっては、世の中が不安で何かが狂っていると思えてくるのである」（同書Ｐ65より）。

　要するに、気が狂ってる連中のやることだから理屈が説明できないんだということを語ってくれてるわけですね。

　しかし、よくこんなにいろいろ見つけてきたなと思う。何と何を足すと６６６になるとか、何を足すと44になるとか、そういうのがいっぱい書いてあるんですよね。

　で、やっぱしアダムスキーを信じちゃうと、だれか真実を隠してるというふうに思っちゃって、それで世界的な陰謀組織があるというふうになっちゃう。

唐沢　ウノみたいに、いろんなカードを合わせてそれを６６６にするっていうゲームをつくれませんかね（笑）。とにかくいろんな数を合わせて６６６という数字をつくると勝ちっていうようなさ。

山本　本人はすごく真面目なんですよね。で、書いてあることが、「ちょうどここまで書き進んだ時点で、

また偽預言について書かねばならないことが起きてしまった。これは大変重大な問題なので、ここまでの原稿は出版社にコピーし届けておく。出版されているころに日本の状況がかなりの不安定な状況に置かれているだろうと思うからで、この本の出版自体も危うい」(同書P68より)。

これはパラドックスだと思いますね、この本の出版自体も危ういと書いて、その本が出てるという(笑)。

唐沢　それはどこの出版社から出てるんですか。

山本　当然たまです。

唐沢　あ、当然たまですか(笑、拍手)。もうトンデモ本大賞はたまと徳間をシードにしておいたほうがいいですね。

志水　たま出版は社長が亡くなったんだね、21日に。

藤倉　それが危機的な状況。

永瀬　あ、そうだ。ああいうところは天然記念物に指定しとかなきゃな。

山本　なるほど。あと、こっちの最近出たアイリーン・レークス『未来人アリオンのユートピア』(たま出版)、あのアイリーンさんという……。FMISTYのUFO会議室のアイリーンさん。この人の場合すごいのは、最後の審判がすでに終わっているという主張ですね。

唐沢　1978年に最後の審判があった、覚えてますか?

山本　「ほとんどの地球人が悪いエネルギーを受けて、1週間以上全く眠れなくなり、自分自身の内言を失った。一度、自律神経を破壊され、蜘蛛膜下出血で死んで、内言を失い、また肉体が生かされた(中性子爆弾で被爆したのと同じ状態であった)。脳の出血や破壊された神経が食道器官に排出され、胃腸の中の食べ物が全部一度に汚物として宿便と一緒に外に排泄された」(『未来人アリオンのユートピア』P26より)(笑)。

唐沢　すごいですね。

山本　「また、以前は、脳内に血液がよく通っていて血流量も多かったので、唇の色も真紅であったのが、『最後の審判』後には、脳内に血液があまり通っていないために、唇の色も土気色になってしまった。(同

書Ｐ27より）。

唐沢　ハルマゲドンというのは宿便が出ることだったんですか（笑）。健康法みたいだ。

山本　「私たち地球人はほとんど全員ゾンビとなってしまったと言えるかもしれない」（同書Ｐ27より）。で、何で覚えてないかというと、５年後の１９８３年か84年に「ほとんどの人が過去の混乱した状態のことを忘れ去り」と書いてありますね。

唐沢　すごいですね。で、最後の審判が終わっちゃった後、我々はどうなるんですか。

山本　だから、99年に水のバプテスマというのがもう一回来るんですよ。

唐沢　じゃあ最後の審判でも何でもないじゃないですか、それは（笑）。

山本　だから、この最後の審判て結局何の意味もなかったんですね。いくら読んでも意味がないんですよ、この人。

志水　最後の審判完結編じゃないの（笑、拍手）。

唐沢　もっとも宇宙人はさっきのあれじゃないけど、

志水一夫氏（左）と唐沢俊一氏（右）

人間に化けてよく電車に乗ったりとか街を歩いていて、それを見分ける方法というのは、何となくその人は宇宙人に見えるんだって（笑）。で、宇宙人に見えたら気軽に声をかけてみましょう、と。「こんにちわ、ひょっとして宇宙から来た方じゃあありませんか」って、相手からの返事を期待してはいけません。とにかく軽い気持ちで声をかけるのが大切、ってそれはナンパのやり方ではないかと（笑）。

山本　要するに、この人は未来人とテレパシーで交信してるわけですよ。そうそう、最後の著者紹介のところがね。「ユートピア運動家。1978年に『最後の審判』を体験し、1983年に、生まれて初めて、数回にわたって、宇宙人たち（第12番惑星人とプレアデス星人のセムジャーゼ）と会い、この時に両耳の側頭葉部分にテレパシー受信装置をインプラントされ、1985年に末日聖徒キリスト教会において『水のバプテスマ』を受ける。1985年より毎日お祈りをすることによって、我々地球人類の創造者たちエロイム、古代ムー大陸人、古代アトランティス人、小人族、太陽系内の惑星人（火星人、金星人、第12番惑星人）、太陽系以外の宇宙人（プレアデス惑星人、ペレ星人、グレイ、レプタリアンなど）、そして地球人の未来人たちから、個人的な啓示を強く受けるようになった」（同書著者紹介より）。こういうすごい人なんですよね。

志水　「末日聖徒」って、モルモン教だね。それと「セムジャーゼ」って本当は誤訳で、あれスイスの話だから「セムヤーゼ」のはずなんだけどなー（笑）。

山本　ただ、1999年の最後の審判の後にユートピアがやってくるといってユートピアの細かい説明が延々と、ドアをあけるときにどういうふうにボタンを押すかとか、そんなことが一々書いてある。「神の王国」ユートピア政治機構という図もあるんですよね。これが司法、行政、立法の三権分立で、立法が上院・下院に分かれてて、内閣は自治省、建設省、労働省、通産省、厚生省……今の日本と同じじゃないかって（笑）。

唐沢　大して違わない。

山本　どこかユートピアなのかよくわかんないんです。

唐沢　たしかこれ、ユートピアというグループがコピー紙で何か出してましたよね。それはどこから出たんですか。

山本　たまです、当たり前じゃないですか（笑）。

志水　この間電話で話したときに、コミケットというのがあってさとかいう話になって、次のときコミケに来るかもしれない、僕のブースに。

唐沢　じゃあ、この本の売上げを伸ばすために、例えば「トンデモ本大賞受賞！」とか帯を売れたら売れるじゃあねえかとか。

志水　チラシを配りにくるかもしれない。

唐沢　これは候補にならなかったんですか。

山本　出たのが今年の4月なんですよ。次回の候補。

唐沢　なるほど。

山本　ＳＦを知らない人がＳＦを書くとこうなるのかなというのが実感できる。未来はこんなにすばらしいですよというふうにいっぱい書いてあるけども、どこがすばらしいのかよくわからない。

唐沢　ほんとにＵＦＯとかやってる人ってＳＦを読まないんですよね。

山本　いや、読んでる人もいるんですけど。

唐沢　でも、読んでても何か変じゃないですか、「今、上映されてる映画の『ロスト・ワールド』はコナン・ドイルが原作です」とかさ（笑）。（注・そう、ニフティサーブのＵＦＯ会議室で断言した人がいた）

山本　「私はマイクル・クライトンについてこれだけ知ってます」といって、「インタビュー記事も読みましたし、テレビに出演したのも見ました」って。それは知ってることにならないんだよって。

唐沢　この間来たときもあれですね、全部ね。

山本　そう、読んでないだろう、おまえはって。

唐沢　そもそもマイクル・クライトンの小説を読んでいるのか、おまえはっていう。

山本　あれはなかなか楽しかったですね。

唐沢　だって、それこそホームページの中でも既知外のホームページで、「『まごころを君に』というタイトルはおかしい。普通は『愛を君に』とかいうだろうに、なぜ『まごころを君に』と。こういうタイトルを普通

は考えつかない」って、おまえは知らんのか、あの映画を（笑）。（注・D・キイスのSF小説『アルジャーノンに花束を』の映画化題名）

山本　確かにね。産経新聞の投書欄にもあったんですよ。40代のおばさんからの投書で、中学生の甥が夏休みにこの映画を見に行くことを楽しみにしてるんだけど、この広告のコピーに不安な単語がいっぱい並んでるって（笑）。ただ1カ所、「まごころを君に」というところだけがホッとしましたって書いてあった。

唐沢　甥が見に行ったんですか、かわいそうに（笑）。

山本　で、「『エヴァンゲリオン』とは、一体どんな映画でしょう。よい感動を与えるものであってほしいと願わずにはいられません」って（笑）。

唐沢　夜中におばちゃんの首を絞めたりするんですね、それがね。

山本　確かに。今度また事件が起きたらエヴァのせいだとか言われそうな気がするな。

唐沢　でも、あの大阪のバラバラ事件とかは、ビデオなんか大して見てなかったみたいだし。犯人だって、別にオタクじゃなかったし。

山本　あの犯行声明文を見たとき、僕、最初から子供じゃないかなって思ってたんだけどな。後で中年男とかいう話が出てきたんで、あれ違うのかなって思ったけど、やっぱし子供だったんで、納得したけどね。大体、大人だったら「報道人」と書かないと思う。

唐沢　スクールのスペルを間違えたやつですからね。でも、宮崎勤のときと比べるとインパクトがやっぱり薄かったなというか。

永瀬　オリジナリティーがないから。

山本　底が浅い。あの声明文を見たら、底が浅いやつだなってすぐわかりますね。

永瀬　声明文を見て僕、興味失っちゃった。あれを見た段階で、これは本当のつまんないパッチワークだから、僕は10代から40代までのどの年齢もあり得ると言った。ただし、たった一つ言えるのは、濃くない。オタクでない。

唐沢　うちにインタビューが来て「これはビデオに飽きたオタクのしわざだと思うんですけど」って、ビデ

オに飽きないやつをオタクというんであってね（笑、拍手）。

永瀬　それからビデオショップに行くにしても、わざわざツタヤまで行って濃いやつを探すとか、そういうやつじゃなかった。街角のレンタル屋さんで目に入る程度ですよね。

山本　でも、ヨーロッパで『セーラームーン』に対して抗議運動が起きてるとか。

唐沢　確かイタリアだったかな、そこら辺。

山本　『セーラームーン』を見てると同性愛に走る。

志水　あら、そうかしら（笑）。

唐沢　ホモに走るって。中学生か小学生の男の子に大人になったら何になりたいって言ったら、セーラームーンになりたいって答えちゃうんじゃないの（笑）。

山本　それはその子が単にバカだっただけだよ。

唐沢　でも、セーラームーン人気に一番最初に火がついたのはニューヨークのゲイショップだったんですよ。ソーホーにあるゲイショップで大人気になった。やっぱりゲイの人たちの感覚とオタクの感覚は似てるって言われてね、すごく嫌な気分になったんですけども（笑）。

山本　あと、たまごっちは子どもに悪影響を与えるとか言われてる。ペットが死ぬのをゲームにするのが許せんとかね。だったらほんとのペットが死ぬのはいいのかって思っちゃうんだけどね。だれも、ペットを買ったときにそのペットが死ぬときの子供への影響を論じないのに、なぜ「たまごっち」だけ論じるんだろうと思う。

■『空想科学読本』は情けない

唐沢　やっぱりだれかがもうけてるからですよ。ペットはだれそれが大もうけしたとか言わないじゃないですか。やっぱりと学会がUFOファンにいじめられるのも、と学会がもうけているというイメージがあるから、それ言うなら『空想科学読本』のほうがずっと売れてんだから（笑、拍手）。

山本　藤倉さんは、柳田理科雄が嫌いなんだよな。

唐沢　なぜか知らないけど、と学会は柳田さんが嫌いですね。

永瀬　嫌いというより、だれも発言していないいんだよね、みんな。抵抗感は表現してるけれども、いつもだったらきちんとあれを受けて書くような人間がいるはずなんですよ。

唐沢　会誌で柳田理科雄を取り上げたのは藤倉さんでしょ。

藤倉　すみません。つまらないもの書きまして。

唐沢　あれはどこがダメなんですか。

藤倉　ダメというよりスタンスが（と学会と）違うんです。怪獣が100万度の火を噴くのはおかしいとか、体重が何万トンもあるのはおかしいとか、そんな設定をまちがっていると言ってもしようがないし、否定して何が面白いのかわからない。

永瀬　問題は、と学会とか大槻教授とか、世間のイメージではと学会的だと言われながら、会内では全く相手にされないというのが結構ありますよね。ハンコックもそうですけれども、その辺あたりでどう違うかというのは藤倉さん、言わないと。

藤倉　結局、何か科学考証らしいことをしていると世間から見られて、同類のように勘違いされるんですけど、と学会はこういうことを信じている人たちがたくさんいるということを、面白いと感じるわけで、別に怪獣の設定を本気で信じている人はあまりいるわけではないし、そういう世界と考えれば別にかまわない。

目くじらをたてる柳田理科雄のほうが変人じゃないかと思うんですけど。しかも、科学考証という点でも変な結論が多いから情けない。

山本　特撮ファンだったら当然知ってるべきことを知らないとか、そういうのが気になりますよね。スペシウム光線の分析みたいなのをやってるんだけど、あれは『帰ってきたウルトラマン』でナックル星人が分析するシーンがちゃんとあるというのを知らないなとかね。

永瀬　大伴昌司の設定と円谷の設定の区別もついてないし、ちなみに科学関係、技術関係も知ったかぶりをしてるけど全然ダメですね。

藤倉　なお、私は『空想科学読本』でも大伴昌司の怪獣図鑑でも、番組内容を「正解」とすれば「間違い」だらけなのですが、それはそれでよいと思います。現に怪獣図鑑はあれで傑作なのですし。だからナックル星人について知らないことが悪いこととは思いません。

唐沢　一番おもしろかったのは、リカオというのが本名だって知ったとき。女の子だったらリカっていう名前はあるかもしれないけどさ。

山本　何でこんなのが読まれてるのかなっていう気がする本は多いですね。村上和雄の『生命の暗号』（サンマーク出版）とかいう本が最近出てて、ＤＮＡの研究をしてる遺伝子学者が書いた本なんだけど、遺伝子に関する説明は一応合ってるんですよ。合ってるんだけども、そこから先が、ポジティブ・シンキングで前向きな姿勢でものを考えると遺伝子がオンになると書いてあってね。

唐沢　会社を人間とか生物のグループととらえて進化論を当てはめてあるとか、よくあるパターンですよね。

山本　いや、それは確かに前向きに考えるのはいいことだけど、別に遺伝子に結びつけなくてもいいだろうと思った。今日来る途中もキヨスクへ寄ったら、ビジネス書の棚にその本が積み上げてあって、やっぱしこういうのってビジネスマンが読むのかなと思ってた。

志水　村上さんはどこかの新興宗教の信者さんで、前の本にはその話も出ていたんだけれど、今度の本には出ていない。ストレートに宗教の話を出しちゃうと読んでもらいにくいけど、売れてから信者の人が「実はあの先生も……」って布教に使えるという読みだとしたら、見事だね。それから、何とか産業研究所というような名前で書かれてて、それで会社の方面へ来るとかっていうパターンもあるんだよね。

永瀬　「おじさんたちのソノラマ文庫」という言い方がありますよね（笑）。

志水　なるほどね。

永瀬　今は同じような現象がオカルト関係でおじさんたちに起きてるみたいですね。

唐沢　例えばビジネスで飛び込みの営業をやるなんていうのは、何か信念というか、どこかで自分のテンシ

ョンを上げなきゃいけないから、そのとっかかりであればオカルトであろうと、宗教であろうと、会社の創業者の経営哲学であろうと、何かとっかかりが欲しいんですよね、そういう人たちって。
だから、今の人の立場というのが会社でもパッとしないし、今にこの世界が壊れるであるとか、宇宙人がやってきてガラッと変わるというので、そこに希望を見出すんじゃないかな。
永瀬 あの人たちは別にノストラダムスでもいいし複雑系でもいいんですよね。
志水 でも、最近はやっぱり波動がはやりですね。
志水 スジャータを作ってるメイラクという会社があって……。
唐沢 スジャータってコーヒーに入れるやつ?
志水 そうそう。レトルトのカレーとかもつくってるけどね。
山本 セーラー万年筆とかも波動の研究してる。
志水 あそこの社長が波動の本を書いて出したもんね。創業20周年か何かの記念出版で。
唐沢 社長がハマると、社員はやらざるを得ないから困りますよね。
志水 うん。そのスジャータの社長も波動研究所とかっていうのをつくったんですよね。どういう人が人事で回されたかがわからないけれども(笑)。
唐沢 だから、社長がハマッた例で有名なのはバンダイの山科誠さんがさ、宗教とかがすごく好きでブッダの本とかキリストの本とか書いてて、あとがきで昔の人はすばらしい知恵を持っていた、と言ってる。でもそれが、現代人は文明に毒されてその知恵を失っている。昔は超能力があった。現代の人間は変な知恵をつけてしまったので超能力が失われてしまったんだそうで。
昔の人の超能力はどうだったかというと、指をなめただけで風向きがわかるとか書いてある(笑)。それは超能力じゃなくて野性の知恵なんじゃねえか。
山本 ああいう人たちって、そういう超能力とか霊能力というのを拡大解釈しますよね。
唐沢 しますよね。
山本 さっきの『生命の暗号』という本に書いてあっ

たのは、サイエンスにはデイサイエンスとナイトサイエンスというのがあって、いわゆる普通のサイエンスがデイサイエンス。それに対して霊感とか直感みたいなのを基礎にしたナイトサイエンスというのがあって、これからはこういうのを大事にしなければいけないんだと書いてあるんですけどね。ところがその後に本人の体験談が載ってて、脳の中にある物質を調べるのに牛の脳下垂体を3万5000個集めてきてすりつぶしたとかって書いてある。それ、単に地道な努力っていうんじゃないか。確かにすごいことをやったのは認めるけど、霊感とか超能力とは全然関係ないじゃない（笑）。

唐沢　ねえ、昔の猟師は直感がすぐれてたから鹿のフンを見ただけでどこに鹿がいるかわかったって、それは単に経験知であって、それ言うのだったら、我々ね、本屋へ行ったらどこにトンデモ本があるかぐらいはすぐわかる（拍手）。

山本　コリン・ウィルソンも書いてたよね。コリン・ウィルソンはちょくちょく本棚で、あるはずの本が見つからないことがあるんだけれども、翌日リラックスした気分で探すと見つかるって言ってる。脳がリラックスすると右脳がよく働くからだって。違うよなぁ。見つからなかった本が見つかることはよくあるけど。

■大賞はブッちぎりで……

山本　そうそう。じゃあ、そろそろ投票結果の発表を。

唐沢　今までのはただ時間飛ばしの雑談でございました（笑）。

山本　実は告白しなきゃいけないんですが、ほんとはトンデモ大賞というのはご本人に表彰状を送る建前になってるんですが、僕、去年送らなかったんですよ。何でかというと、武田了円て大阪に住んでるんですよね（笑）。

唐沢　会長、近いですからね、自宅まで。来るかもしれない。

山本　で、さすがに子供が生まれちゃうと、僕そういう冒険できないんですよね（笑、拍手）。だから、今

回も相手によってはちょっと考えさせていただく。
　感想の幾つかを見ると、「うちはアムウェイの包丁を使ってますが、なかなかいいよ」とか（笑）、「やはり田宮二郎でしょう」、「『発情期ブルマ検査』は今年度ならではのトンデモ本として記憶されるべきだと思います」、「これをアニメ化せい」と（笑）。「夫に買ってきてもらおうと思ってます」、あと「犬をいじめてる人がおったら宇宙人と思う」（笑）。「山本さん、スクリーンの前に立たないでね」、あ、すみません（笑）。
　じゃあ封を切らせていただきます。
　何か嫌な結果が出てますね（笑）。Aの『霊界と天上界の大真実』が37票、Bの『巨大彗星が地震の原因だった』が10票、Cの『宇宙人遭遇への扉』が14票、Dの『宇宙人大図鑑』が41票、Eの『発情期ブルマ検査』が82票（笑）。
　というわけで、圧倒的にブルマですね。今年度の受賞作は『発情期ブルマ検査』（笑、拍手）。
唐沢　何か題名を言うのも恥ずかしい（拍手、大喝采）。
山本　これだったら表彰状を送ってやってもいいな。というわけで、一応決定いたしましたので、長いことありがとうございました。
唐沢　ところで、このトンデモ本大賞は何か副賞をつけて送るっていうんだけど、これは何を送ればいいんですかね。
山本　何かいいの、ありますかね。ブルマにしようかな（笑）。でも、そういうのはこの作者だったら持ってるんじゃないかな。
唐沢　次はガオガイガーで書いてくださいって書いておけば（笑、拍手）。
山本　いいね。
唐沢　共作したらどうですか（笑）。
山本　氷竜と炎竜のやおいとか（笑、拍手）。
　じゃあどうもありがとうございました。
唐沢　インフォーメーションですが、きのう悪趣味映画の部屋で上映したデブ専映画、中野貴雄の主演の『映画の真ん中で愛を叫んだけだもの』、同人誌が今こちらのほうに出張します。そこで１２００円で売っております。それから好美のぼる復刻版『奇形児』、あ

れもうそろそろ、部数が残り少なくなっております。こちらも600円で売っております。あと開田裕治画伯の、このカードを、このデブデブ映画に出演なさっている開田裕治、デブの量産型エヴァ（笑）、こちらのほうで販売しておりますので、終わった後、どうぞこちらのほうへお買い求めください。今日が最後のチャンスでございます。

山本　今日はどうもありがとうございました（拍手）。

志水　もう一言、我々は手先じゃないんですけれども、アメリカの方で、今度、ジェームズ・ランディー教育財団というのを作りまして、あと『スケプティックマガジン』というのがアメリカとイギリスにありまして、それぞれの入会申込書のコピーができましたので、ちょうど出口のところにあります。3枚ありますけど、みんな持ってってください。

唐沢　あと、大槻教授が『噂の真相』で、徳間書店からと学会が本を出したというふうに書いてますが、あれはウソです。あれは単に勝手に、著者たちがトンデモというタイトルを曲解した本を出したというだけの話ですから。

　あのときに、大槻教授が宣保愛子とお金の袋をとり合っているというタテを送られたと大槻教授は称しておりますが、あれは違いまして、あれは林家小正楽師匠にわざわざ私が行って切ってもらった、「宣保愛子がお金の袋を前にニヤついてるところの前に突如現れて怒りの拳を振り上げる大槻教授」という切り絵の額だったわけでございます。

あの人は、科学の内容もわからないと思ったら切り絵を見る目もないということがわかったという、そういうことでございます。この点、くれぐれも誤解のないようにお願い申し上げます。どうもありがとうございました（拍手）。

はい、どうもありがとうございました。

山本　それではこれで失礼いたします（拍手）。

（了）

会場スナップ

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS
SINCE 1992

Chapter 3
と学会研究リポート

と学会会員の各得意分野を
論文形式でリポートする新企画。
それだけに、トンデモへの愛着と深度が増す力作ぞろい。
“濃い”と学会の本領発揮で、
トンデモがまた一つ暴かれていく。

と学会研究リポート1

暴走する官能小説

鶴岡法斎

小説とは間違いなく嘘の世界である。突き詰めて考えてしまえば、ノンフィクションと呼ばれるジャンルでさえ作者（編者）の視点というものが介在した段階で、即ち作品として成立した段階で現実ではない嘘の世界の産物となってしまうのだ。そこで作者はその世界を構築するために様々な情報をセレクトし、いかに美しい魅力的な嘘の世界を作るかを課題にするのである。

例えばコメディというのは、このそれほど面白くない世の中から「笑い」の情報を抽出して制作されたものなのである。そして官能小説とはエロティックな情報のみを集合させて作り上げげるもの、のはずなのだが……。

この今回紹介する『発情期ブルマ検査』（松平龍樹・マドンナメイト文庫）はそういう正統的な官能小説とは違う、全くの変化球。一歩間違えば大暴投、おいおい観客に球がぶつかって頭から血が出ているぞ状態のトンデモな小説なのである。

この作品の主な登場人物は直旗と静音との2人。と

もに小学六年生である。つまりこれはロリコン物なのである。まぁ、ロリコン小説の小学生といえば異常なほどに早熟であるのが相場だ。特にこの作品のようにメインの登場人物に「大人」がいない場合は物語の進行上、早熟でなければならないのだ。で、この作品の冒頭でこんな会話をしたシーンがある。

「わたし、この間ようやく『ガメラ2』を観たのよね」
「へえ、どうだった?」
「よかったわよ。特撮もきまっていたし、ナカナカの秀作よね。何より自衛隊がカッコイイのよね、あれなら血税の一部を使われてもかまわないわね」

——(中略)——

「そっか、Hグチさん、頑張っているんだ」
「Hグチさんって言えば、もう一度『Eヴァンゲリオン』の絵コンテ切ってくれるのかしら?」
「そうよねえ。最終回二話はまるまる作り直すみたいだし、劇場版もあるんだから、絵コンテ切ってほしいわよねえ」
「そうよねえ、Hグチさんが絵コンテ切った回、よかったもんねえ」
「でも、あのAんのカントクだからねえ」

念のために言っておきますが、会話をしているのは小学生である。なんと別の方向で早熟だった。これでいいのか。

それでも官能小説であることには変わりはないので、性的にも早熟でやることはやるのであるが……。この二人はコスプレして、してしまうのだ。小学生の分際で。

しかもそれだけならまだしも(いや本当はこの時点で十分に問題なのだが)、二人でコスプレのイベントに行ってしまうのだ。そのシーンの描写はただひたすらアニメやゲームのキャラクターの名前が列記されていて、一瞬、自分が何の本を読んでいるのかがわからなくなってしまう壮絶さである。この本を読んでいて私は、

「ああ、自分も最近のアニメとかそんなに詳しくな

いのだな」
と自己嫌悪に陥ってしまった。いや、陥る必要はどこにもないのだが、それほどまでに飛び交う固有名詞の情報量が異常なのである。
それで、そのコスプレ会場でヒロインである静音はカメラ小僧たちに陵辱されそうになるのだ。ああ、やっとエロっぽくなってきた。と思って安心していたら……。

戦後五十年、常に結果だけを追い求め、結果だけによって人格のすべてを評価してきた報いが子供たちの心理に深刻な影を落としていた。結果だけ、結果の数字だけですべてを判断するという誤った、いびつな価値基準が社会の隅々までに蔓延し、以前の日本では考えられなかったような殺伐とした風土がはびこっていた。
これがカメラ小僧がレイプする理由らしいのだが、レイプって昔からあったものであるし、それよりもこの主人公二人の存在のほうが、「以前の日本」の官能小説では考えられなかったキャラクターだと思う。そして、イロイロとあって何とかその現場から逃げてきた二人は、またしてしまうわけだが、その時も彼女はコスプレをしているのだ。
今回は、あの綾波レイのコスプレである。そこで彼女は突然、最終回論争を始めてしまい、男がそれをなだめながらセックスするという、ある意味での地獄絵図（泣）が展開されてしまうのだ。
この延々と続く二人のセックス（と最終回論争）の凄まじさは、ぜひこの本を読んで貴方の目で確かめてもらいたい。この本、まだ書店で容易に手に入る。
それにしても『発情期ブルマ検査』というタイトルだけではこんな内容は想像もつかない。せめて『新世紀ブルマ検査』にしてくれればよかったのに。

と学会研究リポート2

香港返還直前CD事情

石山敏之

本文中にはスーパーファミコンの裏ソフト事情しか語られていないが、実際、香港でそうした物を入手できる場所は、かなり限られてきている。有名な深水歩のゴールデンコンピューターセンター(電脳中心)などの一角で、細々と売られている程度だろう。

著作権に香港の人々が目覚めたのか？ と言うと、じつはそうでもない。

すでにこうしたコピーソフトの大勢は、やはりプレイ・ステーションやサターンに移行してしまっているのだ。筆者の経験では、FF-VII(ファイナル・ファンタジー7)などの有力ソフトは、日本で発売されたその翌日には大量にコピープレスされ、数百円程度の価格で店頭に並んでいた。

さすがは香港パワーである。

そうしたコピーCDが、安価で、かつ大量に出回っている状態なので、もはやスーパーファミコンのソフトなどは誰も見向きもしない状態なのだ。さらに最近では、あのN64のソフトまで、コピーできるマジコンが発売されている。これは日本でもカルト電脳ショッ

プなどに並ぶことがあるので、ご存知の方も多いかもしれない。
ただし、こうしたコピーCDを買ってくることはれっきとした犯罪である。税関で捕まっても、文句は言わないように。しかも、コピーCD対策がすでにゲーム機に組み込まれているので、簡単にはゲームを実行できないから注意が必要だ。もっとも、そうしたコピーCDを読み込ませる改造パーツも香港では平気で売られているのだが。
さて、香港のCDコピー天国はゲームだけにとどまらない。パソコンのソフトなど、まさにやり放題の感がある。まだ発売していないはずのウィンドウズの次バージョンなどが、平気でコピーされて売っていたりするから驚きだ。ただし、面白いことに普通の音楽CDのコピーは少ない。やはり、音楽CDは著作権問題で海外からの圧力が激しい等の理由で、コピーしてもリスクに対するコストが高くつくため、おいしくない商売なのだそうだ。
そうした香港で、音楽CDの感覚で売り買いされている物に、ビデオCDがある。あまり日本では流行らなかったが、CDに映像まで記録してしまうという欲張りな規格に、香港人は飛びついたのかもしれない。通称オタクビルと呼ばれるモンコックの信和中心などでは、ほとんどのフロアで、最新アニメのビデオCDが、数百円程度の値段で売られている。LD—BOXで家の床が抜けそうな方々からすれば、アゴが外れんばかりの値段で、アニメシリーズの全話が収録されたCDが手に入るのだ。セーラームーンが、エヴァンゲリオンが、3000円持っていけば全話そろってしまう誘惑に、君は逆らうことができるだろうか？

と学会研究リポート3

追悼・星新一先生

星さんとUFOの"想い出"

星新一UFO発言集

志水一夫

「もとはといえば円盤のおかげ」

筆者はこれまで、本を読んで泣いたことが2回だけある。

その一つは、『人民は弱し 官吏は強し』という本である。星製薬の創始者であり、星薬科大学の創業者でもあった星一氏（1873—1951）が、政敵の資金源だと見なされたために、時の政府から散々に嫌がらせをされながらも、明るさを失わずに生きていく話だ。

何だか無性に悲しくなり、読み終わってからしばらくさめざめと泣いていたことを覚えている。

その著者であり、星一氏のご子息でもある星新一氏が、昨1997年12月30日に亡くなられた。死因は間質性肺炎。1926年生まれ、享年71才であった。

星氏は日本の戦後SF作家の草分けで、とりわけ一千篇以上のショートショートと呼ばれる掌編小説で知られている。

その星氏がUFOに深い関心を寄せていたことは、

あまり知られていないようである。
東京大学で農芸化学を専攻後、大学院に在籍していた星氏は、1951年に父一氏が米国で客死されたために、急遽製薬会社の経営を引き継いだものの、前記のような事情に加えて戦災の被害等もあり、何とか無事人手に渡すことができるまで大変だったらしい。
後に自ら「悪夢のような日々」と呼んでいるそんな時期も一段落した、1956年8月頃、氏は五反田にあった「日本空飛ぶ円盤研究会」（JFSA）に入会した。『朝日新聞』に載った小さな紹介記事を見て、本部（会長の荒井欣一氏宅）が当時のご自宅のすぐ近くだと知り、直接尋ねてみたのである。会員番号は2桁台だが、実は143番目の会員であったという。後には同会の機関誌『宇宙機』の編集委員を務め、顧問に推挙されてもいる。
さらに、柴野拓美（小隅黎）氏や矢野徹氏、斉藤守弘氏ら、同会に集まっていたSF好きのメンバーによって日本初の本格的SF同人誌『宇宙塵』が創刊されたのが、翌1957年。その第2号（6月号）に発表した「セキストラ」が大下宇陀児氏の目にとまって、江戸川乱歩編集の推理小説雑誌『宝石』（現行同名誌は題名のみ引き継いだもの）でデビューしたのが同年の11月号で、以後続々とデビューしてくる戦後SF作家の先頭を切る形となった。
後にこのいきさつを語って「私が今日なんとか食えているのは、もとはといえば円盤のおかげ」と述懐し、「円盤の実在を他人に証明してあげることはできないが、私の人生の決定的要因であることは確実であり、広大無辺な宇宙意志との触れあいであり、私の内的世界からその影の消えることはない」とまで語っている（『新・進化した猿たち』）。

「円盤の実在については疑う余地がない」

やや意外なことに、古くから係わってきた割には、星氏のUFOそのものに関する発言は、それほど多くはない。
『宇宙機』への寄稿も短いコメントのようなものが

ほとんどで、第13号（1957年7月号）の航時機（タイム・マシーンのこと）特集では「手に負えない子供ほど可愛いという諺の如く、円盤ほど興味を引くものはない」云々と述べているとのことだが、残念ながら筆者は第14号以降しか持っておらず、実物は未見である。第19号（1958年4月号）では、当時話題になっていた、自分の前生が金星人だったことを思い出したという『自称金星人』S氏が近々「帰星」するらしいというニューズの末尾に、「星親一氏は同行を熱願している」と、チラリと本名で登場している。

本格的な寄稿として注目されるのは、第21号（1958年7・8月号）の「円盤を警戒せよ」である（目次に「円盤に警戒せよ」とあるのは誤植）。

わずか3頁の短いものとは言え、よほど練り上げられたらしく、どの一節を引いても名言ならざるは無し、という傑作である。

内容はズバリ題名通りで、後に『別冊新評　星新一の世界』に再録された際に（ただし後に出た単行本版では割愛）、「会の傾向が救世主待望的なものになりかけていたので、あまのじゃくな性格のある私が、そのバランスをとる意味で書いた」と述べられているのにつきる。だが、たとえその後に「ただし、それが平和の神であることについては大いに疑問を持つ」云々と続くとは言え、冒頭で「円盤の実在については疑う余地がない」と述べているのは印象的である。

また、翌1959年に刊行された、氏の初の単行本である少年向け科学解説書『生命のふしぎ』（新潮社）で、地球外生命について語る際の枕話のような形で、5頁ほどを割いてこの問題に触れているのも興味深い。

しかし、1960年に「日本空飛ぶ円盤研究会」が財政難から休会になってしまい、また本業の執筆活動が忙しくなったこともあってか、以後しばらくの間、UFOに関する言及は見当たらなくなってしまう。

筆者が見つけ得た次の発言は、1969年12月20日付『毎日新聞』の記事に寄せた「まあ（UFOが）あればおもしろいでしょうね。大部分は架空と思うが、ひょっとすると本物があるかも」云々というコメント

である。
「宇宙人」という短いエッセイ（『あれこれ好奇心』収載）で「未確認なのが魅力的なので、解明されたら、私は関心をなくすよ」と述べているように、幸いにも（？）ＵＦＯの正体が一向に解明されないおかげで、ずっと関心は持ち続けておられるのだ。

「こんな面白い時期はなかった」

70年代に入ると、作家としての地位が固まって、エッセイを執筆する機会が増え、時々それらの中で言及するようになる。
１９７０年には、宮城県で高校生が撮影したＵＦＯ写真を一目でトリックだと見抜いたりもしている（『週刊読売』同年7月17日号）。
また一方、前記『別冊新評　星新一の世界』（１９７６年12月発行）のインタヴューでは、「あれは、一種の新型のお化けじゃないかな」という独特の仮説を述べてもいる。

その何年か後、横浜だかで開催された「日本ＳＦ大会」の合宿で、廊下でお会いして話を交わした際、もうＵＦＯ＝宇宙船説は信じていないのですか、と筆者が尋ねると、氏はそれを認め、「ＵＦＯが宇宙から来るという話以外なら何でも信じるぞ」と冗談めかして語っておられたのも思い出される。
しかし、氏の最大にして最後の到達点とも言うべきＵＦＯ論は、１９８０年12月号の『現代』に発表され、後に『きまぐれエトセトラ』に収録された長文のエッセイ、「ＵＦＯの警告——人類は何も知らない」である。
そこではまず、前記「空飛ぶ円盤を警戒せよ」について、「これは訂正する。攻撃的な相手だったら、地球はとっくにやられていたはずだ」とあっさり取り下げてしまう。
そして、「地球史の分野から」ＵＦＯを考えるとして、地球に生物が登場してから人類に進化するまでいかに長かったかについて語る。地球誕生以来現在までの歴史を24時間に当てはめると、人類が登場するのはたかだか真夜中の1分前なのである。しかも、せっか

くここまで進化した人類もその文明も、このままでは滅びかねない状態なのだ。
そこで、氏は考える。ＵＦＯの出現はそれ自体がメッセージであり、警告なのではなかろうか、と。そのメッセージとは「人類よ滅亡を急ぐな」というものである。
これは、ＵＦＯの正体が宇宙船ではなく、タイム・マシーンの類だと考えても変わらないし、前記のお化け説のような人類の無意識の産物だとする説でも同様だという。
「どのような考え方をしても、ＵＦＯの意味するところは、十万、百万年の単位での展望を持てである」と言い、「知的生物なら、ここでそれを考えてみるべきではなかろうか」と結んでいる。
『きまぐれ暦』に収録されている「宇宙人との縁」というエッセイによると、どういうわけか氏には「天変への期待症状」があるそうで、昭和22年、最初の空飛ぶ円盤の新聞報道を見つけた時には「万歳と叫んだものだ。世の中、生きているにあたいするもののようだ。やがて、想像を絶することがはじまるに違いない」と思ったとのことだが、数十年後のここでは、それを防げと言っているのは面白い。
その「宇宙との縁」の中で氏は、「日本空飛ぶ円盤研究会」に属していた頃を「こんな面白い時期はなかった」と振り返っている。そういえば、70年代以降のＵＦＯへの言及は、そのほとんどが当時の回想だ。
どうやら氏にとってＵＦＯは、その頃の良き想い出の中に存在していたらしいのである。

主要参考文献（雑誌類を除く。いずれも星氏の著書）

『（少国民の科学⑧）生命のふしぎ』新潮社　１９５９
『人民は弱し 官吏は強し』文芸春秋　１９６７、角川文庫　１９７１
『新・進化した猿たち』早川書房　１９７１、同文庫　『進化した猿たち③』１９７５
『きまぐれ暦』河出書房新社　１９７５、新潮文庫　１９７９
『きまぐれフレンドシップ』奇想天外社　１９８０、集英社文庫
『きまぐれフレンドシップ①』１９８５
『きまぐれエトセトラ』講談社　１９８３、角川文庫　１９８６
『あれこれ好奇心』角川書店　１９８６、角川文庫　１９８８

タイトル／著者／出版社／出典

ライフワーク・テーマの探し方／久保田競・夏村波夫／／続SF
ラムサ／真・聖なる予言／ジュディーゼブラ・ナイト／角川春樹事務所／逆襲
理性のゆらぎ／青山圭秀／三五館／99
理想的な死に方／天外伺郎／徳間書店／学会
Revelations／Jacques Vallee／Ballantine Books／99
リプレーの奇人不思議館／リプレイ/伴田良輔訳／河出書房新社／怪書
緑人の魔都／南沢十七／新浪漫社朝田書店/少年SF傑作集所収／世界
理論物理学の錯誤／屑屋極道／／世界/続SF
臨床体験(上、下)／立花隆／文芸春秋／99
臨床的獣姦学入門／華房良輔／カイガイ出版部／怪書
悪魔(ルシファー)最後の陰謀／小石泉／第一企画出版／世界
Looking for a Miracle／Joe Nickell／Prometheus Books／99
ルルド／パトリック・マーンハム／日本教文社／99
霊夢占い入門／広瀬謙次郎／日本文芸社／世界
歴史読本別冊ユダヤ＝フリーメーソン謎の国際機関／／新人物往来社／世界
歴史読本臨時増刊／特集世界謎の秘密結社／／新人物往来社／世界
歴史を変えた物理実験／／丸善／99
歴史を変えた偽善ー大事件に影響を与えた裏文書たち／ジャパンミックス編／ジャパンミックス／99
ロズウェルUFO回収事件／ウィリアム・ムーア他/南山宏訳／二見書房／99
六角形の超パワー／南條優／徳間書店／逆襲
The Loch Ness Monster／Steuart Campbell／The Aquarian Press／99
ローム大霊講和集／／霞ヶ関書房／世界/SF

【わ行】

和歌式漢字早おぼえ／現代国語研究会編／ベストブック社／SF
わが深宇宙探訪記(→深宇宙探訪記)／／／世界
我輩は電子である／／講談社ブルーバックス／SF
わが惑星、そは汝のもの／アイザック・アシモフ／ハヤカワ文庫NF／世界/99
惑星大予言／流智明／二見書房／99
倭人大航海の謎／／新国民社／世界
私は円盤に乗った／ダニエル・フライ／ユニバース出版／世界
ワルチン版・大予言者／D・ワルチンスキー／二見書房／99

タイトル／著者／出版社／出典

やっぱり競馬は仕組まれていた!／田原利勝／KKロングセラーズ／世界
邪馬台国の台真実／あすかあきお／講談社／世界
大和民族ユダヤ人説の謎を追う!／松本道弘／たま出版／逆襲
UFO Abductions;A Dangerous Game／Philip J klass／Prometheus Books／99
UFO隠蔽工作の謎／南山宏／大陸書房／99
UFOからバミューダまで／南山宏／大陸書房／99
UFO原理と宇宙文明／太田竜／発行/日経企画出版社・発売/星雲社／世界
UFO公式資料集成／／スピリッツ・アベニュー／99
UFOとは何か／J・アレン・ハイネック&じゃっく・ヴァレー／角川文庫／99
UFOの嘘／志水一夫／データハウス／世界/逆襲/続SF/99
UFOの内幕／フランク・スカリー／たま出版／99
UFOの謎／志水一夫／データハウス／99
UFOの謎完全解明／林ひさお／小学館／世界/99
UFOはこうして隠微されている／ミン・スギヤマ／徳間書店／逆襲
UFOはこうして飛んでいる／コンノケンイチ／徳間書店／世界/続SF
UFOは第二の黒船だ／坂本邁／／世界
遊歴雑記／大浄敬順／／99
ユダヤが解ると世界が見えてくる／宇野正美／徳間書店／世界/SF
ユダヤが解ると日本が見えてくる／宇野正美／徳間書店／世界
ユダヤ世界帝国の日本侵攻戦略／太田竜／日本文芸社／世界
ユダヤと日本人／ベン・アミー・シロニー／日本公報／世界
ユダヤにこだわると世界が見えなくなる／宮崎正弘／二見書房／世界
ユダヤの禁書ネクロノミコン秘呪法／マーク矢崎／二見書房／続SF
ユダヤ・ブック／／徳間書店／世界
ユダヤ・プロトコール(→シオン賢者の議定書)／／／世界
ユダヤ・プロトコール超裏読み術／矢島鈞次／青春出版社／世界/SF
ユダヤを越えるイルミナティの世界謀略／ジョージ・ジョンソン／廣済堂／世界
ユダヤを知る辞典／滝川義人／東京堂出版／世界
ユング博士のバイオ大予言／若木重敏／協和企画／学会
妖精物語／アーサー・コナン・ドイル／発行/コスモ・テン・パブリケーション・発売/太陽出版／99
よくわかる宇宙の神秘とUFOの謎／清家新一／日本文芸社／世界
予言／ジェス・ターン／弘文堂／99
四次元経営／鈴木三雄／ダイヤモンド社／逆襲
四次元ミステリー／佐藤有文／KKベストセラーズ／逆襲
ヨハネス・ケプラー／アーサー・ケストラー／河出書房新書／99
ヨハネの終末大予言／鬼塚五十一／／SF

【ら行】

タイトル／著者／出版社／出典

万馬券が3点で取れる四捨五入の法則／／／世界
マンモスはなぜ絶滅したか／ヴェレシチャーギン／東海大学出版会／99
万葉集の謎／安田徳太郎／カッパブックス／世界/SF
見えざる帝国／宇野正美／発行/NESCO・発売/文芸春秋／世界
見えない伴星／／培風館/輝けクェーサー所収／99
ミクロメガス／ヴォルテイル／／99
三島由起夫の霊界からの大予言／太田千寿／日本文芸社／逆襲
ミステリアス PART4／フランシス・ヒッチング／大日本絵画／99
ミステリーゾーンを発見した／佐藤有文／／逆襲
ミステリーワールド2／フランク・エドワーズ／曙出版／99
未知のエネルギーフィールド／多湖敬彦／世論時報社／世界/99
未知の外縁／ライオン・スプレイグ・ディ・キャンプ／／99
密教錬金術／歌川大雅／桃源社／逆襲
Missing Pieces／Robert A. Baker & Joe Nickell／Prometheus Books／99
宮沢賢治の霊の世界／桑原啓善／土曜美術社出版／怪書
宮沢賢治を解く「オツベルと象」の謎／清水正／発行/鳥影社・発売/星雲社／怪書
宮下文書／／／世界
未来の記憶／エーリヒ・フォン・デーニケン／早川書房、角川文庫いずれも絶版／99
MUFON UFO SYMPOSIUM PROCEEDING／／／99
村上先生のおもしろ記憶術中学英単語／村上龍一／／SF
村上龍一の入試に出る英熟語を一週間で覚えてしまう本／村上龍一／中経出版／世界
ムーンゲート／ウィリアム・ブライアン／／99
冥王星の彼方に／ピーター・コロージモ／大陸書房／99
メイン州北東部への大物釣りガイド／ジェイムズ・チャーチワード／／99
メキシコに落ちた宇宙船／ウィリアム・L・ムーア&チャールズ・バーリッツ／徳間書店/「ロズウェルUFO回収事件」として二見書房から再版／99
メシアは日本に現れる／広瀬謙次郎／／SF
滅亡のシナリオ／川尻徹／祥伝社／世界
メディア・セックス／ウィルソン・ブライアン・キイ／リブロポート／世界/逆襲
メディア・レイプ／ウィルソン・ブライアン・キイ／リブロポート／世界
儲かる! 単複ペア作戦／／／世界
もうひとつの万葉集／李寧／文芸春秋社／世界
物部文書／／／世界
モントークプロジェクト・謎のタイムワープ／プレストン・ニイコルズ他／ムーブックス／99
モントークプロジェクト・タイム・アドベンチャー／プレストン・ニイコルズ他／ムーブックス／99

【や行】

柳生十兵衛／石原豪人／実業之日本社／怪書
薬局新聞／／薬局新聞社／怪書

タイトル／著者／出版社／出典

不死人／／／SF
富士文書(→宮下文書)／／／世界
富士文書／／／世界
フタミのなんでも大博士2モンスター大図鑑／中岡俊哉／二見書房／学会
船井幸夫の未来をつかむ考え方事典／船井幸夫／PHP研究所／逆襲
ブライディー・マーフィーを求めて／モーリィ・バーンスタイン／／99
ブラインド・ウォッチメイカー／ドーキンス／早川書房／逆襲
フリーエネルギー技術開発の動向／D・A・ケリー／技術出版／世界
Frim-Fram!?／James Randi／Prometheus／99
ブリュッセルの招き猫／林丈二／同文書院／逆襲
The Fringe of the Unknown／"L, Splague de Camp"／Prometheus／99
プロトコール(→シオン賢者の議定書)／広瀬謙次郎／扶桑社／世界
別冊歴史読本 日本奇書偽書異端書大鑑／／新人物往来社／99
ヘンリー大王とヤマト救世主／広瀬謙次郎／扶桑社／世界/SF
崩壊！ アインシュタイン神話／小野博史／発行/創栄出版・発売/星雲社／逆襲
ホーキング宇宙論の大ウソ／コンノケンイチ／徳間書店／逆襲/世界/続SF
北遊記／／／続SF
保坂式タイム指数は馬券の宝庫だ／／／世界
法華経／岩本祐／岩波文庫／99
骨なし村／佐藤有文／カイガイ出版部／逆襲
ホモタイム／清原宗明／太田出版／怪書
ホロン革命／百瀬昭次／／SF
ホロン経済革命／百瀬昭次／／SF
本物の時代が始まる！／船井幸雄／ビジネス社／逆襲

【ま行】

マージナルサイエンティスト／阿久津淳／西田書店／世界
魔女狩りTV番組の真相／コンノケンイチ／たま出版／学会
魔女の発見／レジナルド・スコット／／99
魔道書ネクロノミコン／ロバート・ターナー／学研／逆襲
魔の三角海域／ローレンス・D・クシュ／角川文庫/絶版／99
マーフィーの宇宙律／しまずこういち／産能大学出版部／逆襲
幻の大発見／アービング・M・クロッツ／朝日選書／99
バミュウーダ海域はブラック・ホールか／マーチン・エボン編／二見書房／99
まんが・恐竜の謎完全解明／あすかあきお／小学館／世界
まんが・古代文明消滅の謎／あすかあきお／小学館／世界/99
まんが・謎の日本超古代／あすかあきお／小学館／世界
万世一系の原理と般若心経の謎／／霞ヶ関書房／SF

タイトル／著者／出版社／出典

パソコンが嫌いな人のための超入門／安芸智夫／光文社／怪書
パラサイコロジー／大谷宗二編／図書出版／99
薔薇の告白／農上輝樹／第二書房／怪書
バリバリ君／井上サトル／聖教新聞社／怪書
ハレー彗星と新・昭和／佐藤一段／情報センター出版局／SF
ハレー彗星の大陰謀／有賀龍太／ゴマポケット／SF
馬連ならコレだ・奇抜な出目戦法／／／世界
馬連を獲りまくる驚異のミニマックス法／／／世界
反三国志／周大荒／講談社／逆襲
Handbook of Parapsychology／Benjamin B. Wolmman Ed.／McFarland & Company／99
般若心経と最新宇宙論(→新解釈"空"の宇宙論)／／／世界
日出ずる国、災い近し／／オウム出版／99
鼻行類／／思索社／SF
ビジネスセンスの活かし方・殺し方／久保田競・夏村波夫／／続SF
左回り健康法則／亀田修・山根悟／KKベストセラーズ／逆襲/続SF
THE BIG GUY AND RUSTY THE BOY ROBOT／F.Miller & G.Darrow／DARK HORSE COMIC／怪書
ビッグバン理論は間違っていた／コンノケンイチ／徳間書店／逆襲
THE BIG BOOK OF WEIRDOS／C.Posey&67 of the world's Top Comic Artists／PARADOX PRESS発行／怪書
Big Foot Prints／Grover Krantz／Johnson Books／99
人はなぜエイリアン神話を求めるのか／ジャック・ヴァレー／徳間書店／99
人麻呂の暗号／／新潮社／世界
ヒマラヤ聖者の生活探求／／霞ヶ関書房／SF/世界
卑弥呼の金印探し／大川誠市／徳間書店／世界
100億年後の地球／イブキ友也／発行/イブキプロダクション・発売/星雲社／世界/続SF/逆襲
百詩篇集／ミカエル・ノストラダムス／／逆襲
白蝋仮面／横溝正史／偕成社／逆襲
百匹目の猿／船井幸雄／サンマーク出版／99
ピラミッドの謎／吉村作治／講談社現代新書／99
THE BILLY MEIER STORY SPACESHIPS OF THE PLEIADES／Kal· K· Korff／Prometheus Books／99
頻発するフリーエネルギー[研究序説]／多湖敬彦／徳間書店／99
FEEL 100%／原作/阿寛・絵/劉雲傑／文化博信有限公司／怪書
封神演義／／講談社文庫／SF/続SF
不思議エネルギーの世界3／森田健／出版社／99
ふしぎだがほんとうだ／斎藤守弘／少年文庫／99
富士皇朝／／Z出版局／世界
不死テクノロジー／エド・レジス／／逆襲
不死の惑星への旅／クロード・ボリロンニラエル／AOM／世界

タイトル／著者／出版社／出典

日本語の起源を探る／川崎真治／読売新聞社／逆襲
日本語のルーツが分かった／川崎真治／徳間書店／逆襲
日本最古の文字と女神画像／川崎真治／六興出版／逆襲/世界
人間うじ／香山滋／文芸評論社/悪魔の教科書所収／続SF
日本人の偉さの研究／中山忠直／／世界/続SF
日本にピラミッドが実在した／山田久延彦／／SF
日本の地名とUFOの記録／橋野昇一／近代文芸社／世界
日本の中のユダヤ／川守田英二著/中島靖侃編／たま出版／逆襲/世界
日本百傑書像／／鶴屋書房／99
日本民族秘史／川瀬勇／山手書房新社／世界
日本＝ユダヤ陰謀の構図／赤間剛／徳間書店／世界
The New Apocrypha／John Sladek／Panther／99
ニューサイエンスの世界観／百瀬昭次／／SF
ニューサイエンスのパラダイム／猪俣修二／技術出版／逆襲
ネクロノミコン秘呪法／マーク矢崎／二見書房／逆襲
眠りながら成功する／ジョセフ・マーフィー／／逆襲
『脳内革命』の正しい読み方／西田健／本の森出版センター／学会
脳の手帳／久保田競・夏村波夫／／続SF
脳を育む新・子育て術／久保田競・夏村波夫／／続SF
ノストラダムス／飛鳥昭雄／講談社／学会
ノストラダムス暗号書の謎／川尻徹／二見書房／世界
ノストラダムス最後の天啓／川尻徹／二見書房／世界
ノストラダムス戦争黙示／川尻徹／徳間書店／世界/続SF
ノストラダムスの大予言／五島勉／祥伝社／逆襲/世界/SF
ノストラダムスの大予言の秘密／高木彬光／／SF
ノストラダムスの謎／あすかあきお／講談社／世界
ノストラダムス複合解釈／川尻徹／徳間書店／世界/続SF
ノストラダムス・メシアの法／川尻徹／二見書房／世界/SF/続SF
ノストラダムス闇の予言書／川尻徹／二見書房／世界
後西遊記／／／続SF
信長殺し光秀ではない／八切止夫／／SF
蚤のサーカス／オーガスト・マイスナー/胡桃正樹訳／アメージングストーリーズ日本語版第3巻所収／SF

【は行】

ハインズ博士「超科学」／テレンス・ハインズ／化学同人／99
ハインズ博士「超科学」をきる／テレンズ・ハインズ／化学同人／99
バカ、ケチ、ナマケは酢を飲まない／／／逆襲
芭蕉隠れキリシタンの暗号／川尻徹／徳間書店／世界

タイトル／著者／出版社／出典

The Truth about Uri Geller／James Randi／Prometheus Books／99
徳川家康は二人だった／八切止夫／／SF
Dr.Kのスーパーフレーズ／国試対策問題集編集委員会編／MEDIC MEDIA発行／怪書
ドクター中松の常識やぶりバンザイ／ドクター中松／KKベストセラーズ／続SF/世界
ドクター中松の頭をもっと良くする101の方法／ドクター中松／KKベストセラーズ／世界
ドクター中松の日本劣頭改造論／ドクター中松／創現社／世界
解けた! これが中央競馬会の勝ち馬暗号だ／松井政就／徳間書店／世界
どこが超能力やねん／ゆうむはじめ／データハウス／99/世界
トリノ聖骸布の謎／リン・ピグネット&クライブ・プリンス／白泉社／99
ドルフィンコネクション／ジョーン・オーシャン/伊澤祟子他訳／和尚エンタープライズジャパン／世界

【な行】

ナスカ気球探検／ジム・ウッドマン／講談社／99
謎の聖骸布／ロバート・K・ウィルコックス／サンポウジャーナル／99
謎の竹内文書／佐治芳彦／／SF/続SF
謎のツングース隕石はブラックホールかUFOか／ジョン・バクスター&トマス・アトキンス／講談社／99
ナチスがUFOを造っていた／矢追純一／雄鶏社/河出書房新社／逆襲/世界
なっとうの神秘／永山久夫／アロー出版社／SF
何かが空を飛んでいる／稲生平太郎／新人物往来社／世界
南極大氷原北上す／リチャード・モラン／扶桑社／世界
南遊記／／／続SF
ニクい男、イヤな上司の呪い方教えます／稗田オンまゆら／徳間書店／逆襲/学会
西田式スピード指数縦横無尽活用ソフトブック／／／世界
21世紀超予言／広瀬謙次郎／／SF
二重人格／我妻洋／宮城音弥責任編集／99
20世紀最後の真実／落合信彦／集英社／世界
偽冒険世界ーカルト本の百年／長山靖生／筑摩書房／99
2001年の恐怖／／ハート出版／続SF
2000年聖徳太子からの最終告知／五島勉／青春出版社／世界
日銀巻は悪魔の隠し絵／武内了円／第一企画出版社／逆襲
日銀券は悪魔の隠し絵／武田了円／第一企画出版局／世界
日常生活/大槻博士のふしぎ・おもしろ科学：科学の基本がわかる本／大槻義彦／三笠書房／逆襲
ニップールの図書神殿遺跡出土の数学・度量衡学・年代記タブレット／ヘルマン・ヘルプレヒト／／99
日本SFこてん古典／横田順彌／集英社文庫／世界/続SF
日本エホバ古典／川守田英二／友愛書房／逆襲
日本空想博物館／粕三平／新評社／怪書
日本国誕生の秘密はすべて「おとぎ話」にあった／加治木義博／徳間書店／学会
日本古代史の縮図／／／世界

タイトル／著者／出版社／出典
超自然学／ローレンス・ブレア／平河出版社／世界/SF
超自然にいどむ／ジョン・テイラー／講談社ブルーバックス／99
超常現象の謎に挑む／コリンウィルソン編／教育社／逆襲
超常現象謎学辞典／まほろば計画／小学館／世界
超常現象の謎を解く／アーサー・C・クラーク／リム出版／99
超常現象を科学する／大槻義彦／／世界
〔超真相〕宇宙人!／／／世界
超図解 竹内文書／高坂和導／徳間書店／逆襲
超絶！ タキオンパワー／瀧本一枚／現代書林／逆襲
朝鮮民族と国家の源流／在日朝鮮歴史考古学協会編訳／有山閣出版／学会
超相対性理論／／／世界
超能力回路を開く／／ハート出版／続SF
超能力の手口／／／世界
超能力馬券術／／／世界
超能力・霊能力解明マニュアル／／／世界
超ノストラダムス平成大予言／榎本天法／ハート出版／続SF/世界
沈黙の兵士たちへ／万師露観／／世界
ついに突き止めた超兵器の秘密 ナチスがUFOを造っていた／矢追純一／河出書房新社／99
ついに幽霊を捕獲した／堤祐司／廣済堂／続SF
通俗霊質交合性原理／／／続SF/世界
東日流(ツガル)外三郡誌／／／逆襲/世界
月の科学／／岩波書店／世界
月の先住者／あすかあきお・三神たける／学研／世界
月の謎とノアの大洪水／飛鳥昭雄・三神たける／学研／世界/99
月の魔力／A・L・リーバー/藤原正彦・美子訳／東京書籍／99
月のUFOとファティマ第三の秘密／コンノケンイチ／徳間書店／世界
月は神々の前哨基地だった／コンノケンイチ／たま出版／99/世界
月はUFOの発信基地だった／コンノケンイチ／徳間書店／99/逆襲/世界
ツキを呼び運をひらく超能力強化法／松本順／大和出版／逆襲
DEAR MR. RIPLEY／M.Sloan＆Manley＆M.Van.Parys編／BULFINCH PRESS発行／怪書
帝都物語／荒俣宏／／SF
ティマイオス／プラトン／／99
テレパシー・予知夢・臨死体験"超心理"の謎／富田隆編／青春出版社／99
デ・レ・メタリカ／／／99
電子立国・日本の突破口／佐々木正／光文社／学会
天文学辞典／鈴木敬信／地人書館／99
東遊記／／／続SF

タイトル／著者／出版社／出典
第3の選択／クリストファー・マイルス／たま出版／99
大正時代の人生相談／／カタログハウス／怪書
大地のはらわた／／刀江書院/随筆集／SF
【大珍説】嘘のようなホント？ の話／中川右介／青春出版社／逆襲
第七の空母／ピーター・アルバーノ/中村融・鎌田三平訳／徳間書店／世界
たいのはらわた／朝倉素子／データハウス／99
太平洋の秘密／マクミラン・ブラウン／／99
タイムマシンの作り方／ニック・ハーバート／講談社ブルーバックス／99
太陽系第12番惑星ヤハウェ／飛鳥昭雄・三神たける／学研／99
大予言の嘘／志水一夫／データハウス／世界/99
タカバンパワーの法則／／／世界
タキオン哲学方程式／オリオンユウセイ／たま出版／逆襲
タキオンの奇跡／山本健二／展転社／逆襲
タキオンパワー/あなたを変える宇宙エネルギー／甲斐睦興／ハート出版／逆襲
Dark Eagles／Curtis Peebles／Presidio Press／99
竹内文書／／／世界
田中角栄の霊言／太田千寿／銀河出版／逆襲
食べ物学入門／太田竜／緑光出版／世界
ダンシング・イン・ザ・ライト／シャーリーマクレイン／地湧社／逆襲/99
炭素太功記／西沢勇志智/横田順弥編／少年小説体系第9巻所収／世界/SF
小さな悪魔の背中の窪み／竹内久美子／新潮社／世界
地球から天の川へ／小鹿青雲／／世界
地球大破局からの脱出／深野一幸／廣済堂／続SF/逆襲/世界
地球で今、何が起こっているか／桑原啓善／でくのぼう出版／逆襲
地球内部からの円盤／ブリンズリー・ルポア・トレンチ／角川文庫／99
地球よ、愛の星に変われ／桑原啓善／でくのぼう出版／逆襲
地上天国の建設／天照国彦／霞ヶ関書房／SF/世界
地中海進撃作戦／ピーター・アルバーノ ／徳間書店／世界
地底王国の超科学が解き明かす"黄金極秘大警告"／藤本憲幸／徳間書店／逆襲
地底魔人ドグマ／佐藤有文／カイガイ出版部『骨なし村』所収／逆襲
チャールズ・アヴィスンとは誰か／エディスン・マーシャル／／99
超科学こう使う・こう遊ぶ／多湖敬彦／ビジネス社／99
超古代史の真相／チャールズ・S・カズー＆スチュアート・D・スコット／東京書籍／99/逆襲/世界
超古代史、日本語が地球共通語だった!／吉田信啓／徳間書店／世界/逆襲
超古代史の謎に挑む／作木田龍善／風涛社／世界
超時空最終予言／浅利幸彦／徳間書店／逆襲
超自然の謎／フランク・エドワーズ／角川文庫／99

タイトル/著者/出版社/出典

世界の謎 面白ゼミナール/フランシス・ヒッチング/徳間書店/99
世界のなぞ世界の不思議/佐藤有文//逆襲
世界はこうしてだまされていた2UFO神話の破滅/高倉克佑/悠飛社/99/逆襲/世界
世界不思議物語//リーダース・ダイジェスト社/99
世界UMA大百科//学研/99
世界を動かすユダヤ教の秘密/小石泉師/第一企画出版社/逆襲
絶対平和への四段階/小牧久時/生物農業研究所/世界
セブンレイズ・サイコロジー/万師露観//世界
セレンディプ/久保田競・夏村波夫/主婦の友社/続SF
一九八七年/悪魔のシナリオ/クルト・アルガイヤー/光文社/逆襲
1992年ユダヤ経済戦略/宇野正美/日本文芸社/世界
前世療法/ブライアン・L・ワイス/PHP研究所/99
前世を記憶する20人の子供/イアン・スティーブンソン編/今村光一訳/叢文社/99
先代旧辞///世界
先代旧辞本紀///世界
戦慄の聖母予言/鬼塚五十一/学研/怪書
相対論はやはり間違っていた/共著/徳間書店/世界/逆襲
増補ユダヤ人論考/宮沢正典/新泉社/世界
続・悪魔最後の陰謀/小石泉/第一企画出版/世界
続・MJ－12をめぐる疑惑/高梨純一/日本UFO科学協会/99
続西遊記///続SF
続・成吉思汗は源義経也、著述の動機と再論/小谷部全一郎//SF
卒啄（→切断）///世界
続・三島由起夫の霊界からの大予言/太田千寿/日本文芸社/逆襲
ソムニウム[夢]/ヨハネス・ケプラー//99
空飛ぶかくし芸/共著(滝大作・赤塚不二夫・高平哲郎・タモリ等)/住宅新報社発行/怪書
空飛ぶ円盤完成近し/清家新一/大陸書房/世界
空飛ぶ円盤実見記/ジョージ・アダムスキー/高文社/世界
空飛ぶ円盤製作法/清家新一/大陸書房/世界
それでも月に何かがいる/ジョージ・H・レオナード/啓学出版/世界/99
ゾロアスターの神秘思想//講談社現代新書/SF
そろばんの向こうに宇宙が見える/百瀬昭次/東京書籍/SF
孫悟空は日本人だった/山田久延彦/扶桑社/世界/SF/続SF
そんなバカな!/竹内久美子/文芸春秋社/世界

【た行】

大宇宙論誕生/藤仲あきら/吾妻書店/逆襲
第三の選択/ルズリークトキンス他共著/たま出版/逆襲/世界

タイトル／著者／出版社／出典

A Skeptic' s Handbook of Parapsychology／Paul Kurtz Ed.／Prometheus Books／99
進め!!ドンガンデン(上下巻)／中沢啓治／汐文社(ほるぷ出版)／学会
図説月面ガイド／白尾元理・佐藤昌三／立風書房／99
スターメイカー／／／続SF
SUTERRANEAN WORLDS／Walter Kafton-Mnkel ／Loompanics Unlimited／99
頭脳革命／中松善郎(ドクター中松)／Wave出版／学会
スパイ第十三号／柴田練三郎／偕成社／逆襲
スーパー運名数が激走する／／／世界
スピードポイント式で万馬券を獲れ／／／世界
The Space-God Revealed／Ronald D Story／Harper／99
スリランカから世界を眺めて／アーサー・C・クラーク／／続SF
聖液詩集／農上輝樹編／第二書房／怪書
成吉思汗の秘密／高木彬光／／SF
成吉思汗は源義経也／小谷部全一郎／／SF
世紀末馬券術／／／世界
They Call It Hypnosis／Robert A Baker／Prometheus Books／99
聖書／／日本聖書刊行会／99
生殖器の研究と性交論／帝国大学研究会編／／怪書
政治を発明する／ドクター中松／山手書房新社／世界
精神病はおばけの仕業だ！／甲斐睦興／東京経済／逆襲
生体エネルギーを求めて／セルマ・モス／日本教文社／99
生と死の境界／スーザン・ブラックモア／読売新聞社／99
生物学的無線通信／B・B・カジンスキー／新水社／99
聖母の出現／関一敏／日本エディタースクール出版部／99
生命潮流／ライアル・ワトスン／／99
生命のニューサイエンスー形態形成場と行動の進化／ルパート・シェルドレイク／工作舎／99
世界革命／太田竜／／世界
世界革命之裏面／包荒子／／世界
世界経済崩壊の日／／サンケイ出版/扶桑社／SF/世界
世界大予言年表諸世紀の秘密／高橋良典／自由国民社／世界
世界超科学百科／花積ヨーコ／学習研究社/ムー別冊／99
世界動物発見史／ヘルベルト・ヴェント／平凡社／99
「世界」謎と発見事典／三浦一郎／三省堂／99
世界の怪獣／中岡俊哉／秋田書店／逆襲
世界の奇書／／自由国民社／世界
世界の支配者は本当にユダヤか／武内了円／第一企画出版社／逆襲
世界の超リッチ／S・クールシオール&F・マロ/江口旦訳／発行/エディション・フランセーズ・発売/駿河台出版／怪書

タイトル／著者／出版社／出典

将兵論／松本道弘／たま出版／逆襲
植物の神秘世界／ピーター・トムピンズ、クリストファー・バード／工作舎／99
植物は警告する／三上晃／たま出版／世界/逆襲
食慾と愛慾／白柳秀湖／千倉書房／逆襲
諸世紀／ミカエル・ノストラダムス／／99/世界
徐福文書（→宮下文書）／／／世界
深宇宙探訪記／オスカー・マゴッチ/石井弘幸訳/関英男監修／発行/加速書店・発売/星雲社／世界
新解釈”空”の宇宙論／糸川英夫／青春出版社／世界/逆襲
真空エネルギー時代の幕明け／木下清宣／技術出版／逆襲
真空と光の正体／尾股良章／近代文芸社／逆襲
神皇紀（→宮下文書）／／／世界
新興宗教の正体／／あっぷる社／SF
真実のメッセージ／クロード・ボリロン・”ラエル”／発行/日本ラエリアン・ムーブメント 発売/(有)アオム／怪書
新・心理学入門／宮城音弥／岩波新書／99
新・世界の怪獣／中岡俊哉／秋田書店／逆襲
真説古事記／山田久延彦／徳間書店／世界/SF
真説種の起源／山田久延彦／徳間書店／世界
新・大衆薬の明日を探る／／薬業時報社／怪書
新・朝鮮語で万葉集は解読できない／安本美典／／世界
新発明! 馬連予想の成功理論メガトンチップ／／／世界
神秘学大全／ルイ・ポーウェル＆ジャック・ベルジェ／サイマル出版会／99
神秘の四次元世界／内田秀男／大陸書房／世界
神秘Vの馬券術／／／世界
神文学断章／万師露観／／世界
新約聖書V／／岩波書店／99
心理学入門／宮城音弥／岩波新書／99
人類が神になる日／フォン・デーニケン／佑学社／99
人類新世紀終局の選択/「精神世界」は科学である／栗本慎一郎／青春出版社／逆襲
人類は21世紀に滅亡する!?／糸川英夫／徳間書店／世界
人類文明の秘宝「日本」／馬野周二／徳間書店／世界
心霊科学本格入門／近藤千雄／KKベストセラーズ／世界/99
心霊現象の科学／小熊虎之助／新光社/改訂版・芙蓉書房／99/逆襲
心霊と神秘世界／福来友吉／八幡書店／99
心霊まじなひ秘法／／日本仏教新聞社発行／怪書
水許後伝／／秀英書房／SF
水晶の中の未来／／／逆襲
数字オンチの諸君!／ジョン・アレン・パウロス／草思社／99

タイトル／著者／出版社／出典

サラブレッドインフォメーション戦慄の全貌／東山陽介／メタモル出版／世界
サブマリン707パーフェクトガイド／／朝日ソノラマ／99
サラダ記念日／俵真智／／SF
3点馬券で勝つで勝つ新・秘密兵器／／／世界
三X(バイ)の人生／ドクター中松／学習研究社／世界
三百年後の東京／月露行客／新浪漫社朝田書店/少年SF傑作集所収／世界
三宝太監西洋記／／／続SF
しあわせ漢字 最重要360／村上龍一／ビックアール／逆襲
しあわせ業法／村上龍一／ビックアール／逆襲
しあわせ制限法／村上龍一／ビックアール／逆襲
JRA勝ち馬サインはR・Pで読み解けた！／小島孝司／徳間書店／世界
シオン賢者の議定書(シオン長老の議定書・シオンの議定書)／ノーマン・コーン／KKダイナミックセラーズ／世界
しかもそれは起こった／フランク・エドワーズ／早川書房／99
時空の支配者／ラッカー／／SF
Secret of the Supernatural／Joe Nickell & John F. Fischer／Prometheus／99
シークレット・ドクトリン／ヘレナ・ペトルヴナ・ブラヴァッツキー／／99
自然界における左と右／マーティン・ガードナー／紀伊国屋書店／99
自然科学の革命マイナスの科学／坂本邁／／世界
実験円盤浮上せり／清家新一／大陸書房／世界
実証・人類および全脊椎動物誕生の地ー日本／岡村長之助／岡村化石研究所／怪書
死のハンドバッグ／好美のぼる／曙出版／怪書
社会主義になった漱石の猫／／／SF
釈迦の霊泉／大澤祥二／発行/日本工業経済新聞社出版局・発売/星雲社／怪書
灼熱の氷惑星／高橋実／原書房／世界
17億年前の原子炉／黒田和夫／ブルーバックス／SF
受験子育て戦略／百瀬昭次／／SF
術／綿谷雪／青蛙房／怪書
首都圏大震災と国家の陰謀／原海紀夫／鷹書房／続SF
常温核融合の真実／J・R・ホイジンガ／化学同人／世界
常温核融合／岡本眞寛／日刊工業新聞社／続SF
常温核融合ー科学論争を起こす男たちー／E・D・ピート／／続SF
常世通俗雑誌読者気質／高田義一郎／現代ユーモア文学全集所収／怪書
上代日本正史／原田常治／／世界
聖徳太子「未来記」の秘予言／五島勉／青春出版社／世界
衝突する宇宙／イマヌエル・ヴェリコフスキー/鈴木敬信訳／法政大学出版局／世界/学会/99
少年SF傑作集／／新浪漫社朝田書店／世界
少年マガジン大図鑑／大伴昌司・企画構成／講談社／99

タイトル／著者／出版社／出典

けんぺーくん／ならやたかし／イーストプレス／怪書
考古学と物理化学／東村武／学生社／99
高次元科学／関英男／中央アート出版／世界/逆襲
高次元科学2／関英男／中央アート出版／99
孔明の艦隊／志茂田景樹／講談社／世界
悟空太閤記／湖南博志／発行/松本書店・発売/少年写真新聞社／SF
国史異論奇説新学説考／藤井尚治／日本書荘／SF
ここまで来た「あの世」の科学／天外伺朗／祥伝社／逆襲
魂に関する12章／木下多恵子／文化創作出版／学会
後西遊記／寺尾善雄訳／秀英書房／SF
後三国演義／／秀英書房／SF
古代・アメリカは日本だった！／ドン・R・スミサナ/吉田信啓訳／徳間書店／世界/逆襲
古代かごめ族の陰謀／荒巻義雄／徳間書店／SF
古代人の挑戦／ロバートFフィッツパトリック/坂本登訳／アメージングストーリーズ日本語版第3巻所収／SF
古代朝鮮語で日本の古典は読めるか／西端幸雄／大和書房／世界
古代日本の未解読文字／川崎真治／新人物往来社／逆襲
古代の精密科学／ノイゲバウアー＆オットー／恒星社厚生閣／99
〈こっくりさん〉と〈千里眼〉／一柳廣孝／講談社選書メチエ／99
子どものテレビこれでよいのか／エブリン・ケイ／聖文社／学会
此の世は如何にして終わるか／カミイユ・フラマリオン／改造社／世界/続SF
ゴル／ジョン・ノーマン／創元推理文庫／99
これからの10年・本物の発見／船井幸雄／サンマーク出版／世界
ゴロ寝してスーパーマンになる法／ドクター中松／マネジメント社／世界
怖いほど当たる!!万馬券日命の黄金律／／／世界
混血の神々／川崎真治／講談社／逆襲
魂世紀／田岡満／学研／学会
コンピューターが解いたノストラダムス全警告／マンフレッド・ディムデ/畔上司訳／二見書房／世界

【さ行】

サイエンスアドベンチャー／カール・セーガン／新潮選書／世界/99
サイエンス・ノンフィクション／斎藤守弘／早川書房／99
サイキック・ウォー／マーチン・エボン／徳間書店／99
最後の奇蹟トリノ聖骸布／イアン・ウィルソン／文芸春秋／99
The Psychology of the Psyhic／David Marks & Richard Kammann／Prometheus Books／99
最終兵器CALS／中見利男／日本文芸社／逆襲
最終UFO兵器プラズナーの真相／あすかあきお／KKベストセラーズ／世界
サイ・ババの奇跡／エルレンドゥール・ハラルドソン／技術出版／99
Z（ザイン）天宮図／万師露観／／世界

タイトル／著者／出版社／出典

恐竜絶滅の大真実／あすかあきお／講談社／世界/99
恐竜には毛があった／あすかあきお／データハウス/講談社／世界/99
恐竜の力学／R・M・アレクサンダー／地人書館／99
旭日の艦隊／荒巻義雄／中央公論／世界
極南の迷宮／阿武天風／／世界
巨石人像を追って／木村重信／日本放送出版協会／99
疑惑の人ジェームス・チャーチワードとムー大陸伝説・伝／志水一夫／／99
キーワードを読みとれ！場外馬券必勝法／原田泰夫／池田書店／世界
禁断の超「歴史」「科学」／／新人物往来社／世界
金の卵を生むがちょう／アイザック・アシモフ／ハヤカワ文庫/アシモフのミステリ世界所収／99
金星の大ターザン／南沢十七／／世界
空想科学小説集／横田順弥／少年小説体系第8巻所収／SF
空中携拳／林俊平・和子／しゃぎ出版／世界
薬のQ&A／石橋丸應／南山堂／怪書
クトゥルフ・ハンドブック／山本弘／ホビージャパン／逆襲
くらしの色えんぴつ／／東京書籍／SF
クリティアス／プラトン／／99
黒豹スペースコンバット／門田泰明／光文社文庫／世界/SF
黒豹ダブルダウン／門田泰明／祥伝社／世界
黒豹伝説／門田泰明／祥伝社ノンレベル／世界
形態形成場理論／花積ヨーコ／学習研究社/ムー別冊／99
競馬新聞オッズこの読み方で中穴絶対はずさない／／／世界
競馬を予知する魔の数字／／／世界
血液型と性格／大村政男／福村出版／世界
「血液型と性格」の社会史／松田薫／河出書房新社／世界
「ゲテ食」大全／／データハウス/北寺尾ゲンコツ堂／怪書
ケネディー暗殺とUFO／コンノケンイチ／たま出版／99
検証・サイババの「奇跡」／ディル・バイヤースティン／かもがわ出版／99
幻象博物館／フェノミナ／創林社／99
原子力宇宙船／飯田幸郷／東光出版社／怪書
幻想大陸／L.スプレーグ・キャンプ／大陸書房／99
幻想の古代文明／ロバート・ウォーカップ／中公文庫／世界
幻想の津軽王国／原田実／批評社／逆襲
現代心理学／小石原昭/山口瞳編／／99
現代の超心理学／ドナルド・ジェイムズ・ウエスト／誠信書房／99
現代物理学的基礎の大転回／浜岡泰治／アインシュタイン社／逆襲
現代物理の死角／コンノケンイチ／ユニバース出版／世界/続SF

タイトル／著者／出版社／出典

神々の遺産／モーリス・シャトラン／角川書店／99
神々の指紋の超真相／ゆうむはじめ・横屋正朗／データハウス／99
神々の指紋／グラハム・ハンコック／翔泳社／99
神々の墜落／クリフォード・ウィルソン／大陸書房／99
上記／／／世界
紙芝居大系／／大空社／学会
神の正体／浅利幸彦／時の経済社／続SF逆襲
神の正体Ⅱ／浅利幸彦／時の経済社／続SF逆襲
Camera Clues ／Joe Nickell／The University Press of Kentucky／99
仮面ライダー雑学小百科／中年仮面ライダー隊編／朝日ソノラマ／世界
カラスの死体はなぜ見あたらないのか／矢追純一／雄鶏社／逆襲
カラー天文百科／／平凡社／99
ガリバー旅行記／ジョナサン・スウィフト／／99/SF
餓狼の弾痕／大藪春彦／カドカワノベルズ／逆襲
「元祖」野菜スープ強健法／立石和／徳間書店／怪書
神字日文解(カンナヒフミノカイ)／吉田信啓／中央アート出版／逆襲
消えるヒッチハイカー／ブルンヴァン／／世界
気温の周期と人間の歴史／原田常治／／世界
記紀以前の資料による古代日本正史／原田常治／発売/婦人生活社・刊行/同士社／続SF/逆襲
危機の数は13／五島勉／／逆襲
九鬼文書／／／世界
企業「遺伝子」進化論／山田久延／徳間書店／逆襲
企業遺伝史進化論／山田久延彦／徳間書店／世界
奇跡は実現する／松本順／大和出版／逆襲
稀代の霊能者 三田光一／丹波哲郎／／99
奇っ怪紳士録／荒俣宏／／SF
きなこ健康法／永山久夫／扶桑社／SF
君達の未来／百瀬昭次／／SF
君達は偉大だ／百瀬昭次／／SF
君にもスグできる超能力マジック／あすかあきお／小学館／世界
奇妙な論理／マーチン・ガードナー／／続SF/世界
奇妙な論理Ⅱ／ガードナー＆マーティン／社会思想社現代教養文庫／99/続SF
”逆重力発生機”について考える／大山勇／パワースペース／99
驚異のインテリア・パワー／小林祥晃／廣済堂／続SF
驚異の超科学が実証された／政木和三／廣済社／逆襲
驚異のハチソン効果／横山信雄監修／たま出版／99
仰天！オカルト業界編集日記／まほろば計画編／扶桑社／世界

タイトル／著者／出版社／出典

MJ-12の秘密／矢追純一／KKベストセラーズ／99
MJ-12をめぐる疑惑／高梨純一／日本UFO科学協会／99
Encyclopedia of Occultism & Parapsychology／Leslie A.Shepard／Gale Research Inc.／99
"An Encyclopedia of Claims, frauds, and Hoax of the Occult and Supernatural"／James Randi／St.Martin' s Press／99
The Encyclopedia of Parapsychology and Psychical Research／Arthur S. Berger & Joyce Berger／Paragon House／99
Encyclopedia of Hoax／Gordon Stein／Gale Research Inc.／99
エントロピーの発想の生かし方／高辻正基／ゴマ書房／SF
円盤機関始動せり／清家新一／大陸書房／世界
円盤製造法／ジョーゼフ・F・ブルームリッチ／角川文庫／99
黄金孔雀／島田一男／偕成社／逆襲
黄金のツタンカーメン／ニコラス・リーヴス／原書房／99
オウムからの帰還／高橋英利／草思社／99
大川隆法の霊言／米本和広/島田祐己／JKC/宝島社／逆襲/99
オカルト徹底批判／大槻義彦／朝日新聞社／世界/99
尾崎豊の霊言／太田千寿／さくら出版／逆襲
オーディオ常識のウソ・マコト／千葉憲昭／講談社ブルーバックス／世界
オーパーツの謎／南山宏／二見書房／99
思い違いの科学史／共著／朝日選書／世界
極光の艦隊／志茂田景樹／実業之日本社／世界

【か行】

怪奇ミステリー／佐藤有文／／逆襲
怪情報／／北宋社／怪書
解体新書アインシュタイン／小野田穣二／風濤社／逆襲
海底に咲く花／市来英雄／／SF
海底の1万2000年／ロバート・F・バージェス／心交社／99
開放されたSF／ピーター・ニコルズ編／東京創元社／99
解剖台にりて／森於菟／／怪書
海洋咬支傷マニュアル／小浜正博／ピークビジョン／学会
海洋渡来日本史／木村鷹太郎／／世界
海洋日本渡来史／木村鷹太郎・八切止夫編集、復刻／日本シェル出版／SF
怪力法／若木竹丸／第一書院(壮神社)／怪書
カウントダウン首都圏大地震／相楽正俊／出帆新社／99
科学奇問大観／文化普及学会／共益社／SF世界
科学をダメにした7つの欺瞞／コンノケンイチ他／徳間書店／逆襲
隠された日本史ーわが腹は赤かりきー／八切止夫／／SF
〈火星〉人面像の謎／R・C・ホーグランド／並木伸一郎編訳／二見書房／99
カバラの呪い／五島勉／祥伝社／逆襲

タイトル／著者／出版社／出典
失われた大陸群／アレクサンドル・コンドラトフ／大陸書房／99
失われたムー大陸／ジェイムズ・チャーチワード／／99
宇宙エネルギーの超革命／深野一幸／廣済堂／続SF
宇宙エネルギーが導く文明の超転換／深野一幸／徳間書店／世界
宇宙エネルギーの超革命／深野一幸／廣済堂／世界
宇宙から来た奇跡／南山宏／講談社／99
宇宙からの使者／藤原忍／たま出版／99/世界
宇宙からの訪問者／ロイ・ステマン／学習研究社／99
宇宙人がくれた21世紀の聖書／大高良哉／徳間書店／逆襲
宇宙人恐怖の思考回路／霧島高雄／ハート出版／続SF/逆襲/99
宇宙人とUFO とんでもない話／皆神龍太郎／日本実業出版社／99
宇宙人謎の計画書／ロビン・コリンズ/青木榮一訳／二見書房／世界
宇宙人ユミットの謎／マルチーヌ・カステロ＆イザベル・ブラン＆フィリップ・シャンボン／徳間書店／99
宇宙人ユミットからの手紙／ジャン・ピエール=プチ／徳間書店／99
宇宙創世と命の起源／太田千寿／日本文芸社／逆襲
宇宙と地球のミステリー／南山宏／講談社文庫／99
宇宙との連帯／カール・セーガン／河出書房新書／99
宇宙のオーパーツ／南山宏／二見書房／99
宇宙の神秘とUFOの謎／清家新一／日本文芸社／逆襲
宇宙の始めにビッグバンはなかった／山田久延彦／扶桑社／世界/逆襲
宇宙の四次元世界／清家新一／／世界
運命を変える危険予知／榎本天法／ハート出版／世界
永久運動の夢／アーサー・オードヒューム／朝日新聞社/朝日選書／続SF/99
永久機関の夢と現実／後藤正彦／発明協会／世界
英国心霊主義の抬頭／ジャネット・オッペンハイム／工作社／99
エイリアン・リポート／ティモシー・グッド／扶桑社／99
絵入川柳妖異だん／／近世風俗研究会刊行／怪書
SSXと着順検定値による81%平均成功軸決定法／／／世界
SF以上の異常性／ジョン・ブラナー／東京創元社／99
S・F講談にっぽん好色美女伝／今官一／一水社／SF
SFはどこまで実現するか／／／続SF
エゼキエル書／関根正雄／岩波文庫／99
「エゼキエル書」の宇宙人／アーサー・W・オートン／／99
エッチでわかる数学Ⅰ／原田茂／ごま書房／世界
エドガー・ケイシーのアトランティス大警告／マリー・エレン・カーター／たま出版／99
ABC法攻略のABC／／／世界
絵本太閤記／／／SF

タイトル／著者／出版社／出典
悪魔の教科書／香山滋／文芸評論社／続SF
悪魔の邪望／武内了円／第一企画出版社／世界
アーサー・C・クラークのミステリーワールド／サイモン・ウェルフェア&ジョン・フェアリー／角川書店／99
アジアの宇宙間／中野美代子／講談社／SF
足の汚れが万病の原因だった／／／逆襲
アトランティスのミンダ王女500機のUFO 従え「生命の樹」へ／ヤミリ・キリー／でくのぼう出版／逆襲
アトランティス一大洪水以前の世界／イグネイシャス・ダンリー／／99
あなたの魂は素粒子発光体／／／SF
アポロ宇宙飛行士が撮ったUFO／コンノケンイチ／徳間書店／世界
アラーの大警告／大川隆法／／逆襲
異学発想のすすめ／ドクター中松／講談社／世界
異常性愛大事典／THE ENCYCLOPEDIA OF UNUSUAL SEX PRACTICE／ブレンダ・ラブ編／／怪書
イースター島紀行／西野照太郎／花曜社／99
異星人からのメッセージ／エリザベート(光本冨美子)・大石隆一／鷹書房／世界
異星訪問奇談／久保田八郎／エトワス出版／世界
イソップ物語の謎／五島勉／祥伝社／世界
199x年地球大破局／深野一幸／廣済堂／世界
1999年／高橋克彦／小学館／世界
1999年地球運命の日／チャールズ・バーリッツ／二見書房／世界
1999ノストラダムスの大真実／あすかあきお／講談社／世界
一日で覚えられる宅建 しあわせ民法／村上龍一／ビックアール／逆襲
いちばんくわしい・世界妖怪図鑑／佐藤有文／立風書房／逆襲
E. T. の地球攻撃を許すな！／渡辺威男／徳間書店／逆襲/SF
いまどきの神サマ／／／世界
今は亡き大いなる地球／ハル・リンゼイ／徳間書店／世界
イルカが人を癒す／小原田恭久／KKベストセラーズ／世界
イルカと話す日／ジョン・C・リリー/神谷俊郎・尾澤和幸訳／NTT出版／世界
イルカの夢時間／ジム・ノルマン／工作舎／世界
鰯の頭に磁場があった／亀田修／kkベストセラーズ／逆襲
インカ帝国／カルメン・ベルナン／創元社／99
インドから火星へ／テオドール・フルールノア／／99
上杉謙信は女だった／八切止夫／／SF
ヴェールを脱いだイシス／ヘレナ・ペトルヴナ・ブラヴァッツキー／／99
Water Witching U.S.A／Evon Z. Vogt & Ray Hyman／Chicago／99
動く物の工作／小島二郎／金園社／逆襲
失われた世界への旅／矢追純一監訳/編／同朋社出版／99
失われた大陸／エカテリーナ・M・アンドレーエヴァ／岩波新書／99

特別付録
「トンデモ本」便利検索リスト

リストの中の略称は以下の通りです。

世界＝トンデモ本の世界（と学会著・洋泉社）
逆襲＝トンデモ本の逆襲（と学会著・洋泉社）
99＝トンデモ超常現象99の真相（と学会著・洋泉社）
怪書＝トンデモ怪書録（唐沢俊一著・光文社）
SF＝日本SFごでん誤伝（藤倉珊著・私家版）
続SF＝続・日本SFごでん誤伝（藤倉珊著・私家版）
学会＝と学会白書Vol.1（と学会著・イーハトーヴ出版）

※なお、／／／などのようにリストの抜けている所は不明箇所です。

タイトル／著者／出版社／出典

【あ行】

アインシュタインの相対性理論は間違っていた／窪田登司／徳間書店／逆襲 /世界
アウト･オン･ア･リム／シャーリーマクレイン／地湧社／逆襲/99
青い狐ドゴンの宇宙哲学／マルセル・グリオール＆ジェルメーヌ・ディテルラン／せりか書房／99
アガスティアの葉／青山圭秀／三五書館／99
アガスティアの葉の秘密／パンタ笛吹・真弓香／たま出版／99
赤ちゃんは算数の天才！／七田眞／kkベストセラーズ／逆襲
悪魔が生んだ科学／山田久延彦／カッパサイエンス／世界
悪魔最後の陰謀／／／逆襲
悪魔の生んだ科学／山田久延彦／カッパサイエンス／続SF

あとがきに代えて

文化的に見た『と学会』の役割というと、オカルト、ＵＦＯ、お笑い、マンガなど、現代マスコミ文化の周辺領域におけるフィールドワークだろう。たとえばＵＦＯひとつにしても、関連本がこれだけ大量に出版されているにも拘わらず、それらは大新聞ではまず書評されないし、どういう内容の本がどういう出版社からどれくらいの数、刊行されているのかといった基礎データが何一つ、これまで調査されていなかった。

そんなもの、なんの役にたつんだ、などと言うなかれ。学問というものはそもそも有用性を目的とするものではないし、また、ハルマゲドン思想の大衆出版物レベルでの浸透度についてきちんとしたデータが存在したら、仮定ではあるが、あのオウム真理教に対する取り組みも、もう少し迅速に行えたのではないだろうか。

大衆文化はまず、①個々の好事家のコレクション自慢あたりから世間に注目され、次にそういう人々の間のコミュニケーション状況が整備されて基礎データが固まり（②）、そして学問として認知されていく（③）、という筋道をたどる。山本弘、藤倉珊、志水一夫といった個々の研究家たちがＳＦ大会で知り合い、そこに同じＳＦ大会で寄席を企画していた唐沢が加わり、第一回の発表会場に岡田斗司夫や眠田直がいて……という、『と学会白書vol．1』で語られた学会成立の経緯のエピソードはまるで水滸伝の梁山泊を思わせるが、そこでと学会という組織ができあがって活動している現在は、この②の段階にあるわけだ。

これから先、トンデモ本研究は③の段階に進んでいくのだろうか。それとも、ずっと②の段階にとどまって、楽しい趣味として定着するのか。それは、われわれ会のメンバーにもわからない。

一九九九年を来年に迎え、トンデモ本とと学会がどのように変遷していくのか、それは読者の皆さんが個人で確認していただきたい。本書が、その良きテキストになることを願っている。

「トンデモ世紀末の大暴露」編集責任者　唐沢俊一

THE ACADEMY OF OUTRAGEOUS BOOKS
SINCE 1992

と学会白書Vol.2
トンデモ世紀末の大暴露

1998年4月20日　初版第1刷発行
1998年5月11日　　　第2刷発行

編・著者　と学会
発行人　大瀬戸雅之
発行所　イーハトーヴ出版株式会社
〒106-0047 東京都港区南麻布3-18-4
TEL 03-3442-7481
印刷・製本　中央精版印刷株式会社

ISBN4-900779-24-5 C0076 ¥1300E

価格は表紙カバーに表示してあります。
乱丁・落丁は、ご面倒ですが小社宛にお送り下さい。
送料小社負担にてお取り替えいたします。

本文イラスト／眠田直（と学会）

Editor/Yoji Harada
Book Design/Taquo Ikegami
Cover Photo/Akira Satoh
Art Work / Yasuhiko Asada
Macintosh/Uhuru Design
Special Thanks/Mutsuki Tajima

TO-GAKKAI Logo Design/Shiho Sakamoto

イーハトーヴ出版　主催

唐沢俊一　サイン会

6月13日(土)　午後3時より

当日は、本整理券をご持参の上、
係員の指示に従ってお並び下さい。

旭屋書店　札幌店

札幌市中央区南3条西4丁目
アルシュビル B1･B2
TEL.011-241-3007
FAX.011-232-2248

なまえ.
きょういち

0113